

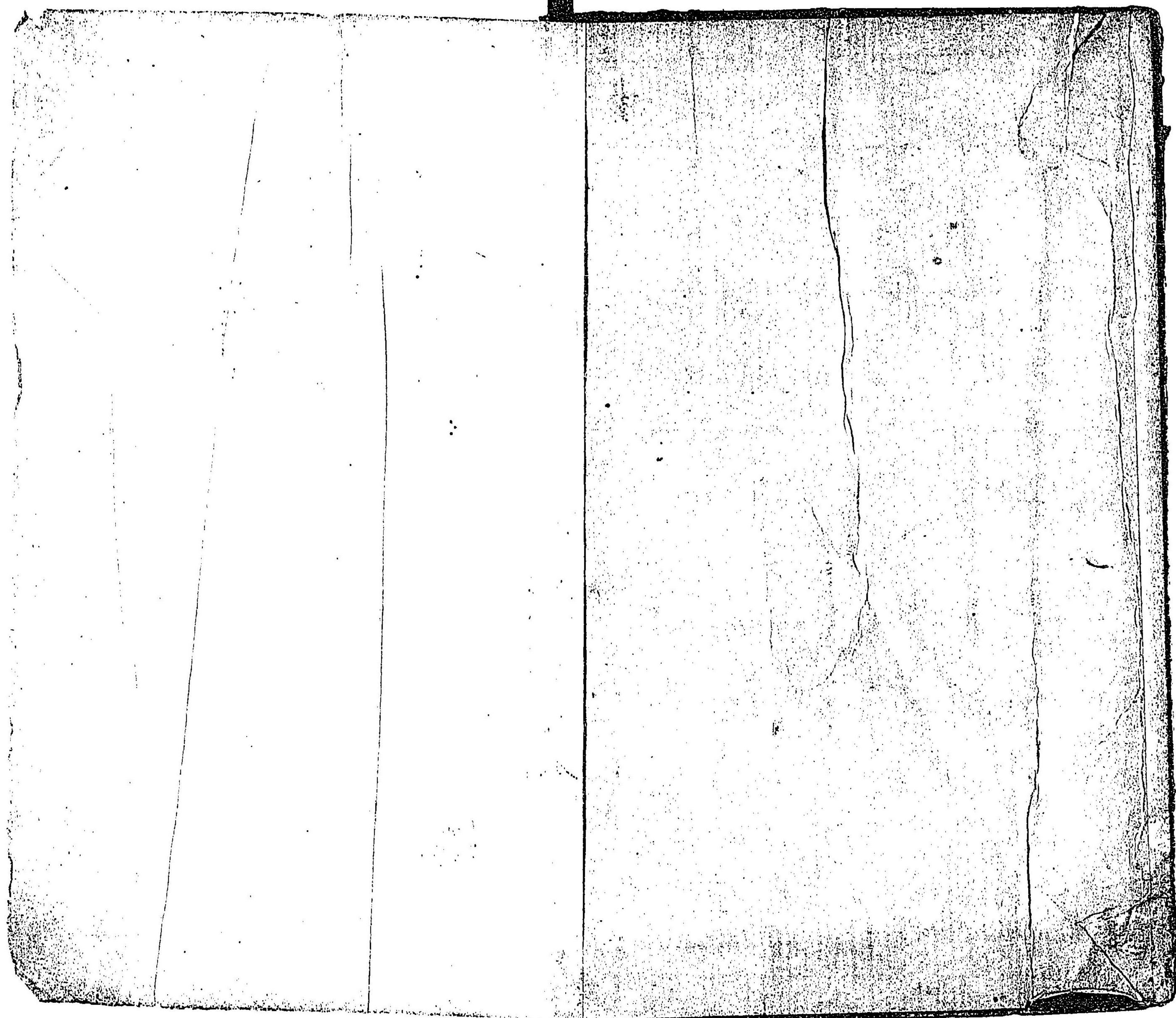
I
141

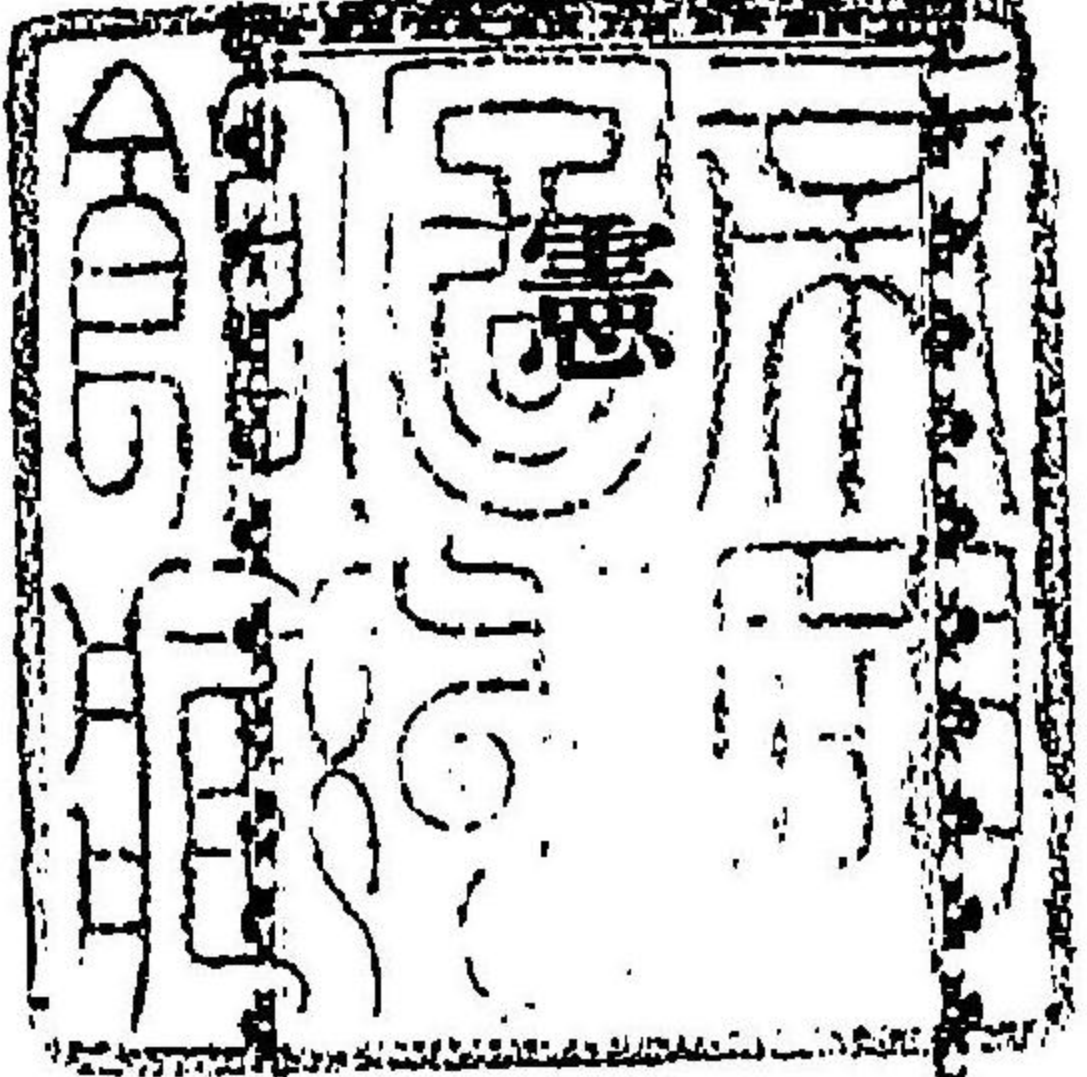
II

大學四十年度

科第一學年講義錄

憲法





法

完

法學博士 笈 克 彦 講 述

寄贈本



司法大臣指定
文部大臣認定

日本大學發行

憲法

目次

緒言

第一編 總論

第一章 國家

第一節 總說

第二節 國家ノ分析的觀察——成立要素

第三節 國家ノ統一的觀察——國家ノ性質

第二章 國法及ニ國法上ノ權利義務

第一節 國法

第一款 總說

第二款 國法ノ細別

第三款 國法ノ保障

一丁

二丁

同丁

同丁

四丁

一四丁

三九丁

同丁

同丁

四〇丁

四六丁

憲法目次

第四款 國法ノ性質

二

四九丁

第二節 公法

第一款 總說

五二丁

第二款 全部一部ノ資格

五六丁

第一項 活動ノ主體ハ皆全部一部ノ資格ヲ具有

ス

同丁

第二項 全部一部ノ資格ハ關係的ナリ

六〇丁

第三款 活動ノ主體

六四丁

第一項 絕對我

同丁

第二項 普遍我及ヒ自我

七〇丁

第一目 其自然ノ根據

同丁

第一分 普遍我

同丁

第二分 自我

七三丁

第二目 活動主體ノ法上ノ認定

七四丁

第一分 團體(普遍我)

七五丁

第一岐 總說

同丁

第二岐 團體ノ成立及發展

七六丁

第三岐 法上ノ認定ト之ニ基ク團體種類

九〇丁

第三項 注意並ニ結論

一一二丁

第四款 公法ノ屬質

一一四丁

第一項 第一項ノ屬質

同丁

第二項 第二項以下ノ屬質

一二三丁

第三項 附加

一二四丁

第五款 公法ノ種類

一二四丁

第一項 總說

同丁

第二項 人格者間ノ資格關係ヨリ見タル公法ノ

一二八丁

區別

第三項 規律的合成意力ノ合成スル範圍程度及

性質ヨリスル公法ノ分類 一三四丁

第一目 合成スル程度 同丁

第二目 合成スル性質 一三七丁

第三目 合成スル範圍 一四二丁

第四項 意思發動ノ關係自身ノ性質ヨリスル公法ノ分類 一四二丁

一四五丁

一四八丁

同丁

一四九丁

一五〇丁

一五四丁

一五八丁

一六五丁

第一項 憲法ヲ成立變更 同丁

第二項 憲法改廢ノ形式 一六八丁

第四節 國法上ノ權利義務 一七三丁

第一款 國內法上ノ人格者 同丁

第二款 權利義務 一七七丁

第一項 總說 同丁

第二項 權利 一七九丁

第一目 意義 同丁

第二目 權利ハ特定ノ活動ニツキ法カ特ニ認ムルニヨリテ生ス 一八一丁

第三目 權利ハ法上ノ人格者トシテ有スル意カナリ 一八四丁

一八四丁

一九四丁

一九八丁

第一項 公法ハ即チ公法上ノ權利義務ノ規定ナ

一九八丁

第二項 公法私法ノ權利義務ノ關係

二〇三丁

第三項 公法上ノ權利義務ノ性質

二一八丁

第四款 國法上ノ權利義務

二二二丁

第一項 最小限度ノ國法ニ於ケル權利義務

二二三丁

第二項 憲法上ノ權利義務

二二九丁

第三章 國家ノ種別

第一節 國體ニ依ル國家ノ種別

二四六丁

第一款 國體及政體

同 丁

第一項 意義

同 丁

第二項 國體政體ノ存在スル根據

二四八丁

第一目 大人本位ノ制度

二四九丁

第二目 民衆本位ノ制度

二五二丁

第三目 兩本位ノ特長

二五四丁

第四目 兩本位關係

二五六丁

第三項 政體

二六〇丁

第一目 總說

二六三丁

第二目 數學ノ式ヲ以テ政體ニ種類多キ所以ヲ説明ス

二六五丁

第二款 貴族國體

二六九丁

第一項 貴族

同 丁

第一目 總說

同 丁

第二目 宗教階級

二七二丁

第三目 武力階級

二七五丁

第四目 貴族ト階級

二七六丁

第五目 金力階級

二八〇丁

第六目 教育階級

二八六丁

第二項 貴族國體ノ各政體 二八七丁

第一目 貴族直接政體、貴族間接政體 二八八丁

第二目 貴族專制政體、貴族制限政體 二八九丁

第三款 君權國體 二九〇丁

總說 君權國體ノ概念 同 丁

第一項 君權國ノ各政體 二九二丁

第一目 君主世襲政體及選君政體 同 丁

第二目 君主專橫政體、君主專制政體及君權制限政體 二九六丁

第一分 君主專橫政體、專橫君權國 同 丁

第二分 君主專制政體、專制君權國 二九九丁

第三分 君權制限政體、制限君權國即テ所謂
立憲國 三〇四丁

第二項 制限政體ノ存在スル理由 三〇七丁

第一目 宇宙ノ觀察 同 丁

第一分 總說及物 同 丁

第二分 我 三一〇丁

第一岐 普遍我 同 丁

第二岐 自我 三一二丁

第三分 活動 三一三丁

第二目 國家ノ組織ノ觀察 三一五丁

第一分 自我心理ノ各方面ト國家ノ組織 三一六丁

第二分 普遍我ノ各方面ト國家ノ組織 三一八丁

第三分 活動ノ各方面ト國家ノ組織 三二〇丁

第四分 物ト國家組織ノ分歧發達 三二三丁

結論 三二五丁

第四款 民權國體 三二六丁

第一項 直接政體、間接政體 三二六丁

第一目 民衆直接政體 三三六丁

第二目 民衆間接政體 三三八丁

第三目 民衆直接間接混合政體 三三九丁

第二項 專制政體制限政體 三三〇丁

第一目 民衆專制政體 同 丁

第二目 民衆制限政體 同 丁

第三項 附說 三三二丁

第二節 結合狀態ニヨル國家ノ種別 三三三丁

第一款 結合 同 丁

第一項 結合ノ根據 同 丁

第二項 國際法上ノ結合 三三四丁

第二款 國法上ノ結合 三三六丁

第一項 組織上ノ結合 三三七丁

第二項 主國從國ノ主從關係ニヨル結合 同 丁

憲法目次終

第三項 聯合國家 三三八丁

第四項 結論 三三九丁

第三款 聯合國家 三四二丁

第一項 成立及ヒ消滅 三四三丁

第一目 成立 同 丁

第二目 消滅 三四五丁

第二項 聯合國家ノ組織 同 丁

第一目 自治組織 同 丁

第二目 表現組織 三五〇丁

第三項 聯合國家及部分國家ノ國權 三五二丁

第一目 國權ノ制限 三五三丁

第二目 自主權ト最高主權 三五三丁

第三目 聯合國家憲法ノ變更 三五五丁

憲法

法學博士 寬 克 彦 講述

緒言

是ルヲ一年間諸君ト憲法學ノ研究ヲ致シマス、サテ學ト申スハ平タク申セバ「良ク良ク吟味セラレタル
 生キ生キシテ居ル智識」トデアリマス、モット短ク言ハバ「高尚ノ智識」トデアル、高尚ノ智識
 高尚ニナル程益緻密精密ニナツテクル、然シ同時ニ益々廣大無邊ニナツテクルカラ、此小大兩邊ガ
 一ツニ歸シ小ニ應ズルコトモ大ニ應ズルコトモ違ツタコトノナイ様ニナル、勿論斯様ナル智識ハ教場
 ニ轉ツテ居ル譯デモナク、往來ニ落テモ居ラス、ソノカト言ツテ法典ヤ書物ノ内ニモ並デ居ラス、一
 ニ諸君ノ自我ノ内ニ隠レテ居ル、ソレヲ見付ケ出シサヘスレバ良イノダカラ極メテ容易ノ事デアル
 夫レカラ次ニ憲法ト謂ヘハ二錢五厘デ本屋ノ前ニ並ベテアル條文書キデモナケレバ教科書ノコトデモ
 ナイ、是等ハ紙ノ上ニキタナイ墨ガ塗ツテアルノミノコトデアツテ、之レモ結局我々ノ頭ノ内ニ存在
 シテ居ル力ニ外ナラス、我々ノ心ノ働キト共ニ常ニ變遷シ成立消滅シツ、アルモノデアル、サレバコ
 ソ墓場ヲ掘ツテモ我々ノ骸骨ヨソ出テ來レ、法ナドカ出テハ來ヌ、左様申セハ憲法ト謂フ條文ハイラ
 スモノカ又ハ膺セ物カト謂フ様ナ考ヲ起サル、方モアルカモ知レナイガ、ソノデハナク憲法ノ條文ト

云フモノモ必要デアル、然シ只我々カ同様ノ暗示ヲ授受シ我々ヲシテ同様ノ心理力ヲ發揚セシメ一體タル合成意力ヲ生ゼシメンカ爲メニ必要ナノデアル、サレバ條文ヲ不用ト思フ者モ心得違ヒナレドモ條文ノ墨ノミヲ有難ガリ單ニ其文字ノ順列配合ノミヲ憲法ノ研究ト思フ者モ條文ニ魅ラレタ者ト謂ハネバナラス、幾萬遍條文ヲ唱ヘテモ其内カラ國ト云フモノモ大日本ト云フモノモ又ハ人間モ男子モ發シテハ來ヌ、斯クノ如キハ鏡ヲ見テ鏡カ生ケルト思ヒ鏡ニ寫シテ居ル大切ノ御主人様ノ方ヲ忘レタ者ト謂ハネバナラス、夫レ故我々ハ成ルベク此御主人様タル自然ノ事實ヲ基礎トシテ憲法ノ條文ヲ活キ活キト働カセテ見タイト思ヒマス、夫レニハ先ヅ憲法學ノ全部ヲ五篇ニ分ツテ研究致シタイ、即チ第一篇ガ總論、第二篇ガ憲法上ノ人格者、第三篇ガ憲法上ノ物、第四篇ガ憲法上國家ノ活動、第五篇ガ結論デアリマス

第一篇 總論

第一章 國家

第一節 總說

世ノ中デ一番解リ易イト思ハル、モノハ、又一番解リ難イモノデス、國家ト云フモノハ銘々ガ日々其中ニ一ツニ集ツテ居リ乍ラ何デアルカト開カレド一番解ラナイ、答ガ出來ナイ、通常ノ人間バカリデナクテ、學者、殊ニ法學者、國家學者ト謂ハレル者スラモ、皆國家ノ意義ニ關スル說ガ違フ、說ガ一致スレバコソ悉ク正シイト言ヘルケレドモ說ガ違フ以上ハ孰レカノ說ガ誤ツテ居ルト謂ハネバナラス

斯クノ如キハ丁度自我ノ意義ト同ジヤウナモノデス、自我ト云フモノハ誰デモ一番能ク知ツテ居ルモノデアル、諸君ハ皆自我タルコトヲ意識シテ居ル、諸君ヲ呼ベバ必ズ返辭ヲサレル、諸君ハ一番能ク自我ヲ意識シテ居ラレ、何處ヘ御出デニナルニモ皆自我ヲ持ツテ出ラル、下宿屋ニ御在デニナルトキニモ、學校ニ御出ニナルトキモ、晝起キテ居ルトキモ、夜寐ルトキモ皆自我ヲ持ツテ居ル然シサテ自我ハドウ云フモノデアアルカト云フトナカク解ラナイ、極ク豪イ御釋迦様ダトカ、或ハ老子ダトカ、又ハ孔子ダトカ云フヤウナ人ハ格別トシテ、大抵ノ人ハ能ク知ラナイ、況シテ自我ハ有ルト云ヒ無イト云フ論ガアリマス、國家モソレト同ジコトデアアル國家ハ餘リ手近ノ存在ヲ有スルガ爲メニ分ツタ様デ然カモ一體ドウ云フモノカ解ラナイ、加之アルカナイカト云フコトマデ随分議論ニナツテ居リマス、國家ハ無イトスル者ノ說ニ曰ク、國家カナイトスルト、吾々ノ生活シテ行クニ困ルカラシテ假リニ在ルモノトシテ定メテアル、丁度教會へ行ツテ見ルト十字架ガ立ツテ居ルヤウナモノデ、又御寺ニハ木像カ安置サレテ居ル様ナモノデアアル、或ハ觀音様ガ有難イト云ツテ、參詣人ガ木像ノ前デ南無阿彌陀佛々々々々々々ト言ヒ十字架ノ前デアイメント唱ヘテ居ル、國家モ亦此十字架ヤ神佛像ト同一デアツテ是等ト同様ノ存在ヲ有スルニ過ギナイト申サル、サテ斯様ニ國家ノ有無マテモ論ガアリ、有リトシテモ何デアルカガ中々論ニナツテ居ル、元來自我ニツキテ見テモ只知ラス識ラスニ生活シテ行ク間ニハ又生活シテ行クナラハ自我ト云フモノハアツテモナクテモ、或ハトシテモノデアラウトモ一向其様ナコトニ關係ハナイ譯デアアルケレドモ、非常ニ能ク生活シヤウト云フ場合ニナツテ見レバ、倍テ自我ハドウ云フモノデアアルカト云フ問題ガ起ツテ來ル、何故ナラバ其生活シヨウト云フノカ自我デアアル、最モ能ク生

活シヤウト云フトキニハ何時ニモ自我ハ何デアアルカト云フ問題ガ起ツテ來ル、自我ノ生活ハドウ云フモノデアアルト云フコトハ自我ノ上ニ於テ最モ明カニシヨウトスルニハ自我ト云フモノヲ最モ能ク研究シナケレバナラヌ、ソレト同シク國家デモ最モ善美ナル國家生活ヲシヨウト云フ場合ニハ、國家ト云フモノハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ知ル必要ガ出來テ來ル、即チ國家ハアルデアラウカナイデアラウカ又國家ハ何デアアルカト云フコトヲ調ベナケレバナラヌ、然ラバ國家ト云フモノハ何處デ探シテ見レバアルカナイカ、或ハドウ云フモノダト云フコトガ解ルカト考ヘテ見マスルト、能ク人ノ考ヘル如クニ、憲法ノ條文ヤ法律ノ條文ヲ讀シテモ決シテ國家ハナイ、ソレハ紙ニ墨ガ附イテ居ルダケデスカラ幾ラ見テモ其中カラハ國家ガ飛出シテ來ル氣遣ヒハナイ、デ其様ニ法律ノ條文ヲ只讀ンテ居ルバカリデナクシテ、其以外ニ跨ツテ國家ト云フモノハ本來ノ事實トシテハドウ云フモノデアアルカ、自然ノ現象トシテハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ研究シテ、ソレヲ土臺トシナケレバナラヌデアリマス。

第二節 國家ノ分析的觀察——成立要素

人間ハ總テ物ヲ見ルニ何時デモ二ツノ方面カラ見ル、同ジモノヲ見ルニモ二ツノ眼ガアツテ見ル、唯一方ノ眼ダケデハ、方向ハ略ボ分ルカ知ラヌケレドモ、何處ニドノ位ノ遠サニ物ガアルカ分ラナイノデアリマス、ソウ云フヤウナ譯デ、國家ヲ觀察スルニ付キマシテモ矢張二方面カラ觀ナケレバナラヌ其他ノ一方ハ總テ物ヲ打毀ス方面カラ觀ル、他方カラハ何時モ物ヲ纏メル方面カラ觀ル、是ハ化學ノ上デモソウデアリマス、一方ハ始終分析シテ行カナケレバナラヌ、又一方ハ始終物ヲ綜合シテ行カナ

ケレバナラヌ、例ヘバ水ハ水素ト酸素トヨリ成ツテ居ル、其水素ト酸素ヲ分析スル方ガ物ヲ打毀ス方デアアル又水素ト酸素ト集マルト水カ出來ルト云フコトハ纏メル方デアリマス、吾々ノ今御話シヤウトスルノハ成立要素ノ點カラ國家ヲ觀察シテ、其次ハ總テノ成立要素ヲ纏メタ結果出來タ所ノ國家ト云フモノ、性質ヲ研究シヤウト思フ。國家ノ成立要素ハ至ツテ簡單ノモノデアリトス

第一 國家ハ人類ヲ本トス

此處デ謂フ人類ト云フ意味ハ、吾々ノ人間ト云フ名ノ付イテ居ル所ノ各個人カ澤山ナケレバナラヌト云フ意味デアリマス、ソレデアアルカラ人間デナケレバイケナイ、人間以外ノモノガ集ツテ居ツテハ、ソレハ吾々ノ謂フ國家デハナイ、猿ガ集ツテ居ル、羊ガ集ツテ居ル、蟻ガ集ツテ居ル、蜂ガ集ツテ居ル是等ノモノヲ段々研究シテ見マスルト云フト、矢張吾々ノ國家ト云フモノト是ハ實質ニ於テハ同ジモノデアリマス、萬般ノ動物ノ間ニ於キマシテハ吾々ノ謂フ國家ト同ジ性質ヲ持ツテ居ルモノハ皆存在シテ居ルケレドモ、吾々ガ今現ニ國法ノ學問ニ於テ國家ト云フモノハ何時モ人類ト云フ名ノ附イテ居ル一ツ一ツノ人間ガ澤山集ツテ居ナケレバナラナイ、ソレデナケレバ國家ト云フコトハ出來ナイ、澤山集ツテ居ル、ドレ程澤山集ツタラ良イカト言ヒマスルト、ドレ程ト云フコトハ判然申セナイ、昔ハ其數ガ非常ニ少ナカッタ、然ルニ段々發達スルニ從ツテ、其數カ多クナツタト云フコトガ只言ヘルダケデアツテ、數ガ幾ラト云フコトハ申セナイ、ソレハ色々ノ状態ニ於テ違ヒマス、「ルーン」ノ如キハ一萬人以上ナケレバナラヌト言ヒマシケレドモ、一萬人ヨリ少ナイノモアル、伊太利ノ中央ニ在ル、「サンマリノ」共和國デハ歐羅巴一ノ古イ國デアアルト威張ツテ居ル、ケレドモ非常ニ小サナモノ

デ人口ハ數年前ノ統計ニヨルニ一萬ハナイ、ソレカラ又博奕ヲ以テ有名ナ「モナコ」ト云フ國カ佛蘭西ト伊太利ノ間ニアリマス、其處デハ矢張人口ガ一萬人ニ少シ多イ位デアリマス、博奕ハ他ノ國デハ禁シテアリマスケレドモ、其國デハ許シテ居ル、ソレ故ニ皆博徒ガ集ツテ來ル、其上前ヲ取ツテソレヲ以テ財政ヲ維持シテ居ルト云フヤウナ滑稽的ノ國デアル、其様ナ小サイ國ガ今デモ尙ホ存在シテ居リマス、無論政治ノ弊ハナイ野蠻國ニ行ケバ妙ナ國ガ澤山アルニ相違ナイガ、發達シタ所デモ斯カル小サナ國ガ現在シテ居リマス、

第二 國家ハ繼續的ナルヲ要ス

此人類ト云フ名ノ附ク所ノ動物ガ澤山存在シテ居ルト云フハ、國家ノ成立存在スル一番ノ要件デアル、所ガ其人間ト云フモノガ澤山集ツテ成立存在シテ居ル國ハ必ズ或「所」ニ於テ存在シテ居ル、又存在シテ居ル以上ハ必ズ「時」ニ於テ存在シテ居ルノデ、是モ言ハナクツテモ解ツタヤウナ條件デアリマスケレトモ、是ガナカ「大切ノ事ニナツテ來ル、其「時」ノ方面ハ最早其國ガ無クナツテ仕舞ツテ他ノ「時」ニナツテ來ルト國ト云フモノハ存在シナイ、シナイケレドモ其人類ガ集ツテ或關係ニ於テ繼續セラレテ居ツタモノト看做サレル時ノ間ハ其國ガ存在シテ居ル、例へバ羅馬ト云フ國ハ今ハナイ、今ハナイカト云ツテ羅馬ノ如キハ全ク自然ニナイモノデアルト云フコトハ出來ナイ、現今ハナイケレドモ昔ハ在ツタ自然ノ事實トシテハ羅馬ト云フ國ハ在ツタケレドモ、例へバ天國ト云フ國ノ如キハ吾々ノ「時」ニ超越シテ存在セルモノナレバ之レヲ國家ト稱スルコトガデキナイ。少ナクモ吾々ノ「時」ニ於テ存在シテ居ナケレバナラヌ、然カモ或程度迄ニ繼續シテ存在スルコトヲ要件トスル、即チ時ニ於テ存在

スルコトヲ要スル、日本國ト云フモノハ古ハカラ存在シテ居ツテ、今日モ尙ホ存在シテ居ルノダカラ日本國ト云フモノハアル、此「時」ノ方ハ皆言ヒマセヌカ、此「時」ト云フコトハ國家ヲ研究シテ行ク上ニ付テハ大變必要ナコトデアリマスカラ一言申シ置キマス、

第三 國家ニハ場所ヲ要ス

同時ニ「時」ニ對シテ「所」ト云フコトカ何時モ必要デアル、人間カ居ツテ「所」ガナイト云フコトハ決シテ考ヘラレナイ、人間ガ集ツテ居ルト云フノハ、居ルト云フ「時」ト何時モ「所」ニアルノデスカラ「所」ガ何處カニナケレバナラヌ、地面ノ上カ、或ハ水ノ上カ、或ハ雲ノ上カ、或ハソウデナケレハ高天原ト云ツタ所デス、然ルニ段々人間ト云フ動物ヲ研究シテ見ルト、ソレハ地面ノ上ニ集ツテ住ンデ居ル、茲ニ於テカ地面ト云フコトガ何時モ國家ノ要件ニナツテ居リマス、「時」ト云フモノニ於テハ、ドウモ空中ノ「時」トカ、地面ノ「時」トカ云フコトハナイ、所ガ場所ノ方ハ雲ノ上ニアルカ、水ノ上ニアルカ、地面ノ上ニアルカ、人間ト云フモノハ必ズ地面ノ上ニ住ンデ居ル、唯ソウ云フ意味ヲ以テ地面ノ上ト云フコトガ必要條件ニナツテ居ルノデアル、其居ル所ノ「時」ニ依リマシテ其地面ニ於テ皆結合スルノニ色々ナ密接ナ關係ヲ生ジマス、又同ジ土地ニ居リマス所ノ者ハ、其土地ノ影響ニ於キマシテ皆同ジヤウナ性質ヲ持チ、又同ジニ共同シテ活動スル必要ガ生ジテ來マス、有無相通シテ長短相補フト云フヤウナ必要ガ出來テ來、又同ジ性質、心ヲ持ツテ居ル點カラシテ互ニ一ツニナリ易イト云フ傾キヲ以テ、茲ニ於テ土地ト云フモノガ大イニ必要ナ要件ニナツテ居リマス。

此土地ト云フモノモドノ位ノ大キサデナケレバナラヌ、或ハ土地ガ始終定ツテ居ラナケレバナラヌト

云フ必要ハナイ、大キイ所モ小サイ所モアル譯デアリマス、唯國家ニ人類ガ澤山ニハツテ來タニ從ツテ其土地モ相當ニ大キクナルノガ通例デアアル、ケレドモ先程申シタ所ノ「モナコ」ノ如キハ僅カニ九平方哩デアリマス極ク小サナ國デアリマス、東京ノ大キナ區位デアリマス、人口カラ言ヘハ一萬二千デスカラ東京ノ一區ノ人口程ナイノデアリマス、殊ニソレ等ハ地面カ始終變ル時ハ國家デナイト云フコトヲ言ヒマスケレドモ、決シテ其様ナ筈ガナイ、又如何程變ツテ他ノ星ニ移轉スルコトガアツテモ「所」ノ在ル以上ハ差支ヘナイ、唯國家カ發達スルニ從ツテ其地面ニ漸次定着スル時ニ於テ繼續的ニ居ルト云フコトガアレハ地面カ幾ラ變ツテモ國家ト云フコトニハ變ラヌ、唯段々國家カ發達シテ來ルト共ニ今日ノ國法學ノ上ニ於テ國家ハ通例確定シタ土地ヲ有スルケレドモ、何處マデモ確定シテ居ルト云フ境ガ分ラナイ、現ニ日露戰爭ノ結果露西亞カラ地面ヲ取ツタト云フコトハ吾々ノ其取ツタト云フコトニ付テ見テモ其境カ確定シテ居ナカッタデアリマス、或ハ保護國ニナツテ他ノ國ニ殆ト併吞セラレヨウトスルニハ其領地ト云フモノヲ幾分カ變動シテ人ノモノニナリカ、ツテ居ルヤウナ譯デ、始終變動シテ、確定シテ動カナイト云フコトハ決シテアリハシナイノデアアル、ソレガ爲ニ段々進ンテ來テ始終土地カ變ツタ所デ矢張國家ト云フコトニ變リハナイ、ソレデアアルカラ「所」ノナイ所ニ人間カ居ルト云フコトハ出來ナイノデアリマス。

第四 國家ハ特殊ノ權力ヲ有ス

第一乃至第三ニ申シマシタノハ是ハ有形のノ方面カラシテ觀察スルコトノ出來ル所ノモノデアアル、人間ト云フモノハ眼ニ見エル者ガアル、ソレカラ土地ト云ヘハ矢張眼ニ見エルモノガアル、ケレドモ他

方ニ於テモ第四ニ全ク無形のノモノダケガアル、土地ト云フモノハ全然有形のノモノデアリマス、ソレカラ人ト云フモノモ矢張有形のノモノデアアル、ケレドモ人ノ中ニハ矢張無形のノモノガ這入ツテ居ル、例ヘハ山口君ナラ山口君ト云フモノヲ見ルト無論顔ガアル、身體モアル、私ハ身體ハアリマセヌト云ツテモ魂ダケガ來テ居ルト云フコトハ全クナイノデアリマス、ソウ云フコトハ想像出來ナイケレドモ、其處ニ身體ダケ居ル處ノ人形デハナイ、必ズ魂ガアル、ソレデアアルカラ山口君ノ魂ヲ見セロト云ツテモ見ル譯ニハ行カナイ、ソレデ人ト云フ者ノ中ニハ何時デモ有形ノモノト無形ノモノト這入ツテ居ル、ソレニ依テ第四ノ要件トシテ特殊ノ權力自主權ト云フコトヲ研究シヨウト思フ。

一 自主權

此第四ノ自主權ト云フコトヲ述ベル順序トシテ先ツ權力ト云フコトヲ一言申シマス。

甲 權力ハ後ニ及ンテ稍詳シク述ベナケレバナラヌ大切ノ事デアリマシテ、何時モ合成意力ノ性質ヲ持テ居ル、合成意力ト云フノハ銘々ノ意思力ガ一ツニ集ツテ出來タ所ノ意思ノ力ト云フコトデス、ソレハ何時モ社會心理ニ基イテ合成スルモノデアリマス、之ヲ平タク言ヒマスルト、社會心理ト云フコトハ、銘々カ別々ノモノデハアルケレドモ、本來ハ一體ヲ成シテ居ルモノデアアルカラシテ、銘々カ一ツニカヲ合セアフト云フコトノ自然ナル心ノ働キヲ言フノデアリマス、例ヘバ今日ハ天氣ガ良イカラ郊外ニ行カウデヤナイカ、ト云フ相談ガ纏マリ銘々ガサア行カウト云ヘバ即チ爰ニ一同デ出カケルト云フ合成意力ガ出來タノデアアル、或ハ一人ガ此人間ハ不都合デアアルカラ打ツウデハナイカト言ヒ一同ガ宜シイ打ツウト云ヘハ、或人ニ制裁ヲ加フル合成意力ガ出來タノデアアル、ソレガ權力ト云フモノ

ノ本質デアリマス、例ハバ雇人ヲ澤山使ツテ居ル主人ハ、雇人ヲ叱ルト云フ權力ヲ有スル、ソレハド
ウ云フ權力デアルカト云フト、總テノ雇人ヲ自分ガ一ツニ統括ツテ皆其主人ニ従ハナケレバナラヌ
モノデアル、何か悪いコトヲスレバ主人ガ一同ヲ統括シ其合成意力ヲ循トシテ其雇人ヲ叱ルト云フ
デス、權力トハソウ云フモノデス

乙 所ガ國家ハ通常ノ自主權ダケデハ足ラナイ、國家ノ持テ居ル權力ハ支配權デアリマス、支配權
ト云フノハ合成意力ノ命スル所デ強制シ得ル所ノ性質ヲ持テ居ル權力デアリマス、強制シ得ルガ爲ニ
ハ、此者ガ戶外ニ逃ゲ出スト云フコトノ出來ナイト云フコトガ要件デアリマス、今ノ例ノ場合デ、主
人ガ雇人ニ對シテ憤ル、雇人カ憤ルナラ憤レト言フテ荷物ヲ脊負ツテ逃ゲテ行ツテ仕舞フ、ソウ云フ
場合ニハ權力ハアルケレドモ、支配權ハナイカラ縱令逃ゲタト云フテ主人ガ前ハ出サナイト強制シ
得ルコトハ出來ナイ、ト云フノハ支配權ヲ持ツテ居ナイカラデアル、所ガ國家ノ場合ハ支配權ヲ持ツ
テ居ルカラ強制シ得ルデアリマス、所ガマタソレダケデハ國家ト云フモノハ足ラナイノデアル、今
日デコン文明國ニナリマシテ、ソウ云フ風ノ人ハ成ベク表ニ出サヌデ置イテソレニ對シテ自分ノ命令
ヲ強行スル、人ニ刑罰ヲ附スル、懲スト云フヤウナコトハ専ラ國家カ致シテ居リマスケレドモ、皆ハ
國家デバカリデナク、ソウ云フコトヲ種々ノ所デヤツテ居ツタ、然シテ今日ニ於キマシテモ支配權ハ
國家ノミナラズ自治團體等マデ持テ居リマス、例ハバ東京市デモ支配權ヲ持テ居ル、税金ヲ取立テ
ル、ソレハドウシテモ出サナケレバナラヌ、又東京市カラ脱退シヨウト云ツテモ各自ノ任意ニ逃出ス
譯ニハ行カナイ、サレバ支配權ダケデハ尙ホ國家タルニ足ラナイ、國家タルニハモウ一步進ンデ、ソ

レガ自主權ト云フモノガナケレバナラヌ。

丙 自主權トハドウ云フモノデアるかト言ヒマス、先ツ斯ウ云フコトカラ話タラ宜シカラウト思
フ、諸君是ハ何デセウ、(土瓶ヲ示ス)是ハ諸君土瓶ト仰ヤルデセウ、ソレハ私モ土瓶ト思フケレドモ、
本當是ハ土ノ塊マリヲ焼イタノデアリマス、化學デ分析シテ見ルト土瓶ト云フモノハナイノデアリマ
ス、ソレデハ吾々ハ嘘ヲ吐イテ居ルノカ、嘘デハナイ矢張本當ノ土瓶デアリマス、吾々ノ活動ノ目的
ニ依テ之ヲ認定シテ居ル結果土瓶ト云フテ居ル、土瓶ト云フモノハ湯ヲ汲ンテ來テソウシテ飲ムモノ
デアル、私ガ只今飲ンテ居ル、諸君モ必ズ飲ムニ違ヒナイ、ソレデアルカラ矢張ア、云フコトヲスル
ノハ土瓶デアルト思ツテオ在デニナル、ソウ云フコトハ極ク小サナ小兒デモ亦老人デモ皆知ツテ居リ
マス、又此處ニ杖ガアリマス杖ト云フモノハ自分ノ足ノ弱イノヲ助ケル、ソレヲ杖ト云フノデアリマ
ス、若イ者ハソウスルト鐵ノ棒ナドヲ持テ歩イテ居ル、自分ノ足ノ弱イノヲ助ケルドロコデナイ、強
過ギテイカナイカラ重クスル爲ニ持テ來ル、ソレヲ「ステツキ」ト云ツテ居ル、老人ノ持ツノハ「ス
テツキ」デハナイ、歳ノ若イ者ノハ杖デナイ「ステツキ」デアリマス、皆目的ガ違ヒマス、今一ツ申シマ
スルト、私ガ字ヲ書イテモドウシテ自主權ト讀メルカ、唯板ノ上ニ白墨ノ粉ガ付イテ居ルダケデアル、
所ガ吾々銘々ノ認定スル結果トシテ文字ニモナリ、土瓶ニモナリ、又「ステツキ」ニモナリ、又言葉ニモ
ナリマス、此認定ヲナス自認力ト云フモノハ吾々ノ自然ノ活動スル目的ニ基キテ吾々ガ自分ノ心ノ中
カラ出スモノデアルケレドモ、ソレヲ人爲ノ自由ニ統括ツテ居ル所ノ一番強イノハ即チ自主權デア
リマス、自由ニ各個人カ出ス所ノ自認力ヲ統括スル最高ノ自認力デアリマス、之ヲ自主權ト云フノデ

アリマス、言葉ヲ換ヘテ見マスルト、外ノ各個人ト云フモノハ銘々自認力ヲ持ツテ居リマスケレドモソレデ外部カラ認メテ居ラナケレハ其自認力ガ外部ニ對シテ有效デナイ、之レニ反シテ國家ノ持ツテ居ル自認力ト云フモノハ、其外部カラシテ認メテ貰ハナクテモ、自分ノ自認力デ自分ヲ認メサヘスレバソレデ有效デアアル自主權トハ斯ノ如キモノデアリマス、此事ニ付テハ何レ後ニモウ一度稍々詳シク述ベル必要ガアラウト思ヒマスガ、唯一言附加ヘテ置クノハ、自主權ト自治權ト混合シテハナリマセヌ、自治權モ別ナ意味ヲ持ツテ居リマス、又最高主權ト云フモノモ別ナ意味ヲ持ツテ居リマス、同シ言葉ト思ツテハイケマセヌ、最高主權ノ何タルコトモ後ニ述ベマス、

二 總攬力ヲ有スル自然人

國家ト云フモノニハ是非トモ總攬力ト云フモノヲ持ツテ居ル自然人カナケレハナラヌ、此自然人ハ唯一人ノコトモアル、或ハ一人ヨリ多イコトモアル、ケレドモ國民全體デアリマセヌ、何故カト云フト國家ト云フモノハ人爲ノ上デハ自分デ自分ノ自認力ヲ有效ニ認メルコトヲ得ルト云フコトヲ申シマシタ、其人爲ノ上デ一番高イ所ノ力ヲ出シマスノハ、必ス人爲ノ銘々ノ各個人ノ持ツテ居ル所ノ自認力ト云フモノヲ統括シテ一ツニシテ仕舞フ所ノ總攬力ト云フモノガナケレバナラヌ、其總攬力ヲ持ツテ居ルモノハ矢張自然ノ人間デアリマシテ、ソレニ依テ各個人ノ自認力カ合成セラレテ一ツニナル、合成セラレテ一ツニナツタノデアリマスカラ其力ト云フモノハ非常ニ強クシテ其合成意カノ分意カタル所ノ一ツ一ツノ自認力ト云フモノハソレニ對シテ負ケナケレハナラヌ。

國家ト云フモノ、權力ガ唯自然必至ノ關係ニ於テノミ存在シテ働イテ居ルモノデアアルナラバ、恰モ有

機體ト少シモ變ツタコトハナクシテ總攬力ヲ有スル所ノ自然人ト云フモノハ要ラナイノデアリマス、即チ自由カト云フモノヲ持ツテ居ル所ノ自然人ト云フモノハ要リマセヌ、自然ニ國家ト云フモノハ一ツノ力ヲ出スヤウナ資格カ付イテ居ルヨウナ譯デアリマス、尤モ身體ノ中ニ總攬力タル所ノ自由カヲ持ツテ居ル所ノ主體ハ存在シテハ居リマセヌ、唯有機體ノ分子カ存在シテ其モノカ自然必至ノ關係ニ依テ力ヲ生セシムルニ過ギナイ、國家ノ場合ハソウ云フ譯ニハ行カナイ、單ニ自然必至ノ上ニ於テノミ存在スルノデナクシテ、先程申シタ如ク二人爲ノ上デ一番高イ自認力ヲ持ツテ居ル、ソレデ人爲ノ上ト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレデ自然ノ有機體ノ如クニ自分ノ自認力ヲ持ツテ居ル譯デハナイノデアリマスカラシテ、是非共此各個人ノ自認力ガ統括スル所ノ自認力ガ入用デアリマス、其統括スル所ノ自認力ト云フモノガ自分ノ思フヨウニ統括シテ行クノデアリマス。

三 法

ソレカラ法ト云フモノ、存在ガ入用デアアル、先程國家ト云フモノニハ「時」ト云フモノガ必要デアアル、然ルニ世間デハ「所」ノコトバカリハケ間シク言フテ「時」ノコトヲ忘レテ居ルト云フコトヲ申シマシタガ、「時」ト云フコトハ斯ウトキノ要件ニナツテ來ル、只一時各個人ノ自認力ト云フモノガ一ツノ總攬力ニ依テ纏メラレテ合成シタダケテハ權力ト云フモノハ、其場合ニ成立シタト云フコトハ出來ルケレドモ、マダソレノミデハ國家ト云フモノハ出來ナイ、其權力ト云フモノカ繼續的デナケレバナラヌ時ニ於テ繼續シテ行カナケレバナラヌ、何時モ有效デナケレバナラヌ、唯一瞬間ノ有效ニアラスシテ、常ニ有效デナケレバナラヌ、一時自分ノ自認力ヲ主張シテ自主力ヲ有シ得タダケデハ國家タルニハ足

ラナイノデアリマス、其自主力ト云フモノハ常ニ持ツテ居ナケレバナラヌ、又ニ於テ述ヘマシタ所ノ總攬力ヲ持ツテ居ル所ノ自然人ト云フモノハ一時總攬力デ自分ガ多數ノ人ノ意思ヲ合成セシメタト云フダケデハイケナイ、繼續的デナケレバナラヌ、常ニソウ云フ所ノ人間トナツテ居ルコトガ出來ルノデナケレバナラヌ、事實上繼續セズ又繼續シテモ永久ナルコトハ事實不可能デアルガ、少クモ第一事實ニ基ク認定上繼續シテ常ニ替ラヌコトヲ要スル、ソツテナイ場合ニハ國家ト云フモノモ亦繼續的ノモノデナクシテ唯一瞬間アルダケデ始終變ツテ行クノデハ國家デハナイ、國家ト云フモノガ「時」ニ於テ存在シテ行カナケレバナラヌ、ト云フノハ恰モ「所」ニ依テ存在シテ行カナケレバナラヌト云フコト、同ジコトデアリマスカラ、茲ニ於テカ法ト云フモノガ必要デアリマス、法ハ國家ノ總攬力ヲ有スル所ノ自然人ト云フモノヲ繼續的ナラシムル所以デアリ、又國家ニ自主權ト云フモノヲ繼續的ニ有效ナラシムル所以ノモノデアリマス、唯法ハ何デアルカト云フコトハ長クナリマスカラ此處ニハ畧シテ述ベマセヌ。

第二節 國家ノ統一の觀察——國家ノ性質

此處デハ前ノ場合打毀シタノヲ纏メル方デアアル、人間デ言ヘバ、人間ニハ目ガアルトカ、鼻ガアルトカ、顔ガアルトカ、此人ノ人格ハドウデアアルトカ、吾々ハ非常ニ道德心ニ富ンデ居ル者デアアルトカ此人間ハ非常ニ腕力ガアルトカ云フノト同ジコトデス、全體ヲ纏メタ上デ出テ來ル所ノ特性ヲ言フノデアリマス、ソレデ國家ニハ國家ノ特性ガアリ、國家ノ分子タル各個人ニハ又各個人ノ特性ガアル、又國家ノ總攬力ヲ持ツテ居ル所ノ自然人ニハ又其特性ガアル、法ニハ法ノ特性ガアル、唯其特性ヲ論ス

ルニハ何時モ法ノ上カラ觀察シナケレバナラヌノデ、唯打毀スバカリデハ法ノ特性ヲ研究スルコトハ出來マセヌ

第一 國家ハ其内部ニ備ヘタル力ニ依リ統一の全部トシテ存在ス

此處ニ土ノ塊マリガアリマス、土瓶ヲ以テ土ノ塊マリト云フコトハ辯ヲ弄スルノダロウ、否々辯ヲ弄スルノデハナイ、土ノ塊マリニ相違ナイ、ケレドモ此土ノ塊マリハ吾々ニ特別ノ活動ニ供スルモノデアルカラ其目的ヨリ之レヲ認定シテ吾々ハ茲ニ土瓶ガ在ルト申シマス、倍テ茲ニ於テカスウ云フコトガ生スル、茲ニ在ルモノハ土ノ塊マリデアアルケレドモ、土ノ塊マリデナクシテソレガ統一全部ノ土瓶ト云フコトニナツテ居リマス、成程決シテ間違ッテ居ナイ、此處ノ教場ト云フモノハ材木ガ集ツテ居ル、材木カ並ンデ居ル、並ンデ居ルバカリデアレバ宜シイガ、縦ニナツタリ横ニナツタリシテ居ル、其處ヘ土カ附着イテ居リマス、又色々ナ白イ泥ヤ黒イ泥ガ附着イテ此處ニ紙ガハツテアリマス、又細ク短カイ鐵ノ一片即チ釘ト認メラレタモノガ諸方ノ木ノ間ニ挟マツテ居リマス、若シ諸君ガ今日ハ材木ヤ泥ノ中ニ入ツテ來タト人ニ語ルト聽ク人ハ氣デモ違ツタカ大變妙ナコトヲ云フト思ヒマス、然シ諸君カ言葉ヲ換ヘテ何處ノ學校何ノ教室ヘ行ツテ來タト云フト判然シテ何人モ怪シムコトハアリマセン、即チ以上ノ材木鐵片等ヲ統一全部トシテ見レハ教場デアリ學校デアアル、ケレドモ自分ノ内部ノ力ニ依テ自分ヲ認メタモノデナイ木ノカタマリダノ泥ノカタマリダノト云フモノ、内部ノ力ニ依テ自分ヲ教場ト認メ學校デアルト認メタノデハナイ、只吾々ガ其認定シ得ル力ニ基キ外部カラ認メタノデ決シテ材木ノ内部カラ材木自身デ認定シタノデハナイ。

サテ國家ノ場合ハドウデアアルカト云フテ見ルト決シテ外部カラヤツテ來ルノデハナイ、國家ハ自分ノ内部カラ出テ來タ所ノ力ニ依テ自分ヲ認メタル恰モ自分ガ自分デ己レハ山口タトカ、又ハ鏡デアアルト認メルト同ジコトデアリマス、ソレデ國家ト云フモノハ、自分ノ内部カラ出ル力ニ依テ自分ヲ全部ト認メテアルカラ、通常ノ蒸汽機關デアルトカ、電氣ヲ起スニ使フ所ノ機械デアルトカ又ハ時計デアルトカ云フコト、勿論違ヒマス、外部カラ時計ト云フモノヲ認メ、又外部カラ卷イテヤツタヨリソレヨリ決シテ餘計ニハ動カナイ、忘レテ卷カズニ置ケハ止ツテ仕舞フ然シ又少ナクモ動カナイ、外カラ卷イテヤツタダケ正直ニ動クノデアリマス、吾々ハソウデナイ、自認力ニ依テヤルノデスカラ、先キノ相手ニ依テ大變ニ活動モスルシ、チツトモ横着デ動カナイ、國家モ其通り自分ノ自認力デ氣ガ向ケバ幾ラモ動ク、氣ガ向カナケレバ働カナイ、氣ガ向カナケレハ金セ一文モ出ナイ、氣ガ向ケハ金モ出來ルト云フヤウナ譯デス、大變ニ器具機械トハ違フノデアリマス、現ニ國家ハ統一全部デアルト云フ事ヲ疑フ者ガアルナラハ或ハ日露戰爭デ御覽ニナツテモ宜シイ、日露戰爭ハ兵隊ガ軍サヲシテ居ルノデハナイ、成程鐵砲ヲ撃ツテ居ルノハ兵隊デアラウガ、自分ノ怨ヲ晴サウトシテヤツテ居ルノデハナイ、其後ニ兵隊ヲ統轄シテ居ル所ノモット上ノ者ガアル、ソレデハ將校カト言ヘハ將校デモナイ、元帥デモアリマセヌ、或ハ天皇陛下御自身デモアリマセヌ、天皇御自身ガ露西亞ニ怨ガアル筈ガナイ、ソレハ即チ國家デアリマス、或ハ巡查ガ吾々ヲ捕ヘテ引張ツテ來ル、裁判官カ之ニ判決ヲ下シ、典獄ガ之ニ刑ヲ執行スル、而シテ巡查モ裁判官モ典獄モ皆之ニ怨ガアルノデハナイ、否同情ヲ持ツテ居リマス、ソウシテ又巡查ト裁判官ト典獄ト何カ三人相談デモシテ組合ツテ仕事ヲシテ居ルノデナイ、皆

銘々知ラナイ人ナノデアリマス、ソレガドウシテソウ云フ風ニ一ツニ歸シタ働キガ出來ルカト言ヒヤスト、是ハ皆是等ノ者ヲ統轄シテ居ル所ノ國家ト云フモノガ後ニ居ツテ、ソウシテヤツテ居ルノデアリマス、國家ノ統一ナル事ヲ見ナケレバ一ツニナツテ働ク事ハ出來マセヌ、或ハ自認力ノコトヲ忽ニスル者ハ斯ウ云フ事ヲ言フカモ知レヌ、ソレハ巡查ガ捕ヘタツテ所謂國家ガ逮捕シタノデモ何デモナイ、巡查ガ捕ヘテ裁判官ガ判決ヲ下シ典獄ガ刑ノ執行ヲシタノデアアル國家ガスルノデハナイト云フ者モアロウ、然シ此論旨ノ精神ヲ究ムレハ巡查ガ捕ヘルト云フ事モ言ハレナイ、巡查ト云フ者ヲ認メ又捕ヘルト云フ事ハ既ニ目的ガアツテ吾々が自認力デ言フ場合デアアル自認力ヲ除イテ云フト巡查ト謂フ動物モ無ク又人ガ人ニ手ヲ觸レタト云フコトハアレドモ捕ヘルト云フコトハナイ、或ハ裁判官ガ饒舌ツタト云フコトハ人間ガ口デ空氣ヲ振動サセタノデ、或ハ典獄ガ人間ヲ虐待シタト言ツタ所デソレハ虐待デモ何デモナイ、或者カ他ノ者ヲシテ其身體ノ運動ヲナサシメタノデ、人ト云フ動物カ物理的ノ結果ヲ生ゼシメタト云フ事ニナツテ仕舞フ、人間ガ他ノ人間ヲ捕ヘルト云フ事殊ニ或者ヲ巡查ト云フコトハ既ニ自認力ト云フ事ガ遺入ツテ居ル、國民各個人ガ自認力ヲ一體ニシテ後言フコトデアアル又空氣ノ振動ヲ或人ガサセタト云フ事デナクシテ裁判官ガ何カ效力ノアル所ノ言葉ヲ饒舌ツタト云フナラハ其饒舌ルト云フコトハ既ニ吾人ガ一體トシテ自認スルト謂フ事ガ遺入ツテ居ル、又巡查ノ爲ニ他ノ人間ガ酷イ目ニ遭ツタトカ逮捕サレタトカ云フ事ハ矢張り自認デアアル、斯ウ云フヨウニ或事物ガ皆特定ノ事デアルト云フ事ヲ自認スルニツキ其自認力ヲ統括シ一體トスルモノガナケレバナラヌ、此一體トセシメ又一體トナレル自認力ノ主體ガ即チ國家デアリマス、要スルニ國家ト云フモノハ統一的一ト云フコ

トハドウシテモ拒ム事ハ出来ナイ、

第二 國家ハ自然必至ノ關係ニ基キ人爲ノ自由ニ依リ成立存在スルモノナリ(人類共同團體)

是モ大變八ケ間敷問題デ、前ノ國家ト云フモノハ統一的全部デアルト云フ事モ大變八ケ間敷問題デア
 ヲタノデスカ、併シ私ハ疑モ無ク今申シタ通りダト思フ、ソレカラシテ此事ハ未ダ現ニ明ニサレテ居ラ
 ヌケレドモ是ハ疑ハナイダロウト思フ、此自然必至ノ關係ニ基キト云フ事ト又人爲ノ自由ニ依テト云
 フ事モ大變八ケ間敷イ事デアリマス、前ニ申シタヨウニ國家ト云フモノハ自分ノ内部ノ力ニ依テ統一
 的ノ全部トシテ存在スルモノデアアル、ソウ云フ事ヲ能ク考ヘテ見マスト云フトソレデハ國家ト云フモ
 ノハ初カラ自然必至ノ關係ニ基イテソウナツテ居ルモノデアアル、從ツテ有機體ト少シモ變ツタ事ガナ
 カロウト云フ事ノ方ニ走り過ギテ仕舞フ虞ガアル、茲ニ於テカ國家有機體説ト云フ事ガ起リマス。國家
 有機體説ト云フハ國家ハ吾々ト同ジ一ツノ大キナ有機體デアアル、國家モ魂ヲ有ツテ居ルト云フケレド
 モ其點ハ確ニ言ヒ過ギテ居ルト思フ、國家ト云フモノハ自然必至ノ關係ニ基イテ自分ノ内部ノ力ニ依
 テ統一的全部トシテ存在スベキモノデアリマスケレトモ、ソレト同時ニ人爲ノ自由ニ依テ成立存在ス
 ル所ノモノデアリマスカラ自然ノ有機體タル生物トハ違ヒマス、ソレデアアルカラ動物學ノ本ヲ御開キ
 ニナリマシテモ先ツ第一ニ國家ト云フ動物ガ掲ゲテナイノデアリマス、國家ト云フモノハドウ云フ事
 カト云ヒマスト色々ナ方面カラ言ハレマスガ、先ツ簡單ニ申シテ見ルトキニハ、茲ニ人ガ澤山居マス
 トキニハドウシテモ此者ハ一ツニナツテ統一的全部トナラナケレバナラヌト云フコトハ自然必至ノ關
 係トシテ信シテ居ルソレダケデハイケナイ、何時モ吾々カ自認カト云フモノヲ自由ニ用フル結果トシ

テ其自認カト云フモノヲ自由ニ統括スル所ノ大ナル自主力ガアツテ、而シテ後ニ國家ト云フモノ、自
 認カガ初メテ發生シテ参リマス、ソウ云フ風ニナラナケレバナラヌト云フ事ハ自然必至デアアルケレド
 モ、ソウナルト云フハ唯默ツテ居ツテハソウナル譯ニハユカナイ、誰カ自由ニソレヲサセナケレバナラ
 ス、ソレ故ニ日露戦争ヲ見マシテモ、日露戦争ノ勝ツト云フノハ國家ノ力デアツテ、自然必至ノ關係
 デアルト云フ事ハ動カス事ガ出来ナイノデス、日本ナドハ日本人ノ性質トシテモ日本ノ發展ノ有様ト
 シテモ決シテ戰ニ敗ケナイト云フ事ハ自然必至ノ關係デアアル、然レトモ戰ニ勝ツカラト云ツテ默ツテ
 居レハ敗ケテ仕舞フ、矢張り自由カニ基イテドコマデモ敗ケナイ氣デ戰ハナケレバナラヌ、ソウ云フ
 ヨウナ譯デ此自然必至ト云フモノト自由カトニ依ラナケレバナラヌ、此二ツノモノガ相待ツテ始メテ
 完全ナルモノガ出来ルノデアリマスカラ、社會現象ト云フモノハ自然必至ノ關係ト同時ニ人爲ノ自由
 ト云フモノト離ルベカラザル所ノ關係ヲ持テ居ルモノデアリマス

今又之ヲ他ノ事デ簡單ニ説明シテ見マスト、日本人ナラ日本人ト云フモノハ其實此各個人ノ中ニ這
 入ツテ居ル能ク考ヘテ見ルト諸君ハ日本人デショウ、私モ日本人デス日本人ト云フモノハ私ノ中ニ這
 入テ居ル、諸君ナンカニモ皆這入テ居ル、本來ノ性質ト云フモノハソウ云フモノデアリマス、ケレド
 モ、本來ダケデハイケナイ、本來ノ性質ニ基テ人爲ノ自由ニ依テソレヲ發揮スルト云フ事ガアツテ始
 テ國家ト云フモノガ出来ル、今此ニ日本人ガ澤山集ツテ居リマスケレドモ、ソレダケデハイケナイ、
 錦々ガ皆日本人ト云フモノト一體ヲ成シテ居ルト云フ事ヲ人爲ニ個々ニ明ニシマシテ始テ日本國ト云
 フモノガ成立スルノデアリマス、例ヘハ此處ニ一人甲ト云フ人間ガアル、乙丙丁ト云フ人間モアル、

皆日本人トシテ同マデアリマス、(圖ヲ示ス)皆本來同一ノ性質ヲ以テ居ル、然シ實際ニハ唯本性ガ同ジ
 ダケデハイカナイ、ソレ故人爲ニ同一一體ノ國民デアルト云フコトヲ明カニ認定シテ居ルノデス、言ヒ
 換ヘレハ本來ノ性質ト云フハ、人爲ヲ待ツテ生ズル吾々ノ社會現象トシテ始メテ發揮サレマス、國家國
 法カ存スルハ皆愛ニ根據シテ居リマス、而シテ此自然必至ニ對シテ人爲ト申シマシタガ、人爲ノ自由
 ト云フコトニ付テハケ間敷言ツタノハ、日本デモアリマスガ、支那デモ西洋デモ昔カラ氣ガ附イテ言
 ツテ居ルコトデアツテ、只現今ノ法學者ガオロソカニ爲シテ居ルノデアアル、從ツテ今更新タニ考ヘテ
 言フノデハナイ、天道デアルトカ、人道デアルトカ申ス、人道ト云フコトハ即チ人爲ノ方面ヲ言ヒ、
 天道ト云フハ即チ自然必至ノ方ヲ言フノデアリマス。(以上第一圖說)

第三 國家ハ團體人格者(又ハ合成人格者)ナリ

一體人格者ト云フコトハ平近ニ見レバ各個ノ自我ニツキテ意識セラル、所ノモノデアリマス、從ツテ
 意思デアルトカ、感情デアルトカ、智識デアルトカ、ソウ云フヨウナ色々ナ精神上ノ力ヲ具ヘテ居ツ
 タ、ソレヲ統括シテ一ツノ活動ノ主體トナツテ居ル所ノモノヲ言フノデス、活動ノ主體ト云フト會テ
 申シマシタ如クニ、風ガ吹クトカ、豚ガ肥ルトカ云フヨウナコトデナクシテ、精神力ノ意思ノ力ニ基
 イテ或運動ヲ生ゼシムル場合ヲ言フノデアリマス、此事ハ人間バカリデナクシテ、尙ホ人間ニ近イ所ノ
 存在ヲ有ツテ居ル生物ニ付テモ言ヘル所ノ事柄デアアル、ケレドモ段々ソレヲ深く考ヘテ見マスルト、
 活動ノ主體デアルト云フコトハ必ズシモ個々ノ自我ノミニ限ツテ居ラナイノデアリマス、此澤山アル
 所ノ自我ト云フモノヲ統括シテ居ル所ノ全體ノ間ニモ存在シテ居ル、唯ソウ云フ一々ノ自我ヲ統括シ

テ居ル所ノ全體ニ付キマシテハ、其間ニ智識デアルトカ、或ハ其モノ、感情デアルトカ、或ハ我々ノ
 言フ所ノ自然ノ意思デアルトカ云フコトハ出來ナイケレドモ、全體ガ一ツノ活動ノ主體トナツテ居ル
 即チ精神力ノ主體トナツテ居リマス、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスルトキニハ、例ヘバ吾々ハ自分ニ對シテ
 人ト云フコトヲ言フ、彼ノ人ガトカ此人ガトカ、又先方ノ人モ吾々ヲ見テ人ト云フテ居リマス、此ノ如
 キ鹽梅デ互ニ人トシテハ一ツデアアル、其人ト云フ一體ノモノヲ相互ノ人ノ一部分ヲ成シテ人ト云フ全
 體ノ活動主體カ出來ル、無論人ト云フ範圍ハ廣キコトモ狭キコトモ種々アリマスケレドモ、其範圍ノ
 人ト云フモノハ何時モニノ全體ノ活動ヲシテ居リマス、其活動ノ一人々々ノモノデナクシテ、人ト見
 ル場合ニハ全體ノモノデアアル、斯ノ如キハ人間ガ勝手ニコジ付ケルノデナクシテ自然ニ於テソウデア
 ル、此處デ諸君ガ自分ノ事ヲシテ居ルト思テ居ル、ケレドモ此集テ居ル全部ノ内ニ付テ考ヘテ見ルト、
 即チ或範圍ノ人ト云フモノ、全部ノ活動デアアル、銘々ノ自然ノ範圍ニ基イテソレヲ人爲ノ自由ニ確定
 シマス、其場合ニ國家ト云フモノガ出來テ來ルノデアリマス、即チ其他ノ國家以外ノ團體人格者ト云
 フモノガ出來テ參リマス、モウ一遍申シマスルト、自然ソウ云フ人格者ガ存在シテ居ル、即自然ノ方
 面ノミヨリ名クレバ普遍我ト申ス活動主體ガ在ルノデス、尙ホソレニ基キテソレヲ法ノ上ニ於テ確カ
 ニ定メマスルトキニハ、即チ法上ノ團體人格者ニナル、一體法ト云フモノハ是カラ先キニモ申上ゲル
 機會ハアルデシヨウガ、天然自然ト云フ法バカリデハ吾々ノ活動ト云フモノハ殆ド致シ方ガナイノデ
 アリマス、吾々ハ勝手ニ種々ナコトヲ認定シテ其認定ニ基イテ何時モ活動シテ居ル、諸君ガ是カラオ
 宅ニ御歸リニナルト云フコトデモ、或ハ天然自然ニ是ハドウシテモ宅ヘ歸ラナケレバナラヌ時デアアル

トカ、或ハ天然自然ニ是ハ必ズ斯ウスベキモノデアルトカ云フ確カニ分ツテ居ル唯一ノ定マリハナイ、大抵自分ノ認定デアルノデアリマス、或ハ戸ガ有ルカラ其處へ行ツタラ戸外へ出ラレヨウト云フ認定デ御出ニナル、果シテ本當ニ出ラレルカドウカソレハ分ラヌ、今戸外ニ相撲取ガ居ツテ抑ヘテ居ルカモ知レナイ、唯出ラレヨウト云フ認定ダケデス、或ハ又地震ガシテ戸外ニ出タラ助カロウト思ツテ戸外へ出ヨウトシテ、却ツテ其爲ニ潰サレルカモ知レナイ、部屋ノ内ニ動カナイデ居タ方ガ宜カツタカモ知レナイ、或ハ窓カラ出タ方ガ宜カロウト思ツテ飛出シタケレドモ其爲ニ怪我ヲシタカモ知レナイ、ケレトモ時トシテハ逃グラレルコトカアルカモ知レナイ、人間ハ大抵斯ウダロウト自分デ認定シテ大抵ナコトヲヤルノデアリマス、或ハ又網渡リデモソウデアアル、大抵自分ガ此位ダト思ツテ網ヲ渡ルヨウナモノデアリマス何モ算盤勘定ヲスツカリシテ、理學博士ニナツテソウシテ、初メテ網渡リガ出來ルノデナイ、理學研究ヨリ網渡リヲ生ミ出シタノデナク網渡リスル爲メニ理學ヲ參考シ利用スルノデアアル、人間ハ大抵何事ヲスルニモ斯様ナモノデアロウト認定シテヤツテ行クノデス、所ガ個人トシテバカリデナイ、社會全體ガソウデアアル、人間ハ大キナ網ヲ渡ツテ居ル同ジヨウナモノデアアル、其網渡ヲスルノハ多數ノ人間ガ一緒ニシテ居ルノデアアル、其多數ノ人間ガ種々ナ認定ヲシテ、一人ハ右ノ方ヲ行カウトスルト一人ハ左ノ方ヲ行カウトスルト云フヨウニ互々ニ網ノ上デ喧嘩ヲ始メタトキニハ、皆其網カラ落チテ仕舞フ、ソレデハ大變デスカラ其網ノ上ヨリ落チナイヨウニ或ハ右トカソラ左トカ能ク調子ヲ揃ヘテヤル、或ハ又合乘自轉車デモソウデアアル、西洋ナドデハ随分朋友同士ヤ殊ニ夫婦ナドガ揃ツチ乗ツテ行キマスソレ等ノ場合ニモ足ヲ踏ムノニ車ノ上デ喧嘩ヲシテ居ツテハ何時デモ自

轉車カラ落チテ仕舞フ、吾々ハ其通りデ、オ互ニ合乘ノ自轉車ニ乗ツテ走ツテ居ルヨウナモノデアアル、ソコニ於テ多人數ト云フモノガ一つニ揃ハナケレバナラヌ、其多人數ヲ揃ヘル爲ニ前カラシテ認定ノ前ニ又認定ガアル、即チドウ云フ場合ニハドウ云フ風ニシナケレバナラヌトカ、ドウ云フ場合ニハドウ云フ風ニシヨウト云フ、互ニ極メテアル認定ガアル、ソレガ即チ法デアリマス、其法ニ基イテ法タル認定モ生ズレバ事實タル認定モ生ズル、何時デモ前ニ認定ガアツテ、此法タル認定ヤ事實ノ認定ガ揃ツテ巧クゴロク轉ガツテ居ル、唯認定スルニ宜イ加減ノ認定デハドウシテ宜イカ分ラヌ、デヤンケンデ極メヨウトカ何トカ云フコトデハ餘リ多勢ノ間ニハ役ニ立チマセヌカラ、其認定ト云フモノハ非常ニ複雑ニナツテ居ルニ過ギナイノデアアルマス、然カモ大古ハト筈ヤ有力者ノ獨斷デ定マリタル故未ダシモ簡單ナリシガ、追々個人並ニ共同的活動ノ發達ト共ニ甚シク複雑ニナツテキマシタ、

一 國家ハ合成(集合)ニアラス(人格者ナリ)

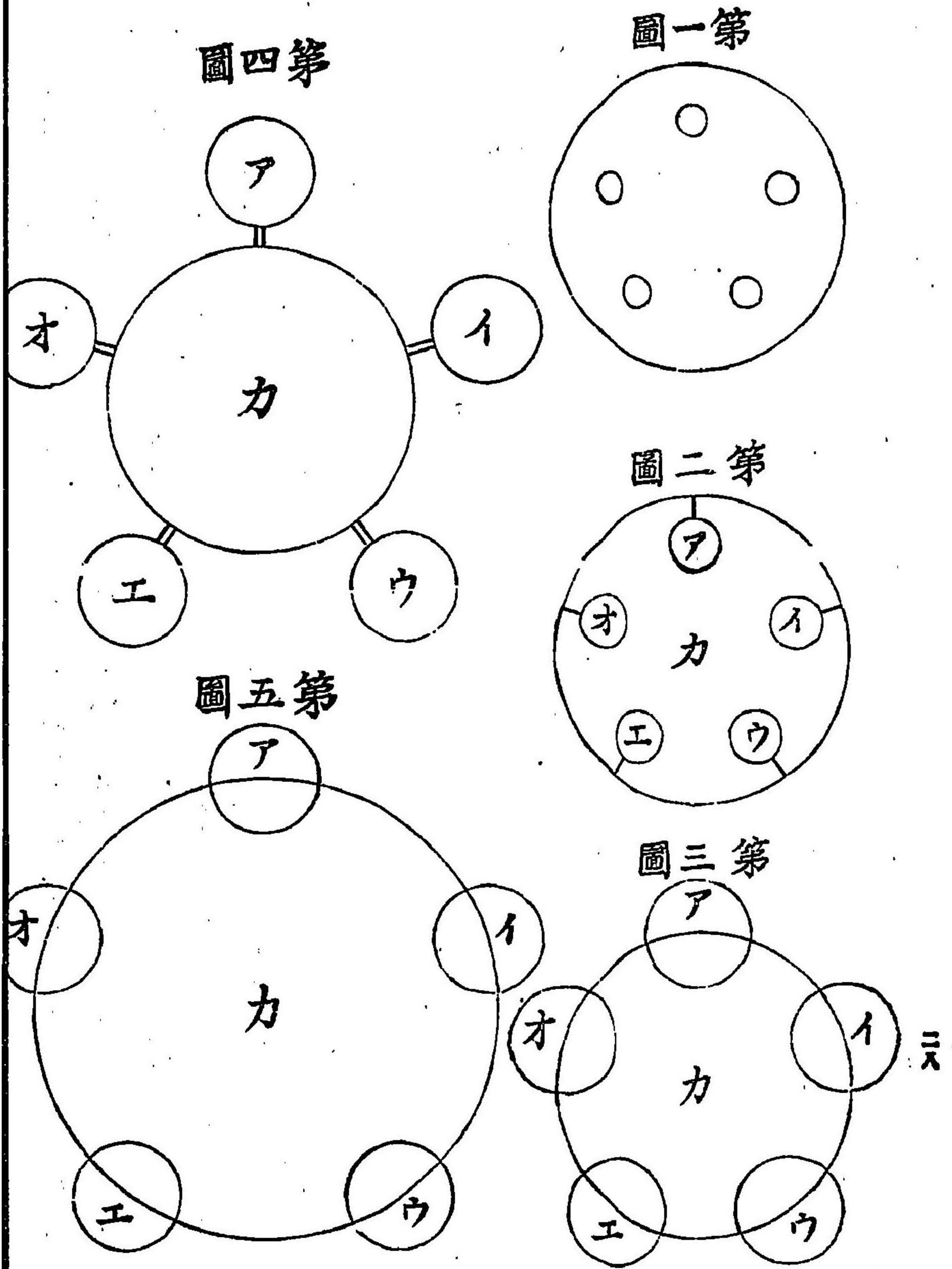
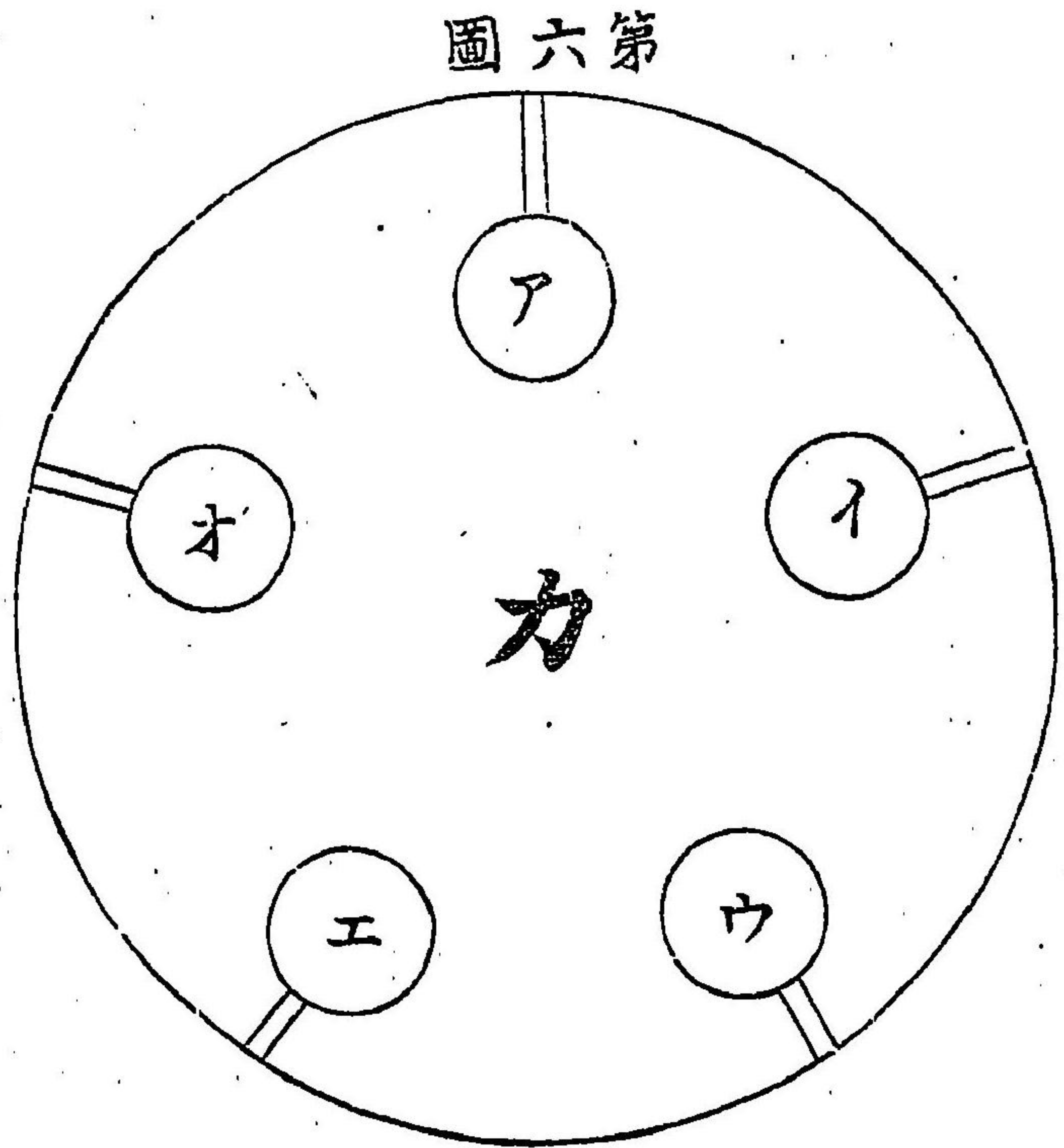
國家ト云フモノハ前ニ申シタ如クニ、本來統一的全部デアアル、或ル人ノ範圍デアアル、此人ト云フモノハ大變ニ六ヶ敷イモノデアリマス、人ト云フモノハ澤山居ル所ノ人間ヲ皆統括シテモ皆人デアリマス、ケレドモ之ヲ一ツ一ツニシテモ皆人デアリマス、貴君方モ人デアアル私モ人デス、決シテ石デモナケレバ猿デモナイ、オ互ニ皆一人ヅ、人デアリマス、ケレドモ其共通ノ範圍ニ於テ皆違ツタモノデナクシテ矢張皆同ジ人デアアル、同ジ人デスカラニツハナイ、一ツキリナイ、例ヘバ私カ土瓶ノ中ニ湯ヲ酌ンデ一ツニツ三ツ四ツ五ツ、斯ウ云フ工合ニ澤山酌ミマス、併シ此茶碗ノ中ニ水カ幾ツ道入ツテ居リマスカ、茶碗ノ中ノ水ハ一體ヲ成シテ一ツキリデアリマス、人間モ此通りデ、澤山一人二人三人四人ト云フヨ

ウニ澤山人間ガアルノデスケレドモ、其人ガ一ツニ集メテ見ルト一ツノ人デス、皆同ジ人デ幾ツモアル氣遣ヒハナイカラ、ソウ云フヨウナ譯デアアル、其人ト云フ範圍デアアル、唯水ガ茶碗ノ中ニ這入ツテアル一體ノ水モアル、或ハ手桶ノ中ニ這入ツテ居ル水モアル、或ハ池ノ中ニ這入ツテ居ル一體ノ水モアル、唯範圍ガ違フ、此人ノ範圍ノ或部分ソレガ自然ノ一體ヲ成シテ居ル、ソレガ所謂國家デアアル、ケレドモ唯ソウ云フ自然ノ方面カラバカリ觀テモ國家ト云フモノハ説クコトハ出來マセヌ、此前第二ト云フ見出シノ下デ申上ゲマシタ如クニ、吾々各個人ノ自由力ト云フ方面カラ之ヲ觀察シナケレバナラス、自我ハ又各本來一ツ一ツ違ツタヨウニ感ジマス、本來他ノ者ト互ニ喧嘩ヲスル、何故互ニ論ナゾラスルカ、何カ互ニ皆個々獨立シテ違ツテ居ルカノヨウニ思ツテ居ルカラデアアル、サレバコソ其間ニ複雑ナル關係ガ起ル、ソウシテ見マスルト國家ガ元來一ツタルヘキモノデアアルト云フ自然ノ方面カラ觀ルト共ニ各個人獨立シタ別々ナモノデアアルト云フ方面カラモ見ネバナナルマイ、サレバ双方ニ支障ノナイ様ニ精密ニ申スト、此本來普遍我ニ根據セル國家ハ合成人格者デアリマス、之ヲ集合ト云フ様ナ風ニ觀ル者モアリマスケレドモ、集合デハナイ、集合ト云フモノハ、唯物ガ集テ居ル所ニ過ギナイケレドモ、合成ト云フモノハ物ガ集ツテ居ルケレドモ本來一ツニ成ルベキ趣意ニ基テ統一セラレテ、必ス一ツニナルト云フノデス、是ハ集合シテ居ルノトハ大ニ違フ、例ヘバ唯集合シテ居ルト云ヘバ、米俵ニ米カ這入ツテ居ルヨウナモノデアリマス、ソレハ俵ガアルカラ一ツニナツテ居ルダケデアアル、所ガ國家ト云フヨウナモノハ奇妙ナモノデ、澤山人間ガ居ルノデアアル、ソレハ括ツタ結果本當ノ一ツニナツテ仕舞フカラ、ソレハ面白イモノデアリマス、恰モ前ニ申シタ水ト同ジ譯デアリマス。

甲 合成人格者ハ法ニ依テ人格者トナルモノナリ 合成人格者ハ法ニ依テ人格者トナルト云フコトデアリマス、法ニ依テト申シマスルト、モト一ツ一ツノ自我ノ間ニ認定力ト云フコトガ存在シテ居ル、而シテ各個ノ自我ガ種々ノ原因カラシテ同一ニ認定スルニ至ル、即チ境遇目的等ノ共通ヨリシテ個々ノ者ガ爲ス所ノ認定ガ大體ノ範圍ニ於テ何時モ一ツニナル、認定力ガ合一シタル結果トシテ、之ヲ規律力トシテ其次ニ生ズル所ノ認定力ヲ一ツニセシメルノデス、斯クノ如クニシテ各個人ノ全部ハ單純ナル集リデナクシテ、認定力ノ上ニ於テ合成シテ一體ニナツテ存在シテ居ルノデアアル、之ヲ團體人格者ニハ必ズ規律的合成意力ノ存在ヲ要スト申スノデス、即チ一言ニシテ言ヒマスルトキニハ所謂法ノ存在ヲ要件トスト云フモノデアリマス、法即チ規律的合成意力ノ存在スル結果トシテ各個ノ自我ガ勝手ニ認定シヨウト思ツテモ斯クスルコトヲ許サナイ、何時モ前以テ規律的合成意力ガ定メタ通りニサセルノデアリマス、各自カ自分勝手ノ方向ニ行カウト思ツテモオツトドツコイソウハ勸カセナイノデ共同一致ノ定マリタル認定ニ從ハシムルノデアリマス、ソレデハドウシテソウ云フ風ニ各個ノ自我ノ規律的認定力ガ一ツニ合成スルカ、又一旦生ジタル規律的合成意力ハ其次ニ生ズベキ認定力ヲ規律シ得ルカト申シマスルニ、ソレハ先程申シマシタ通り、吾々ハ互ニ自然ニ於テハ一體ヲ成シテ居ルモノデアアルト云フコトガ根據ニナツテ居ル、各個ノ自我ハ天性トシテ、本來一體ヲ成スベキモノデアアルカラソウ云フコトガ出來ル、從ツテ銘々ニ於テハ責任ト云フ心ガアル、自分ガ約束ヲシタコトハ守ラナケレバナラス、自分ガ一旦認定力ニ從フト云フ心ヲ出シタ以上ハ、愈其場ニ當リ自分ガソレニ違フコトヲシヨウト思ツテモ、一遍出シタ認定力ニ束縛サレナケレバナラヌト云フ考ガアリマス、ソレハ

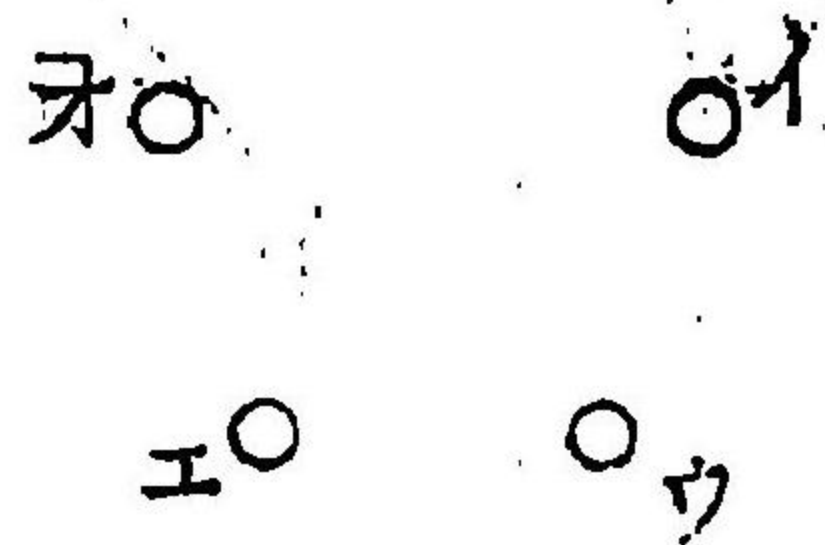
即チ責任心デアリマス、ソウ云フ責任心ニ基イテ規律的合成意力アル所ノ法ト云フモノガ何時モ效力ヲ有ツテ居ルコトガ出來ル、斯ノ如クデアリマスルカラシテ、此合成人格者ト云フモノハ何時モ唯互ノ各個人ノ間ニ於テ其間ニ法ト云フモノガ存在シテ居ラナケレバナラヌ、法ガナケレバ合成人格者ノ存在ハナイノデアリマス、自然ノ同一體ヲ成シテ居ル所ノ人ノ範圍トシテハ存在シテ居ルカモ知レマセヌガ、人格者トシテハ存在シテ居リマセヌ、モウ一逼言葉ヲ換ヘテ申シマスルトキニハ、合成人格者ト云フモノ、存在ハ其分子タル各個各分子ノ内部カラ生ズル力ニ依テ各個人ノ集ル全體ノ内部ニ法ト云フモノガ存在シテ、然ル後ニ初メテ其内部ノ法ノ認ムル所ニ依テ統一的全部トナル場合ニ存在シ得ルモノデアアル、從ツテ先程申シタ、水ト云フモノハ幾ラ澤山幾度ニ酌ミマシテモ一ツニナツテ仕舞ヒマスケレドモ、水ガ合成シテ居ルトハ言ハレナイノデアリマス、水ノ内部ノ力ニ依テ法ガ出來テ居ル譯デナイカラ、尤モ法ガアルカモ知ラヌケレドモソレハ水ノ認定力デハナイ、天然自然ノ力ニ依テ一ツニナルニ過ギナイノデアリマス、是ハ合成人格トカ何トカ言フコトハ言ハナイノデス、ソレニ反シテ相互ニ集ツテ居リマス上ハ何時モ認定力ノ工合ニ依リマシテ、或ハ瞬間的ノモノ、或ハ繼續的ノモノ、或ハ小サナモノ、或ハ大キナモノ、程度コソ異ナル吾々ガ集リマストキニハ必ズ或程度ノ合成人格者ヲ生スル、國家ト云フモノハ極メテ繼續的ノモノデアアル、又極メテ大キナモノデアアル、ソウシテ其外部ノ國家ニ依テ認メラレテ居ル所ノ合成人格者ト云フモノモ矢張繼續的ノモノデアアル、又或程度ニ於テ大キイモノデアアル、今日吾々教場ニ集ツテ居ル如キモ矢張合成人格者トシテ見ルコトガ出來マス、ケレドモ其存在ハ僅カニ時間デコ、キ居ル人間ノ數モ僅カ數百人デアリマス、

然ラバ此認定力ガ合成シテ規律的合成意力ヲ生ズルニハ何シテ生ズルカ、又各個人ガ結付ク工合ハ何シテ風ニ結付クコト云ヘバ、之ヲ圖ヲ書イテ例ヲ申シマス、是ニハ大體二ツノ方面カラ申スコトガ出來マス、一ツノ方面ハ大人ト云フモノガ本位ニナツテ法ト云フ規律的合成意力ガ生ズル、ソレカラ又其大人ニ依テ多クノ各個人カーツニ結付ケラレテ居ル場合、モウ一ツノ方面ハ各個人ガ主ニナツテ規律的合成意力タル法ガ出來、又合成人格者ニナツテ居ル場合、先ツ大人ノ方カラ申シマス。大人ノ方カラ申シマスルト、第一圖ノ如ク大キナ人間ガアツテ、其人間ガ自分ノ懷ニ皆子供ヲ入レテ仕舞ツテ居ル、此時代ハ何モ考モナケレハ、お互ニ喧嘩モシナケレバ互ニ競争ト云フコトモシナイ、皆ゴロ／＼ニナツテ居ル、交通力ト云フモノハナイ、其場合ニ於キマシテハ法ト云フモノハ大人ノ認定力ガ即チ法デアリマス、暑イ寒イト云フコトモ知レマセヌ、此場合ニハ暑イダロウ寒イダロウト云フコトモ大抵母親カ認定シテ居ルダケテ事ガ足りテ居リマス、ケレドモ一歩進ンデ來ルトナカ／＼ソウハ行カナクナル、始終世話ヲシテ居ナケレバナラヌ、唯機械的ニヤツテ居ルバカリデナク、ソレハ騙シタリ何カ色々ナコトヲシナケレバナラヌノデ、餘程各個人ト大人トノ間ノ關係ガ複雑ニナツテ來ル(第二圖參照)、モウ一歩進ムト云フト是ガナカ／＼斯ウ云フコトニナツテ仕舞フ(第三圖參照)、例ヘバ子供ガ大キクナツテ懷中ニ這入ツテ居ナイ、皆表ニ飛出シタリナカ／＼言フ事ヲ聞カナイノデアリマス、言フ事ヲ聞カナケレドモ、大人ニ始終結付イテ居ルノデアリマス、茲ニ至レハ規律的合成意力タル法ト云フモノハ大人ノ認定スルコトデアアルケレドモ、其認定ニ依テ能ク小兒タル所ノ各個人ト云フモノヲ教育シテ行クニ足リル所ノ認定力デナケレバナラヌ、且ツソレヲ教育シテ叱ツタリ褒メタ

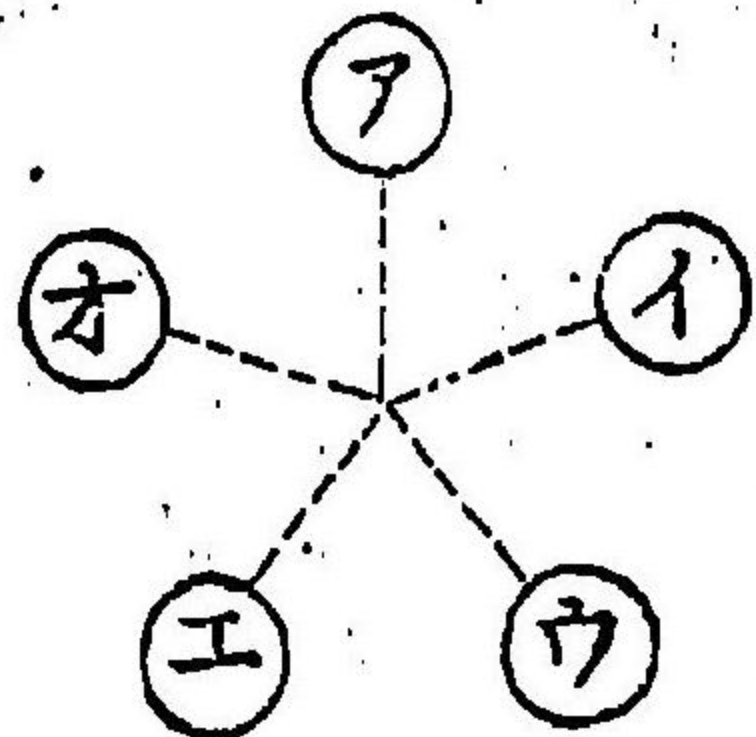


リスルニ適シテ居ル認定力ヲナケレバナラヌ、所ガ一步進ミマスルト今度ハ各個人ガ大キクナツテ居
 リマスカラ各個人ノ欲スル所ヲ考ヘテ、各個人ノ欲スル所ニ認定シテ行ク、子供ガ大キクナツテ居ル
 カラ驅ストカ褻ルトカ言フテモソレ丈アハドウモ満足シマセヌ（第四圖參照）、斯ウ云フ學校ヘ入りタ
 イトカ、或ハ斯ウ云フコトヲシテ見タイトカ、又大人カラハ此者ハ法律家ニ適スルトカ、或ハ此者ハド
 ウモ學問カ嫌ヒダカラ寧ロ農業ヲ爲セヨウトカ云フヨウニ銘々ノ心ヲ考ヘテ其者ノ欲スルヨウニ認定
 カラ出シテヤルノデアリマス、其認定ヲスルモノハ大人デアリマス、第三圖ノ程度デハ國家ニ付キテ
 譬ヘテ見レハ善キコトヲスレハ賞シ、惡シキコトハ罰スルト云フ風ニ、賞罰ヲ以テ大人タル君主ノ方
 ノ欲スル所ニ引キツケル、然シ第四圖ノ場合ハソウデナイ、刑罰トカ或ハ勸章ナドヲ遣ツテモソレデ
 ハ人民ガ承知シナイカラ、能ク各個人ノ欲スル所ニ從ツテ法ヲ立テル、ソレガ一步進ンテ來マサルト
 今度ハ斯ウ云フコトニナルノデス（第五圖參照）、外部ニアル者モ中ニ這入ツテ仕舞フモノモアル、モ
 ウ一步進ムト今度ハ大人ガ益々各個人ニ近イテ、其結果各個人ハ其大人ノ中ニ這入ル様ニナル、ソレデ
 益々團體ノ發展シ合成人格者ノ合成スル實カ舉ルノデアリマス、斯クシテ大人ガ各個人ヲ全ク自己ニ
 統括シ然カモ尙其上ニ次テ民衆本位ノ所デ述ベントスルガ如ク互ニ其各個人ガ共同シテ認定力ヲ生セ
 シムルニ至リ、合成人格者ハ尙一層完全ニナルノデス、第六圖ハ大人本位ノ上ヨリシテ完全ニ成ツタ
 所ノ團體ヲ示シタノデアアル、即チ各個人ガ大人ニ依ツテ皆一體ヲ成シテ居ルト云フコトガ充分明カニ
 ナツテ、ソレニ依テ一體トシテ認定力ヲ出ス、此總攬力ヲ有ツテ居ル所ノ者ハ例ヘバ國家ニ於テハ君
 主デアアル、サテ此大人本位ト共ニ研究セネバナラヌノハ個人本位即チ民衆本位デアアル。

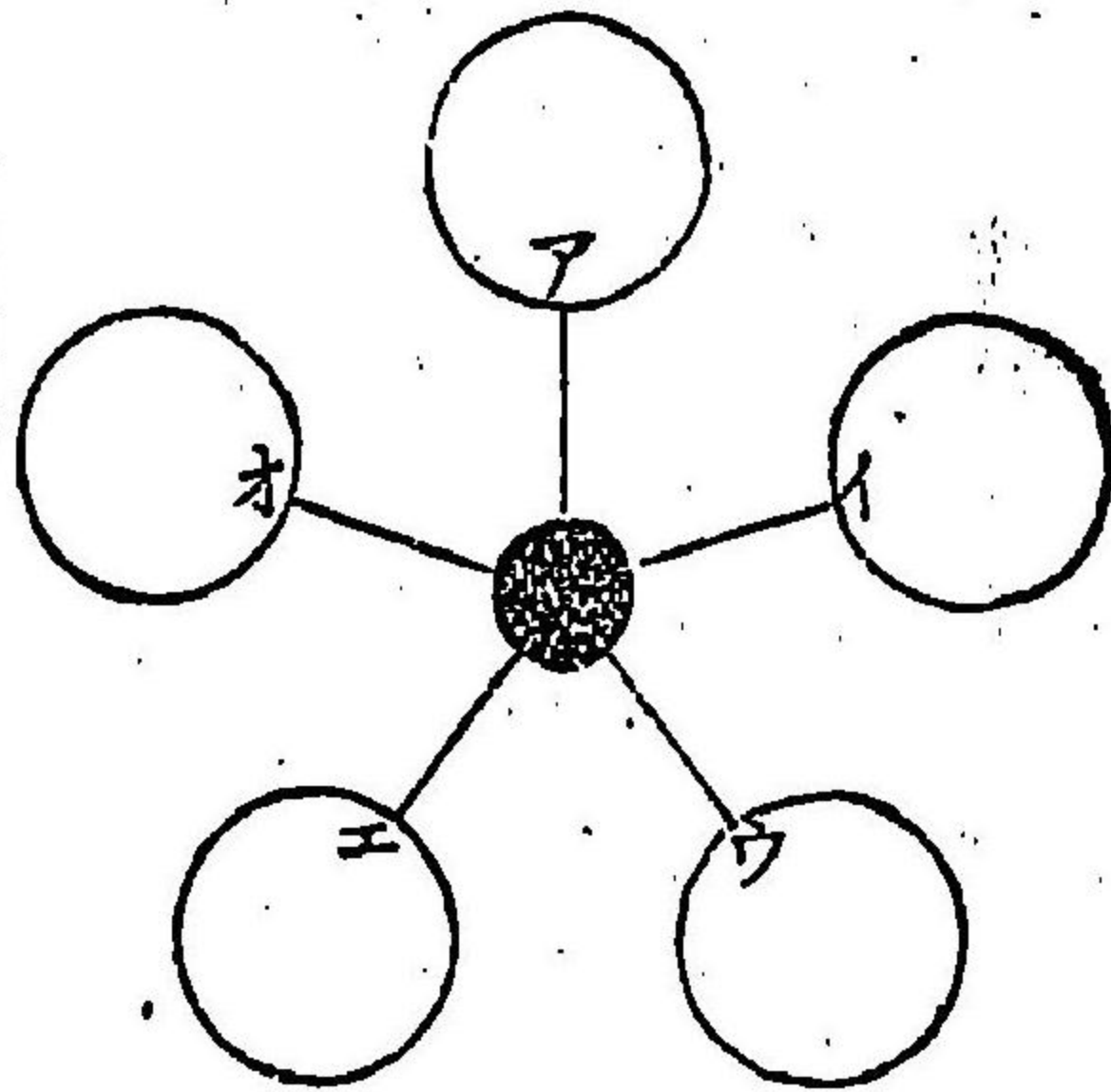
第七圖



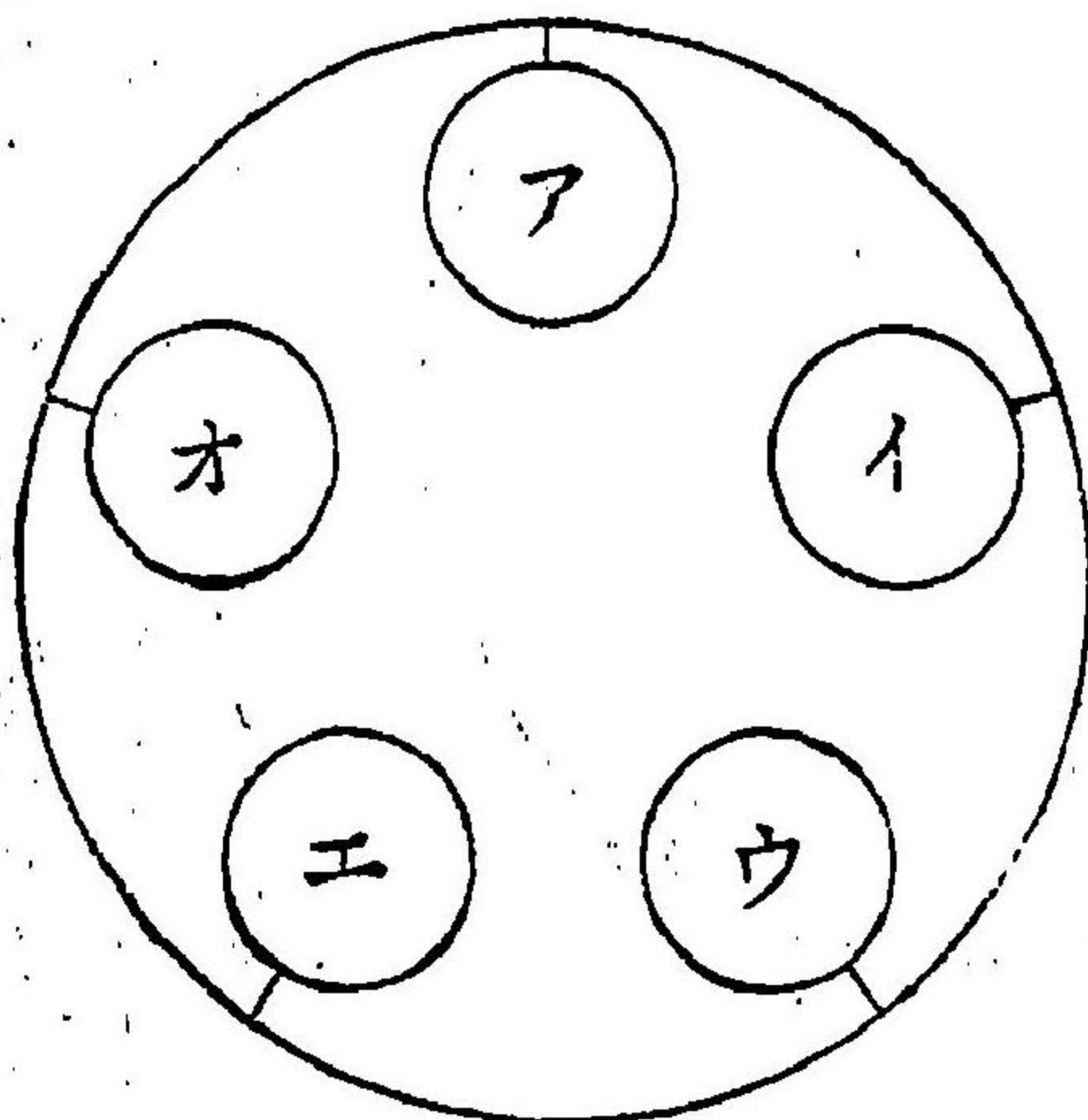
第八圖



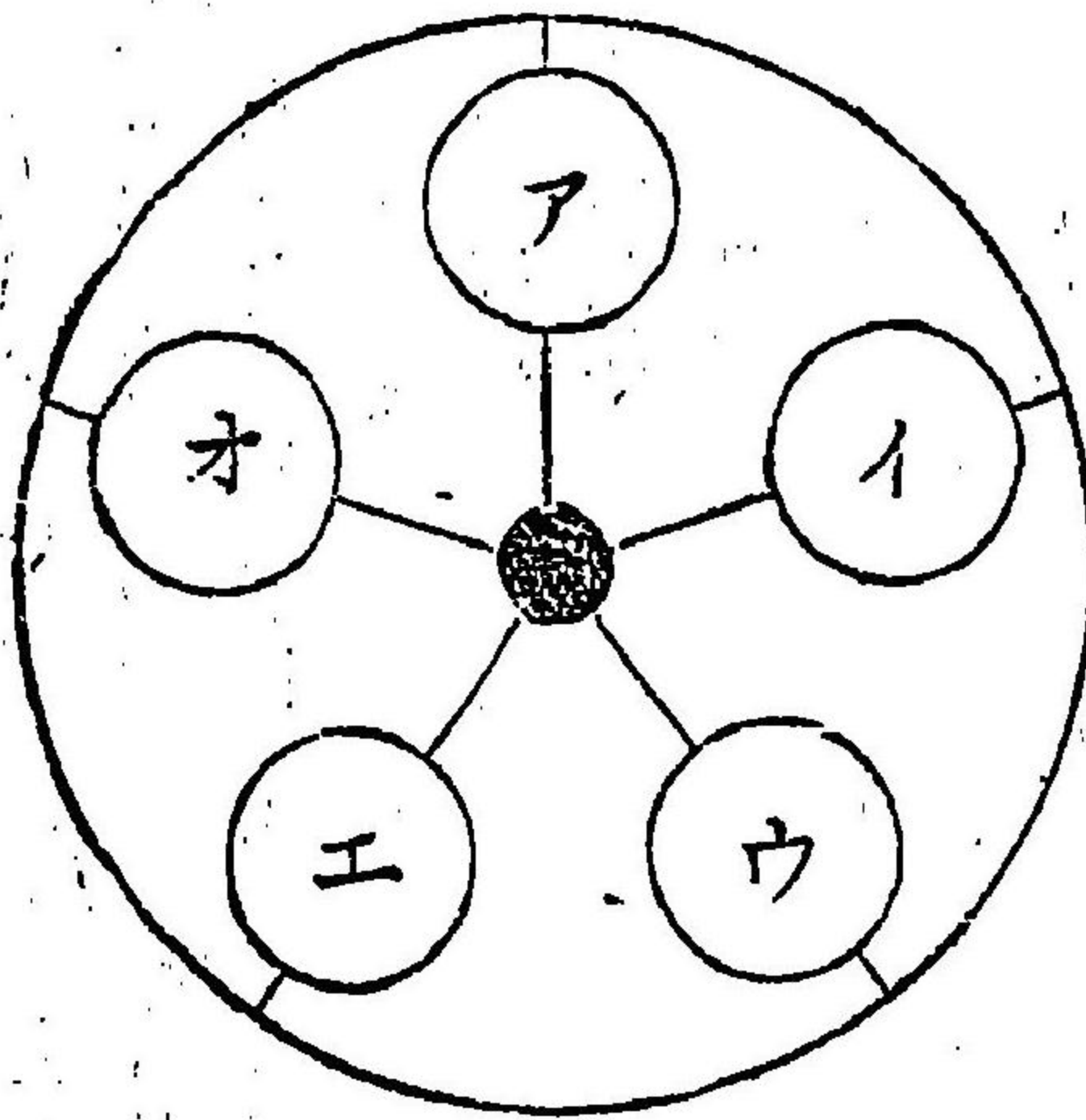
第九圖



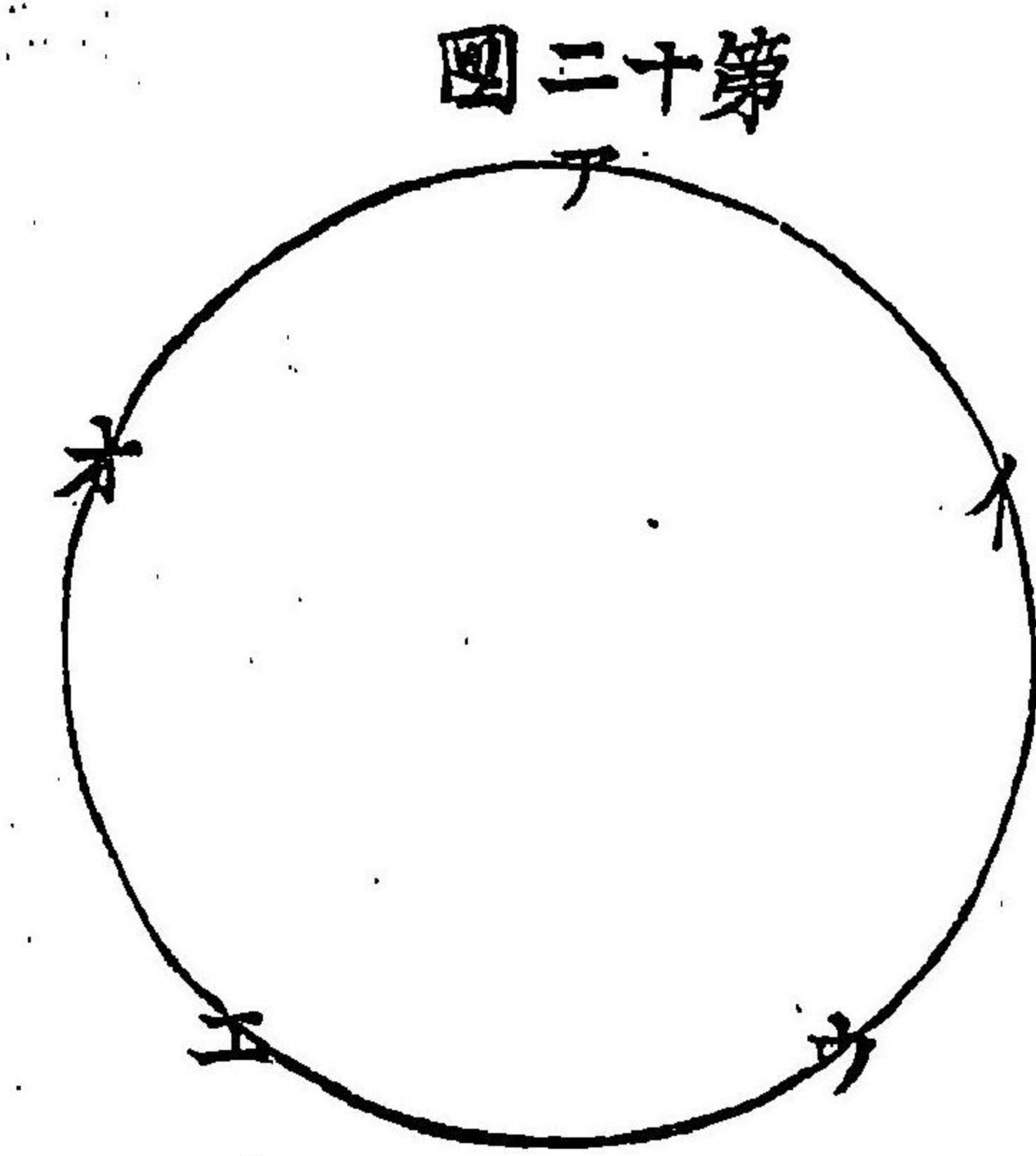
第十圖



第十一圖



民衆ノ場合ヲ見マス、例へバ石塊ガゴロ／＼シテ居ルト同シ様ナ情態デ相互ニ少シモ連絡ハ無イ、勿論天然ニ於キマシテハ多少ノ連絡ハアラマシヨウ、何故ナレバ石塊ノ如ク獨リデゴロ／＼シテ居ル管ハナイ、何處カラカ生レテ來テ居ルカラ、交通ガナケレバナラヌ、ケレドモ極端ニ圖ニ表ハシテ見マス



ト第七圖ノ如クデアアル、次ニハ銘々ゴロ／＼シテ互ニ連絡ハナイナレドモ其間ニ交通ノ關係ヲ生ズル(第八圖参照)、其結果例へバ喧嘩シテ互ニ衝突ヲ起ス、其衝突ヲ起スト云フハ即チ團體心ノ發達スル源デアアル、故ニ衝突ト云フモノハ團體ノ始メデアリマス、喧嘩ヲスルト云フモノハ團體ヲ成ス始メデアルカラ何モシナイデ居ルヨリ寧ロ喧嘩ヲスル方ガ宜イ、恰モ博奕打ト云フモノハ財物ノ融通ノ始メノヨウナモノデアアル、金持ノ金ヲ取ツテ融通サセルカラ貧乏人モ芝居ニ行ク事モ出來ル、或ハ酒ヲ呑ム事モ出來ルト云フヨウナ譯デアアル、又盜賊ハ金持ノ金ヲ取ツテ世ノ中ニ融通サセ

ル、成程考へレバ世ノ中ノ金持ガ敵ノ内ヤ地ノ中へ金ヲシマツテ置イテ融通サセナイ時ニハ之レヲ世ノ中ニ通用サセル手段トシテハ盜賊モ社會ノ爲メニ餘程宜イ、然シ盜賊ヤ博奕デナクシテモツト他ノ方デ立派ニ融通ガ出來マス、今日文明國ニ於テハ博奕ヤ盜賊ハ惡イ、サレバ極ク幼稚ノ時ハ小供ガ喧嘩ナドシテ遊デ居ル様ナ時代デアアル、ソレガ少シ發達シテ行クト互ニ目的ニ依テ活動ヲシ始メル(第九圖参照)、互ニ目的ヲ設ケテ其目的ガ甲ノ設ケル目的乙ノ設ケル目的丙ノ設ケル目的丁ノ設ケル目的モ皆一ツニ歸スル、即チオ互ノ認定力ガ一ツニ歸スルノデアリマス、其結果トシテ此甲乙丙丁ト云フモノハ一體ヲ成スト云フ事ガ出來ルヨウニナリマス、而シテ其一體ヲ成ス所ノ目的ト云フモノハ廣クナツテ來ル、數モ多クナルト各個人ト云フモノヲ自分ノ中ニ統括スル様ニナル(第十圖参照)、尙ホ銘々ノ目的ニ基テ一ツニ結ビ付ケラレテモ居ルカラ詳シク云へハ第十一圖ノ如クナリマス、外カラモ結ビ付ケラレ中カラモ結ビ付ケラレル、モウ一步進ミマスル場合ニハ各個人ガ他ノ各個人ヲ統括シテ一體ニナツテ仕舞フ場合、例へバ甲ト云フモノハ自分ヲ押廣メテ自分ハ全體ト一體ヲ成シテ居ル、乙體トモ自分ヲ押廣メテ全體ト一體ヲ成シ、丙モ自分ヲ押廣メテ全體ト一體ヲ成シ、丁モ自分ヲ押廣メテ全體ト一體ヲ成シ、戊モ自分ヲ押廣メテ全體ト一體ヲ成シテ仕舞フ(第十二圖参照)、斯ノ如クデアリマシテ民衆本位ノ場合ニ於テハ總テノモノガ皆認定力ヲ供給スル、其認定力ト云フモノハ如何ナル程度カニ於テ即チ完全カ不完全カ、大キイカ小イカノ程度ニ於テ一ツニ纏マルノデアリマス、
諸テ民衆本位ト大人本位ノ場合ト較ベテ見マス、大人本位ノ場合ニハ各個人ノ中ニ不完全ナモノガアツテモ、又小ナモノガアツテモ然モ能ク執レノ場合ニ於テモソレヲ統括スル事ガ出來ル、現ニ此各個人ガ牛ヤ羊ト同シ時代ニアツテモ、或ハ各個人ガ赤兒ト同シ時代ニアツテモ、ソレヲ能ク一ツニ纏メ統括シテ行ク事ガ出來ル、其精神ハ永久ナクナラナイ、ドコマ行ツテモソウ云フ特長ヲ有ツテ居リマス、又民衆本位ノ場合ニハソウ云フ點ニ於テハ缺イテ居リマスケレドモ、各個人ノ發達スル場合

ニ於テ各個人ニ公共心ニ欠クル所ガナケレハ各個人殘ラス認定力ヲ出スト云フノデアリマスカラ、從ツテ特ニ發達セル場合ニ於テハ互々ニ一ツニ成リ合ツテ行キ、一體ト云フ事ハ非常ニ固イモノデアリマス(第十二圖參照)、現ニ日露戰爭ニ於テモ分ツテ居リマシヨウ、日本ノ強イト云フモノハ相互ニ皆一ツニナロウ、皆共同シヨウト云フ考ガアルカラコソ戰ガ強カツタト云フヨウナ譯デアアル、ケレドモ此社會現象ト致マシテハ、一方ニ於テハ此人民カ皆全體ト一體ヲ成スヨウニ大キクナルト云フ事ハ考ラレヌ事デアリマス、從ツテ大クナツテモ互ヒクニ大キナモノガ衝突スル事モアリ得ルノデアアル、是非共大キナモノヲ一ツニ括ツテ行ク所ノ大キナモノガナケレハナラヌ、手桶ノ片々ト之レヲ統括スル繼ノ様ナモノデアアル、然シ尙ホ愛ニ注意スベキハ手桶ノ片々デモ自ラ手桶ノ片々タルコトサヘ承知シテ進ンデ其地位ニ當ツテ居レハ、同時ニ尙ホ民衆本位ノ精神ヲ團體ヲ構成シテ居ルノデアアル、大人本位ノ方面ノミニヨリ存在スルモノデナイ、片々ト云フテモ此場合ニハ各自カ自身ヲ全體ニ廣メタト同ジデアアル、自分ハ何ノ分子デアルト云フ事ヲ承知スルノハ即チ自分ヲ全體ニ廣ゲル所以デアアル、例ヘハ私ノ爪ト云フノモ全體ニ廣マツテ居ルノデス、私ノ指ノ爪ト云フモノハ一ツシカナイ、此爪ダケ擧ゲテモ私全體ガ這入ツテ居ル、又眼デモソウデス、私ノ右ノ眼ダケヲ取ツテモ此中ニ篋ト云フモノハ這入ツテ居ル、或ハ此處ノ一部分ヲ摘ンデモ此中ニ皆機全體ガ這入ツテ居ル、又此方ヲ取ツテ見テモ此中ニ機全體ガ這入ツテ居リマス、ソウ云フヨウニ手桶ヲ構ヘテ居ル木ノ片ノ中ニ手桶全體ガ這入ツテ居ル、ケレドモソレヲ一ツニ纏メルモノハ、纏ト云フモノガアツテ一ツニ纏メテ居ルノデアリマス、其纏ト云フモノハ即チ是非トモ之ヲ大人ニ求メル事ガ必要デアアル、ソレ故ニ共和國ニモ大統領ガ

アリマス、又纏ツテ大人本位ヲ見マスルト、先程申シマシタヨウニ特長ガアリマスケレドモ、矢張り此場合モ獨デ以テ他ノモノヲ全體纏メルト云フハ不可能デアリマス、薪ヲ集メテ一ツノ繩ヲ以テ手桶ヲ拵ヘヨウト云フテモ、ソレハ不可能ノ事デアアル、極ク不完全ナルモノナラバソレハ繩ダケアレハ薪ヲ縛ツテ拵ヘル事ガ出來ルカモ知レヌ、併シナガラソウ云フ不完全ナルモノデ無クシテ完全ナルモノヲ拵ヘヨウト云フナラハ纏ダケハイケマセヌ、必ス分子ニ求メナケレバナラヌ、之ヲ以テ見マスルト民衆本位ト大人本位ト云フモノハ何時モ共ニ相待ツモノデアツテ今日ノ立憲國ノ如キモノハ雙方ノモノガ相待ツテ始メテ生シタ所ノ團體ノ現象デアアル、其團體ニ就キマシテハ、大人本位ト云フモノモ各個人ト云フモノモ共ニ認定力ヲ生ジテ、其認定力ヲ一ツニ合成スル規律的合成意力タル所ノ法ヲ作ツテ居ルモノデアリマス、此合成意力タル所ノ法ガアル結果トシテ、此團體ノ機關ガナス所ノ或活動ハ結局合成意力ニナツテ仕舞フ、國家ト云フモノ、權力ニ基ク活動ハ何時モ合成意力デアアル、合成的活動デアリマス、斯ノ如クニシテ國家ト云フモノハ團體人格者デアツテ、其團體人格者ハ合成人格者デアアル、其モノガ内部ノ法ト云フ、即チ規律的合成意力ト云フモノハ缺クベカラザルモノデアルト云フコトハ御解リダロウト思ヒマス、

乙、合成人格者ハ事實上意思力ノ主體ナリ 合成人格者ト云フモノハ内部ニ法ト云フモノガアツテ始メテ人格者トナルモノデアアル、從テ自然人ナド、ハ違フ、自然人ト云フモノハ自分ノ内部ニ規律的合成タル法ガアツテ自然人ニナルノデアアリマセヌ、唯自然力ガ自分ノ内部ニアツテ自分ハ自然人ニナツテ居ル、即チ自然力ノ關係デアアル、所ガ合成人格者ハ自由力タル所ノ法ト云フモノガ内部ニ存在

シテ居ルト云フ事ヲ要件ト致シマス、ソレト同時ニ注意シナケレバナラナイ事ハ、例ヘバ内部ニ法ガ
 アツテモ一ツニ合成シタ所ノ合成人格者デアロウトモ、其モノガ活動スル所ノ活動力ト云フモノハ團
 體自身ノモノデアツテ、各個人ノモノデアルト云フコトハ出來ナイ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマス、合成
 人格者ノ活動力ハ一ツノ個人ト云フモノガナケレハナラナイケレドモ、併シ個人以外ニ超越シテ
 居ル團體ト云フモノ、活動ハ表ニ出ス所ノモノデアアル、即チ活動力ト云フモノハ事實上團體ノモノデ
 アル、勿論此内部ニ於キマシテハ各個人ガ活動力ヲ出ス所ノ結果トシテ唯全部ノ活動力ト云フモノガ
 出來ルケレドモ、例ヘバ誰ガ其活動力ヲ出ソウトモ、其活動力ト云フモノハ團體全部ノモノデアツテ
 各個人ノモノデハナイ、此點ハ後ニ原動機關及ヒ作用ノ所デ申シマスカラ、詳シイ事ハ述ベマセヌ、
 唯斯ウ云フ事ダケ説明シテ置キマス、

此處ニ擬制ニ依テ無イモノヲ有ルト假定シタ結果、此處ニ團體ノ活動力ト云フモノガ出來ル、併シ此團
 體ガ活動ノ主體トナルノデハナイ、實際上團體ト云フモノハソコニ存在スルノデアアル、其根據ハ先程申
 シマシタ如クニ合成人格者ノ分子タル各個人ト云フモノハ、自然ニ於テ一體タル所ノ人ノ一ツノ範圍
 ヲ成シテ居ルモノデアルト云フコトニナリマス、此場合ニハ各個人ノスルコトハドウ云フ點ニ就テハ
 活動力ニナルカ、ドウ云フ點ニ就テハ矢張各個人トシテノ活動力デアアルカト云フヨウナ境ハ認定力ノ
 如何、並ニ其合成意力ノ發展ノ程度如何ニ依テ違ヒマス、又其合成意力ヲ生セシムル根據トナル自然
 ノ事實ノ唯如何ニ依テ違ヒマス、例ヘバ各個人ノ心理上ノ發達如何、或ハ各個人間ノ交通如何、交通
 ト云フノハ精神上ノ交通、或ハ物質上ノ交通、並ニ生理上ノ交通等ニ依テ異ナリマス

二 國家ハ其内部ノ法ニ基キ自ラ其法ヲ是認シ自ラ法上ノ合成人格者ト認ムルモノナリ、
 語ヲ換ヘテ申シマス、國家ト云フモノハ自己ノ第一原因ノ上ニ存在シテ居ルト云フ事ヲ其特質トシ
 テ居ル、此點ハ非常ニ大切ナル點デアアル、自由意思ト云ヒマス、法律ヲ釋クニ自由意思ガ有ツタツテ
 無クタツテ構ハヌト云フコトヲ能ク言ヒマスガソウデナイ、此點ハ始終付纏テ行ク點デアリマシテ、
 吾々ノ生活ト云フモノハ網渡ノ如クデアルト云フコトモ、斯ウ云フ點ガアルカラソウ言ヘルノデ
 アリマス、換言スレバ國家ト云フ合成人格者ハ自分ノ内部ニ存在シテ居ル認定力タル法ニ依テ自分ヲ
 統一的ノ全部ト認定スルモノデアアル、ケレドモ其法ト云フモノハ自分ノ内部ニ存在シテ居ル法ノミデ
 澤山デアアル、他ノ團體人格者ハ孰レモ自分ノ内部ニ法ノ存在シテ居ルト云フコトガ必要デアリマスケ
 レドモ、尙ホ其他ニ自分ノ外部ニ存在シテ自分ヲ統括シテ居ル所ノ認定力タル法ガ之ヲ認メテ與レル
 コトガ必要デアルケレドモ國家ノ場合ハソウデナイ、唯自分ノ内部カラノミ認定スレバソレデ足りテ
 居ル、從テ自分ガ自分ノ第一原因上ニ立テ居ル、ケレドモ其自己ノ原因ト云フモノハ全ク土臺ガ無イ
 コトハナイ、矢張り土臺ガアル、其終局ノ土臺ハ何處カト云ヘバ自我デス、及ヒ普遍我デス各個人ト
 云フモノハ民衆バカリ云フノデハナイ、先程申シタ大人ト云フモノモ這入ツテ居ル、唯民衆バカリト
 シテソレノミニ執着シマス、ト云フト國家ニ色々ナ間違ガ起リマス、兎ニ角自我ト云フモノニ土臺ガア
 ル又普遍我ト云フモノニモ土臺ガアル、例ヘバ家ヲ御覽ニナツテモソウデシヨウ、屋根ガアルノハ其下
 ニ柱ガアルカラデス、ケレドモ其柱ガアルノハ其下ニ土臺ガアルカラデス、其土臺ノアルノハ其下ニ地
 面ガアルカラデス、法律ニ至ツテモ其通り此家根ダノ二階ダノハ是ハ私法デス、ソレノ土臺ニナツテ居

ル所ノ國家ノ根本タル國法ト云フモノガアル、其國法ノ土臺トナルノハドウ云フノカト云フト、人ノ集ツテ居ル所ノ全體ノ上ニ自然ニソレガ一ツニナルベキモノデアルト云フ根據ガアルカラデアアル、ソレデ先程土臺ノ存在シテ居ルノハ地面ダト申シマシタガ、此場合ニ其地面ト云フモノハ自我デス普通我デス、即チ個人ノ心ノ働キデス吾々ノ働キデス國民ノ心ノ働キデス人類ノ心ノ働キデス、其他ニアリマセヌ、此國家ハ自分デ自分ノ存在ヲ認メ得ルト云フカラ國家ノ自主權ト申シマス、而シテ斯ノ如キ自主權ヲ有ツテ居ルモノハ國家デアリマス、唯今日ノ國際團體ノ如キモノハ尙ホ其自主權ト云フモノハ極テ不完全ナモノデアアル、且歴史上ノ發達ガ今日ノ國家ト云フモノト違テ居リマスカラ、尙ホ之ヲ國家ト言ヘナイダケノ話デアツテ、將來國家ト同性質ノモノニナルコトハ殆ド疑フ事ハ出来マセヌ、此國家ガ自主權ヲ有ツテ居ルト云フコトハ、之ヲ總括的ニ言フト、國家ハ最高ノ意思ノ力ヲ有ツテ居ル即チ最高ノ活動力ヲ有ツテ居ルト云フ事デアリマス、一ツノニ離シテ申シマス時ハ、國家ト雖モ他ノ活動力ノ支配ヲ受ケル事ガ出来マ、一ツノノ場合ニハ他ノ團體ノ支配ノ下ニ立ツコトガアリ得マス故ニ最高主權ノ存在ハ國家ニ必要デアリ現ニ朝鮮ノ如キハ外交權ヲ有ツテ居ナイ、外交權ハ日本ノ支配ノ下ニ歸シタ譯デアリマスケレドモ、總括的ニ申シテ見レバ最高ノ活動力ハ有ツテ居ル、何故ナレバ自分ノ内部カラシテ湧出シテ來タノデアツテ、外カラシテ認メラレテ存在スルモノデハアリマセヌ、從ツテ國家ト云フモノハ外國ガ認メナクモ存在シテ居ル、ドノ外國モ皆認メナイデモ孰モ自主權ヲ有ツテ居ル、内部ニ於キマシテハ其國家ノ認ムル所ガ自然ノ事實トシテ行ハル、即チ國家ガ自由ニ認ムルコトガ自然ニアリマス、必スシモ認識上ノ自然ニ一致セズシテモ、勝手ナ事ヲ國家ガ認定シテモ、

ソレガ矢張り自然ノ事實トシテ行ハレルヨウニナリマス、而シテソレヲ他ノ國ガ認メテモ認メナイデモ、自分ノ國內ダケデハ有效ニ行ハレル、例ヘバ此處ニ尺度トカ或ハ樹トカ或ハ其他ノ事ヲ國家ガ勝手ニ定メテソレガ不都合ナ場合デモ國家ノ内部ニ對シテハ有效ニ行ハル、即チソレニ依テ有效ナル自然ノ事實ヲ生ゼシメ、又自然ノ活動力ヲ生ゼシムルヨウニナリマス、斯ノ如キ事ハ他ノ國家ガソレヲ認メナイカラト云ツテ影響ハナイノデアリマス。(以上第二回講義)

第二章 國法及ヒ國法上ノ權利義務

第一節 國法

第一款 總說

國法トハドウ云フモノデアアルカト云フト法ニハ相違ナイ、法ト云フモノニ付テハ未ダ御話致シマセヌケレドモ、國家ガ存在シテ居ル以上ハ必ズ其内部ニ法ガ存在シテ居ル、國家ハ法人デアアル、其内部ニ法ガナケレバ存在ハ出来ナイ、法人デナキ自然人ハ法ガ無クテモ存在スルコトガ出来ル、即チ自然ノ事實タル方面アル許リノ有機體トシテ存在シテ居ル、然ルニ吾人ノ研究シツ、アル國家ハ自然ノ事實トシテ存在スル生物學上ノ有機體デナク、國家ト云フ動物ハ生物學上存在シテ居ナイ、動物園ニモ居ラス、ケレドモ人類ト云フ者ガ集ツテ其間ニ法ト云フモノガアツテ、而シテ後ニ國家ト云フ一ノモノガ存在スルコト、ナル、ソレデアアルカラ國家ト云フモノハ法人デアリ、必ズ其内部ニ法ト云フモノガ存在シテ居ル。

サテ此國家ノ中ニ存在シテ居ル法ト云フモノハ種々ノ種類ガアリマス、先ヅソレヲ二ツニ分ケルコト

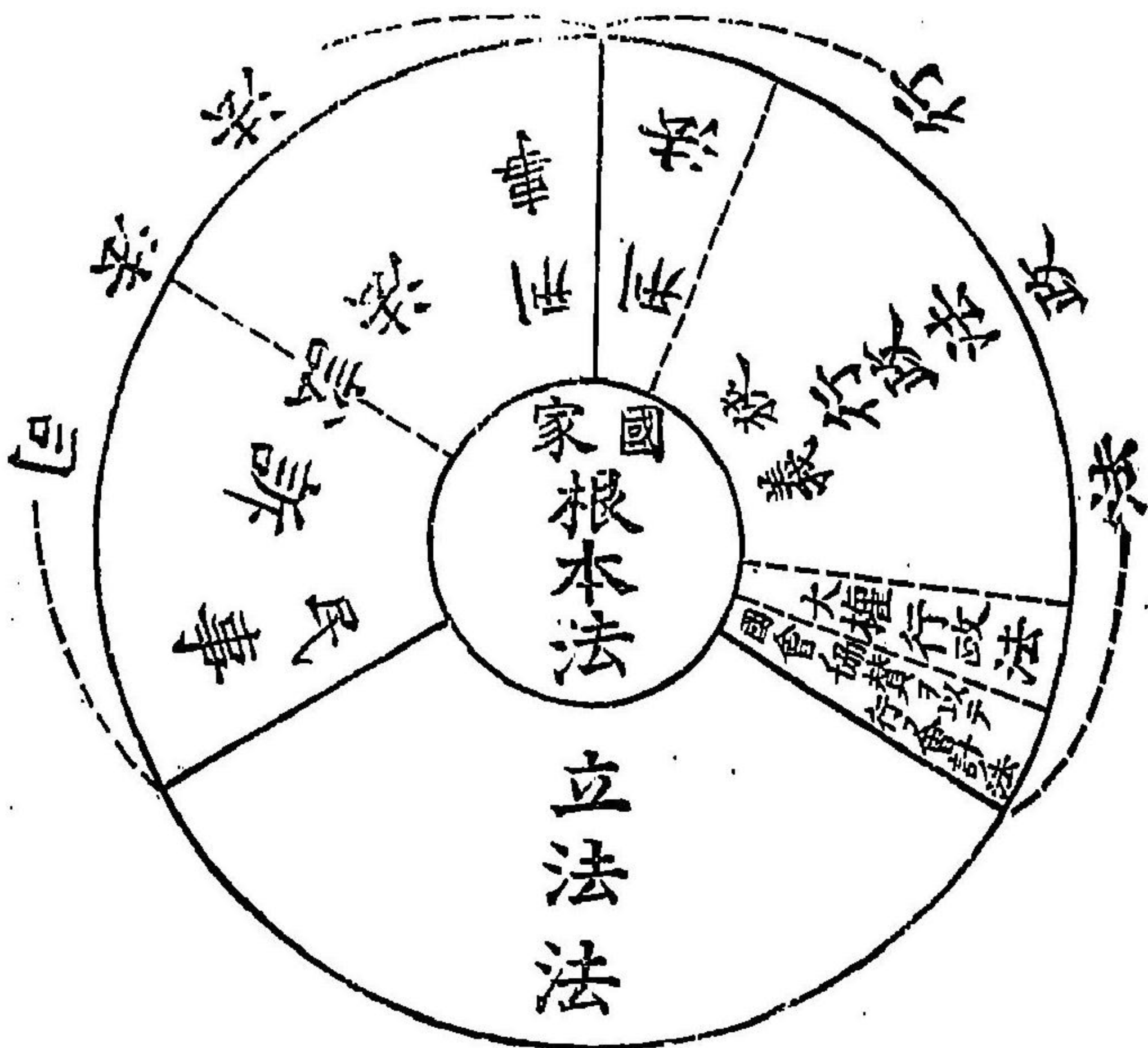
ガ出來ルダロウト思フ、即チ國法ト、國法以外ノ國家ノ法ト、此二ツノモノガアルト思ヒマス、此前ノ第一章ニ於キマシテハ、國家ト云フ點カラシテ即チ人間ノ集ツテ居ルモノデアルト云フ方ノ側カラ國家ヲ觀マシタケレドモ、今度此第二章ニ於テハ其集ツテ居ル人間ノ中ニ無形ニ存シテ居ル法ト云フモノカラ國家ヲ觀察スルノデアリマシテ、從ツテ此前國家ノコトヲ申シタノト國法ト云フコトヲ論ズルノト同シコトヲ説明スルノデアリマス、

第二款 國法ノ細別

先ツ吾々カ國法ト云フモノハ一體ドウ云フモノデアるかト云フコトヲ一ツ々々ノ部分ニ付テ述ベ、ソレカラ又部分ヲ澤山寄せ集メタ上カラシテドウ云フモノデアるかト云フコトヲ申シ、然ル後ニ正式ニ一體國法ト云フモノハドウ云フモノダト云フコトヲ全體ノ上カラ述ベヨウト思フ、ソレニハ二ツノ方面ニ分ケテ説明スルヲ必要ト致シマス

第一圖ハ、是ハ根本ノ性質カラ國法ヲ細別シタノデアアル、現今ノ法ノ發達ニ於テハ此一圖ノ如キカ本來ノ事實デアアル、所ガ吾々ガ法ヲ研究スル方面カラ言ヒマスルト、國法學ノ分ケ方ハ此本來ノ事實ニ全然合致シテ居ナイ、根本タル事實ニ大體ハ依テ居リマスケレドモ、全然ソレニ依テ居ナイノデアリマス、即チ本來ノ事實ト致シマシテハ、國法ト云フモノ、中心ニナル所ノモノハ國家ノ根本法デアリマス、總テノ法ノ中心デアリマス、法ノ一番ノ御先祖様デアリマス、或ハ語ヲ換ヘテ言ハバ法ノ中デ一番效力ノ大キナル法、一番高イ法、一般統括的ノ、文字ノ通りノ根本法、モウ一步進メテ言ハハ事實ト云フモノニ一番縁故ノ深イ法デアリマス、圖ノ如ク此根本法ノ周圍ニ大體三ツノ線ヲ引クコトカ出來ル、即チ其一ハ立法法、一ハ行政法、一ハ司法法ト云フノデアリマス、ソレデ第一此行政法ノ其

圖三十第
別細ノ法國義廣ルケ於ニ度程達發今現

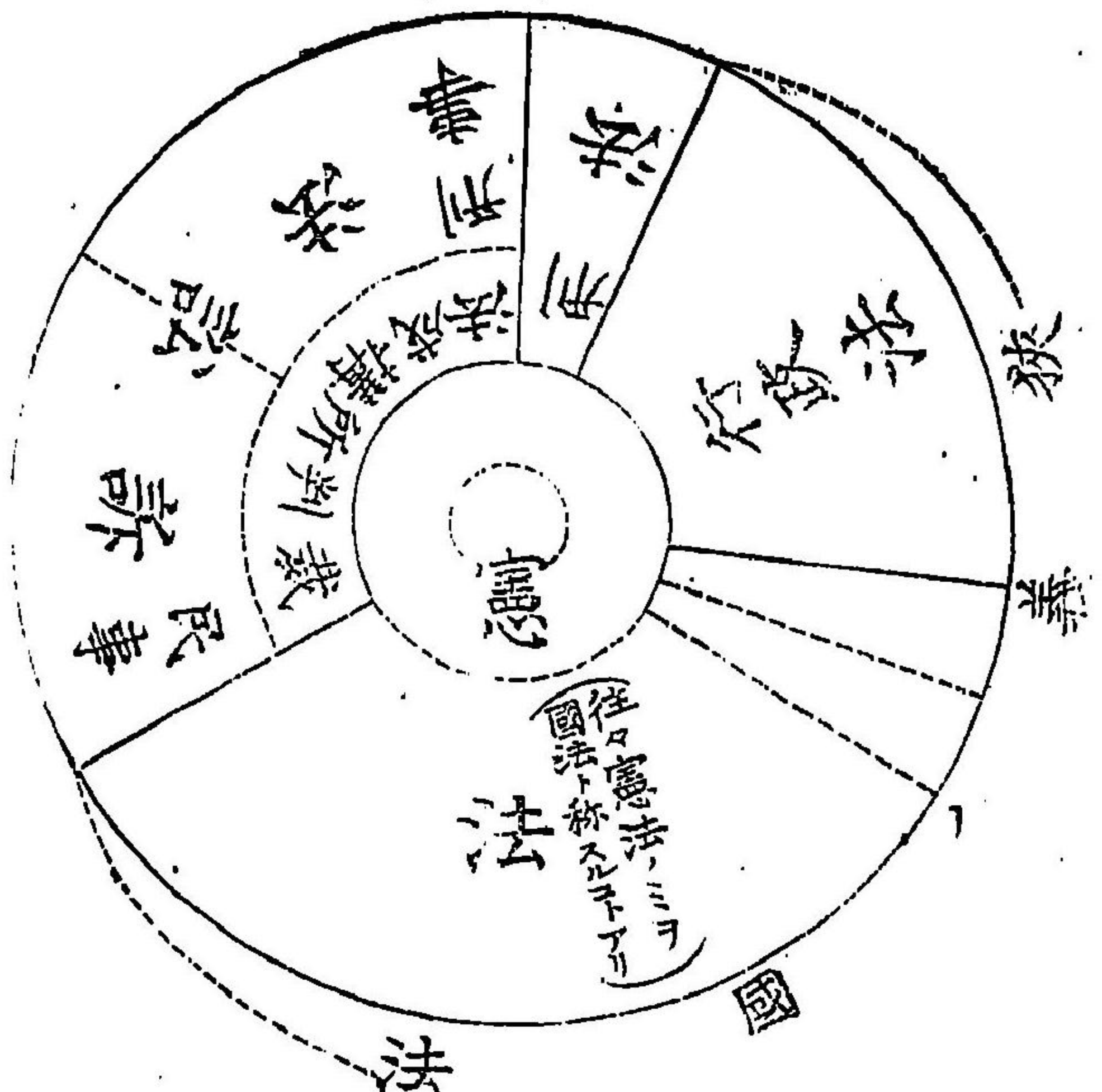


中ニ點線ヲ引イテ刑法、狹義行政法大權行政法、國會ノ協賛ヲ以テ行フ會計作用ノ法トナシ、第二ニハ立法法、第三ニハ司法法デアアル、之レモ二分シテ一ツヲ民事訴訟法、他ヲ刑事訴訟法トナシ得マス、斯ウ云フ風ニ極ク廣イ意味デ國法ト云フモノガ出來ル、ソレカラ此國法全體ノ周圍ニ存在シテ居ル所ノモノハ國法以外ノ國家ノ法デアリマス、現今ノ立憲國發達ノ上カラ觀マスルニ理論上斯ウ云フコトニナツテ居ル、所ガ吾々實際ノ研究ノ方ハ其通りニナツテ居ナイ、或ハ便宜上偶然ノ理由ニ基イテソウ行ツテ居ナイ、則チ先ツ第一

ニ根本法ト立法法ト云フ間ノ所ガ境界ガ取レテ仕舞ツテ點線ニナツテ居ル、ソレカラ又立法法ト行

政法ノ境界ガトレテ仕舞ツテ大權行政法ヤ國會ノ協贊ヲ以テ行フ會計作用ノ法ガ皆以上ノ法ト合併シテ居ル、(第十四圖參照)是等ヲ總テ統括シテ憲法ト吾々ガ普通稱ヘテ居ル、吾々ノ研究上カラ憲法ト言ヒマスルノハ此コトヲ云フノデアリマス、即チ根本法、立法法、國會ノ協贊ヲ以テ行フ會計ノ法並ニ大權行政法ト云フモノヲ含シテ憲法ト云ツテ居リマス、ソレヲ最モ狹義ノ國法ト云フテ居リマス、此學校デ國法學ノ講義ガアリマスガ、矢張其意味ダロウト思フ、是ハ學問上價値ノアルモノデナイ、ソレカラ第二ニ刑法ト行政法トノ境界ガ付テアリマスガ、(第十四圖參照)實ハ刑法ト云フモノハ性質カラ申シテ行政法ノ中ニ入ルベキモノデアル、ドウ云フ風ニ人ヲ刑罰ニ行フカト云フコトヲ規定セルモノデ、人ヲ刑罰ニ行フト云フコトハ國家ノ行政作用トシテ行フモノデアリマスカラ從テソレニ關スル法デアルカラシテ、行政法ノ中ニ入レテ宜シイモノデアル、ケレドモ此部分ハ其法ニ依テ直チニ國家ガ人ヲ刑罰ニ行フコトハ出來ナイ、何トナレバ之ヲ濫用スル虞レガアル、ソレデ、先ヅ裁判所ノ判決ガナケレバナラヌコトニナツテ來マシタ、裁判所ト云フモノハ司法法ガ司ツテ居ルモノデアルカラ、裁判官ト裁判所ト云フモノニ大ナル關係ガアル、或ハ一歩進デ言ヘバ裁判官ガドウ云フ風ニ刑罰ヲ宣告シナケレバナラヌカト云フコトヲ定メタル法トモ言ヘルノデアリマス、從ツテ法ノ發達上司法法トモ極メテ縁ガ近イ、然カシ本來ノ性質カラ觀マスルト行政法ニ入ルベキモノデアアル、國家ガドウ云フ風ニ罰スルカト云フコトヲ定メタモノデアリマス、刑罰ガ主デアツテ宣告ト云フモノハ主デナイ、宣告ト云フモノハ即チ刑罰ニ行フト云フ行政作用ヲ生ゼシムル所ノ要件ニ過ギナイ、宣告ヲシタカラソレデ以テ刑法ノ能事終レリト云フノデハナイ、刑罰ニ行ツタト云

第 十 四 圖
廣義國法ノ現今講義上ノ分科



フガ能事終ツタ時デス、從ツテ裁判官ノ方ヲ規定シタ法デナクシテ、刑罰ニ行フ方ヲ規定シタ法デアアル、之ヲ濫用スルノ虞ガアルカラ裁判所ノ判決ト云フコトガ要件トナツタノデアリマス、語ヲ換ヘタナラバ刑法ニハ斯ウ云フ場合ニハ斯ウシテ斯ウ云フ刑罰ニ行フト云フコトガ書イテアリマス、ダカラ其通リニシナケレバナラヌト云フ判決ガアルト、行政官ガ其通リニシナケレバナラヌト云フ特別ノ效力ヲ有ツテ居ル、裁判所ノ判決ハ有權的ニ單ニ刑法ノ適用ヲ明カニスルニ過ギナイ、裁判官ガソレヲ刑罰ニ行ハント云フノガ本當ノ適用デアアル、第三ニ司法法ト云フモノハ裁判所ノ構成、並

ニ其構成ニ基イテ出來テ居ル裁判所ノ職權ヲ行フ方法ヲ規定シタモノデアアル、(第十四圖參照)扱テ

是等ノ法ノ土臺ハ皆國家根本法デアアル、皆根本法ヨリ花ガ咲イテ居ルノデ、立法法ト云フ花ガアリ或ハ行政法ト云フ花ガアリ、或ハ司法法ト云フ花ガアル、孰レノ法ヲ研究スルニモ何時デモ此根本法ニ這入ツテ來ナケバナラヌ、恰度扇ノ要ノ様ナモノデアリマス、此扇ヲ研究シ様トスルニハドウシテモ要ノ所ヲ研究シナケレバナラナイ、如何ナルモノヲ研究スルニモ必ズ根本法ニ基カナケレバナラヌ、故ニ吾々ガ法ヲ研究スルニハ必ズ其最モ根本タル所ヲ研究シナケレバナラヌト云フノハ其譯デアリマス。

御話ハ前ニ戻リマシテ、只今申シタ研究ノ便宜上呼ブ所ノ狭イ意味ノ國法ニ對シテモウ一ツ廣イ意味ノ國法ガアル、是レハ行政法ト憲法トヲ含ンデ云フデアリマシテ、一般普通ニ用ヒラレテ居ル用ヒ方デアリマス、ソレカラモウ一步進ンテ一番廣イ意味ノ國法ハ全體ヲ含ンデ居リマス、所謂前ニ申シタ所ノ圓周以外ニ存在シテ居ル廣イ意味ノ國家ノ法ト云フモノヲ除イテ、圓周中ニアルモノ全部デアリマス、此本來正當ノ意味モ同シク普通ニ用ヒラレテ居リマス、單ニドウ云フ部分ニ對スルト云フコトデナクシテ、國法ト言ヘバ皆含ンテ居ル、則チ裁判所構成法モ刑法モ國法ニ相違ナイ、皆廣イ意味ノ國法デアリマス。

此廣義ノ國法ノ周圍ニ澤山其他ノ法ガ存在シテ居ル一番下ノ土臺ニナル處ノ法、ハ國法デ其中心ハ國家基本法デアアル、其土臺ノ上ニ複雑ニ家カ建ツテ居ル、刑法ト云ヒ商法ト云ヒ總テ此土臺ノ上ニ立ツテ居ル、此土臺ノ部分ハ即チ廣イ意味ノ國法デアアル、其廣イ意味ノ國法ノ又其土臺ハ即根本法デアリマス、此土臺ノ上ニ建ツテ居ル家ト云フモノハ、自分ノ基礎ヲ研究シヤウトスレハ、土臺ノ

石垣ダケ研究スレバ宜シイ、何故家ガ曲ツタロウト云フトキハ石垣ガ曲ツタカラ家カ曲ツタノデアアル、サレバ差シ當リ石垣ダケ研究スレバ宜シイ、併シナガラ其石垣ノ曲ツタノハ石垣ノ造リ様カ悪イカ、又地面ガ軟イカト云フ矢張地面ヲ研究シナケレバナラヌ、所謂國法ノ土臺ノ中デモ根本法ガ一番地面ニ密接ノ關係ヲ有ツテ居リマス、然ルニ其地面ハ何デアアルカト云フト、其地面ト云フモノハ即チ自然ノ事實ト云フモノガ土臺ニナツテ居マス、法ノ基礎ハ法デナクシテ自然ノ事實デアアル、勿論法ノ中デモ法ヲ土臺トシテ居ル所ノ法モアル、ケレドモ段々研究シテ觀マスト法ハ畢竟事實ノ土臺ノ上ニ存在シテ居ルノデ、法ノ土臺ノ上ニ存在シテ居ルモノデハナイ、其事實ハ何デアアルカト云ヘバ、結局自我ト云フモノ、性質ニ歸シテ仕舞フノデス、自我ノ性質ハ何處カラ出テ來タノカ此出先ハ分ラナイデアリマス、唯自我ノ性質ハ非常ニ複雑ノモノデアツテ、自我ノ性質ヲ研究スルハ即チ吾々ガスルコトハ皆自我ノ研究デアリマス、或ハ民法、商法、行政法、憲法、或ハ又寺院ノ説教デモ、學校ノ倫理ノ講釋デモ皆自我ノ性質ノ研究デアリマス、自我ハ小サイ様デ又大キナモノデアリマス、宇宙ヲ吞ミ込ンデ居ルカラソレダケ大キイデアリマス、何デモ入ツテ居リマスカラ研究スルニハ餘程六ヶ敷イモノデアリマス。

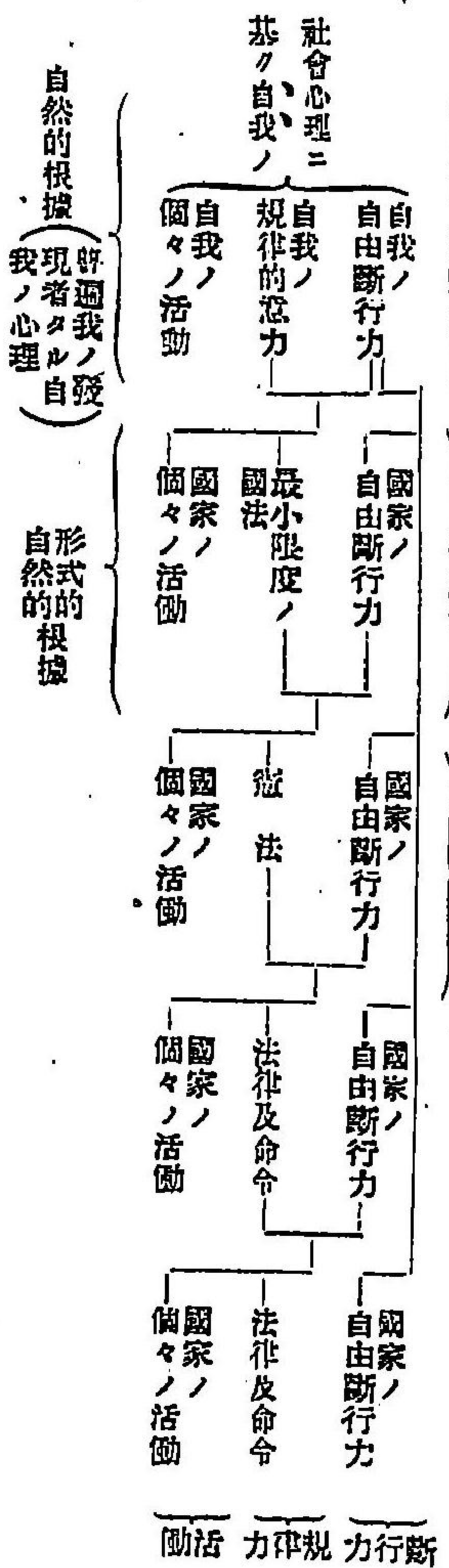
只今マデ申シマシタノハ、一體國法ト云フモノ、大略ドンナモノデアアルカト云フコトヲ一目瞭然タラシムル爲ニ、部分ノ法ニ分チ國法ト云フハ斯様ナモノデアアルト云フテ種々ノ物ヲ並ベテ見タノデアリマス、國家ト云フモノハ何デアアルカト云フト、人類ガ澤山在ツテ土地モ在テ、ソウシテ種々ノ權力ガアルト言ツタノト同ジコトデアリマス、ソウシテ一番終リニハヤハリ事實ニナツテ仕舞フノ

デアリマス、事實ヲ研究スレバ一番終リニハ自我ノ性質ニナツテ仕舞フト申シタガ、ソレヲ一ツ圖ヲ書イテ簡單ニ説明シテ置カウト思フ。

第二款 國法ノ保障

國法ニ對スル最後ノ保障 憲法ニ對スル保障 法律命令ニ對スル保障

第五十圖



我々ノ云フ所ノ憲法ト云フモノハ孰レ後節ニ説明シマスガ、此圖ニテ此處ニアル此憲法ト云フモノニ或事實力ガ加ツテ之ヲ動かストキハ、或ハ個々ノ活動ニナリ或ハ法律命令ニナツテ出テ來ル、憲法ト云フモノダケガ働ク事ハ出來ナイ、憲法ト云フモノヲ動かスカガ出テ來ナケレバ憲法ハ働クナイ、憲法獨リテ種々ナル働クスルノデハナイ、憲法ニ依テ國家ガ働クノデ憲法自身ガ活動スルノデハナイ、例ヘハ憲法ガ條約ヲ結ブノデナクシテ、憲法ニ依テ條約ヲ締結スルモノハ天皇デアル、ソウ云フ様ナ譯デ憲法自身ガ個々ノ活動スルトハ言ヘナイ、活動ヲ生スルノハ憲法ト云フモノニ依テ

働ク所ノ事實力デアル、ソレ故憲法ダケナラ有テモ無クテモ同ジデアル、憲法ハ只一ツノ尺度ト同ジデアル、尺度ハ利用シテ始メテ役ニ立ツノデアル、例ヘハ布片ヲ買フニ尺度バカリデハ役ニ立タナイ、布片ガ出デソレラ度ルノデ始メテ用ヲ爲スモノデアル、辨ニシテモ其通りデアリマス、畢竟憲法ト云フモノニ自由斷行力タル事實力ガ加ツテ來テ始メテ其以下ノ法及ビ活動ガ出來ル、則チ法律ヲ制定スルニモ憲法ニ依テ自由斷行力ガ働クノデ初メテ法律ノ制定トナリマス、ソレカラ又大赦ヲ行フ場合トモ、自由斷行力ガ憲法ニ依テ大赦ヲ行フトキハ個々ノ大赦スルト云フ活動トナル、自由斷行力ガ憲法ニ依テ勅令ヲ出シ法律ヲ定ムル事ガ出來ル、其法律ダノ命令ダノト云フモノニ又自由斷行力タル事實力ガ加ハル場合ニ又他ノ法律命令ヤ其他ノ個々ノ活動ガ出來ル、即チ既ニ出來テ居ル所ノ法律命令ニ依テ其範圍内デ以テ即チ或處分ヲスルト、其處分ハ個々ノ活動デアル、ソレニ反シテ或法律ガ有ル、其法律ヲ補フ爲ニ其法律ニ基イテ命令ヲ出スト云フ様ナ場合ニハ、法律命令ニ自由斷行力タル事實力ガ加ハツテ出來ル所ノ法律命令デアル、所ガ憲法自身ト云フモノハ尙其上ニアル所ノ最小限度ノ國法ト自由斷行力タル事實力トノ子供デアル、要スルニ憲法ニモ阿父サン阿母サンガアツテ憲法ハ一番ノ御先祖様デハナイ。

ソレデ最少限度ノ國法ト云フ意味ハ今假リニ君權國ニツキテ云ヘバ、吾々が彼レハ君主デアルト認メテ居ル場合ニ、吾々が君主デアルト云フノハ生物學上君主ト云フ特別ナル動物ヲ意味スルト云フノデハナイ、君主ト云フモノハ即チ其者ノ命令ニ吾々が從ハナケレバナラヌ其者ガ吾々が支配スルモノデアルト云フコトヲ意味シテ居ル、故ニ君主ガアルト認ムルト畢竟其者ノ言フコトヲキカナケ

レバナラヌト云フ事ヲ皆認メテ居ルコトニナル、ソレガ最少限度ノ國法デアル、之ヲ憲法以上ノ國法トシテ吾々ガ認メテ居ル、例ヘハ一ツノ會ガアル場合ニハ必ずオ互同志ニ世話ヲヤクカ又ハ其間ニ幹事ガアル、幹事ト云フモノハ特別ノ動物デハナイ、幹事ト云フモノハ其會ノ事ニ就テ世話ヲスルモノデ吾々ハ之ハ從ハナケレバナラヌト云フ規律的ノ合成意力ノ保證力ヲ有ツテ居ル、吾々ノ云フ成文又ハ不文ノ憲法ト云フモノガ未ダ出來ヌ頃デモ尙ホ最少限度ノ國法ガアル、此最少限度ノ國法ニ基イテ自由斷行力タル事實力ガ發動スル場合ニ於テ或ハ個々ノ活動トナリ、或ハ憲法ト云フモノヲ生ズル、現ニ日本ニ憲法ガ出來タトキヲ見マスルト、日本ノ憲法ト云フモノハ今ノ憲法ガアツテ出來タノデハナイ、其以前ニ國法ガアツテ其國法ニヨリ吾々ガ天皇ヲ戴イテ居ル、其天皇コレ即チ最少限度ノ國法ト共ニ存在スルモノデアツテ憲法ノ出來ル前ニモ無論存在シテ居ラレタ、此天皇ガ事實力ニ依テ憲法ト云フモノヲ作ツタノデアアル、而シテ此最少限度ノ國法ハ憲法制定ノ後モ常ニ其背後ニ存在シテ居ル、サテ又最少限度ノ國法ヲ自由斷行力ガ動カシテモ憲法ヲ生ゼズシテ個々ノ活動ヲ生ズルニ過ギヌ場合モアル、例ヘハ天皇ガ兵ヲ率イラレテ朝敵ヲ征伐スルト云フコトハ最少限度ノ國法ニ基イテ居ル個々ノ活動デアル、吾々ノ今日ノ憲法上ノ活動デハアリマセヌ、或ハ今日ノ憲法ト云ヒマシテモ非常ナ急ノ場合ニシテ憲法ノ規定ニ從ハズシテ臣民ノ權利ト云フ様ナモノヲ制限スル事ガ出來ル、即チ憲法自身ガ此最少限度ノ國法ニ立戻ルト云フコトヲ豫見スルモノニ過ギナイ、斯ク憲法ニ書イテアルカラ憲法上ト云フテモ宜イノデアリマス、憲法ニ書イテアルト云フテモ憲法ガ自身ニ依ラス事ヲ認メテ居ルモノデアリマスカラ、根本ニ於テハ矢張り憲法以前憲法以上

ノ最少限度ノ國法ニ留意シテ初メテ明瞭ニ説クコトガデキルノデアアル、要スルニ憲法ノ背後ニハ尙最少限度ノ國法ト云フモノガアル、其最少限度ノ國法ノ上ニナツテ來ルト是ハ吾々ノ自由認定ノミヲ以テ説明ノ出來ルモノデナイ、必ず自然ノ事實ニ入ツテ仕舞ツテ即チ人間ノ社會心理ノ研究ニナル、自我ノ研究ニ爲テ仕舞フ、國民ノ歴史ノ研究ニ終了スル、即チ自我ノ自由斷行力ト云フモノハ此圖ノ諸所ニ書イテアル事實力ト同ジ性質力ニナツテ仕舞フ、即チ此諸所ノ事實力ト云フモノハ孰レモ自由斷行力カラ出テ來ル、ソレカラシテ此法律命令、ソレカラ憲法、最少限度ノ國法、皆規律的意力カラ出テ來ル、又個々ノ活動ト云フモノハ孰レノ場合ニ於キマシテモ個々ノ活動デアツテ、吾々ノ生活並ニ國家ノ中ニ起ル所ノ總テノ事柄ハ結局皆活動ニ終ルノデアリマス、如何ナル事實力ト云ヒ、如何ナル法ト雖モ皆個々ノ活動ニ終ルノデアリマス。

以上申シタコトヲ括ツテ申セバ國法ノ基礎ハ第一ニハ自我ノ心理ニ在ル、法ハ社會心理ニ基ク規律的合成意力デアリマシテ畢竟自我ノ心理ニ根據ヲ有スルモノデアアル、又國ハ各個人ヨリ成リ然カモ之ニ超越シテ特殊ノ存在ヲ成ス自主團體デアアル、而シテ自主ト云フコトモ各個人ト云フコトモ、ツマリ第一ニハ自我ノ心理ニ根據シテ始メテ説キ明サル、コトガ出來ルノデアアル、自我ノ心理ヲ離レテハ一步モ進ミ得ラレス、此點ニツキ國法ト云フ事ヲ少シ違フ方面カラオ話し申サウト思フ。

第四款 國法ノ性質

國法ト云フハ勿論國ト關係ガアル、ソレ故ニ先ヅ國ト云フ事ヲ研究シナケレバナラヌ、ソレカラ又法ト云フモノヲ考ヘテ見ナケレバナラヌ、國ト法ヲ合シタダケデ國法ト云フコトハ出來ナイ、國法

ト云フ特別ナルモノヲ研究セネバナラヌ、元來國法ト云フモノハ特殊ノモノデアルケレドモ、國ト云フコトハ何デアルカ、法ト云フハ何デアルカト云フコトヲ研究スルコトガ國法ヲ明ニスル一ツノ要件デアリマス、而シテ國法ヲ明カニスルニハ國ト云フコトヲ明ニシ法ト云フコトヲ明ニスル所以トナル、又國ヲ明ニシ國法ヲ明ニスルハ即チ法ヲ明ニスル所以デアル、斯ウ御互ニ相持テ何處カラ始メテ宜イカ分ラナイ、先ヅ國及ビ法カラ話シマス。

國ト云フコトニ就キマシテハ既ニ述ベテ仕舞ヒマシタ再ビ茲ニ云フ必要ハナイガ、唯諸君ノ記憶ヲ呼ビ起セバ足リテ居ル、歸スル所ハ各個人カラ成ツテ然モ之ニ超越スル所ノ特殊ノ存在ヲ爲ス自主團體デアル、各個人カラ成ツテ居ルケレドモ、單ニ個人ノ集リテナクテ國ト云フ獨立ナ自由力ヲ有テ居ル所ノ活動ノ主體デアル、又法ト云フモノハ社會心理ニ基ク規律的合成意力デアルト云フタラ宜カロウト思フ、此事ハ法學通論ニ於テ申ス積リデアリマスケレドモ、此處デハ極ク簡單ニ申シテ置カウト思ヒマス、先ズ社會心理ト云フコトヲ一寸申シテ置キマス。

社會心理ト云フコトハ詳シク研究シマスルト中々面倒ナコトデアリマス、平ク言ヒマスト各個人自分ダケデ關係ヲ有ツテ居ラヌノハ個人心理デ、吾々ガ他ノ人ニ關係ヲ有ツテ居ルノガ社會心理デアリマス、例ヘバ空腹ニナツタ疲勞レタ寝タイト云フコトヲ考ヘルノハ個人心理デアル、吾々ガ彼奴ハ失敬ナ奴ダトカ、今自分ノ友達ハ何ウシテ居ルカト考ヘルノハ社會心理デアル、何故ナレバ外人ヲ相手ニシテ居ル場合デアルカラ社會心理デアル、孰レニシテモ自我ノ有ツテ居ル所ノ心理ニ相違ナイ、一體各人ハ別ノ様デアリマスケレドモ、別デナクシテ一ツノ同體デアリマス、ソレガ爲ニ

有ツテ居ル所ノ心理デアル、例ヘバ松樹ニシテモ松ノ種ガゴボレテ他ノ松ガ出來テモ矢張松デ同ジデアリマス、人間デモ其通同シ親カラ出テ來テ居ルノダカラ同シ人間デ猿デハナイ、或人ニ對シテ或事ヲ引受クレバ其事ヲスル、即チ同シモノデアルカラ相待テ活動シテツマリ一ツニナルト云フ心ノ働ヲ有ツテ居ル、其一ツニナルト云フ心ノ種々ノ働ハ即チ社會心理デアリマス。

規律的合成意力ト云フモノハドウ云フモノカト云フト、尺度或ハ定木ニナル所ノ一ノ種類デアル、銘々使用スル意思ノ尺度デアル、規矩準繩ニナツテ居ル意思デアル、其部分ノ意思ガ現ハレテ法ニナル、デアルカラ事實上吾々ガ何ウシヤウト云フノデハ規律的ノ意力シヤナイ、例ヘバ學校ガ濟ンダカラ歸ラウト思フノハ只自由斷行力トシテノ意思ニ過ギナイデアリマス、規律的ト云フノハ尺度ノ意思デアル、例ヘバ友達ノ所ニ遊ビニ往ツテ宿マレト言ツテモイヤ夜ハ歸ルト云フコトニ極メタカラ歸ルト云フ其歸ルト云フコトヲ自分デ規律的ノ意思力トシテ定メテアルカラニハ、歸ルマイト思ツテモ歸ラナケレバナラヌト云フ規律力ノ方ニ引張ラレテ仕舞フ、勿論所謂尺度ト云フモノハ死物デアリマスカラ尺度自身ニハ力ガアル譯デハナイ、規律的ノ意力ト云フノハ自我内部ノ意思ノ力デアル自我内部ノ力ヲ以テ始メテ自我ノ自由斷行力ヲ働カシ規律シ得ルモノデアリマス、斯ウ云フ様ナ譯デ國法ト云フモノヲ説明スル上ニ於キマシテ、先ヅ國法モ法デアリマスカラ法ノ要件ト云フモノニ着眼シテ、ソレカラ國法ノコトヲ述ベテ置キマス。

即チ合成意力ト云フ合成ノ仕方ニ付テ國法ト云フモノハドウ云フ意味ガアルカ、或ハドウ云フ種類ガアルカト云フ事ヲ一方カラ見ルコトガ出來ル、國法モ法デアル以上ハ合成意力デアルカラ、合成

ト云フコトニ着眼シテ之ヲ論ズルコトガ必要デアル、或ハ國法ト云フモノハ規律的意力デアル、規律的意力デアル以上ハ先ツ茲ニ(イ)意思者ノ間ノ資格ニドウ云フ關係ガアルカ、(ロ)意思ノ發動ノ關係ノ事實ハドウ云フモノデアルカト云フコトニナリマス、規律的意力ト云フハ自分ダケデ人ニ關係ガナクシテ一人デ以テドウ云フ風ニシナケレバナラヌト云フダケデハ社會心理ト云フコトハ意味ヲ爲サナイ、社會心理ニ基ク規律力ト云フノハ他人ガアツテ始メテ存スル規律的意力デアル、何時デモ他ノ者ト云フコトガ伴ツテ居ル、一ツノ活動主體ガ必ズ他ノ人間トノ間ニ生スル所ノ關係ニ付テ意思發動ヲ規律シナケレバナラヌコトデアル、從ツテ一ノ意思者ト他ノ意思者トノ間ノ資格ノ關係ガ出テ來ル、(イ)ソレカラ此(ロ)ノ方ニ於キマシテハ、其間ノ意思發動關係ノ性質ガアル、サテ雙方ノ間ノ資格關係ハ國法ニ付テハ如何デアアルカ、又活動者間ノ意思發動ノ性質ニツキ國法ト云フモノハドウ云フ性質ヲ有ツテ居ルカ、或ハソレニ付テ國法ハドウ云フ種別ガアルカト云フコトヲ研究スル必要ガアル、其爲メニハ先ツ公法ノコトヲ論シナケレバナラヌ、第二款ノ公法ト云フモノヲ考ヘテ觀ルト國法ト云フコトが大變明ニ解ルノデス、此公法ト云フモノハ此要件ノ中デ(イ)ヲ中心トシテ説明スヘキモノデアアル、公法ニ對シテハ私法ガアル、ソレハ意思者ノ資格關係ニ基イテ分ルコトノ出來ルモノデ、又ソレヲ中心トスルノガ一番根本的デアアル。

(以上第三回附論)

第二節 公法

第一款 總說

凡ソ吾々ガ社會ニ於テ生活シテ居ル間ニ、公デアルトカ、私デアルトカ言フコトヲ始終申シマス、

法律ノ上デナクシテ一般普通ノ活働ノ上ニ公トカ私トカ言ヒマス、此社會現象中ノ法律現象ノ上ニ於テモ公法的現象ト云フモノガアリ、又私法的現象ト云フモノガアル、社會現象全體ノ上デハ一般ニ公ト云フコトト私ト云フコトトノ區別並ニ其間ノ關係ガ大切デアアルガ如クニ、法律現象ノ上デハ私法現象ト公法現象トノ區別、並ニ其關係ト云フモノガ大切デアリマス、在來法ノ上ニモ公私ト云フノ區別カアルダロウト云フコトニ段々氣ガ付イテ來マシタ、色々法律現象ト云フモノガ段々發達シテ來ルニ連レマシテ、法ノ色々ノ方面ガ分岐發達シテ、從ツテ公法ト云フ方面ト私法ト云フ方面ト二ツノ方面ガアル、總テノ法律現象ガ或ハ公ノ方面ニ現ハレ、或ハ私ノ方面ニ現ハレルモノダロウト云フコトニ段々氣ガ付イテ來マシタ、ケレドモドウ云フモノガ公ノ法デアアルカ、ドウ云フモノガ私ノ法デアアルカト云フコトハ今マデ色々ノ論ガアリマシタケレドモ、マダ法律論トシテ完全ノモノヲ聞キマセヌ、或ハ公益ト私益トノ區別ヲ標準トシテ公益ニ關係スル所ノ法律現象ハ公法的現象デアアル私益ニ關係シテ居ル法律現象ハ私法的現象デアルト云フ様ナコトヲ言ツテ居ル者モアル、ケレドモ既ニ此公益トハ何デアアルカ、私益トハ何デアアルカ、實ニ公私ト云フ分ラヌモノガ這人ツテ居リマスカラ、公法ト云フエラ説明スルニヤヲ以テ説明シ私法ト云フエラ説明スルニヤヲ以テ説明シタナラバソレハ一向役ニ立タナイ、人間ハ何ダ、人間ハ己レノ様ナモノダト云フ様ナモノデ、己レノ様ナモノガ何ダカソレヲ聞キタイノデアアル、己レノ様ナモノトハ何デアアルカト云フコトニナリマスルト尙ホ一層分ラナクナル、ソレカラ或ハ御承知ノ通り權力關係トソウデナイ關係トノ區別ヲ以テ法ヲ公私ニ分クルコトガ出來、公法ト云フモノハ權力關係ヲ規定シテ居ル法デアリ、公法的現

象ト云フノハ權力關係ニ依テ生シテ居ル所ノ法律現象デアアル、之ニ反シテ私法ト云フノハ權力關係以外ノ、(或ハ權利關係ト云フ様ナ解ラナイ言葉ヲ以テ云フ人ガアリマスガ之レハ宜シクナイ)對等ソ力ノ關係ヲ規定シテ居ルモノガ私法デアツテ、ソウシテ之ヲ實質トシテ居ル法律現象ガ私法的現象デアアルト云フ様ナコトヲ言フ人ガアリマス、ケレドモ權力トハ何デアアルカ、權力トハ何ダカ一向分ラヌカラ困ツテ仕舞フ、權力ト云フコトヲ研究シタ上デナケレハ矢張ソレモ分ラナイコトデアリマス、例ヘハ此處ニ梅ヶ谷ト禪擔ギノ相撲取トアルト、禪擔ギノ者ハ梅ヶ谷ニハ到底敵ハナイ、雷ニ梅ヶ谷ニ腕力ガ及バヌノミナラズ外ノ事ニツキテモ梅ヶ谷ガ常ニ優勢ノ地位ヲ占メテ居ル、此腕力ナラヌ優勢ナル力ハ即チ梅ヶ谷カ末輩ニ對シテ權力ヲ有スルト云フコトデアアル、或ハ梅ヶ谷ヨリ腕力ハナイケレドモ、彼高砂浦五郎ト云フ様ナ人ニ對シテハ梅ヶ谷モ到底勝ツコトガ出來ナイ、梅ヶ谷カ相撲ヲ取ル前ニ既ニ高砂ノ前ニ頭ヲ下ゲテ仕舞フ所ヲ見レバ高砂ハ餘程力ガナケレバナリマセヌ、此力ハ即チ權力デアリマス、或ハ丁稚ガ主人ノ前ニ行ツテ頭ヲ下ゲル、ソレモ主人ノ權力デアアル、又巡查ガ道路ニ立ツテ居テ通行人ニコラコラ左側ヲ通ラナケレバナラヌト云フト通行人ハ左ノ方ニ參リマス、是モ巡查ガ權力ヲ有ツテ居ルノデアアル、權力トハ斯様ノモノデアアル、此權力ガ一體何ダカ分ラヌ以上ハ、權力ト云フ言葉ヲ無關ニ用ヒテモ充分ニ説明シ得タモノトハ思ハレナイ、或ハ又國家ト人民トノ關係ヲ規定シタル法ガ公法デアツテ、人民相互ノ關係ヲ規定シタルモノハ私法デアアルト云フ様ナコトヲ言ヒマス、是モ同ジク全く間違ツテ居ルト云フ譯デハナイケレドモ、ドウモ淺薄極マル言ヒ方デアアル、然シ枝葉ノ點ニツキ其缺點ヲ申セバ、國家ト人民トノ間ノ關係ヲ規定

スルモノデモ私法ノコトガアル、ソレカラ國家以外ノ團體ト人民トノ間ノ關係ヲ規定スル法デモ矢張私法ト觀ラレナイモノガアル、斯クノ如キハ前ノ國家ト人民トノ間ノ關係ヲ規定シタルモノガ公法デアリ、人民相互ノ關係ヲ規定セルモノヲ私法デアアルト云フ説明ガ不充分デアアルト云フ一ツノ證據ニナルノデアリマス、不完全ノ色々ノ説ヲ陳列シタ所益モナイコト、陳列シテ其内ヨリ虫ノ好イタモノヲ買ヒ取ルナドハ研究法ノ宜シキヲ得タモノデナイカラ、夫レ故以下ドウ云フ風ノ點カラ觀タラ宜カラウト云フコトヲ根本ヨリ説明シヤウト思ヒマス。

此社會現象ト云フモノハ段々煎ジ詰メテ見マスト云フト、自我ト云フモノトソレカラ絶對我普遍我、此三ツノ方面カラ觀察シテ行ツテ説クコトガ出來ルノデアアル、ケレドモ此三ツノモノノ内部ニ存スルトコロノ種々ナ力ハ複雑デアアル、又其力ノ關係モ色々複雑ニナツテ居リマス、今公法私法ノ區別ノコトヲ明カニスルニハドウ云フ方面カラシテ此モノヲ研究スルノガ必要カト云ヒマスト、全部一部ト云フ點ニ付テ此モノヲ觀察スルコトデアリマス、ソウスルト斯ウ云フコトニナル、公法ト云フモノハ全部タル活動ノ主體ト其部分タル活動ノ主體トノ相互ノ活動ノ關係ヲ規定スル法デアアル、ソレカラソレト異ナツテ全部タル活動ノ主體相互ノ間ノ活動ノ關係ヲ規律スル法ガ私法デアリマス、是ヨリ全部ト一部ト云フコトニ付テ先ヅ簡單ニ説明シマシテ然ル後ニ又自我、普遍我、絶對我ニ付テ一々稍詳シク説明シヤウト思ヒマス、若此公法私法ノ異ナル點ガ御解リニナリマスレバ、管ニ其區別ノ標準ガ明カニナツタバカリデナク、國法全部ニ通ジテ國法ト云フモノハ此様ナモノデアアル、從ツテ吾々ガ國家ノ現象ニ對シテハドウ云ウヤウナ地位ニアアルカト云フコトガ大變ニ明カニナ

ツテ非常ニ有益ナコトデアロウト思フ。

第二款 全部一部ノ資格

活動ノ主體ト云フモノハ絶對我ヲ除クノ外ハ皆全部ト云フ資格ト、一部ト云フ資格デアルト云フコトヲ御話シテ見ヤウト思フ、獨リ絶對我ニ至ツテハ是等反對ノモノガ皆一ツニナツテ仕舞ヒマス、如何ナルコトデモ絶對我ニ行キマスト皆一ツニ歸シテ仕舞ヒ、全部一部ノ資格モ絶對我ニ於テハ別々ニナツテ出テ來ナイ、ケレドモ他ノ活動ノ主體デアラナラバ、自我ハ勿論如何ナル程度ニアル普遍我デモ皆全部トシテ觀レ場合ト一部タル資格トシテ觀ル場合ト、二ツノ資格が存在シテ居リマス、先ツ自我カラ申シテ見マス。

第一項 活動ノ主體ハ皆全部一部ノ資格ヲ具有ス

第一 自我

自我ト云フモノハドウ云フモノカト云フト、御承知ノ通りニ諸君ハ自分ト思ツテ御在デニナルソレガ自我デアリマス、ソレデアルカラ私ガ名ヲ呼ベハ返辭ヲ必ズ爲サルシ或ハ是ハ面白イト思ツタリ或ハ是ハ變ナコトヲ言フト思ツタリスルノガ、ソレガ自我デアリマス、自我トハ何ダカ分リマセント思フ人アラバ其疑フ者ガ自我自身デアアル、若シ何モ思ヒモ疑ヒモセヌ土瓶ニ、自我トハ何ンナモノデアルト何程説明シテモ到底説明ガ出來ナイ、分ラヌト云フ土瓶ニ何程言葉ヲ掛ケテ自我ヲ分ラセ様トシタ所デソレハ無理ナコトデアアル、自分ガ解ラヌト思ヒ、又人ニ解ラヌト云フ者ガソレガ自我デアリマス、ソレヨリ他ニハ分ラヌ、一體トシテ事デモソウデス、定義デアロウトモ結局自分デ

以テ心ニ思ツタコトヲ土臺ニシテ、其土臺ノ上ニ其思ヲ發展セシムルモノニ過ギナイ、何モ思ハヌ何モ解ラヌト云フモノガアツタラ幾ラ之レニ説法シテモ人形ニ講釋スル様ナモノデアアル、何程精細ニ定義ヲ述ベタ所デ無駄ナ話デアアル、此黑板十瓶ニ對シテ何程定義ヲ話シテ聞セタ所デソレハ役ニ立タナイ、諸君ハ自我ナレバコソ三年間ニハ學校ヲ卒業シ得ル、此黑板ハ學校成立以來講義ヲ聞イテ居ツテモ未ダ一年級ヲ修業シテ二年級ニサヘナレハセヌ、法律トカ國家トカサヘ立毎日聞イテ居テモ了解セヌ。扱テ其自我ト云フモノハ先ツ全部ト云フ資格ヲ有ツテ居リマス、モウ少シ詳シク申シマス、獨立全部者デアリマス、何故獨立全部者ダト仰ツシヤツテモソレハ今申シタ通りノ譯デ何程説明シテモソレハ解ラヌ、自分ガ獨立全部者ト思ツテ居リマスカラ、ソレデ獨立全部者ニナルノデアリマス、自分ガ往カウトカ、自分ガ解ラヌトカ、ソレハ何故ト言ハレテモ是レモ説明ヲ決シテ悉シ得ルモノデナイ、ナレドモ自分ガ獨立シテ居ル全部者ト云フコトハ大抵ノ人ハ、御思ヒニナルダロウト思フ、大抵自分ガ一人チヤント獨立ノ全部ノ人デアツテ、右シヤウトスレバ右スル、左シヤウト思ヘバ左スル、自我ハ斯ク獨立全部タルト同時ニ何時デモ自分ヲ統括スル全部ノ分子デアリマス、即チ部分デアリマス、此方ガチヨット解リ悪イノデアリマス、自分ガ獨立全部者デアツタ以上ハ分子デハ無ササウニ思ハルルノデアリマス、ソレガ人間ノ極ク微妙ナル所デアアル、遠ツテ居ル如クニシテ又一ツナル所ガ人間ノ妙ナル所デアアル、全部タルコトト一部タルコトト決シテ衝突シナイノデアリマス、一ツ例ヲ出シテ申スト、茲ニ親ガアツテ、ソレカラ二人兄弟ガアル、同ジ親カラ二人ノ兄弟ガ出テ來マシタ、出テ來マシタトキニハ此親子兄弟皆獨立全部者デアリマス、既ニ親

ト云ヒ兄ト云ヒ、弟ト云ヒ、皆三ツノ獨立全部者ガ居ル譯デアリマス、ケレドモモウ一步進ンデ考ヘテ見ルト、同ジ所カラ出タ者ガ違フモノデアアル筈ハナイ、ソレ故ニ能ク考ヘテ見ルトキニハ此者ガ互ニ話ヲスレバ解ルノデアアル、一人ガ暑イト思ヘバ他ノ者モ暑イ、一人ガ一ツト思ツタトキニハ他ノ者モ一ツト思ツテ居リマス、或ハヨシヤ差シ當リ考ヘ方ガ違フテモ、段々話シ合フテ見レバ必ず一致シ得ルモノデアアル、若シ全然違ツタモノデアツテ其一人ガ一ツト思ヘバ他ノ人ハ一ツト思ヒ、又他ノ一人ハ半分デアルト思ヒ、何程話シテモ一致セヌラバ大變デアアル、本來斯様ニ違ツテ居ルナラバ、此間ニ話ヲスルトカ思想ノ交換ヲスルトカ云フコトハ全然出來ル氣遣ヒハナイ、程度ガ全ク違ツテ居レバ無論出來ナイ譯デアリマス、差當リ規定ノ程度ガ違ツテ居テモ話ガ出來ヌ、例ヘバ兄ノ方ハ法律學ヲ研究シテ居ル、弟ノ方ハ大工ニナツテ居ル、モウ一人弟ガアツテソレハ醫者ニナツテ居ル、初メハ違ツタ事ヲセズニ中學等ヘ行ツテ居ル中ニハ皆ナ同ジデアリマシタ、鳥渡手真似カ何カスレバチャント解ルノデアリマス、所ガ一方ハ法律家デ一方ハ大工デ一方ハ醫者デアツタ以上ハ、其事ニ付テハ話ガ通ジナイノデアリマス、法律家ハ何ダカ話ガ六ヶ敷クシテ他ノ二人ガ聞イテハ理窟デ以テ解スルコトガ出來ナイ、理窟ナドヲ言フノハ無用ノ長物デアルト思ツテ居ル、又一方ノ大工トナルト何ダカ彼レハ妙ナ木ヤ鐵ヲ以テ妙ナ物ヲ造ツテ居ツテ、人間ダカ自分ガ鐵材ヤラ木材ヤラ分ラヌ様ナ譯デ何ダカ妙ナ計算バカリシテ居ル變ナモノト思ツテ居ル、又醫者デモソウデアアル、醫者ガ妙ナコトヲ言フケレドモ何ダカ話ガ解ラヌ、所ガ法律家ハ法律家同士ナラバ其話ガ通ズル、又大工ハ大工同士ノ間デハ能ク解ル、又醫者ノ間デハ話ガ能ク通ズル、ソレハ互ニ同シデア

ルカラコソ能ク話ガ解ルノデアアル、私ガ此處デ話ヲシタカラト云ツテ諸君ナレバコソ解ツテ下サルケレドモ、是ガ醫者カ工學者ナレバ餘程六ヶ敷イノデアリマス、モツト譯ク言ハナケレバハ解ラヌカモ知レヌ、ソウ云フ様ナ譯デ差當リ發達ノ程度ガ違ツテ居テモソウ云フ様ニ解ラヌカモ知レヌ、ソレデアアルカラ根本カラ違ツテ居ツタナラバ全然其間ノ交通ト云フモノハ解リ得ル筈ガナイ、斯ノ如クニシテ吾々ハ銘々獨立全部者トシテ差別ノアルモノト思フケレドモ、其實又他ノ方面ニ於キマシテハ各々全部一部デアツテ皆土臺ヲ成シテ居ル、即チ無差別デアアル、要スルニ自我ハ一方ニ於テハ獨立全部者デアルケレドモ又同時ニ他ノ方面ニ於テハ已レヲ統括スル部分ノ分子ト云フ資格ヲ以テ居ルノデアアル、デ或ハ分子ト云フ資格ニ於テ活動ヲスル場合モアルシ、或ハ獨立全部者ト云フ資格ニ於テ活動ヲスル場合モアル、ソウ云フ場合ノ異ナルニ依テソレヲ規律スル所ノ法モ亦或ハ公法ト言ハレ、或ハ私法ト云ハル、ノデアリマス。

第二 普遍我

普遍我ト云フモノニ程度ガ無數ニアル、自我ト絶對我トノ間ニ於テ普遍我ト云フモノ、程度ハ無數ニアリマス、極ク解リ易イ例ヲ出シテ見マスルト、一家ト云フモノハ一ツノ普遍我デアリマス、或ハ一ツノ地方團體ノ如キ、東京市トカ何村トカ、或ハ何郡トカ、何縣トカ云フ様ナモノハ一ツノ普遍我ト觀ルコトガ出來マス、ソレカラ一ツノ國民モ普遍我デアアル、或ハモウ少シ廣ク言ヒマスルト蒙古人種トカ、ゲルマン人種トカ言ヒマスノモ、其人種ト云フモノモ矢張普遍我デアアル、又人類ト云フノモノ一ツノ普遍我デアアル、澤山ニ程度ガアリマスケレドモ、其普遍我ト云フモノモ自我ト同ジ

様ナ工合ニ、一方ニ於テハ獨立全部者ト云フ資格ヲ有ツテ居ル、他方ニ於キマシテハ已ラ統括スル全部ノ分子デアルト云フ資格ヲ有ツテ居ル、二ツノ方面ヲ有ツテ居ル、デソレハ自我ノ場合ニ付テ述ベタコトヲ推シテ考ヘテ下サルト解リマスガ、其詳シイ事ハ先キニ行ツテカラ説明シヤウト思ヒマス。

第二項 全部一部ノ資格ハ關係的ナリ

今此場合ニ於キマシテ前ニ述ベタ自我ト云フモノヲ普遍我ト比ヘマシテ、ドウ云フ場合ガ全部ト一部トノ關係ニナリ、ドウ云フ様ナ場合ガ全部ト全部ノ關係デアルト云フコトヲ考ヘテ見マス、斯ウ云フ様ナ事ガ言ヘルダロウト思フ、

此處ニ一ツノ自我ガアリ、此處ニ又他ノ自我アル、一方ハ甲ト云ヒ一方ハ乙ト云フ、此甲ト乙トノ間ニ互ヒノ獨立全部者トシテ生ズル關係、例ヘバ乙ガ甲カラ物ヲ借リル、ソウスルト乙ガ後ニ甲ニ其物ヲ返ヘシテ遣ラナケレバナラヌ、ソウ云フ關係ヲ定メテ居ル所ノ法ハ私法デアリマス、詰リ雙方トモ獨立全部者デアツテ、獨立全部ト云フ資格ヲ以テ生ジタ關係ヲ規律シテ居ル所ノ法デアルカラ私法デアアル、或ハ賣買デモ同ジ事デ、例ヘハ丙ト云フ者ガ居ツテ、甲ト云フ者カラ物ヲ買フトスルト、甲ニ金ヲ拂ツテ遣ル、而シテ甲カラ品物ヲ受取ル、其關係ハ各々獨立全部者トシテ惹キ起スノデアアル、サレバ私法ノ關係デアアル、即チ吾々ガ物ヲ買フニソレヲ公ダト云フ事ハ雖モ言ハナイ、或ハ金ヲ貸シタ場合ニテモ一方カラ君返シテ呉レト云フ、各々獨立全部者デ無クシテ皆同ジ者デアリマスナラバ、君返シテ呉レト云フ必要ハナイ、畢竟自分ト違ツテ居ル所ノ獨立全部者ダト思ツテ居ルカラ、君返シテ呉レト請求ガ出來ル、所ガソウ云フ場合デ無クシテ甲ト云フ者ガ自分ノ事

デ無クシテ、其居ル所ノ村ノ爲ニ奔走シテ居ル、ソウシテ乙ニ行ツテ云フニハ僕ハ村ノ公ノ爲ニ奔走シテ居ル、又丙ニモ自分ハ村ノ公ノ爲ニ奔走シテ居ル、ソレデアルカラ自分ノ云フ事ヲ聞イテ呉レ、自分ヲ助ケテ呉レト云フ様ナコトヲ言ツテ居ル、外ノ者モ皆是ヲ認メテ、甲ハ村ノ公ノ爲ニ働イテ居ルノデアアル、甲ハ自分ノ私ノ爲ニ運動シテ居ルノデハ無イト思フテ居ルソレハ公デアアル、又甲ト乙ト丙ト云フ者ハ各々獨立全部者トシテ自分ノ仕事ヲシテ居ル場合ニハソレハ私ノ仕事ヲシテ居ルノデ、從テ私ヲシテ居ル事ノ關係ヲ定メテ居ル法ハ私法デアアル、然ルニ此甲乙丙ト云フ者ハ同一體ヲ成シテ居テ、元來差別ガ無イト云フ考カラ、オ互ガ活動スル場合ハ其活動ハ公ノ活動デアツテ其統一の團體タル全部ト、ソレカラ其分子タル甲ト又ハ乙トノ關係ハ公ノ關係デアアル、然ルニ此處ニモウ一ツ他村ガアル、此甲ト云フ人間ハ自分ト云フコトヤ乙ヤ丙ト差別ヲ考ヘズ同一體ヲナセル村ト云フモノ全部ノ爲ニ活動シテ居ル、所ガ其村ト他ノ多クノ外ノ村ヲ統括スル所ノ一ツノ郡ナラ郡ト云フモノガアル、若シ此ノ郡ノ眼カラシテ見マスルト云フト、此甲ト云フ者ガ頻ニ自分ノ村ノ爲ニ奔走シテ居ルト云フ事ハ、郡カラ見ルト云フトソレハ其村ノ私デアルト云フ事ガ出來ル、甲ノ居ル村ト云フモノヲ標準トシテ見マスル時ニハ、ソレハ甲ト云フモノハ其村ノ公ノ爲ニ奔走シテ居ルト云フ事ハ言ヘルケレドモ、自分ノ村ノ爲ニ奔走シテ居ル事ハ郡ノ眼カラ見マスト唯一村ノ私ノ爲ニ働クモノニ過ギナイ、尙ホ又他ノ村ガアルノデスカラシテ、ソレ等ノ村ヲ悉ク引續メテ仕舞テ、總テノ各村全體ニ亘ル事デナケレバ公ト云フ事ハ出來ナイ、所ガ郡全體ニ亘ル事デアツテモ他ノ郡ノ云フモノヲ澤山合セテ統括シテ居ル所ノ府縣ト云フ眼カラ見マスルト、尙ホソレ

ハ二郡ノ私ニ過ギナイ、又全郡ヲ悉ク統括シテ居ル所ノ府縣全體ノ爲ニ盡スノヲ以テ始メテソレガ公ト云事ガ出來ル、モウ一步進ンテ一ノ府縣ノ爲ニミ盡スノハ凡テノ府縣ヲ統括シテ居ル所ノ國家カラ見マヌルト、ソレハ一府縣ノ私デアツテ、未ダ國家ノ公ト云フ事ハ出來ナイ、總テノ府縣ニ通ズル所ノ活動即チ國家全部ト云フモノ、爲ニスル活動ハソレハ國家全體ニ通シテ居ル所ノ公デアツテ、又國家全體ノ活動ヲシヤウト云フ行ヒハ公ノ活動デアリマス、從ツテソウ云フ活動ノ關係ヲ定ムルノハ公法デアル、ケレドモモウ一步進ンテ他ノ國家ヲ統括スル所ノ國際團體ト云フモノノ眼カラ見マヌト一國ノ活動バカリ心配シテ居ル者ハ一國ノ私ヲ計ツテ居ルモノデ、未ダ國際團體ノ全部ノ公ヲ計ツテ居ルト云フ事ハ出來ナイ、此ノ如クニ何程進ンデ行ツテモ際限ハ無い、モウ一步進ンデ言ヒマヌルトキニハ生物全部ノ爲ニスル活動デナケレバソレハモウ國際團體ヲナセル人類ノ私ニ過ギナイト云フ事ガ出來ルカモ知レナイ、又人類ノ私ニ過ギナイト云フ事ガ出來ルカモ知レマセヌ、吾々ノ生活ノ發達ノ上カラソナ事ヲ言フノハ大變ニ迂遠ニナツテ居ルケレドモ、其理由ハ追々後ニナツテ解ルト思ヒマス、愈々進ンデ絕對我ニ參リマヌト、絕對我全部ノ爲ニスル所ノ活動ト云フモノハソレハ絕對我ノ爲ニスル所ノ公ノ活動デアリマスカラシテ、其絕對我以外ニハソレヲ統括スル獨立全部者ガアリマセヌカラ、此處ニ至ツテ絕對我ノ爲ニスル所ノ活動ハ私ノ活動ニ非ズ常ニ公ケノ活動デアリマス、絕對我ト云フモノノ以外ニハ何ニモナイノデスカラ、絕對我ノ爲ニスル所ト云フ働キガ尙ホ私ノ活動トシテ見ラレ得ルト云フ場合ハナイ、斯ウ云フ風デアリマスカラ公ト私ト云フ事ハ皆着眼點ニ依テ、或ハ公ト言ハレ、或ハ私トモ言ハレ

ルノデ、事柄ガ違フノデモ何デモ無い、唯見方ガ違フノデアル、同一ノ事柄デアツテモ國家ト云アモノカラシテ見ル時ニハ尙ホ私デアツテ、一ツノ小サナル地方團體カラ見ルトキニハソレガ公デアル場合ガアル、或ハ一ツノ地方團體カラシテ見ルト一家ノ私デアルト云フ場合デアツテモ、一個人カラ見レバ是ハ自分ノ家ノ公デアツテ自分一個ノ私デハナイ、ソウ云ヘル場合ガアル、唯全部ト一部ト云フ事ノ關係ニ依テ公ノ關係デアル、若クハ私ノ關係デアルト云フコトガ定マツテ來ルノデアリマス、一寸着眼點ガ違フト云フ事ヲ一ツ例ニ出シテ見ルト云フト、公ト私ト云フコトハ恰モ東ト西ト云フ事ノ區別ノ様ナモノデアル、今吾人ハ日本ハ世界ノ極東ダト思ツテ居ルガ、モット先キへ行クト日本ハ西ニナル、而シテ其地ヨリ先キニ未ダ幾ラモ東ガアル、東へ行ツテ見ルト今マデ居ツタ所ガ皆西ニナツテ仕舞フ、又東京ハ東ダト思ツテ居ルケレドモ、モット東ノ方ノ仙臺ニ行クト東京ハ西京ト云ツテモ宜イカモ知レヌ、又向フノ日本大學ノ吾々ヨリ見テ東ノ方ノ門ヲ東門ト言ツテ居リマスケレドモ、日本大學ノ向側ノ家ヨリ見レバ西門ト云ツテモヨサ、ウナモノデ西ニナツテ居リマス、サレバコソ天王寺ノ西門石ノ鳥居モ弱法師ヨリ見レバ極樂ノ東門トナルコトワリデアアル、ソナ機ナ風デ自分ノ目ノ付ケヤウデ同ジモノガ公ニ見ヘタリ私ニ見エル譯デ、根本カラ言ヒマス時ニハ結局皆絕對我ノ活動ニ歸シテ仕舞フ、ソレデ國家ト云フモノヲ中心トシテ國家ト云フモノト個人トノ關係ハ公ノ關係デアル、個人ト個人トノ關係ハ私ノ關係トデアル云フ事ハ一向淺薄ノ申シ方デアアルコトガ分ル、或ハ公ノ利益ダトカ、私ノ利益ダトカ云フ様ナ事ヲ申シマシテ、何か公ノ利益ト云フモノガ特ニ存在シテ居ルガ如クニ思フ、又私ノ利益ト云フ事ハ何かソウ云フモノガ在在シ

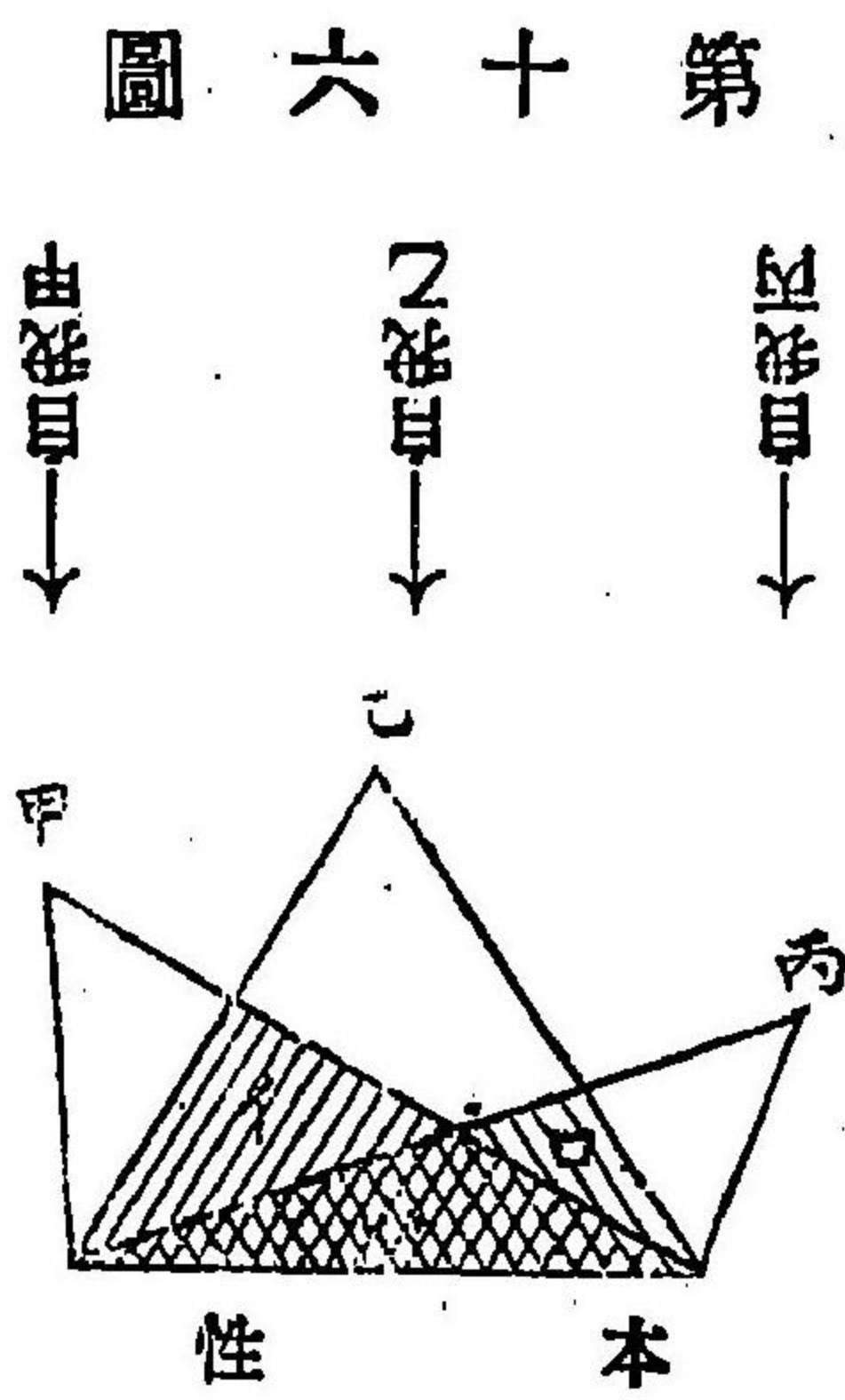
テ居ルカノ如クニ思ヒマスノハ、ソレハ間違デアロウト思ヒマス、
 終リニ一寸附加シテ置キマスガ、斯ノ如クニ申シマシタノハ自然ノ事實ノ上カラ申シタノデアリマ
 シテ、國法ガ之ヲ利用シテ自由色々ノ制度ヲ定メ、公トカ私トカ云フコトヲ杓子定規ニ定メテアリ
 マス、其杓子定規ニ極メテアル點ハ已ヲ得ズソレニ從ハネバナラヌノデアリマスケレドモ、杓子定
 規ニ極メヤウト云フ所ノ本質ハ今述ベタ所ノ様ナモノデアリマス、又自由ニ法ヲ以テ公私ノコトヲ
 明カニ定メヤウトスル人ハ本質ノ何タルヲ心得テ置カネバナラヌ、

第三款 活動ノ主體

第一項 絕對我

先キニ行ツテカラ憲法上ノ活動ノ主體ノ事ヲ述ベマスガ、此所ニ於キマシテハ自然ノ事實トシテ活
 働ノ主體ト云フモノハドウ云フ様ナモノデアアルカト云フ事ヲ述ベテ置カウト思フ、而シテ全部ト一
 部トノコトモモツト明ニシヤウト思ヒマス、ソウスルトキハ權力ト云フヤウナ問題ヲ解クコトモ甚
 ダ容易デアリマス、
 先ヅ第一項トシテ絕對我ト云フコトヲ述ベマス、絕對我ト云フモノハ色々ナ方面カラシテ言フ事ガ
 出來マス、ドノ方面カラ言ツテモ差支ナイ、結局歸スル所ハ一ツニナツテ仕舞フ、先程申シマシタ
 如クニ、各人ハ皆同ジダト云フ事ヲ申シマシタ、同ジデアナルナラバ同ジモノガ十人寄ツテモ百人寄
 ツテモ皆同ジデアアル、同ジモノガ何程集マツテモ違フモノガ出來ル氣遣ヒハナイ、皆同ジデアリ
 マス、即チ御互ニ吾々ガ見合セテモ皆人ニ違ヒナイ、又他人者カラ見テモ互ガ皆人デアアル、銘々

自分デ他人者ヲ見テ人ダト思ツテ居ル、ソウ云フ様ナ譯デ、結局皆ガ自分デアツテ自我デアツテ、
 同時ニ又皆人デアアル、私モ自我デアアル、ケレドモ人デス、矢張り諸君モ皆自我デ矢張り人デス、自
 我ト云フト何ダカ違フ様ニ思ヒマスケレドモ、或ハ人ト云フ點カラ見ルト銘々皆同ジモノデアリマ
 シテ、其同ジモノデアアルト云フノヲ絕對ニ廣キ範圍ニツキテ言フテ見レバ絕對我ト云フモノニナル
 或ハ語ヲ換ヘテ言ヒマストキハ、自我ヲ無數ニ澤山寄セ集メテソレヲ統括スル所ノモノハソレガ絶
 對我デアアルト言ツテモ差支ナイ、此説明デ



ハ未ダ不承知トナラバ或ハ絕對我ト云フモ
 ノハ自我ノ一番ノ御先祖デアアルトシテモ宜
 シ、尙他ノ説明ヲ求メラルトナラバ、
 絕對我ト云フノハ自我ノ有ツテ居ル本性デ
 アルト云ツテモ差支ナイ、一番深イ所ノ本
 性ソレガ絕對我ト言ツテモ差支ナイ、

ロ、ソ、カ、ク、ノ、性、本、性、本、性、本

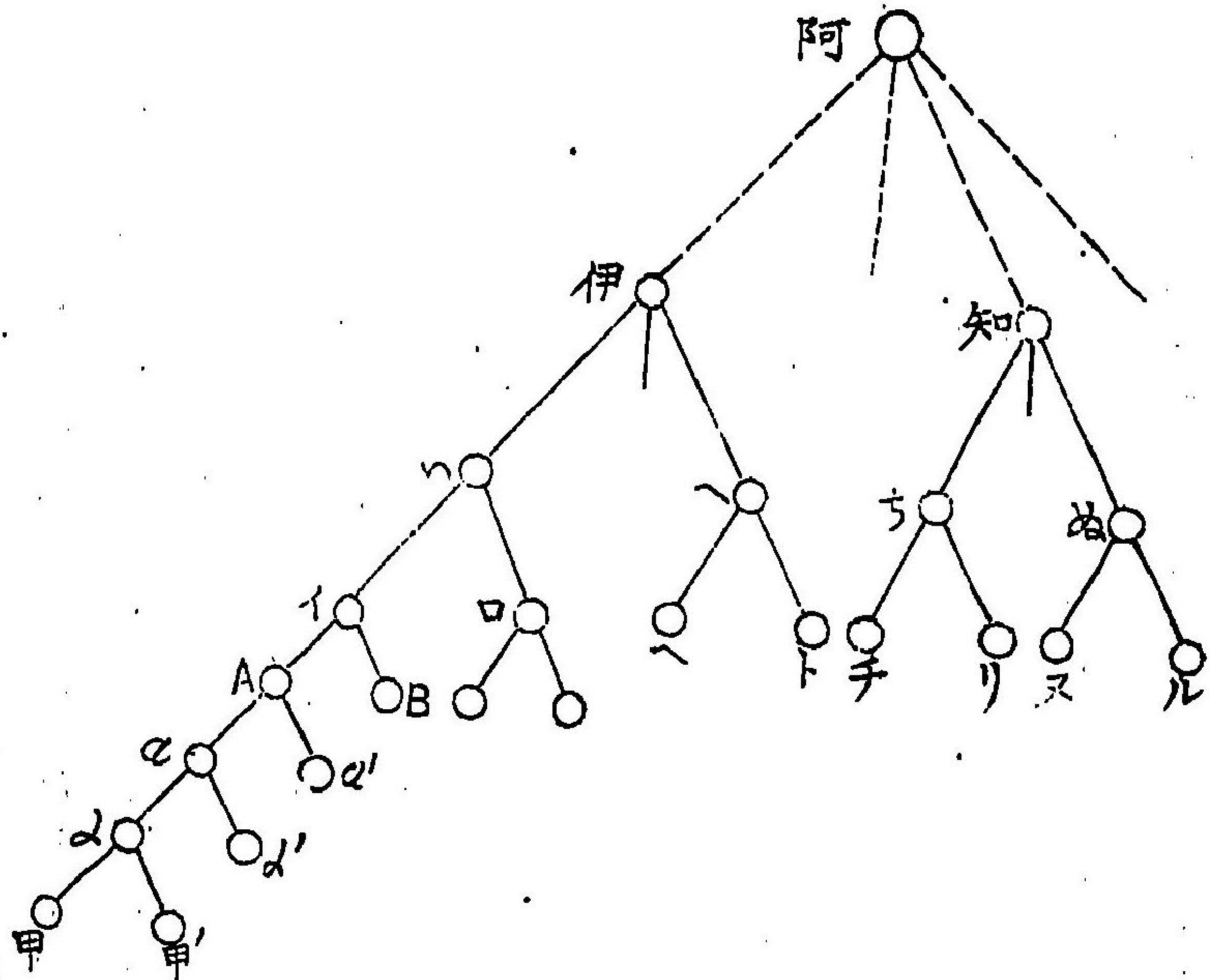
皆一ツニ歸シマス、即本性ト云フモノハ種々ノ普遍我及ヒ自我ノ姿トシテ出テ居リ、色々ノ方向ニ
 現ハレテ居ルニ過ギナイノデアリマス、ドウニカ形ガ現ハレテ居ラヌ時ニハ此本性ト云フモノハ成
 立スル氣遣ヒハナイノデス、何ガアツテ始メテ底ガ存在シ得ルノデアアル、故ニ其ノ上ニ出テ居ル所

ノモノハ何カト云へバ自我普遍我デアリマス、或ハ斯ウ云フ特色ヲ有ツテ居リ、或ハ斯ウ云フ様ナ特色ヲ有ツテ居ル、歸スル所ハ皆本性ニナツテ仕舞フ、從テ斯ウ云フ本性ト云フモノガ各方面ニ現ハレテ居ルニ過ギナイデアリマスカラ、此底ト云フモノガ御先祖ニナリマス、尙ホ御先祖ノ事ハ先程書イターツノ親カラ澤山色々ナモノガ分レテ來ル場合ヲ御研究ニナレバ益々明ニナルダロウト思ヒマス、又此圖ニ就テ斯ウ云フ事モ言ハレマス、此部分ダケ線ヲ引張ルトキハ斯ウ云フ特色ガアル、甲ハ甲ノ特色乙ハ乙ノ特色丙ハ丙ノ特色ガアル、從ツテ獨立シテ居ル如クニ見ユル、一步進ンデ此處ニ線ヲ引クト甲乙共通ノ特色ヲ有ツテ居ル、即チ普遍我「イ」トナル、又「ロ」ノ部分ニ付テハ乙ト丙ト共通ノ特色ヲ有ツテ居ル、尙一層本性ニ近ツクトキハ甲乙丙三ツノモノガ共通ノ特性ヲ有ツテ居テ普遍我「イ」ヲ成立セシムル、モウ一步進デ一番下ノ部分ニナルト云フト、此共通ノ部分ガ次第ニ大クナツテ來ル、此一番底ニナツテ仕舞フト同シモノニナツテ仕舞フ、此一番ノ底ノ所ガ即チ絕對我ノ特性ノ部分デアリマシテ、下ノ全部ノ方面カラシテ見ル時ニハ即チ絕對我ト云ヒマス、絕對我ト云フトキニハ自我モ皆含ンデ居ルノデアル、此上ノ個々別々ノ方面カラ見ルトキニハ即チ自我、シレカラ横ノ幾分カ相重リ合フ方面カラ見テ上ニ上ル見方ガ普遍我デス、普遍我ハ程度ガ澤山アリマス、ソレデ此三ツノモノハ一ツニシテ仕舞フ、而シテ其根底ハ何處カト云フト無論絕對我ニアル、ケレドモ根底ダケアツテ其上ニ葉ダノ花ダノ出來ナイノハ根底デモ何デモナイ、根底ト云フノハ其上ニ色々ナモノガ出來テ居ルカラデアル、根ガアツテモ何ニモ出來テ居ラナケレバ根デモ何デモナイ、腐テ居ルモノニ過ギナイ、根底ト云フ以上ハ其上ニ葉ガアツタリ幹ガアツタリシテ居ルコトヲ意味シテ居ル、ケレドモ葉ノ方ガ根デアルト云フト、ソレカラ根ガ根デアルト云フトハ大變意味ガ違フノデアル、根ガ矢張本當ノ根デアル、絕對我ト云フモノハ根デアリマス、ケレドモ其上ニ色々ナ自我ト云フモノガアツテ、ソウシテ自我ト云フモノガ絕對我ヲ發現シテ始メテ絕對我ト云フモノガアルト云フコトヲ見ルコトガ出來ル、自我ガアリ、絕對我ガアル以上ハコ、ニ兩方ノ間ニ無數ノ程度ニ於テ普遍我ガ存在スルト云フ事ヲ認ムル事ガ出來マス。(以上第四回講義)

絕對我ト云フモノハ種々ノ方面カラ言フコトカ出來マス、活動ノ主體ト云フハ、吾々ハ唯各個人タル所ノ自我アルノミノ如クニ思ツテ居マスケレドモ、吾々自我ノ外ニ尙ホ其後ニ多クノ活動主體ガ存在シテ居ル、此絕對我ト云フ様ナモノモ大キイ所ノ活動ノ主體デアツテ、唯最モ大ナルガ爲ニ、所謂活動ノミナラズシテ總テノ運動ノ主體デアアル總テデアアル、總テノ特色ガアリ過ギテ却テドノ特色モ殊更摘ンデ言フコトハ出來ナイ、萬能ナルガ故ニ却テ特定ノ能力ガナイ様デアアル、今例ヘバ生物の方面カラ絕對我ト云フコトヲ觀察シテ見ルト、一番ノ御先祖デアアル、否モウ一步進ンテ見ルト生物ノミナラズ宇宙ニ於ケル所ノ一番御先祖デアリマス、從ツテ現今ノ宇宙ト云フモノハ絕對我が唯宇宙ニナツテ居ルニ過ギナイ、先ツ之ヲ生物ニ付テ言ツテ見ルト例ヘバ此處ニ吾々ノ御先祖ガアル、ソウスト此處ニ兄弟ガ出來ル、兄弟ト云フモノハ元ハ一ツノ先祖カラ出テ居ルノデスカラ遠ツタ様ニ見ユルケレドモ實際根本ニ於テハ同シコトデアアル。

此前第十六圖三角ヲ書キマシタ其三角ノ底ノ方ノ部分ニアルノ御先祖デアアル、今別ノ圖ヲ書テ見ルト(第十七圖)、此圖「阿」ノ所ガ御先祖デアアル、ソレカラ兄弟ト云フモノハ一ツツ、ノ特色ヲ有

第七十圖



ツテ居ルケレドモ根本ニ於テハ御先祖ハ
 違ッタモノデナイ、然ルニ此兄弟ト云フ
 モノガ又分岐シテ其子孫ガ出來ル、其子
 孫ガ分岐シテ又其子孫ガ出來ル、又其子
 孫ガ分岐シテ其子孫ガ出來ル、從ツテ一
 番始メニナツタ所ガ「阿」ト云フ所カラシ
 テ、「イ」ロハニホヘトチリヌル」等ト云フ
 風ニ澤山ニナル生物ニナツテ發展シテ居
 ル、此圖ハ男女ノ分岐セヌ簡單ナル者ニ
 ツキテ一例ヲ示シタノデ、男女ニ分岐シ
 テ後モ複雑ニハナルガ大體ノコトハ同ジ
 デアリマス、此澤山ノ生物ト云フモノハ
 各々其特色ヲ有ツテ居ル、此申シマシ
 タ如クニ、或ハ此中デ非常ニ立派ナ方面
 ニ發達シタ者モアル、即チ親カラ段々良
 イ事ヲ受繼イテ非常ニ良クナツタ所ノ者
 モアル、又親カラ惡イ事ヲ受繼イテ非常

ニ惡クナツタ者モアル、斯クノ如クニシテ賢ノ又賢ナル者モ出來愚ノ又愚ナルモノモ出來、其中間
 ニ無數ノ段階ガ生ジタ、或ハ自分ニ差當リ接近スル所ノ部分ガ水デアルト云フ爲ニ魚ニナルトカ、
 或ハ水中ニ住ンデ居ル獸物ニナルトカ、或ハ自分ニ差當リ接近シテ居ル物ガ空中デアルト云フ爲ニ
 鳥ニナルトカ、又ハ差當リ山ノ中ニアルガ爲ニ猿ニナツテ仕舞フトカ、或ハ最モ伶俐デアツテ然モ
 地面ノ上ニ居ルガ爲ニ人間デアルト云フ様ナ風ニ、色々ノモノニナツテ發達シテ來ル、從ツテ人間
 「イ」「ロ」ト猿「ヘ」ト魚「チ」ト云フ如キハ銘々違フケレドモ、其根本ニ立至ツテ觀ルト先祖ハ皆同シ
 デアリマス、總テノモノニ通シテ一番御先祖ハ同ジコトデアル、從ツテ一番先ノ子孫ニ行キマス
 銘々皆特色ヲ有ツテ居ツテ各々違フ、違フケレドモ御先祖ニ近クナレハナル程皆同ジデアル、例ヘ
 バ「イ」ヲ人間トシ「ヘ」ヲ猿トシテ、人間モ猿モ趨ツテ見ルト同ジ御先祖ハ「伊」デアアル、猿ノ中ニモ
 色々種類ガアルケレドモ、猿ハ猿ダケデーツノ普遍我ヲ成シテ居ル、人間モ……人類ト云フモノハ一
 ツノ普遍我ヲ成シテ居ル、ソウシテ吾々ト猿トハ特色ガ違フケレドモ、雙方ノ御先祖ニナツテ見ル
 ト同シコトデアアル、今次ニ「イ」ナラ「イ」ト云フ人種ノ中ニモソレガ分岐發達スルニ依テ色々ナ國民
 トナル……例ヘバ「A」ト云フ國民ニナツタリ、「B」ト云フ國民ニナツタリ、又「A」ト云フ國民ノ中
 ニ付テ見テ色々ノ各種ノ普遍我「a」「a'」等ガ出來ル、又「a」ト云フモノ、中ニモ「a」「a'」等ト
 云フ普遍我ガ出來ル、又「a」等ノ中ニモ甲₁甲₂甲等ノ色々ナ人間ガ居ル、先キ一行ケバ行ク程違ツ
 テ來ル、ケレドモ其根本ニ行ケバ同ジデアアル、此普遍我ニハ普遍我トシテ一ノ活働ノ主體デアリマ
 ス、銘々ノ共通ノ部分ト云フモノガ始終一ツノ活働ノ主體トナツテ居ル、而シテ御先祖様マデモ引

總メテ總テヲ一ツニ纏メテ申スト、（矢張總テガ繼續的ノ活動ノ主體デアリマス、同時ニ一番先キノ御先祖様マデヲ一ツトシテ取テ見ルト、ソレハ絕對我デアツテ不生不滅ノ者ニナル時ト所ニ於テ絕對的ニ普遍的ノモノニナリマス、絕對我ハ不生不滅デアリマシテ、彼神トカ佛トカ大極トカ宇宙トカ真空トカ云フモ異名同物デアリマス、從ツテ自然ノ最後ノモノデ、人爲ニ之ヲ定メルコトハ必要トセヌ、人爲ニ細工ヲシテ定メルコトハ宗教ノ範圍ニ屬スルノデス、然シ普遍我自我ハ人爲ニ自然ヲ利用シテ定メルコトヲ要スルノデス、

第二項 普遍我及ヒ自我

第一目 其自然ノ根據

第一分 普遍我

普遍我ト云フモノハ、恰度自我ト絕對我トノ間ニ位シテ居ルノデス、此前第十六圖ニ示シタル如ク一ツノ三角ガ他ノ三角ト恰度カチ合ツタ部分デス、即チ底ニ至ルマテノ間ニ在ル「S」及ヒ「I」「ロ」カ普遍我ノ部分ニナルノデス、底ニ行ツテ仕舞フト全然同ジデアルケレドモ、此カチ合ツタ方ハ各自カ多少同ジデアアルガ全然同ジデナイ、其點カラ觀察シテ見マスルト、普遍我ト云フハ一方ハ絕對我ニ連ナリ、一方ハ自我ニ連ナリ、雙方ノ間ニ位シテ居リマス、例ヘバ一家ニシテ見ルナラバ、山口家ナラ山口家ノ者トシテ極ク近い系統ヲ有ツテ居ル者ハ顔ガ似テ居ル、或ハ又伶俐ナ者ノ系統ハ伶俐ダトカ、又或人種ノ技藝ニ巧ナル者ノ系統ハ多クノ眼カラ見ルト揃ツテ同様ノモノニ巧デアルトカ、コウ云フ鹽梅ニ極ク近キ共通ノ範圍ヲ有シテ居ル、其近イ共通ノ範圍カ普遍我デアル、ソレ

ヨリモウ一步進ンテ一ツノ團體トカ、或ハ一ツノ國トカ、或ハ一ツノ人種トカ云フ如キハ皆各性質各範圍ノ普遍我デアリマス、
此普遍我ト云フモノハ絕對我程色々ナ方面カラ言フコトノ出來ルモノデナク、然モ各方面カ絕對我程一ツニ歸シテ仕舞フト云フモノデハナイ、ケレドモ尙ホ色々ノ方面カラ言フコトガ出來マス、例ヘハ他ノ方面カラ申シマスルト、普遍我ト云フモノハ、自我ノ中ニ入ツテ居ル、自我ノ有ツテ居ル所ノ如キ本性ニ深イ方面ノ特性デアル、サキノ第十六圖ヲ以テ見マスルト甲乙ノ甲又ハ乙ニ近イ方デナクシテ、底ニ近イ端デアル、此普遍我ノ部分ハ甲又ハ乙又ハ丙ノ内部ニ這入ツテ居ル、日本國民ト云フコトハ皆吾々各個ノ性質ノ中ニ存在シテ居ルコトヲ外部ニ日本國民ト云フモノハ存シテ居ルモノデナイ、日本國民ハ吾々ノ心ノ内部ニ這入ツテ居ル、從ツテ吾々オ互ヲ各皆一ツノ日本國民デアリマス、或ハ日本大學ト云フ一ツノ團體ハ吾々以外ニナイ、皆吾々ノ中ニ這入ツテ居ル、吾々カ互ニ石ノ様ナ鹽梅ニ互ニ寄合ツテソウシテ始テ一ツノ石垣ヲ成ストカ、又ハ材木トカ釘トカ土トカガ集ツテ始メテ一ツノ家ヲ成スト云フ様ナ鹽梅ニナツテ日本大學カ出來テ居ルノデハナイ、日本國民ト云フモノモ吾々カ時計ニ用フル車ヤ發條（ゼンマイ）ノ如ク、色々集ツテ一ツノ時計ト云フモノヲ成シテ居ル様ナル鹽梅ニシテ出來居ルノデハナイ、心ノ働キヲ有ツテ居ル吾々ノ中ニ國民カ皆這入ツテ居ル、吾々一員カ皆日本國民ト云フ全部ノ資格ヲ統一シテ居ル、吾々ハ日本大學ノ一員トシテ皆日本大學ト云フ全部ヲ其内部ニ於テ統括シテ居ル、モウ一ツ言葉ヲ換ヘテ見マスルト、我々ハ我々以外ニ在ル一ノ全部ヲ切碎イタトキニ存在スベキ其切碎イタ一片ノ様ナモノデハナク、吾々ト云フ全部

ハ元來皆自我トシテ各自我ノ内部ニ悉ク普遍我ヲ統括シテ居ルダカラ、普遍我が第十六圖ノ如ク「
 一」デアアルナラハ、吾々甲乙丙ハ分子トシテ「
 一」ト云フモノヲ自分ノ中ニ統括シテ居ル、ソレデア
 ルカラ從ツテ吾々カ此「
 一」デアアル、一人デモ「
 一」デアアルハ幾人寄ツテモ「
 一」デアアルト云フコトモ出
 來ル、一人デモ人間ガ居ル百人千人デモ人間カ居ルコトハ同ジデアアル、唯斯ノ如キコトハ本來ソウ
 云フモノデアアルト云フコトヲ言フニ過ギナイノデアアリマスカラシテ、中ニハ差當リ充分ニ發達セズ
 シテ極メテ不全完ナモノガアリマス、或ハ其内ノ唯一ツノ方面ヲ作ルモノモアリ、又唯他ノ方面ヲ
 作ルニ過ギナイモノモアリ、或ハ其間ニ在ツテ極メテ小サナル存在ヲスルニ過ギナイモノモアル、
 或ハソレ等ヲ全然統括シテ存在ヲナスモノモアリ、差當リ發達ガ出來ナイカラ色々ナ風ニナル弊ガ
 アルケレドモ本來ハ一ツニナルベキモノデアアル、即チ普遍我ニ付テ申シマスルト、普遍我「
 一」ハ乙
 ノ中ニモ這入ツテ居レハ甲ノ中ニモ這入ツテ居ル、唯差當リ不完全ノモノガアツテ本來自分ノ中ニ
 在ル普遍我「
 一」等ヲ發揮スルダケノ働キノナイモノガアリマスカラ、從ツテ色々ニ苦心シテ差シ當
 リニ於テモ本來持前ノ普遍我ノ發展セシムル様ニ色々ナ制度ヲ設ケテ、從ツテ吾々ノ研究スル
 國家ヤ國法ト云フ様ナモノガ存在シテ居ルノデアアリマス、
 今少シ他ノ方面ヨリ普遍我ヲ説明シマスレバ、此普遍我ト云フコトヲ他ノ方面カラシテ觀察シマシ
 テ、現ニ存在シテ居ル所ノ自我ノ共通ナル部分ノアルトキニ、其共通ナル部分ニ付テ其集ツテ居ル
 所ノ自我ヲ一纏メニシテ、之ヲ一團トシテ普遍我ト云ツテモ差支ナイ、同ジコトヲ繰返シテ見マス
 ルト、澤山自我ガ居ル、是レニ皆共通ナル部分デアアル、ソウスルト此共通ナル部分「
 一」ニ付テ此處

ニ集ツテ居ル自我ト云フモノハ一ツノ團體タル普遍我「
 一」ト云フモノニナルノデス、(第九圖乃至第
 十一圖参照)例ヘバ極ク解リ易イ例ヲ採ツテ見マス、諸君ガ講義ヲ御聽ニナロウト思ツテ一ツニ
 集マツテ御在デニナル、其目的ニ付テ言フトキハ吾々ハ一ツノ普遍我デス、吾々ハ現ニ一ツノ普遍
 我デアアル、タゞ此教場ニ居ル吾々ハ此前ニモ申ス如クニ繼續的ノモノデハナイ、チヨットシタ瞬間
 即チ一時間カ二時間ノ存在ヲ有ツテ居、ニ過ギナイ、此暫時ノ然カモ小範圍ニシテ尙根本的同一體
 ナラス普遍我ガ益々大キクナリ繼續的ニナリ根本的ニナレバ、他ノ國民トカ人類トカ云フ普遍我ト
 ナル、是等ノ根本的統括的ノ普遍我中吾々國法ノ研究ニ大切ナルモノハ國民デアアル、

第二分 自我

自我ト云フモノモ矢張活動ノ主體デアリマス、自我ト云フモノモ種々ノ方面カラ言フコトガ出來マ
 ス、ケレドモ憲法等ノ各部ニ亘リ各方面ヨリ問題ヲ解キ終リテ後ニ始メテ自我ノ自覺カ漸ク深クナ
 ツテ來マス、夫レマデハ自我ヲ意識シテ居ツテモ深クハ判ラヌ、先ヅ心ノ方カラ考ヘテ見テモ何處
 マデガ自我デアアルカ、何處カラガ自我デナイカ其間ノ境ガ判リマセヌ、吾人ガ人ノ事ヲ思ツテ人ノ
 爲ニ心配シテ居ル、又人ノ仕事ヲシテヤツテ居ル、ソウ云フ場合ニ仕事ヲスル者ハドノ自我デア
 ルカ、自我ノ境ガ何處デアアルカ判ラナイ、或ハ物ノ方面ニ付テモ自我デアアルカ自我デナイカ其境ガ判
 ラナイト云フコトハ前々申シタ如クデアリマス、私ガ教場ヘ這入ツテ來タ時、喋ツテ居ル間ニ既ニ
 業ニ私ノ物質ニ於テ大變遷ヒガアル、精密ニ觀マスト一週間前ノ私ト今日ノ私トハ違フ、新陳代
 謝ガアリマスカラ一週間前ノ私ト今日ノ私トハ勿論違フ、況ンヤ七八年前ノ私トハ一變シタ物質ヲ有

ハ元來皆自我トシテ各自我ノ内部ニ悉ク普遍我ヲ統括シテ居ルダカラ、普遍我ガ第十六圖ノ如ク「
 い」デアアルナラハ、吾々甲乙丙ハ分子トシテ「い」ト云フモノヲ自分ノ中ニ統括シテ居ル、ソレデア
 ルカラ從ツテ吾々カ此「い」デアアル、一人デモ「い」デアレハ幾人寄ツテモ「い」デアアルト云フコトモ出
 來ル、一人デモ人間ガ居ル百人千人デモ人間カ居ルコトハ同ジデアアル、唯斯ノ如キコトハ本來ソウ
 云フモノデアアルト云フコトヲ言フニ過ギナイノデアリマスカラシテ、中ニハ差當リ充分ニ發達セズ
 シテ極メテ不全完ナモノガアリマス、或ハ其内ノ唯一ツノ方面ヲ作ルモノモアリ、又唯他ノ方面ヲ
 作ルニ過ギナイモノモアリ、或ハ其間ニ在ツテ極メテ小サナル存在ヲスルニ過ギナイモノモアル、
 或ハソレ等ヲ全然統括シテ存在ヲナスモノモアリ、差當リ發達ガ出來ナイカラ色々ナ風ニナル弊ガ
 アルケレドモ本來ハ一ツニナルベキモノデアアル、即チ普遍我ニ付テ申シマスルト、普遍我「い」ハ乙
 ノ中ニモ這入ツテ居レハ甲ノ中ニモ這入ツテ居ル、唯差當リ不完全ノモノガアツテ本來自分ノ中ニ
 在ル普遍我「い」等ヲ發揮スルダケノ働キノナイモノガアリマスカラ、從ツテ色々ニ苦心シテ差シ當
 リニ於テモ本來持前ノ普遍我ノ發展セシムル様ニ色々ナ制度ナドヲ設ケテ、從ツテ吾々ノ研究スル
 國家ヤ國法ト云フ様ナモノガ存在シテ居ルノデアリマス、

今少シ他ノ方面ヨリ普遍我ヲ説明シマスレバ、此普遍我ト云フコトヲ他ノ方面カラシテ觀察シマシ
 テ、現ニ存在シテ居ル所ノ自我ノ共通ナル部分ノアルトキニ、其共通ナル部分ニ付テ其集ツテ居ル
 所ノ自我ヲ一纏メニシテ、之ヲ一團トシテ普遍我ト云ツテモ差支ナイ、同ジコトヲ繰返シテ見マス
 ルト、澤山自我ガ居ル、是レニ皆共通ナル部分デアアル、ソウスルト此共通ナル部分「い」ニ付テ此處
 ニ集ツテ居ル自我ト云フモノハ一ツノ團體タル普遍我「い」ト云フモノニナルノデス、(第九圖乃至第
 十一圖參照)例ヘバ極ク解リ易イ例ヲ採ツテ見マス、諸君ガ講義ヲ御聽ニテ口ウト思ツテ一ツニ
 集マツテ御在デニナル、其目的ニ付テ言フトキハ吾々ハ一ツノ普遍我デス、吾々ハ現ニ一ツノ普遍
 我デアアル、タゞ此教場ニ居ル吾々ハ此前ニモ申ス如クニ繼續的ノモノデハナイ、チヨットシタ瞬間
 即チ一時間カ二時間ノ存在ヲ有ツテ居ルニ過ギナイ、此暫時ノ然カモ小範圍ニシテ尙根本的同一體
 ナラズ普遍我ガ益々大キクナリ繼續的ニナリ根本的ニナレバ、他ノ國民トカ人類トカ云フ普遍我ト
 ナル、是等ノ根本的統括的ノ普遍我中吾々國法ノ研究ニ大切ナルモノハ國民デアアル、

第二分 自我

自我ト云フモノモ矢張活動ノ主體デアリマス、自我ト云フモノモ種々ノ方面カラ言フコトガ出來マ
 ス、ケレドモ憲法等ノ各部ニ亘リ各方面ヨリ問題ヲ解キ終リテ後ニ始メテ自我ノ自覺カ漸ク深クナ
 ツテ來マス、夫レマデハ自我ヲ意識シテ居ツテモ深クハ判ラズ、先ヅ心ノ方カラ考ヘテ見テモ何處
 マデガ自我デアルカ、何處カラガ自我デナイカ其間ノ境ガ判リマセヌ、吾人ガ人ノ事ヲ思ツテ人ノ
 爲ニ心配シテ居ル、又人ノ仕事ヲシテヤツテ居ル、ソウ云フ場合ニ仕事ヲスル者ハドノ自我デア
 ルカ、自我ノ境ガ何處デアルカ判ラナイ、或ハ物ノ方面ニ付テモ自我デアルカ自我デナイカ其境ガ判
 ラナイト云フコトハ前々申シタ如クデアリマス、私ガ教場ヘ這入ツテ來タ時、喋ツテ居ル間ニ既ニ
 業ニ私ノ物質ニ於テ大變遷ヒガアル、精密ニ觀マスルト一週間前ノ私ト今日ノ私トハ違フ、新陳代
 謝ガアリマスカラ一週間前ノ私ト今日ノ私トハ勿論違フ、況ンヤ七八年前ノ私トハ一變シタ物質ヲ有

ツテ居ル、ケレドモ同ジク吾々ハ自我ト云ツテ居ル、何處ガ物質ノ境デアルカ一向分ラヌ、ケレドモ自我ト云フモノハ銘々ガ自分ト思フコトハ自我デアツテ、ソレハソウ云フモノハナカウト思ツテモ、ソウ云フコトヲ思フノガ自我デスカラ、ドウシテモ自我ト云フモノデアル、ト云フモノガ打消スコトハ出來マセヌ、從ツテ自我ノアルト云フダケハ充分ニ明ラカナコトデアリマス、是デ先ヅ一通リ活動主體トシテノ普遍我自我ノ自然ノ根擧ニツキ最モ必要ノコトダケヲ終リマシタ、次ニハ是等ノ自然カ人爲ト相待ツテ如何ニ發展シ又如何ニ人爲ニ其境界ヲ定メラル、カ等ノコトヲ略説致シマス、

第二目 活動主体ノ法上ノ認定

今マデ第一目ニハ活動主體ノコトヲ申シマシタガ、是ハ法ト云フコトニ更ニ頓着セズシテ自然ノ事實ハカリ申シタノデアリマス、自然ノ根本的事實ダケノミヲ申シタノデアリマス、所ガ自然ノ根本的事實カラ申シマスルト、自然ノ境ハ第一何處ダカ分ラナイ、絶對物ニツキテハ自然ノ研究サヘスレバ宜シイガ、普遍我及ヒ自我ニツキテハ左様ニハ行カヌ、普遍我ト云フモノハ無數ニ澤山アツテ何處ガ境ダカ判ラヌ、自我モ其通り、自我デアロウガ、普遍我デアロウガ、時々刻々違ツテ行ク、例ヘバ自我ニ付テ申シタ所デ、自我ノ精神ハ一ツト云フテモ、昨日ノ考ト今日ノ考ト違ヒマス、又明日ニナレバ今日ノ考ト違フ、又昨日教ハワタコトヲ今日スツカリ忘レテ居ルノヲ見レバ今日ト昨日ト別ノ人間ト見ラレヌコトモナイ、全然忘レヌトシテモ少シツ、忘レテ行ケバ少シツ、變ツタ人間ニナリマス、況ンヤ共同研究ニ基ク吾々(教室内ノ人々ヲ指ス)普遍我ナドアモ、今日休ンダ方

デモ此次ニオ出デニナリ、又今日オ出デニナツタ方デモ此次ニ休ム方モアル、又新タニ這入ツテ來ル方モアルカモ知レナイ、何處マデ別ノ普遍我ニナルカ殆ド區別ガ付カナイ、夫レ故法ノ上ニ於キマシテ、斯ノ如キ區別ノ付カナイ普遍我及ヒ自我ニ明白ニ區別ノ付ク様ニスルノデアル、之ガ法ノ事業デアリマセウ、法上ノ活動ノ主體ト云フモノガ人爲ニ明瞭ニナツテ居ル、即チ各自ノ自認力ノ關係カラシテ吾々ノ活動ノ上デ何處マデガドウ云フ普遍我デアル、何處マデガドウ云フ自我デアルト云フコトガ明瞭ニナリ得ルノデアリマス、先ヅ第一ノ普遍我ノ方ニ付テ申シテ見マセウ。

第一分 團體(普遍我)

第一岐 總説

先ヅ此團體ノ説明ハ團體ノ自然ノコトカラ申シテ見マス、ケレドモ今マデ申シタ様ナ絶對我ト云フ方面カラシテ妙ナ六ヶ敷イコトヲ言ツテ居ワタノラ今度ハ極ク一ツ／＼平易ナ方面カラ團體ノ自然ノ説明ヲシヤウト思ヒマス、ソレハ又必要デアリマス。

元來學問ニハ其根本的思想トシテ宗教心ト云フモノガ非常ニ必要ナモノデス、宗教心ト申スハ、今日形式的ニ定マツテ居ル獨斷的ノ宗教自身ノコトヲ申スノデハナイ、宗教ノ基礎トナル意識ヲ宗教心ト云フノデアル、此宗教心ト學問トガ相矛盾スル如クニ思フノハ大イナル間違デアル、宗教心ト云フ様ナモノナイ人ハ根本的ノ社會生活ハ出來ナイ、ソウ云フ人ハ何時モ卑近ノ事ヨリシカ出來ナイ、人間ハ遠近ノ二方面カラ觀ルコトガ必要デアリマス、近クヲバカリ觀テ居テハ人間ハ大ナル間違ラスル、矢張遠クカラ觀ナケレバナラス、所ガ銘々纂クナル譯ニハ行カナイカラ、遠クヲ見ルコ

トハ自分ヨリ豪イ人ニ依頼シテ遠クハ斯ウ云フモノデアル九州ハ斯ウ云フ所デアアル、又北海道ハ日本ノ邊境デアルトカ西ノ方ニハ西洋ガアルトカ東ノ方ニハ亞米利加ガアルトカ云フコトヲ人カラ聞イテ、ソウシテ近イ所カラ働イテ行カナケレバナラヌ、所ガ今ノ人々ハ遠イ所ニ眼ヲ着ケルコトハ一向シナイ、近クニバカリ眼ヲ着ケテ居ル、是ハ大變ナ間違デアリマス、學問スル人々モ矢張同様デアアル、學問スル人ハ眼ハ近眼ニナツテ居ルカ心ハ幾分カ遠クニキク様ニナツテ居ルカラ、チツトハ宜イケレドモ、ソレニシテモ今日ノ様ニ近クノミニテ形式論ヲナシ遠イ所ニ眼ヲ着ケテ研究シナイ様デハ大變ノ間違ガ起ル、又現ニ起ツテ居ル例ヘハ北海道へ行カウト思フテモ、遠クニ眼ヲツケズ只歩イテ居レハ京都ヘ往ツテ仕舞ヒマス。

ソウ云フ様ナ理由カラ先ツ最モ遠キ所ニ眼ヲ着ケ絶対我ノコトヲ御話シ致シマシタ、絶対我ト云フコトハ斯ウ大切ノ着眼點デアアル、然シ絕對我ニノミ眼ヲ着ケテ居タノデハ、富士山ノミヲ見テ富士ニ登ラウト思ヒ、直ク向フノ堀ニ落チテ仕舞ヒマス、凡テ餘リ考ヘ込シテ仕舞フト老人ト一般デ遠眼ニナツテ仕舞フ、遠眼ハ老眼デツマリ近眼ト甲乙ナキ不自由ヲシナケレハナラヌ、此故ニ以上絕對我ノコトヲ説クト共ニ次ニハ平易ノ方面ニ移ツテ説明ヲ試ミマセウ。

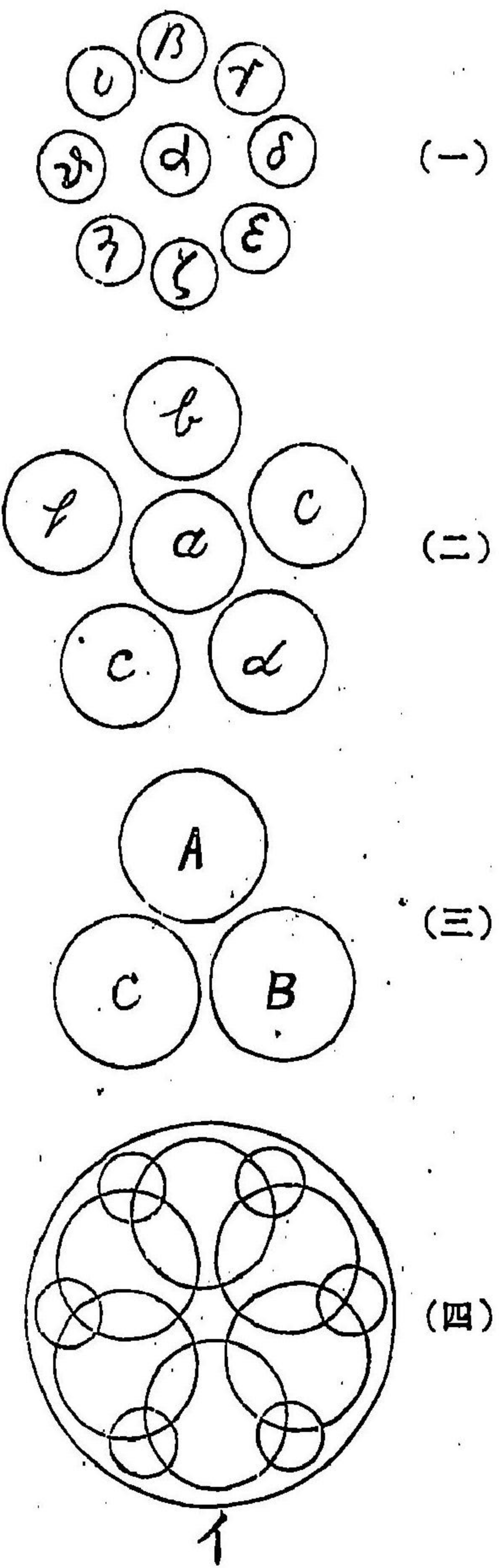
第二岐 團體ノ成立及ヒ發展

第一 差別及無差別

先ツ昔ニ於キマシテハ其内部ニ對シテモ其外部ニ對シテモ、差別ト云フコトト無差別ト云フコトハ一致シナイ、一ト云フコト、多ト云フコトハ一致シナイ、團體ト云フモノハ皆小サナモノデアアル、

ソウシテ團體ト云フモノハ皆繼續的デナク一時的デス、是ガ團體デス(第十八圖(一)参照)此團體員タル自我ト云フモノハ數ガ非常ニ少ナイノデアリマス、ソウ云フ所ノ團結ノ範圍ト云フモノハ一時的

第十八圖



差別無差別(内ニ對シテモ數多ト單一) 外ニ對シテモ數多ト單一

ノモノデアアル、ソレハ人間以外ノ動物ヲ見テモ分リマス、如何ナル所ノ生物ト雖モ唯一人デ存在シテ居ルモノハナイ、皆或程度ノ團結ヲ爲シテ存在シテ居ル、先ツ猫ヤ、犬ヲ御覽ニナツテモソウデアアル、皆或程度ノ團結ヲ爲シテ居ル、團結ヲ爲サナケレハ猫ヤ犬ノ子孫ハ絶エテ仕舞フ、ケレドモ其團結ト云フモノハ非常ニ範圍ガ狭イ、犬ナラ自分ノ知ツテ居ル犬ハ極ク少ナイ、或ハ其犬ノ中デ

モ極ク自分ノ親友ナドハ極ク僅カナモノデアリマス、或ハ夫婦ト云フ團結モアル、ソレデアルカラ子モ生レルノデアアル、ケレドモ極ク一時的ノ結合デアアル、全ク一時的デアハナイガ人間ニ比ベテ見ルト極メテ一時的ナモノデアアル、人間モ昔ハソウ云フ様ナ鹽梅デアアル、所ガ段々進ンデ來ルト段々大キクナツテ居ル、即チ其中ニ含ム所ノ自我ト云フ數ガ多クナツテ來ル、ケレドモ其モノハ皆一體ヲ成シテ生活シテ居ル、

夫レガモウ一步進ムト、團體ガ益大キクナツテ來テ團體ノ中ニ多クノ人間ガ含ム様ニナツテ來ル、同時ニ總テヲ統括スル團體ノ數ガ段々ニ減ツテ來ル、内部ニ統括セラル、團體ノ數ハサテヲキ總テノモノヲ統括スル所ノ團體自身ノ數ガ少クナツテ來ル、最後ニ至リマスレバ其團體ガ益々極ク大キクナツテ、其中ニハ澤山ナル多クノ自我及ヒ團體ヲ含ンデ居ル、ケレドモ數多ノ自我及ヒ團體相同體ヲナシテ一ツノ大ナル團體ヲ成ス様ニナツテ來ル、(第十八圖(四)参照)茲ニ於テカスフ云フコトガ言ヒマス、此一ツ云フコト、多ト云フコトガ茲ニ於テ一致スル様ニナツテ來ル、團體ト云フモノノ數ガ段々少クナツテ來テ、團體ガ一ツキリナイ、ケレドモ其中ニ自我ノ數ト云フモノハ非常ニ多イ、多イケレドモ各自同體タル自我デアアル、自我ノ特性ハ多岐ニ自我ノ數ハ多イケレド皆一體デアアル、自我ト云フモノハ非常ニ澤山アルケレドモ團體ノ一ツノ普遍我ヲ發現スルモノデ、畢竟相待ツテ一ツキリナイト云フコトカ云ヘル、多イト云フコト一ツト云フコトガ一致シテ來ル、各自ノ特色ガ發揮セラレ乍ラ各孤立ハセヌ、初メニ發達セヌトキハ多ト云フコト、一ツト云フコトハ一致シナカツタ、團體ノ數ガ多クテ其中ニ居ル所ノ人間ト云フモノハ極ク少ナイ、遠ツタ團體ノ人間ト云

フモノハ皆根本的違ツテ居ルト云フコトデアツテ相共同セヌ相補ヒモセヌ、各自特色モナケレバ各自團體ヲモナサヌ、發達スルニ至リマシテハ一ツト云フモノト多ト云フコトガ一致スル様ニナリマシタ、ソレハ一體自我ト云フモノハ向上心ヲ有ツテ居ツテ、絕對我ト成ルタケ同ジ様ニヤロウト云フ心ノ働キヲ有ツテ居ル、之ヲ名ケテ向上心ト云フ、皆絕對我ト同一ニナロウト云フ考ヘデ、其考ヘト云フハ世ノ中ガ發達スルニ從ツテ益々現レテ來ル、即チ斯ノ如クニシテ一人ガ充分絕對我タルコトヲ發揮シキタカラ、差シ當リ分レテ居ル自我ガ差シ當リ大勢ヲ以テ共同シテ絕對我ニ一致セントスルノデアアル、サレバ此主意ニヨリ成立スル吾々發達セル第四期ノ(第十八圖(四)團體ハ絕對我ノ差シ當リノ寫真デアアルト云ツテモ宜イカモ知レマセヌ。

絕對我ト云フモノハ一ツシカ無クツテ然モ無數ノ自我トシテ發現シ、絕對我中ニハ無數ノ自我ヲ含ンデ居ル、即チ絕對我ニ至ツテハ一ツト云フコト、多ト云フ事ガ一致シマス、ソレハ同シク團體ノ發達ハ益々ソウナツテ來マス、昔ニ於キマシテハ一ツノ團體ノ内部ニ存在シテ居ツタ所ノ自我ト云フモノハ、皆同シ様ナ性質ヲ有ツテ居ル、謂ハ、各人一色ニシテ各自ノ特色ヲ具ヘテ居ラヌ、甲ナラ甲ト云フ同シ團體内ノ一員ト云フモノハドノ人間ヲ擱ヘテ見テモ皆同ジデアアル、又乙團體内ノ一員ト云フモノハ、ドノ人間ヲ擱ヘテ見テモ皆同ジデアアル、若シ其團體ノ中デ違ツテ事ヲシヤウナラ大變デス、其人間ハ忽チ他人ヨリ誹ラレ輕蔑セラレ終ニ打殺サレテ仕舞フ、少シデモ違ツタ事ヲスルト云フトロヤカマシイ、少シモ許サレナイ、故ニ皆同ジ風ナ生活ヲシナケレバナラヌ、今日デモ非常ナ野蠻國へ行ケバ、其通り否我隣國ヲ見テモ知ルコトガ出來マス、否或國ニテサヘ尙ホ老人

ラ、用モ無イノニ繪葉書ナシカラ出スト云フ様ナ世ノ中ニ爲ツテ來タノデアリマス、

一 生理上ノ交通

此交通ノ事ニ就テモ斯ウ云フ事ヲ考ヘル者ガアル、團體ノ一番ノ發達シ始ハ血族團體デアアル、血族ト云フコトニ依テ發達シテ來タノデアアル、語ヲ換ヘテ言ヘバ、生理上ノ交通ト云フコトカラ團體ト云フモノガ發達シテ來タノデアアル、ソレデ同ジ血族ニ屬スル所ノ者ガ、一ノ團體ヲ成シテ來テ居ツタノデアアルガ、段々世ノ中ガ發達スルト共ニ土地ノ團體ニナル、同一ノ土地ニ居ル者ガ一ツノ團體ヲ成ス、ソレガ發達スルトキニハ目的ニ依テ一ツノ團體ヲ成ス様ニナル、即チ團體ハ血族團體カラ土地團體ガ出來ル、土地團體カラ目的團體ニ遷ルト云フコトヲ言ツテ居ル、ケレドモ私ハソウ云フコトハ一概ニ云ハレナカロウト思フ、ソウ云フ風ニ好イ加減ノ鑄形ヲ作ツテオイテ、各團體ヲ常嵌テ仕舞フト云フコトハ、大變ニ間違ツタ考ヘ方ダロウト思フ、一概ニ云ヘバ團體ト云フモノハ、ソウ云フ風ニ發達スルモノデナクシテ、生理上物質上各種ノ交通ノ具合カラ、漸々小ナモノカラ大ナモノニナリ、一般的ノモノカラ繼續的ノモノニナル、

今生理上ノ點ニ就テ見マシテモ、昔一ツノ團體ヲ成シテ居タ者ノミガ一ツノ血族ニ屬スルトハ決シテ極ツテ居ナイ、昔ノ情態ヲ見マスルト、「 α 」ノ團體ノ者ガ戰ヲシテ「 β 」ノ美イ女ヲ捕ツテ來ル、例ヘバ「 β 」ト云フ團體ガアル、「 α 」ノ者ハ「 β 」ノ女ヲ捕ツテ來ル、「 γ 」カラモ女ヲ捕ツテ來ル、其女ニ子ガ出來ルト其子ハ自然ニ云ヘハ「 α 」ノミデナク「 β 」ノ親類デアリ、又「 γ 」ノ親類ニ相違ナイ、ソウ云フコトヲ互ニ仕合ツテ居ルト「 α 」「 β 」「 γ 」ト云フモノハ一ツノ自然ノ親族ニ違ヒナイ、

ソレニ拘ラズ人爲ノ自由ニ勝手ニ親族ト否トヲ定メ、捕テ來タ者ニ出來タ子ハ親類シヤナイト申シテ居ル、夫レデ後世ノ學者ガ眞ニ受テ、昔ノ團體ハ必ズ血族ニ基クト申シテ居ルノハ未ダ精密デナイ論デス、自然カラ言ヘバ各種ノ團體ハ皆同族デアアル、ソレニモ拘ラズ昔ノ一ツノ血統ノ者ノミガ一ツノ團體ヲ成スト云フコトヲ考ヘルノハ、大變ニ間違ダロウト思フ、矢張昔デアツテモ必然ノ血族團體ナドト申シテ居ルコトハ、一團體内ノ各員ガ全然各方面ニ於テ同一ナルコトヲ要求セラルル爲メニ、自然ト人爲ニヨリ認定セラレタルニ基クモノデアアル、外ノコトモ同様自由認定ニ過ギナイ、純粹ノ血族團體ト云フ事ハ出來マスト思フ、又此「 β 」等ト云フ團體同士ガ團體結婚ヲスレバ「 α 」ノ男ハ「 β 」ノ女ト交通シ、ソレカラ「 γ 」ノ男ハ「 δ 」ノ女ト交通スルト云フ様ナ鹽梅ニシテ互ニ繁殖シテ行ク、ソウ云フ場合ニ各團體ハ遠ツテ居ツテモ自然ニ云ヘバ立派ナ親族デス、天然自然カラ言ヘバ總テガ一體ヲナシテ居ル親族ニ相違ナイ、ソウ云フ様ナ譯デ、昔各一團トナツテ居ツタ團體ノ境ト云フモノハ、親族ガ境ダト云フコトヲ言ツテ居ツタノハ又一ヲ知ツテ一ヲ知ラナイ者デアロウ、從ツテ今日ノ如ク團體ノ範圍ガ廣マリ、國民タル各個人ガモト同ジ親族デアルト云フコトヲ自覺シテ、本來ノ自然ヲ發揮セシメタ國家ト云フ團體コソ、昔ニ敗ケヌ劣ラヌ否昔ヨリモ尙一層確實ナル眞正ノ血族團體デアルト云ヘルデハナイカ、何故今日ノ團體ニ對シテ昔時ノ小サナ不自然ニ親族ヲ認定シテ居ル團體ノミヲ血族團體トノミ云フテ、今日ノ國家團體ヲバ血族團體デアルト言ハヌカ、親族ト云フハ小サイモノノミニ限テ居ル話デアアルマイ、最モ大ナ眼ヲ見レバ親族トハ大キナモノデアリ、若シ今日ノ國家團體ガ純粹ノ血族團體デアナイト云フナラバ、昔シノ團體トテモ必ズシモ純

ナル、ツマリ繼續シテ同一ノ土地ニ居ナケレバナラヌト云フコトモ當然ノ必要トナツテクルノデア
ルカラ、土地ノ利用ト、其土地ニ定着スルコトトガ次第ニ確實ニナル、又加之土地ノ範圍モ廣クモ
ナル、土地ハ吾々ノ物質ヲ成スニ必要ノミナラズ、各種ノ交通ヲ維持スル上ニ大切デアアル、從ツテ
土地ノ擴ガリハ交通ノ擴ガリデアアル、今日ノ國家ノ如キハ此種ノ自然ノ必要ノ程度ニテ土地ヲ確定
セル團體デアアル、此土地ノコレモ現ニ次第ニ國際團體間ニマデ推シ擴ゲラレツ、アル、サレバコソ
獨逸人ヲ細君ニシタリ、或ハ亞米利加人ヲ細君ニシタリスルコトガ出來マス、勿論結婚ニハ精神的
交通ヲ始メ各種ノ交通ガ入用デアアルガ此土地ト云フモノガ擴ガラネバ何等ノ交通モデキヌ、昔ノ如
キハ亞米利加人ヲ細君ニシヤウト云フ様ナコトハ思ヒモ據ラヌ話デセウ、第一亞米利加迄行クコト
ガ出來ナカッタカラ、何ウシテ女房ニ連レテ來ル事ガ出來ヤウカ、

三 精神的ノ交通

精神的ノ交通モ固ヨリ昔カラ矢張アツタモノデ、昔ハタゞ生理上ノ交通ノミ在ツタト思フハ大ナル
誤リデアアル、形化ノミ在ルヲ知ツテ氣化在ルヲ知ラヌハ、偏小ノ徒ト云ハネハナラス、極ク昔ノ團
體ニ於キマシテハ、此甲ト乙ト云フヤウナ團體ガ皆銘々ニ宗教ヲ有ツテ居ル、其宗教ノ目的ト云フ
事ハ其土地ノ生活ノ目的ト云フモノト密接シテ離レヌ所ノモノデアリマシテ、各團體ガ皆ソレレ
特種ノ宗教ヲ有ツテ其團體員ニ強ヒテ居ル、ソレデアルカラ「ト云フ團體モ」「ト云フ團體モ皆
同シ宗教ヲ信シテ居ル、若シ違ツタ宗教ヲ信ズレバ忽チ打殺サレテ仕舞フ、ソレガ團體ガ廣クナツ
テ來ルト共ニ銘々好ナ宗教ヲ信ズル、又好ナ生活目的ヲ以テ業トスルト云フ様ナ團體ニナツテ來マ

シテ今日ニ於キマシテハ此色々ナ宗教ヲ信ズル者ガ團體ノ内部ニアツテ、ソウシテ各宗教ノ間ニ互
ニ或連絡ヲ以テ居ルニ過ギナイノデアリマス、唯昔ハ精神的ノ交通ト云フ様ナコトニ依テ團體ガ出
來テ居ナイ、今日ハ是ト異リ、精神的ノ交通ニ依テ團體ガ出來テ居ルト云フハ間違ガアロウト思ヒマ
ス、昔ダツテ精神的交通ト云フモノハ無論アツタ譯デアリマス、昔ノ人間ハ團體内デ變ツタコトヲ
信仰スルト、又ハ變ツタ目的ヲ以ツテ活動スルト、直キニ打殺サレテ仕舞フ、官吏ナラ直グ御免ト
一本ヤラレル、オ面デハナイゴ免デアアル、今デモソウ云フ傾ガアリマス、同シ團體ノ中デモ違ツタ
コトヲスルト直キ彼ハ半狂人ダトカ、或ハ馬鹿ダトカ變人トカ云フ様ニ見做サレル傾ガアリマス、
ソレハ當世ノ中デ昔カラノ狭小ナル證據デス、何モ自分ノ特色ヲ以テ行フノデアルカラ違ツタ所ガ
アツテモ差支ナイ、唯ソレガ爲ニ全部ヲ害スル様ナ人間ガアルナラバ、ソレハ未ダ野蠻的ノ人間デ
アル、自分ノ特色ヲ以テ然モ其特色ヲ全部ノ爲ニ發揚シ、又特色ヲ以テ居ル人間ハ能クソレヲ容レ
テソウシテ自分ノ仲間ニシテ行クト云フ風ニナツテ始メテ大キナ團體ガ出來ル、

第三 結論

ソウ云フヤウナ風デアリマスカラ、今日ノ團體ヲ見マスルト、

一 個人

其中ノ一員ト雖モ極メテ複雑ナモノデアアル、或ハ親族ノ點カラ申シテ見テモ、若シ諸君ガ自分獨リ
ノ身體ヲ考ヘテ御覽ナサルナラバ、自分ノオ父サンカラノ親類モアリ、又母カラノ親類モアル、オ
爺サンカラノ親類モオ婆サンカラノ親類モアル、祖父祖母ヲ中心トセル血族團體ト云フモノハ四ツ

アル譯デス、其親ニナツテ御覽ナサイ、今度ハ八ツ宛アル、六世前祖母ヲ中心トシテ云ヘバ十二通リアル、ソウ云フ團體ガ皆背ロニ控ヘテ居ル、尙ホ土地カラ言ツテ見テモ澤山土地ガアル、例ヘバ神田區ニモ關係シ、東京ニモ關係シ、郷里ノ村ニモ郡ニモ縣ニモ關係シ、又勿論日本國ニモ、國際團體ニモ關係スル、或ハ目的ニツキテ云ヘバ甚ダ複雑デアアル、此日本大學ノ一員トカ、或ハ何處ノ會社員トカ云フ様ナ譯デ一人ニ無數ニ色々ナ團體ガ付テ居ル、而シテソレ等ノモノヲ殆ド總テヲ統括シテ居ル所ノモノハ即チ國家デス、國家ト云フ團體ハ總テノモノヲ網羅シテソレヲ自分ノ中ニ統括シテ居ル、尙ホ此國家ノ方ニモ跨ツテ國家ト國家トノ間ニ團結ヲ生ジカケテ居ル、從ツテソレニ伴ツテ國際法ト云フモノガ發展シツ、アル、

二 團體

斯ノ如クナルトキニハ普遍我ト云フモノガ何ウ云フ風ニ發展シテ居ツタカ、普遍我ト云フモノ、分界ガ何ウ云フ様ナ風ニ變遷シテ來タカ、吾々ガ何處ガ普遍我ノ境デアルト認定シナケレバナラヌカト云フコトガ略々御了解ニナツタロウト思ヒマス、昔ハ自我ノ精神モ小サク交通モ少サク其働キカ微弱デアツタカラ、普遍我ト云フモノ、境ヲ吾々ノ活動ニ適スル位ノ大サニ自由ニ認メナケレバナラナカツタノデアアル、幾ラ普遍我バカリ大キク認テモ一向ソレデハ吾人ノ社會的活動ノ役ニ立タナカツタ、今日ニ於テハ自我カ非常ニ發展シタ、從テ自我カ大キクナツタ故ニ大ナル範圍ニ於テ色々普遍我ト云フモノヲ認メ、然モ併立シ得ル數多ノ普遍我ヲ同時ニ認メ、各普遍我が各特殊ニシテ然モ調和シ、善ク役ニ立チ、吾々ノ發展シタル自我ノ活動ニ缺クベカラザルモノトナツテ居ル、

三 國家

ソレト同時ニ今申シタ一番終ノ國家ト云フモノハ、總テノ普遍我ヲ統括シテ居ルモノデアアル、之レハ大變必要ナコトデアリマス、斯ノ如キハ毎々申シ來リマシタ通り、國家ト云フモノハ自主權ヲ有ツテ居ルト云フコトノ根據デアアル、國家カ自主權ヲ有ツテ居ルト云フノハ、國家ガ萬能デアル所ノ殊ニ自主力ノ最後ノ根據デアル所ノ、絕對我ト云フモノヲ或程度マテ現ハシテ居ル所以デアアル、其ノ絕對我ト云フモノヲ或程度ニ於テ現ハシテ居ルト云フ所以ハ、澤山ノ自我ト云フモノヲ悉ク統括シ、其自我ニ關聯シテ居ル所ノ無數ノ普遍我ト云フモノヲ悉ク統括シテ居ルト云フコトニ根據スルノデアリマス、サレバ國家ハ差シ當リ總テノ自我ト云フモノヲ皆含ンデ居ル所ノ我デアアル、サレバ即チ絕對我ヲ縮寫シテ居ルノデアリマス、從ツテ國家ガ自主權ヲ有ツテ居ル、自主力ニ付テハ吾々ハ之ヲ差シ當リ吾々ノ活動ノ上ニツキテ萬能ト認ムルコトハ差支ナイ、國家ハ女ヲ男ニスルコトガ出來ル、或ハ親ヲ子ニスルコトモ出來ル、或ハ物ヲ人ニスルコトモ出來ル、斯ノ如ク萬能ノ力ヲ有ツテ居ルノハ即チ此根據ガアルカラデアリマス、

四 結論

サテ法律上活動ノ主體トハ國家ノ自主權ニ基テ國家ガ自由ニ活動主體ト認テ居ルモノタルヲ要スルノデアリマス、而シテ法律上活動ノ主體タル者相互ヲ較ベ、如何ナル關係ニ付テハ、一方ガ全部デアルカ、他方ガ一部デアルカト云フニ、斯様ナコトハ皆國家ノ自主權ガ自由ニ之ヲ法律上認定シテ居ルノデアリマス、國家ノ自由認定ノ範圍ヲ離レテ其内外ニハ吾々ガ人爲ニ之ヲ定メルコトハ出來

マセズ、而シテ國家ノ認定ト云フモノハ何時モ國家ノ統一的自由權ニ基テ出來テ居ルモノデアリマスカラ、吾々ガ自然ニ於テ何處ガ自我ノ境デアルカ、何處ガ普遍我ノ境デアロウカト云フ様ナコトハ明デナクテモ、人爲ノ上デハ明確ニ其境ヲ知ルコトガ出來ルノデアリマス、(以上第五回講義)

第三岐 法上ノ認定ト之レニ基ク團體ノ種類

此前斯ウ云フコトヲ申シマシタ法上ノ活動ノ主體ト云フノハ、法ト云フ方面カラ觀ルト、絶對我ト普遍我ト自我ト云フモノニ分ツテ見ルコトガ出來ル、絶對我ト云フモノハ唯宇宙ニ一ツシカナイモノデ、宇宙ガ即チ絶對我デアル、自我ト云フモノハ御承知ノ通り澤山居リマス、現在眼ニ見エル自我ガ澤山居ルバカリデナクシテ、時ノ上ニ違ツタ時ノ上ニ於テ澤山自我ガアル、所ガ其一ツノ絶對我ト澤山ノ自我トノ間ニ無數ノ普遍我ト云フモノガ存在シテ居ル、從テ何處ガ普遍我ノ境デアルカナカノ區別ガ付ケ惡イ、例ヲ出シテ言ヒマスルト、蒙古人種ト云フモノ、境ハ何處ガ分ラナイ蒙古人種トソレカラ高加索人種トノ境ヲ求メ様ト云フテモ其境ガ分ラナイ、其境ニ近ク行キマスト云フト雜種兒ガ澤山出來テ來ルカラ混雜ニナツテ居リマス、風俗習慣デモ其境ニ行クト互ニ人ノ真似ヲシテ居ルカラ相互ニ影響ヲ受合フテ居ル、先ヅ支那人ト日本人トヲ分テ見ルトシテモ、其境ノ方ニ行クト何レガ支那人ダカ何レガ日本人ダカ誠ニ區別ガ付ケ惡イ、人種ノ點ニ於テ、或ハ風俗習慣ノ點ニ於テモ、言葉ノ點ニ於テモ、ナカノ境ガ付ケ惡イ、或ハ諸君ノ中ノ近イ團體ヲ取テモ、其自然ノ眼光ヲ以テ普遍我ノ境ハ何處デアルト云フコトガ明カニ極メ難イ、茲ニ於テカ法ハ何處ガ境ト云フコトヲ都合ノ好イ様ニ認定シテ居ル、而シテ其極メテ居ル境ノ上ノ活動主體ト云フモノガ

成立シテ居ル、法ガ自由ニ認定スルコトハ或ハ普遍我デアロウトモ、或ハ自我デアロウトモ、ソレハ構ハナイ、今日ハ普遍我ノ團體ニ付テ法上ニドウ云フ種類ガアルト云フコトヲ申シマス、是レハ第一自主團體、第二自治團體及ビ私的團體ト云フ順序ヲ説明シマス、

第一 自主權ノ主體タル團體

自我ノ跨ツテ居ル各種ノ普遍我ヲ悉ク統括シ、自我ニ屬スル各團體ヲ悉ク網羅スル普遍我ヲ其基礎ト爲セル團體ハ、現今ノ發達程度ニ於キマシテハ差當リ之ヲ國民ニ求ムルコトガ出來マス

例ヘバ此處ニ自我ガアル、自我ト云フモノハ澤山ノ團體ヲ脊中ニ脊負ツテ居リマス、此前ニ申シマシタ如ク、先ヅ親族團體等ヲ見ルト、オ老爺サンノ親類モアリ、オ婆サンノ親類モアル、オ母サンノ親類モアリ、又親父サンノ親類モアリマス、ソウ云フ様ナ譯デ、其親類ヲ採ツテ見マシテモ無數ノ親類デアリマス、或ハ信仰ヲ採ツテ見マスレバ、同一ノ宗教ヲ信仰シテ居ル者ハ固ヨリ、宗教ヲ信シテ居ナイ者デモ銘々自分ノ信仰ガアリマス、勿論其信仰ノ發達シタ程度ニ於テハ銘々信仰ノ階級ガ違ツテ居リマス、ケレドモ同シ階級又ハ同シ信仰ヲ有ツテ居ルモノハ、互ニ氣ガ合ツテ意氣投合シテ同一ノ團體ヲ成ス、又各自ハ生活シテ行ク上ニ付テ目的ヲ設ケテ活動スル、從テ或ハ保險會社ニ遣入ツテ居ルトカ、或ハ自分ノ町村ノ一員ニナツテ居ルトカ、或ハ又學校ノ一員トナツテ居ルトカ、小學校ノ時ノ友人ノ團體モアリマス、又中學校ノ時ノ友人モアリマス、或ハ又大學校ノ時ノ友人ノ團體モアル、ソウ云フ様ナ風ニ一人ノ者ガ澤山團體ヲ脊中ニ脊負ツテ居リマス、ソウ云フ所ノ自我ガ又多數ニアル、是等ノ多クノ團體ヲ大體カラ觀マスルト、悉ク總括シテ居ル所ノ一ツノ團

體ガアル、大抵自分ノ中ニ統括シテ居ル團體ガアル、是ガ自然ノ方面カラ觀マスルト、即チ國民ト云フ普遍我デアアル、此國民ト云フ普遍我ノ上ニ基テ法上存在シテ居ル所ノ團體ハ、ソレハ自然ニ主權ト云フモノヲ有ツコトガ出來ル、此自主權ニ依リ自分ノ方デ是ヲ一ノ團體ト認定シテ居ル、サレバ事實ノ上ニ於テモ是ハ統合シテ居ル一ノ團體デアリ、又法ノ上ニ於テモ一ツノ團體デアリマシテ、事實ト法ト云フモノガ一ツニ此處デ合致シテ居リマス、是ガ即チ自主團體デアリマス。

ソレカラ附加ヘテ置キマスガ、斯ウ云フ様ナ自主團體ト云フモノハ段々々々本ハ小サイモノデアツテモ、段々範圍ガ大キクナルノデス、又大キクナツテ眼ニ見エル様ニ大キクナラナクテモ、時ノ上デ大キクナツテ來ルノデス、時ノ上デ大キクナルト云フノハ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルト繼續的ニナルト云フコトデス。

此同シ人種、同一ノ土地、同一文明、同一開化ヲ有シ普遍ナル共同生活ノ目的ヲ備ヘテ居ル普遍我ハ之ニ基イテ其合成意力ヲ確實ニ具有スルノミナラス、其合成自由意力ハ其普遍我内部ノ理、及需用ニ伴フモノデアツテ、其外部ノ自由力ノ認定スルヲ俟ツテ、後ニ初メテ有效ナルヲ得ルモノデアリアリマセヌ、此内部ノ理及需用ガ其内部ニ於テ自由認定ノ力ヲ生セシムル基礎トナル力デアアル、此種ノ團體ノ自由合成力ハ之ヲ自主權ト稱ヘマス。

日本ニモ文明、開化ト云フ字カニツアリマス、此文明ト云フ方ハ何時デモ心ニ關スル方デ精神現象ニ關スル方デス、即チ國民ノ自覺ノ程度ノ進歩カラシテ種々ナ精神現象ノ進んで來ルコトヲ文明ニナツタト云フノデアリマス、一體此自覺ト云フハ個人ニ於テ心ヲ自覺シテモ、或ハ社會ニ於テ生ス

ル所ノ種々ノ事柄ヲ自覺シテモ何レモ自覺ニ相違ナイ、人間ハ大キクナル程段々伶俐ニナツテ別ナコトヲスルカ知ラヌト思フケレドモ、ソウデナイ、若シ諸君ガ自分ハ學校ニ道入ツテ小供ノ時ニ知ツテ居ルコトヨリ全ク別ノコトヲスルト思ツテ居ルカ知ラヌガ、ソレハ實ハ間違ヒデアル人間ガ生レテ小兒ノ時カラ、ズツト大キクナツテカラモ同シ事ヲシテ居リマス、同シ事ヲ知テ居ルノデス、其人間ガ學校ヘ道入タカラ、今迄知ツテ居ルコトヨリモ全ク別ノコトヲ覺エルト云フコトハ決シテアリマセヌ、人間ガ大キクナツタカラト云フテ全然別ナコトヲ爲シテ居ルノデハナイ、矢張足ヤ手ヤ又ハ口ヲ動かシテ同シ運動ヲヤツテ居ルノデス、唯自覺ノ程度ガ大變違フ、小サナ小供ヲ取テ吾々ノ自覺ノ點カラ考ヘテ見ルト全然自覺ト云フコトハ認メルコトハ出來ナイ、固ヨリ大人ノ意識ヤ自覺ヲ標準トシテ論スレバ赤子等ニハ大人ノ様ナ自覺ハアリマセヌケレドモ、小兒ダカラ何モ知ラヌ石塊カト言ヘハ石塊デハナイ、矢張種々ノ事ヲ意識シテ居リマス、唯大人ト意識ノ程度ガ大層違フノミデアアル、我々ガ或事ヲ考ヘテ非常ニ伶俐ニナツタト思フカシラヌガ、小供ダツテ矢張考ヘテ居ル、奇麗ダトカ、欲シイトカ、是ハ善イトカ惡イトカ思フテ居ルケレドモ、意識ヤ自覺ノ程度ガ非常ニ低イノミデアアル、サレバ吾々ハ何時モ其意識ヤ自覺ヲ發達シテ行クト云フコトガ特色デアアル、其程度ノ發達シテ行ク程文明ニナツタト云フノデアリマス、尤モ文明ト云フモノハ一個人ノミニ關シテ言フノデハナイ、是レハ何時デモ社會ト云フモノヲ取ツテ云フ場合デアアル、ケレドモ自覺ト云フモノハ個人ニモ關シ社會ニモ關スルノデアアル、然ルニ之レト異リ開化ノ方ハ物質ノ方デス、澤山製造場ガ出來ルトカ、汽車ガ出來ルトカ、明リヲ付ケ様ト思ヘハ、燐寸ガアルトカ、雷様ヲ使ツテ

勉強シ、雷様ヲ使ツテ遠方ノ人ト話ラシテ居ルトカ云フノハ、是ハ開化ノ方デアリマス、サテ先キニ申シタ如ク、既ニ多數ヲ統一シテ居ルト云フ様ナ、自然ニ基イテ自分ノ内部カラ此全體ノ自認力ト云フモノガ湧出シテ來ル、其自認力ニ依テ自分ガ活動ノ主體デアルト云フコトヲ認メサヘスレバ、其認定ガ事實有效ニ通用シテ行クコトガ出來ル、此場合ニハ此團體ノ此自認力ヲ團體ノ自主權ト云フ、此自主權ヲ有スル團體ハ、外部カラ外部ノ權力ニ依テ、此團體ガ自分デ認メタコトハ有效デアルト認メテ呉レテ、始メテ内部ノ認定ガ有效ニナルモノデハナイ、自分ガ自分デ認メサヘスレバ澤山デアアル、是ハ國家ノ所デ御話シテ置イタト思ヒマスカラ此位ニシテ置キマス。

今認定ニ關シテ一例ヲ出シマセウ、例ヘハ親睦會トカ學友會トカ云フノハ國家モ之レヲ一ツノ人格者ト認メテ居ルモノデハナイ、唯自然ノ上デ研究シテ見ルト、學友會等ノ内部ニ於テハ極ク程度ノ低イ普遍我ガアルト云フコトハ出來マス、ケレドモ國家ガ之ヲ法ヲ以テ人格者デアアル即チ法人デアルト認メテ居リマセヌカラシテ、學友會トシテ國法上訴訟ヲ起スコトモ出來ズ、學友會トシテ法律上金ヲ借リル主體ニナルコトモ出來ナイノデアリマス、之ニ反シテ若シ國家ガ法人デアルト認メテ呉レバ、學友會ト云フモノハ國家法律上人格者トナツテ訴訟ヲ起スコトモ出來レバ、人格者ニナツテ金ヲ借リルコトモ出來マス、然シ自主團體ハ之レニ異ナリ、他カラ認メラレ、爾後普ク有效ナル存在ヲナシ得ルモノニ非ズシテ、自分ノ内部ノ力デ何處マデモ普ク通用スル様ニ自己ノ人格ヲ認メテ居リマス。

此團體ガ即チ國家デアリマス、而シテ同一普遍我自我ノ上ニ二ツ以上ノ自主團體ノ存スルコトナキニアラス、自主團體ガ同一ノ自我ノ上ニ衝突シナガラ數多存在セシコトハ往古ノ歴史ニ於テ通例見ル所デアリマス、併シ近世ニ及ビ普遍我自我ノ各種ノ交通ガ頻繁ナルニ至リマシタルト共ニ、數多ノ自主團體ガ調和シナガラ同時ニ普遍我自我ノ上ニ成立存在スルコトヲ常トスルコトニ至リマシタ。

例ヘバ今ノ様ニ澤山ノ普遍我ガアリマスカラ線ヲ澤山書ク代リニ皆白ク塗ツテ見タノデアリマス、ソウスルトキニ於キマシテハ、自主權ヲ有ツテ居ル所ノ團體ガ澤山重ツテ居ルコトガアル、澤山重ツテ居ル其中ノ一ツノ自我ヲ取ツテ見マスルト、澤山ノ自主團體ニ屬シテ居ル、然モ自主團體ガ互ニ衝突シテ居ル、從ツテ此一ノ自我ト云フモノハ種々ノ自主團體カラ違ツタコトヲ要求サレルト云フ様ナコトガアリマス、例ヘバ甲ト云フ自主團體カラハ右セヨト命ゼラレル、乙ト云フ自主團體カラ左セヨト命ゼラレル、訴訟ガアツテ甲ト云フ自主團體ノ方ガ訴ヘルト云フト「アト云フ人間ガ勝ツ、所デ乙ト云フ自主團體ガ訴ヘレバ」ウト云フ人間ガ勝テ仕舞フ、其様ナ風デアリマス、此處ニ又丙ト云フ自主團體モ居ツテ、又自分勝手ノコトヲ要求シテ居ル、ソウ云フ様ナ具合デ互ニ衝突シテ居ル、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、自主團體ガ澤山アルハアツタケレトモ、各々完全ナルコトガ出來ナカッタ、各々不完全ナル自主團體デアツタ、各ノ歴史上ニハ斯ウ云フコトガ澤山アリマシタ、所ガ今日ニ至リマス、自主團體ガ互ニ重ツテ存在シテ居ルコトハ澤山重ツテ居ルガ、其間ガ調和シテ居ツテ衝突スルコトハナイ、例ヘバ今日ノ聯合國家ト云フ様ナモノヲ取テ見マスルトキニハ、一ツ自由團體タル國家ガアル、其中ニ又國家ガ存在シテ居リマス、即チ此處ニ居ル所ノ一人ヲ取ツ

ヲ見ルトキニハ、其人間ハ甲ト云フ自主團體タル國ニ屬シ、又乙ト云フ自主團體タル國家ニ屬シテ居リマス、ケレドモ甲及乙ト云フ自主團體ガ各々衝突シナイデ互ニ仲善ク調和シテ居リマスカラ、其内ニ居ル人間ト云フモノハニツノ自主團體カラ別々ノコトヲ要求サレテ甚タ困ルト云フ様ナコトハアリマセヌ、加之今日ニナツテ見ルト獨逸ナドデハ聯合國家ト云フモノハ一番完全ナル國家デアルト自覺シテ居リマス、亞米利加合衆國モ聯合國家デアリマス、亞米利利加各州ト云フモノハ銘々一ツノ國デアル、亞米利加合衆國モ從ツテ一ツノ國デアル、自分ノ州ノ自主權ノ下ニ支配サレテ居ル、又亞米利加ト云フ國ノ自主權ノ下ニモ支配サレテ居ル、ケレドモ亞米利加合衆國ハ始終衝突シテ居ツテ別々ニ反對ノコトヲ命令セラレテ甚ダ困ルト云フ様ナコトハアリマセヌ。

第二 自治權ノ主體タル團體及私的團體

自主權團體、即チ國家ノ内部ニハ無數ノ普遍我ガ存在シテ居リマス、但シ自主團體ノ自主力ガ幼稚ナルニ當ツテハ此權力ガ及ブ限リ種々普遍我ノ自認力ノ獨立ヲ認メズシテ自主團體タル權力ニ合一セシムル方面ニ働キマシタ、然レドモ團體及個人ノ發達ハ、自主團體ガ其内部ニ各個ノ自我ノ自認力ノ獨立ヲ認メシメ、及各種ノ普遍我ノ自認力ノ獨立ヲ認メシメ、是等自認力ノ主體ガ獨立發展スル所以ヲ以テ、却テ自主團體ノ發展スル所以ト致シマシタ、茲ニ於テカ自主團體以外ニ尙二種類ノ團體ヲ列舉シ得マス、其一ハ普遍我ヲ中心トシテ存在スル團體デアツテ、其二ハ各個ノ自我ヲ中心トシテ存在スル團體デアリマス。

昔不完全ノトキハ不完全ナル自主團體ガ澤山アツテ相互ニ競争シ衝突シテ争フテ居ツタ、殊ニ歐洲

ナドデハ著シイ、各衝突セズ能ク調和シナガラ數テ居ル團體ハ、總テノ普遍我ヲ總括シテ居ツテ、其上ニ多ク自主團體ガ重ツテ存在シ、例ハ今日ノ聯合國家ノ様ニナツテ行クナラバ宜シイケレドモ、ソウデナクシテ互ニ喧嘩ヲシテ行クト云フコトハ不自然デアル、ソレ故自然ノ必要ヲ背循トシテ喧嘩シテ居ル、其中ノ不完全ナガラモ一番強イ自主團體即チ一番天然ノ確カナ土臺ヲ有ツテ居ル所ノ自主團體ガ其力ニ依テ他ノモノヲ壓倒シタ、此頃ニアリテハ成ベク此最モ強ク自主團體ノ權ヲ以テ其團體全部ノ發達ヲ圖リ、其爲ニハ内部ノ不完全ナル自主團體ハ固ヨリ之ニ類似ノ各種團體マデ皆打潰サウ、自分獨リ權力ヲ握ラウト云フコトノミ圖ツテ居リマス、ケレドモ一旦確實不動ナル所ノ自主團體ガ出來マシテ後ニ、其者ガ發達ヲ圖ラウト致シマスル場合ニナレバ、ドウシテモ其内部ニ於テ多クノ普遍我ノ固マリヲ認メナケレバナラヌ、内部ニ於ケル各種ノ團體ト云フモノ、發展ヲ認メナケレバ自主團體ト云フモノ、發展ハ出來マセヌ、自主團體ガ内部ノ總テノ團體ヲ打倒シテソウシテ自主團體ノ繁榮ヲ圖ラフト云フノハ論理上矛盾デナイ様ニ見エマスケレドモ、能ク考ヘテ見ルト大ナル矛盾デアル、換言スレバ確定セル完全ノ國家ガ其權力ヲ盛ンニシヤウトスル爲ニハ其各個人ノ自由ヲ認メナイト云フコトガ畢竟國家自身ガ發展ヲ自分デ妨ゲルコトニナル、確實ナル國家ガ其人民ヲ壓制スルトキハ、國家ノ權力ガ大變強イ様デアルケレドモ、却テ弱クナルト同ジ論法デアリマス、言辭ヲ換ヘテ申シマスルト、既ニ確定セル完全ノ國家ガ益其權力ヲ強ウシヤウトスルニハ、人民各個人ニ自由ヲ與ヘテ保護スルト云フコトガ必要デアル、同時ニ人民カラ成ツテ居ル所ノ各種ノ普遍我及各種ノ團體ノ自由ヲ認メ、ソウシテソレヲ保護スルト云フコトガ國家ノ權力ノ發

展スル所以アリマス、ソウ云フコトヲ國家ノ法律ノ上ヲ確定致シマシタノハ、即チ國家ノ立憲制度デアル、尙ホ今少し説明シテ置キマスガ、恰度自分ノ身体全部ト自分ノ分子トノ關係ノ様ナモノデ、或ハ諸君全部ト諸君ノ手足ノ關係ノ様ナモノデアル、諸君ノ身體ヲ非常ニ健康ニシヤウトシ立派ナ人格者ニナロウト云フ場合ニ先ツ一ツノ分子ト云フモノヲ能ク發達セシメナクハ諸君ノ身體ハ發達シヤウガナイ、内部ノ各種ノ力ヲ壓制シテスツカリ潰シテ仕舞ツテ、自分ノ統一的人格ヲ發展スルコトガ出來ルト思フノハ大變ナ間違デアリマス、又諸君ノ身體ト手足トノ關係モソレト同ジコトデアリマス、恰モ諸君ノ身體全部ト手足トノ關係ト同ジコトデアル、身體ハ手足ノ發展ヲ俟ツテ、又胃ノ腑ヤ心臟、又ハ肺臟、總テノ各部分ノ發展ヲ俟ツテ而シテ後ニ發展スル、此部分ト云フモノハ全部ノ身體ノ發達ヲ俟ツテ發展シテ行クノデアリマスカラシテ、一方ヲ盛ンニセンガ爲ニ他方ヲ打潰シテ仕舞フト云フコトハ全ク間違ヒデアリマス、是ハ先キニ行ツテ申シマス、大變面白イコトデアリマス、憲法全部ノ研究ガ殆ド其研究デアリマス。

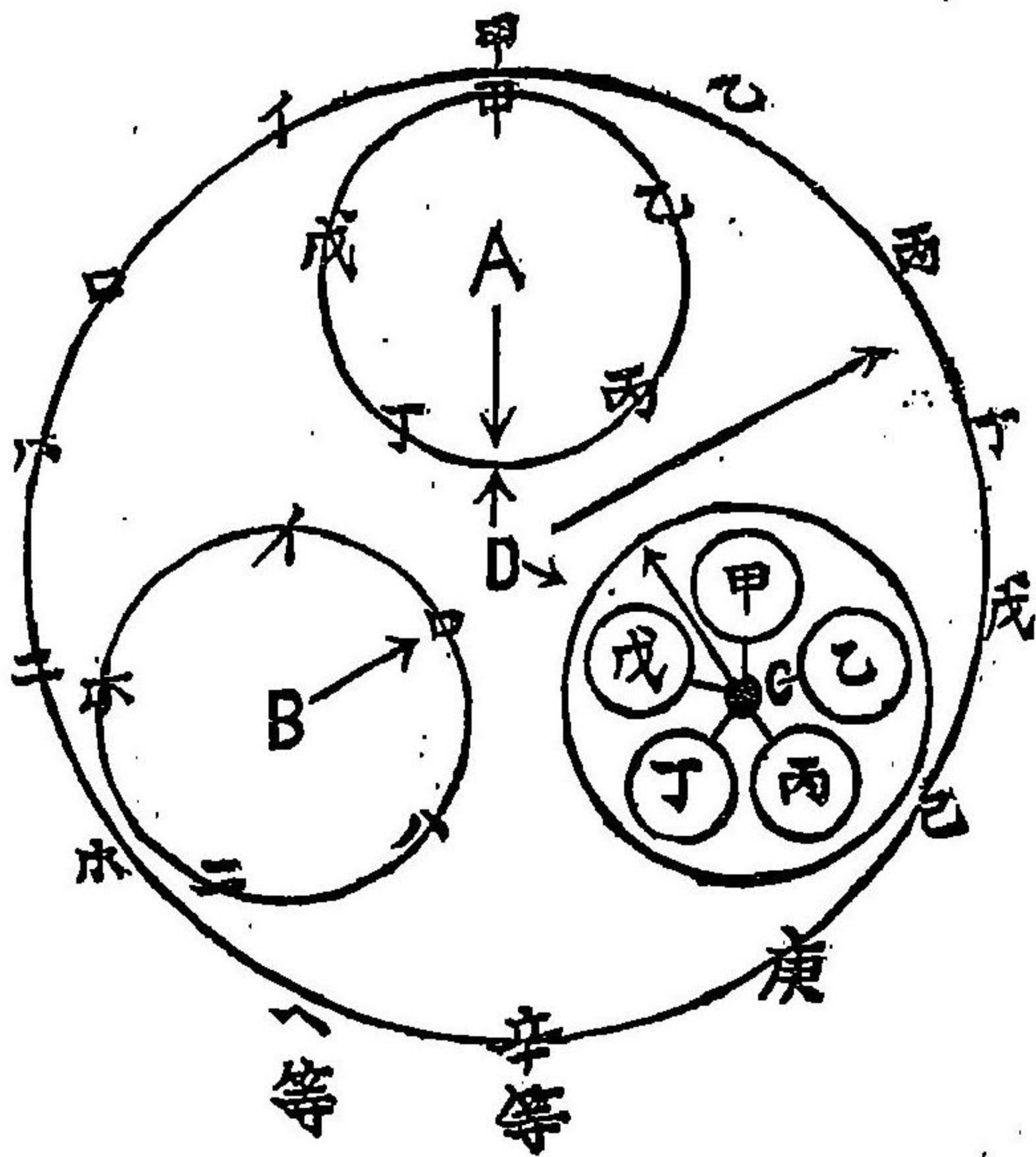
一 自治權ノ主タル團體デアツテ普遍我ヲ中心トシテ存在スルモノハ通常自治團體又ハ公共團體ノ名稱ノ下ニ了解セラル、モノデアツテ、公法人ノ一種デアリマス、而シテ自治團體ノ有ツテ居ル自治權ハ自治スル支配權デアツテ單純ノ權力デアリマセヌ、從ツテ各個ノ自我ハ少クモ此團體ヨリ其任意ニ脱退スルコトカ出來マセヌ。

今説明スル團體ハ自分ノ自主力ニ依テ存在スル團體デナクシテ、自治力ニ依テ存在スル團體デアツテ國家カラ認めラレテ始メテ存在スルモノデアル、自分ノ内部ノ力ニ依テ存在スルト云フ土臺ヲ有

ツテ居ルケレドモ、尙ホ外部カラシテ國家ノ權力ガ之ヲ有效ナリト認定シナケレバナラナイ、即認定ガニツ重ナラナケレバナラヌ、自分ノ認定ト外部ノ認定ト、内外ノ認定ガニツアツテ而シテ自治力ガ出來ル、斯様ニシテ成立スル自治力ヲ有ツテ居ル團體ニモ二種アリマス、其一ハ自治團體其二ハ私的團體デアル、私的團體モ矢張自治力ヲ有ツテ居ル、即チ會社ノ様ナモノモ自治ト云フコトヲシテ行ク力ヲ認めラレテ居ル、然シ私的團體ト異ナリ自治團體(又ハ公共團體トモ云フ)ノ方ハ、此團體存在スルコトニ付テハ其團體ノ土臺ニナツテ居ル普遍我ト云フモノガ其一番先キノ原因ニナツテ居リマス、即チ自治團體タル全部ガ第一原因デアル、第一事實デアル、此團體ト云フモノノ存在スルト云フコトガ先ツ生ジテ來ル必要ガアル、此中ニ居ル所ノ私タル個人ノ必要カラシテ此團體ガ存在スルト云フコトヲハナイ、他ノ言葉ヲ以テ言ヘハ普遍我自身ノ發展ヲ主トシテ居ルカラ各個人ノ結合ヲ見ルコトヲ必要トスルノデアリマス、換言スレバ個人ノ公共心ガ第一原因デアツテ個人ノ私心ガ第一原因タルノデハナイ、例ヘテ見ルナラバ東京市ナラ東京市ト云フモノガ一ツノ活動ノ主體ニナツテ居ル、ドウ云フ必要ニ基イテ存在シテ居ルカト申シマスルト、一體東京市ト云フ様ナ所ハ本來一ツノ活動ノ主體ニナルベキモノデアル、又ナラナクテハ工合ガ惡イト云フ自然ガアル、其自然ヲ普遍我自身ノ内部ノ力ニ依テ認定スルダケノコトガ出來ル、ソウ云フコトヲ國家ガ認めテ、ソウシテ東京市ハ活動ノ主體デアルト致シマスカラ、初メテ東京市ト云フモノハ活動ノ主體ニナル、是ガ自治團體ト私的團體ト違フ所以デアリマス、萬一東京市ガ私的團體デアルト云フナラバ、東京市内ニ於テ吾々ガ何カ商賣ヲスル上カラシテドウモ必要デアルカラト云フノデ、各自ノ私心ニ基ツ

キ各自が約束ヲシテ東京市ト云フモノハ活動ノ主體ニシヤウトスル、ソウ云フ相談ガ纏ツタ上テ國家ガ宜シイト云ツタ、ソレハ活動ノ主體ニシテヤルト云ツタ場合ニハ、東京市ハ私的團體ニナルノデアリマス。

第十二圖 團體ノ種類



自治團體ハ本來普遍我トシテ自治權ヲ有スルモノデアリマス、團體トシテ自治的活動ノ主體タルヘキガ故ニ存在スルニ至ツタノデアリマス、從ツテ其團體トシテ存在自身ガ國家ヲ發展セシムル所以デアツテ、自治團體ノ最高ノ義務ノ國家ノ爲メニ、自己ノ團體ノ繁榮ヲ圖ルノデアリマス、國家全部ノ爲メニ團體自身ノ發展ヲナスコトニアリマス。

此自治團體ト云フモノガ發展スルト云フハソレハ即チ國家ノ活動ノ目的デアル、手段デアル、即チ國家ガ發展スルト云フコトハソウ云フ様ナ自治團體ガ繁榮スル様ニ、ソウ云フ爲ニ國家ガ發展シナケレバナラヌコト

トニナル、又ソウ云フ自治團體ガ發展スル結果ハ國家ノ益々發展スル手段トナルト云フ意味デアル、夫レ故前ニ申シタ如クニ、此内ニ居ル自治團體ノ各人ハ自分ノ勝手ニ自分ノ自治團體カラ外部ヘ逃出スコトハ出來マセヌ、自治團體ガ許ス限リ自分勝手ニ外部ヘ逃出スコトハ許サレマセヌ、尙是等ノコトハ第二篇ニ行ツテカラ愈明白ニナルデアリマセウ、

二 自治力ノ主體タル團體デアツテ各個ノ自我(普遍トシテノ自我)中心トシテ存在スルモノハ私法人デアリマス、獨立全部者トシテノ自我サレハ自我ノ私心ヲ中心トシテ存在スルモノハ私法人デアリマス、團體ノ有スル合成意力即チ權力ハ縱令其内部ニ對シテ自治スル權力ナルニモセヨ、支配權ニアラスシテ單純ニ權力デアリマス、此合成意力ハ各個人ノ私意ニ基キ成立スル者デアツテ、此合成意力ノ主體タル團體ハ各個自我ノ私ノ成立存在ヲ根據ト致シマス。

前ノ自治團體ハ本來一ツノモノデアル、所ガ今申シタ私的團體ハソウデナイ、私ト貴君トテ手ヲ握リ合フテ居レハ、私ガ此方ニ行ケハ貴君モ此方ニ行ク、然シ手ヲ握リ合フテ居ルカラ一ツニナツテ居ルノデアル、サレバ互ニ手ヲ離サウト思フテ手ヲ離セバ二ツニナツテ仕舞フ、ソレガ即チ私的團體デス、私的團體モ矢張此自治ノ權力ハ有ツテ居リマス、甲乙丙丁戊ト云フモノガアツテ相互ニ其私心ニ基キテ然モ合體シ得ル共同ノ目的ヲ設ケル、從ツテ其目的ニ依テ手ヲ握リ合ツテ居ル、保險事業ヲヤツテ儲テヤロウト云フ目的ヲ甲ガ其私心ニ基キ設ケルト乙モ保險事業ヲヤル、丙モ保險事業ヲヤツテ儲テヤロウ、丁モ戊モ同シコトデアリマス、茲デ甲乙丙丁戊ガ一體ヲ成シテ居ル、其點ニ關シテハ一體ヲ成シテ居ル、(第三圖及第七圖參照)ソウシテ一體ヲ成シテ活動シヤウト云フカラ

其目的ニ關シテハ活動ノ主體デアル、ソレヲ國家ガ認メテソウ云フ活動目的ニ關シテハ甲乙丙丁戊ハ一ツノ活動ノ主體タルコトヲ認メテヤロウト申シテ居ル、是レガ商會社ナラ商會社トナツテ一ツノ法人トナリ、ソウシテ其内部ノ事ニ關シテハ、此私法人ガ甲乙丙丁戊ニ對シテ權力ヲ行フ原因トナツテ居ル、即チ合成意力タル自由力ヲ以テ居ツテ各員ニ對シテ居リマス、斯クノ如ク此私法人ト云フモノハ自分ノ内ノコトヲ自分ノ自認力ヲ以テ決定メテ居ル、即チ自治ノ權力ヲ有ツテ居ル、ケレドモ其權力ノ種類ト云フモノハ只ノ權力デアツテ支配權トハ違ヒマス、唯甲乙丙丁戊ガ其私心ニ基キ各自ニ特殊ナル自我ヲ中心トシテ約束ヲシタ結果トシテ、其間ニ生シタ所ノ合成意力ニ過ギナイ、合成意力ハ本來普遍我自分ノ權力ニ依テ權力トナツメモノデナイ、甲乙丙丁戊ノ公同心ヲ基礎トシテ其上ニ權力ガ出來タモノデナイ、從テ自治團體ノ有ツテ居ル様ナ支配權トハ違ヒ單純ナル權力デアル、是等ノ點ハ大變ニ必要ナ點デアリマスカラ御疑アツタラ質問ニ應シ御答致シマス。

各個ノ自我ハ國家ヨリ自治力ヲ認メラレタ結果、之ニ基キ各自ノ私ヲ主張スルコトハ出來ル、此自我ノ自治力ニ基キ、自我ガ獨立全部者トシテ私的活動ヲスル爲ニ、又私的活動スル結果成立存立スルコトヲ認メラレタル自我ノ團體ガ即チ私法人デアリマス、即チ私的團體デアル、故ニ此私的團體ノ自治權ハ各個自我ノ自治力ニ附隨スルモノデアツテ各個自我ノ自治力ノ反映トシテ此團體的自治力ヲ有スルモノデアリマス。

例ヘハ自治團體タル東京市ト云フモノハ、ソレハ東京市ト云フ普遍我、別ノ言葉デ云ヘバ東京市ニ擴ガツテ居ル自我ノ公同心ニ根據シテ成立シテ居ルモノデアル、自我ガ相互ニ獨立全部者トシテ他

ト對立シテ居ル上カラ説クコト、出來ナイノデス、唯全部ヲ説クノ結果トシテ始メテ一人々々ニ及ビマスケレドモ、一人々々ガ即チ第一原因デハナイ、全部ト云フ方ガ先キデアル普遍我ガ先キデアル、所ガ私法人ノ方ニ於キマシテハ、ソレニ反シテ獨立全部者タル各個人ノ方ガ先キデアツテ、各個人ヲ説ク結果トシテ其纏マツタ全部ノ如キモノヲ認メナケレバナラヌ譯デアル、各個人ガ問題デアル各個人ノ方ニ第一事實ガ存在シテ居ツテ、ソレガ集リテ全部ヲナス如ク見ユルモ其全部ハ個人ノ結果ニ過ギナイ、從ツテ其私法人ト云フモノガ自治權ヲ有ツテ居ルト云ン如クニ見エマスケレドモ、ソレハ各個人ガ國法上自治力ヲ有ツテ居ルカラ各自共同シタ結果、其自治力ガ集ツテソウシテ私法人ト云フ全部ガ自治力ヲ有ツテ居ル如ク見ユルノデアアル、之レヲ暫時法ガ團體ノ自治力トシテ認メテ居ルニ過ギナイ、即チ自治力ノ存在シテ居ル第一原因ハ、各個人ノ方ニアツテ私法人ノ方ニハナイト云フデアリマス、尙ホ自治ト云フコトニ付キマシテハ大變ニ面白ウゴザイマス、自治力ト云フコトハ今日法學界ニモヨク解ツテ居リマセヌ、是ハ第二編ノ方ニ於テ説明スル積リデアリマス、自治力ヲ有スルモノハ市町村ニ限ルモノデナイ、吾々各個人ガ自治力ヲ有ツテ居ルノデアリマス、其自治力ガ相互ニ手ヲ組合ヒ其結果トシテ私的團體全部自身ニ自治力ガ存在シテ居ル如ク見ユルケレドモ私的團體ニツキテ云ヘバ、實ハ個人ノ自治力ノ方ガ先キデアアル。

要スルニ私的團體ノ自治權ハ其根本ニ於キマシテハ團體各員ノ自治力デアリマス、唯國家ノ法ガ假リニ各個ノ自我ノ爲ニ其自我ノ特定ノ目的ニツキテハ一體タルコトヲ認ムルガ故ニ、其認メタル範圍ニ於キマシテハ、其團體自身ガ私法上ノ人格ヲ有シ、又公法上ノ人格ヲ有シ得ルノデアリ

マス。

公法人ト云フハ公法上ノ人格者ヲ指シ、私法人ハ私法上ノ人格者ヲ指スト誤解シテ下スツテハイケマセス、ソウ云フ風ニ能ク世間ヲ誤解ヲ致シマスカラ、御注意ヲ願フ、公法人デモ私法上ノ人格者ニモナリ、私法人デモ公法上ノ人格者ニ無論ナリマス、ソウ云フ意味デ公法人私法人ト云フノデハナイ公法人ハ本來全部ト云フノガ公法人ト云フノデアリマス、私法人ハ本來ハ假リノモノデ本來一個人ガ私ノ目的ニ基キ構成セル團體ガ私法人デアリマス。

此團體ノ自治權ハ從前自主權及ビ最高主權ナルモノト混同シテ存在シテ居リマシタガ、漸次ニ是等ノ權力ヨリ分岐發達シ、自治權ト稱スルモノト直接又ハ間接ニ自主權ニ依テ認メラレタル範圍内ニ於テ成立シ存在シ得ル權力ヲ申シマス、自主權ニ於テ認メラレタル自認力ヲ稱スルノデアリマス。(以上第六回附録)

第二個人 (自我)

普遍我ト云フモノハ絕對我ノ中ニ於キマシテ澤山アツテ、互ニ連絡シ合ツテ居ツテ何處ガ境カ分ラナイ、茲ニ於テカ自然ニ適フ境ヲ見付ケ出シテ、人爲ノ自由力ニ依テ其境ヲ認定シテ居ルト云フコトヲ申シマシタ、所ガ自我ニ於テモヤハリ其通りデアリマス、自我ノ境ハ甚ダ明瞭ナリト諸君ハ思ツテ居ラレルカ知ラヌガ、能ク考ヘテ御覽ニナルトナカク解ラナイ、先ヅ大キナ所ヲ取ツテ見マシテモナカク區別ガ付キ惡イ、此處ニ人間ガ居リマス、次ニ猿ガ居ル、其先ニ鳥トカ魚トカ、ソレカラ先ニ小サナ蟲ガ居ルトカ、微菌ノ如キモノ、其先ニ菌類ガ生ヘテ居ルトカ、草ガ生ヘテ居ル

トカ、木ガ生ヘテ居ル、先ヅ此人間ト松樹ヲ取ツテ見ルト、松樹ト人間ハ一目瞭然デ分界ガアル様ニ見エマス、人間ハ自由ニ活動スル自我デアルケレドモ松樹ハ自由活動ノ主體タル自我デハナイ、一ノ統一的全部ヲナシテ居ルカモ知ラナイケレドモ、松樹ハ自我デナイトオ思ヒニナル、ケレドモ段々綴イテ居ル處ノ境ヲ目付ケヤウト思フテモ其境ガ目付カリマセヌ、人間ト猿トノ境ヲ研究スルト隨分似寄ツテ居ル、猿ノ中デモ隨分精巧ナ種類ノ猿ガアリマス、人間中デモ甚シキ野蠻人ナドニナルト猿ト殆ンド區別ガ出來ナイ様ナノガ居ル、又同シ猿ノ中デモ大變ナ種類ガアツテ、小サイノハ二十日鼠ノ様ナ猿ヲ見タコトガアル、籠ノ中ニ這入ツテ居ル、ソナ小サナ猿モ居リマス、猩々ナドモ大變似テ居リマスネ、人間ノ丁度四五歳ノ子供位ノ發達ヲシテ居リ、ソレ位ニナルト物モ解カル、又或ル事ニ就テハ子供ヨリモモツト智慧ニ長ケテ居ル、動物學ヲ研究シテ見ルト其他猿カラシテ小サナ虫ヤ微菌ニ至ルマデナカク色々似寄ツタモノガアツテ區別ガ付キニクイ、虫ト菌ト草ノ境ヲ探ストヤハリ解ラナイ、何處マデガ動物カ何處カラハ植物カソレハ解ラヌ、解ラヌノカ本統デアル、天然ガ如何ナル動物ヲ造ラウ、如何ナル植物ヲ造ラウト云テ前以テ字引ヲ引張出シテ其模範ニ依テ造ツタ譯デハナイ、本來自然ニ綴イテ段々分岐發展シタノデアル、ダカラ綴イテ居ルノモ道理デアル、ソレデハ君ハ斯ウ言フケレドモ、人間ノ中ニハ優劣ノ差ハアルカ知ラヌケレドモ、等シク自我タル自由活動ノ主體ノコトハ明瞭デハナイカト仰有ルカモ知ラヌ、ソレハソウデナイ、極ク開ケヌ所ニハ「ヤブ男」(Buschmännchen)ガアル、銘々孤立シテ居ル、ソナ者ト文明人ト取ツテ見ルト、「ヤブ男」ハ動物ニ近クテ文明人ノ様ナ自我デハナイト云フコトガ言ヘル、同シ文明人ダケ

ヲ取ツテモ何處マデカオ互ニ等シキ自我ナリト認メテ可イカ分ラナイ、例ハバ野蠻人同志ガ喧嘩ナドラスルトキヲ見テモ他ノ人ヲ指シテ、コン畜生……ナドト云フ、諸君ハ他ノ人間ヲ畜生ナドトハ言ハレマスマイケレドモ、他人ノ行ニツキテ腹ガ立ツト其人ガ随分人並ノ道理ノ分ラヌ者ナドト感ゼラルル、此事ハ大ナル活動ノ範圍ヲ採リテ見レハ愈明カデアアル、古今ヲ通シテ實際ノ歴史ヲ見レバ或人種ガ他ノ民ヲ征服シタリ、或ハ敵ニ對シタリ、他ノ遠ツタ團體ノ人間教育ノ違ツタ人間又ハ階級ノ異レル人間ニ對スルト、優等優劣ノ人々ハ心ノ上デ劣等劣勢ノ人々ヲ自分ト同一ノ人トハ思ハナイ……人間ト感シナイ、從ツテ其優者ガ謂フ所ノ其間ニ通用スル自我ヲ劣者ニ對シテ認メナイ、能ク互イノ精神上ノ交通ト云フモノガ付テ來テカラハ、物質上ノ交通ガ付キマスレバ、互ニ其人格ヲ認メ合ヒマスケレドモ、ソウ云フ前ハ別ノ塊ヲ有ツテ居ルガ如クニ考ヘテ居ル、或ハ又西洋人ガ近來マデ東洋人ヲ猿ノ少シ進化シタ様ナモノダト考ヘテ居タ、東洋人モ亦西洋人ヲ夷狄トカ赤色ト云フテ輕蔑シテ居ツタ斯ク互ニ相齒ヒシナイ同ジ様ナ人格ヲ有ツテ居ラヌト思ツテ居ツタノデアアル、ソウ云フ風ニ同ジ人間ノ中デモ互ヒノ認メ方ガ違ツテ居ル、殊ニ甚シイノハ權勢ヲ有スル人ノ中ニハ世ノ中ニ自分一人ガ自我デアツテ他ハ皆己レヨリ低キ動物ノ様ニ思フテ居ル人モアル様デス、然ラバト云ツテ正直ニ極ク博愛ヲ以テ皆自我トシテ認メル者モアル、之レヲ極端ニ貫ケハ猿モ自我トシテ認メナケレバナラヌ、鳥モ蟲モ皆同等ノ自我ニナツテ仕舞フ、此ニ於テカ此ノ前申シタ團體ノ場合ト同ジ様ニ自由ノ認定力ニ依ツテ此等シキ自我ノ境ヲ極メナケレバナラヌ、先ツ自由活動ノ主體タル自我ノ境ヲ定ムル自由認定力ハ何處カラ出ルカト云ヘバ、是

レハ自主權ニ基ク認定力デアアル、此自主權ニ基ク認定力ハ元來前述セルガ如ク各個ノ自我ノ意識ヨリ發達スル、自主權ハ各自我ガ其自覺ノ程度ヲ漸次ニ發達擴張セシメ、其心ヲ總テノ方面ニ於テ團體全部ニ推シ擴メ各互ニ其心理力ヲ合一セシムルニヨツテ生ズル合成意力デアアル、別ノ言葉ヲ以テ云ヘバ各自我ノ公共心ニ基キ最モ確實且統括的ニ合一セラレテ成立存在スル合成意力ガ自主權デアアル、故ニ自主權ハ必ず自覺ノ程度ノ進ミ團體的自覺ヲ有スル自我ノ存在ヲ意味スルモノデアアル、斯クノ如クデアアルカラ、自主權ガ其團體内部ニ於ケル人格者ヲ認定スル場合ニモ、必ず現ニ此種ノ程度ノ自覺ヲ有シ又ハ有シ得ベキ性質ナル自我ヲ標準トシテ法上ノ自我トシテ認定シテ居ル、法上ノ人格者トハ此程度マデ自然ノ自覺ノ發達ヲナシ又ハナシ得ベキ自我タルモノトシテ法上正札付ケラレタモノデアアル、ソウシテ今日ノ所デ云ヘバ生物學上ノ人類ニ屬スル一員ハ原則トシテ皆此程度ノ自覺ヲ現有シ又ハ有シ得ベキ天性アルモノト認メラレテ居ル、人間ハ皆或自主權ヲ構成スル一分子トナルニ足ル自覺ヲ有シ、從ツテ其出來上ツタ自主權ニヨリ其人格者タルコトヲ認定セラレテ居ル、サレバ現今デハ人間ハ皆法律上謂フ所ノ自我デス、昔ハ同ジ人間デアツテモ外國人ナドハ法律上謂フ所ノ人格、即チ法律上ノ自我トシテ認メラレテ居ラナカッタコトガ多イ、又外國人デ無クテモ奴隸ト云フ者カアツテ、奴隸ハ動物學上カラ言フト一ノ生物デアアルケレドモ法律上ノ自我デナイ、……人格ヲ有ツテ居ナイ、即純粹ノ奴隸ニ限ラズ西洋ノ歴史デモ東洋ノ歴史デモ或ル點ニ於テハ奴隸ト同ジ者ガ今日澤山アツタ、亞米利加モ奴隸デ十九世紀ノ後半ニ戰爭ガ起ツタ、獨乙ナドデモ百姓ガ奴隸ト同ジ程度ニ取扱ツテ居ラレ、完全ノ法律上ノ自我ノナイ者トナツテ居ツタノハツイ近頃マ

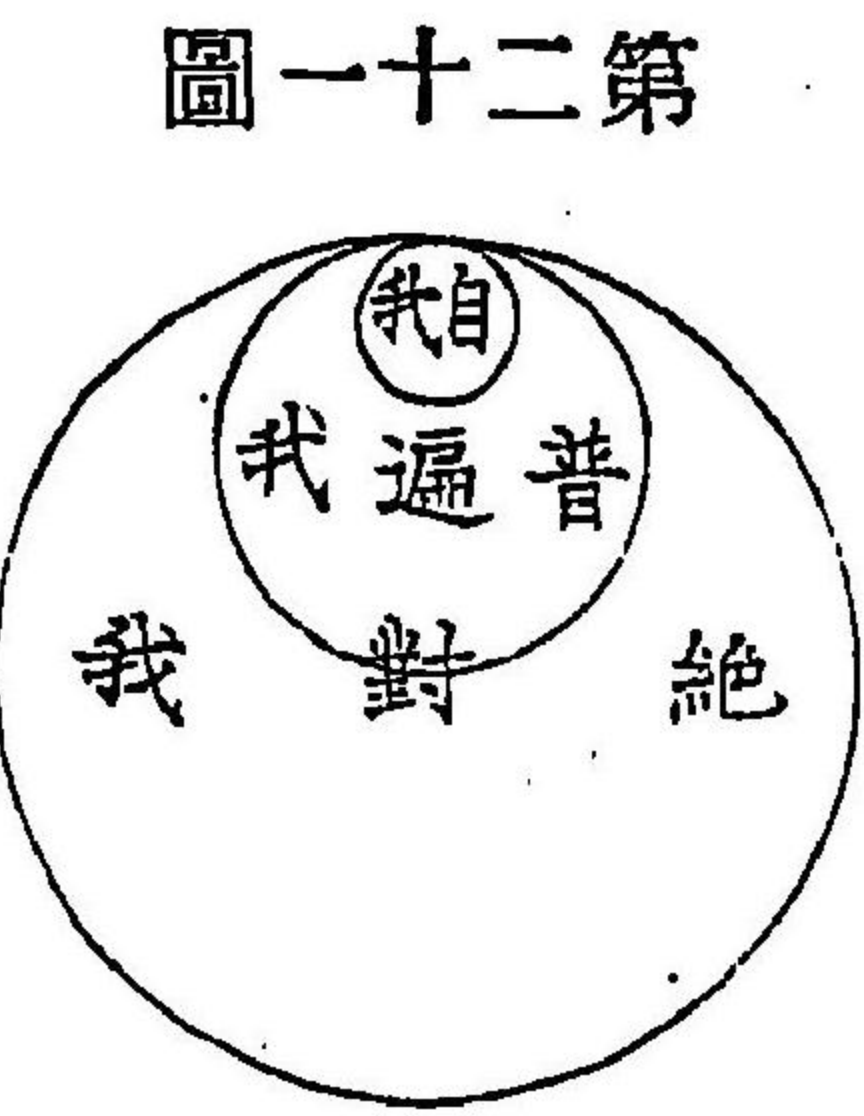
デノ話デアリマス。

自我ハ絶對我ノ發現者タルガ故ニ自然デアアル、且ツ自由デアリマス、自我ハ亦普遍我ノ發現者トシテ自然デアリ且ツ自由デアアル、然ラザル執着セル自我ハ、自我ノミニ就テ偶然ノ存在ヲ爲スモノデアアル、斯ノ如キ自我ノ存在ハ吾人之ヲ認ムルコトヲ得マセヌ、サテ絶對我ヲ見マスレバ其自然竝ニ自由ハ絶對ニシテ一ニ歸シ、普遍我ノ自由竝ニ自然ハ絶對我ニ統括セラレテ居リマスケレドモ、而カモ又各個ノ自我ヲ統括シテ居リマス、普遍我ノ自然ハ各個自我ヲ統括シ、普遍我ノ自由ハ自我ノ自由力ヲ統括シテ居リマス、果シテ然ラバ自我ハ絶對無限ナル絶對我ノ反對ノ方面ニアツテ、自我ノ自然竝ニ自由ハ最小限ヲ意味シ、從ツテ零トナルナルベキカ、斯ノ如キ疑問ハ大ニ注意スルノ値打ガアル、世ノ中ノ人ガ全部ニ執着シ、所謂社會方面ノ觀察ノミニ片寄ツタ時代ニ於キマシテハ自我ノ値ヒハ零以下ニ認メラレマシタ。

自我トハ諸君ガ銘々自分ト意識スル所ノ意識ノ上ニ在ル所ノ者デアツテ、夫ヨリ外ニハ何トモ説明ノ致シ方ガナイ、夫レデモ自我ヲ意識セヌト云フ方ガアルナラバ其ノ者ニハ自我ノ意識ヲサセヤウガナイ、例ヘハ此土瓶ハ自我ヲ意識セヌ、之レ二十年カ、ツテ自我ヲ意識サセヤウトシテモ到底無駄ナ話シデアアル、サテ此自我ト云フモノハ、自我ノ土臺ノ上ニ存在シテ居ルモノデナイ、若シ自我ハ自我ノ土臺ノ上ニ存スルモノナリト考ヘルト云フト大間違ガ生ジマス、斯ウ云フ様ナコトヲ言フト説教ヲ始メル様デアアルケレド、モ説教デアツテモ法律デアツテモ同ジク人間ノ間ニ存シ人間ノ間ニ於テ必要デアアルカラ、兩者ハ常ニチャント連絡シテ居ラナケレバナラヌ、サレバ若シ自我ノ此ノ

説明ガ説教ニ大切ナラバ同様憲法ニモ大切デアアル、即チ是ガ憲法全體ノ土臺ニナルノデ、是等ノ見方ニ由ツテ憲法全部ノ解釋ガマルヲ違フノデアアル。

サテ自我ト云フモノハ自我ノ土臺ノ上ニアルモノデナイ、自我ノ土臺ハ段々研究シテ見ルトソレハ絶對我デアアル、是ガ一番簡單ナ圖デアリマス、(第二十一圖参照)



第十六圖ヲ参照セヨ

コ、ニ居ルノガ自我デアリマス、自我ヲ段々研究シテ見ルト、自我ノ土臺ノ上ニアルモノデナクシテ、自我ハモット自分ヨリ廣イ普遍我ノ上ニアル、モウ少シ根本ニ研究スレバ絶對我ノ上ニ存在シテ居ル、恰カモ日本大學ノ此地面デモ、或ハ諸君ノ家ノ築山ヲ取ツテ御覽ニナツテモ宜シイ日本大學ノ地面ハ日本大學ノ地面ノ上ニ存在シテ居ルノデナイ、諸君ノ庭ノ築山ハ築山ノ上ニ存在シテ居ルノデハナイ、兩者ハ皆地層上ニ存在シテ居ル、而シテ此地層ハト云ヘバ即チ日本島ト云フ島ニ存存シテ居ルノデアアル、此日本島ハ又日本島ノ上ニ存ノ上シテ

居ルノデナク、ソレハモット根本的ナル地球ノ上ニ存在シテ居ルノデアアル、其中心ハ地球デアアル而シテ地球ハ地球ノ上ニ在ルノデナク、ソレハ宇宙ニ於テ初メテ存在シテ居ルコトガ出來ルモノデアアル、サレバコン諸君ノ家ノ築山ガ自分ダケ自分ノ土臺ノ上ニアルト思フト間違ヒデアアル、ツマリ宇宙ノ土臺ノ上ニ在ル同ジ様ニ日本大學ノ地面ノ上ニアルト思フト間違ヒデアアル、結局ハ宇宙ニ於テ在ル、是等ト同様ニ自我ト云フ者ハ自我ノ上ニアルノデナクシテ、國民ト云フ普遍

我ノ上ニアリ、國民ハ又人類ト云フ普遍我ノ上ニアル、否モット研究スルト人類ハ絶対我ノ上ニ存在シテ居ルサレバ自我ハ絶対我ノ基礎ノ上ニ在ル、ソレダカラシテ國家ガ戰ヲシテ居ル、何故戰ノ爲ニ一部分ノ人ガ死ナケレバナラヌノデアルカ、何故人ノ物ヲ盗ンデハイカナイカ、何故自分ガ厭デモ勉強ヲシナケレバナラヌカ、何故自分ハ飯ヲ食ツテ生キテ居ラナケレバナラナイカト云フコトハ皆ソノカラ出テ來ルノデアル。モウ一ツ例ヲ擧グレバ各自我ハ國法ニ制限サレル譯ガナササウナモノダ、然ルニ自我ガ國法ニ束縛セラルル所以ハ自我ノ基礎ガ自我ニ在ラズシテ普遍我ノ上ニ在ルカラデアル、

今自我ハ自我ノ基礎ノ上ニナイト云フコトヲ言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、嘗テ申シマシタ如クニ、諸君ハ自分ヲ自我ダト思フテ居ルカ知ラヌガ、彼ハ一個ノ自我ダト他ノ人々ガ認メテ呉レナケレバ自我トハナラナイ、此土瓶ガ自分ハ自我ダト思フテ居ルカ知ラヌガ、之ヲ誰モ自我ト認メテヤラナイカラ何時マデ經ツテモ自我デナイ、……七瓶デアル、即チ他ノ者ガヤハリ、ソレヲ認メテ呉レルト云フコトガ必要デアル、而シテ外ノ者ガ認メルト云フコトハ出來互ニ同シ性質ノ者デナケレバ出來ナイ、人間ハ土瓶ト性質ガ異ツテ居ルカラ、人間ニハ土瓶ノ考ハ解ラナイ、諸君ハ人間ト云フ普遍我ニ屬スルモノデアルカラ笑ツタトカ怒ツタトカ云フコトハオ互ノ間ニ直キ分カル、サレハオ互ニ自我ナリト認メ合ツテ居ル、要スルニ一個ノ自我デモ普遍我ノ上ニ在ル、之レヲ極論スレバ詰リ絶対我ノ上ニアルモノデアル、サテソウ言ヒマスと云フト、今度ハ普遍我ダノ絶対我ノ方バカリニ重キヲ置イテ其方面バカリ考ヘテ、イヤ、人類ハアルカ知ラヌケレドモ一人々々ノ自我ト云フモノ

ハ何ウモ無い、或ハ國民ハ居ルケレドモ一人々々ノ人間ハナイト云フ風ニ考ヘルトイケマセヌ、ソウ云フ風ナモノデアツテ、即チ一人々々ノ人間ガ無ケレバ國民モ無い、國民モ無ケレバ人類モナイ、又個々ノ人間……生物ガ無ケレバ絶対我ガアル等ガナイ、即チ雙方相待ツモノデアル、相待ツテ始メテ雙方存在シ得ルモノデアル。

然レドモ自我ノ價ヲ零ト認ムル者ハ全部ノ本統ノ意義ヲ解セザル者デアリマス、一部無クシテ決シテ全部ノ存在シ得サルコトヲ解シ得ザルモノデアル、全部アルヲ認メズシテ一部ヲ認ムルモノハ固ヨリ誤ラ居リマス、個人アルヲ知テ普遍我、絶対我ノ存在ヲ知ラザルモノハ固ヨリ誤ツテ居ル然レトモ絶対我、普遍我ヲ認メテ自我ヲ認メサルモノモ亦不可ナリ、自我ハ實ニ絶対我ノ發現者デアリマス、普遍我ハ絶対我ノ發現者デアツテ而シテ自我ハ其普遍我ノ發現者デアリマス、

第三項 注意並ニ結論

絶対我、普遍我及ビ自我ト云フ各順位ノ獨立人格者ハ本來一體デアリマス、隨ツテ相連ツテ一體ヲ成スモノタルコトヲ知ラザルベカラズ、其各程度ノ我が特種獨立人格者ナリト認ムルモノハ自我活動ノ便宜ニ出ツル勝手ノ認メデアリマス、各々自我觀察ノ便宜ニ基キ特種ノ方向ヨリナス自我有限ノ認識ノミデアリマス、隨ツテ是等ノ一ツノ意味ニ專ラ執着スルコト勿レ。

我ニツキテハ今迄色々ノ説明ノ仕方ガアル、何故ナレバ、我ト云フ代物ハ一ツデモ、此代物ノ儘何ウモ表ニ出ス譯ニ往カナイカラ、色々ノ言葉ヲ以テ表ニ出スカラ色々ニ言ヘルノデアル、今迄自我ダノ絶対我ダノ普遍我ダノ色々面倒臭ヒコトヲ言ツタトオ思ヒニナルカ知ラヌガ、人間ナト云フ

モノハ思ツテ居ルコトヲ人ニ傳フルニハ其思フコトヲ言葉ニ纏メテ何ウカスウカ其表皮ダケヲ言ヒ現ハスコトヲ得ルニ止マツテ居ル、其感シタ所ヲ其儘出ス譯ニ往カナイ、綺麗ダト思ツタコトヲ其通リソツクリ全部人ニ遣ルコトハ出來マスマイ、例ヘバ甲ガ「僕ハ今日上野ニ行ツテ展覽會デ繪ヲ見テキタガ鹹ニ綺麗ダツタ」ト友人ニ話ス、乙ナル友人ガ問フニハ「何シナニ綺麗ダツタ、其綺麗ダツタト云フ感覺ヲ其儘僕ニ與ヘテ呉レ」ト言フ然シ此トキニ甲カ何程乙ニ言葉デ話シテ聞カセテモ到底乙ニハ甲ノ感ズル通りノコトハ解ラナイ、若モ言葉デ現ハスコトガ出來ルナラ、諸君ノ中カラ網代ヲ出シテ西洋ニヤツテ西洋ヲ見サセ、又一人ヲハ派出シテ大變御馳走デモ食ベサセ、一人ニハ澤山金ヲ儲ケサセ、一人ニハ學問ヲサセレバヨイ、ソウシテ皆是等ノ者カ四方ヨリ歸ツテ來テカラ、御馳走ヲ食ベテ來タ者ニ命ジテ其通りノ味ヲ皆ニ與ヘサセ、西洋ヲ見テ來タ者ヲシテ全然其通りノ感覺ヲ一同ニ與ヘサセ、金ヲ儲ケテ來タ者ヲシテ其通りノ金ヲ一同ニ與ヘサセ、智識ヲ得タ者ヲシテ全然其會得シタ通りノ學識ヲ其儘衆ニ與ヘサセルコトガ出來ル、然シ斯様ノコトハ到底出來ナイ話シデアル、ソレト同ク我ト云フコトモ各種ノ方面ニ分ツテ説明モ出來觀察モ出來ルカ到底我其者ヲ分析セシテ言ヒ現ハスコトハ出來ヌ。

今我ニハ自我ト普遍我絕對我トアツテ、而カモ夫ハ互ニ相待ツモノデアルト云フコトヲ申シタノデアル、詰リ人間ノ考ヘルコト人間ガ言フコトハドソナコトデモ一部分ノ事ヲ考ヘ又ハ言フノミデアル、サレバ人ノ考ヘ又ハ言フ事ノ一ツノミヲ採ツテ之レニ執着シテハナラヌ、一ツコトニ執着シテ夫ヲ絕對ノ眞理トナスハ誤デアル、世ノ中ニ於テ不動絕對ノ固定シタル眞理ト云フモノハ一ツモナ

イ、一ツノ純粹ノ眞理トシテソレダケアツタラ十分デアツテ外ノモノハ一切不用デアルト云フ様ナ眞理ハ世ノ中ニハ決シテ無イ、例ヘバ「ダイヤモンド」デモ腹ノ減ツテ居ル時ニ食フ譯ニ往カナイ、智識ノ無イモノガ「ダイヤモンド」ヲ見タ所デ善イ智識ガ生シテハコヌ、或ハ「ダイヤモンド」ヲ有ツテ居ツテモ人間ノ生命ハ何千萬年モ活ルモノデナイ、唯或ル事ニ値打ガアルノミデアル、「ダイヤモンド」ニ限ラズ、御馳走デモソウデアアル、御馳走ノミ食ベテ居ツテモ長命ヲスル譯ニハユカヌ、藝ヲ覺ヘルヲケニモユカヌ、人間ニ智慧サヘアレバ臨機應變何事モ出來ルト云フカモ知ラヌガ幾ラ智慧ガアツタ所デ机ノ上カラシテ御馳走ヲ湧出サセルト云フコトハ出來ナイ、歴史ヲ見テモ大ナル學者ハ大ナル貧乏人ト云フコトハ嘘デナイ、之レト同シク神様神様トノミ之レバカリ云ツテ居ツテモ到底堪カ明カナイ、餘リ是レノミ云ヘバ迷信家カ狐付ノ舉動トナル、ソウカト云ツテ自分カ自分カト言ツテモソレモ堪ガ明カナイ餘リ自分ノコト計リ云ヘバ愚痴ニナル、或ハ同胞同胞トノミ云フテ自分ハヒヨロ／＼シテ居ツテモ夫レデモイカナイ、ツマリ世ノ中ニ一方面ノミデ堪ノ明クモノハナイ、唯ソウ云フ一部ノコトヲ言フノハ全部ノ方面中ノ一方ノミヲ見テ居ルニ過ギナイノデアルカラツマリ相互ノ連絡ヲ見テ往カナケレバナラヌ、然シ始メカラソウ申シタノデハ分ラナイカラ夫ヲ説明スル爲ニ色々説明シタノデアアル、私ガオ分リ願ヒタイト云フ様ナ風ニ其儘諸君ガ御了解下サルヲケニハ往キマスマイト思ヒマスガ夫ハ追々申ス中ニ分ル様ニナロウト思ヒマス、之レハ憲法全部ニ貫通シテ居ル大切ノコトデアルト云フコトハ常ニ御記憶ヲ願フ今度申スノハ公法ノ屬質ト云フコトデアアル。

第四款 公法ノ屬質

第一款ヨリ第三款ニ至ルマデハ、公法ノ本質ノコトヲ説明致シマシタ、サテ此公法ノ本質ト致シマシテハ甚ダ明瞭デアリマス、コノ明瞭ナル本質ヨリ公法ノ屬質ヲ見マスル時ニハ無數ニ之ヲ列舉スルコトガ出來マス、

第一項 第一次ノ屬質

意思發動關係ノ性質ハ之ヲ種々ニ分類スルコトガ出來マス、然レドモ根本的の分類ハ雙方ノ意思ノ主體ノ根本的の資格ノ差異ニアル、凡ソ主體間ノ資格ノ關係ハ主體間ニ種々ノ場合ニ種々ノ方向ニ生ズベキ各種ノ相互ノ關係ト離ルルコトガ出來ナイ、若シニソノモノノ間ニ何等ノ個々ノ關係ヲ生ゼズバ、又資格關係モナキニ等シイ、然レトモ根本ノ資格關係ヲ離レテハ、此兩主體間ニ生スベキ個々ノ相互ノ關係ヲ明カニシ得ザルモノト致シマス。

諸テ資格相互ノ關係ト申シマスレハ一言ヲ悉キマスガ、此資格關係ニ基キ其間ニ存スル個々ノ關係ニ至ツテハ無數デアリマス、其中ニテ法律現象ハ先ツ意思發動ノ關係ヲ採ツテ研究スルコトヲ要シマス。

此意思發動ノ關係ト云フモノハ言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ活動ノ關係デアアル、活動ノ關係ヲ見テソウシテ公法ナク私法ノコトヲ論シヤウト云フノデアアル、所ガ活動ノ關係ト云フコトノ性質ヲ根本的ニ定ムルモノハ即チ主體ノ資格關係デアアル、双方ノ活動ノ主體ノ資格ニ存在シテ居ル、此相互ノ活動ノ關係ガ全部ト全部トノ間ニ生ズルカ或ハ全部ト一部ノ間ニ生ズルカ、斯クノ如ク資格ノ關係カ

一番先キニ意思發動關係ノ性質ヲ定メテ仕舞フ、ケレドモ資格ノコトハ已ニ申シタコトデアリマスカラシテ、此資格ノ關係ノコトハ今ハ申サズシテ、今度ハ意思發動關係ノミニ付テ觀察シテ見ヤウト思ヒマス、

公法ノ對象タル意思發動ノ關係ノ性質ヲ見マセウ、法ノ對象ト云フノハ何カ、一體法ハ意思發動關係ヲ規律スルノデアアル、其法力ニ規律セラルル關係ガ即チ對象デアアル、其規律セラル、對象タル關係ハ即チ意思發動ノ關係デアアル、ソレダカラ公法ノ對象ト云ヒマス、公法ト云フ法力ニ依テ規律ラルベキ所ノ意思發動ノ關係ト云フコトデアアル、

公法ノ對象タル意思發動ノ關係ノ性質ハ公的の意思發動ノ關係デアリマス、即全部ト分子トノ間ノ意思發動ノ關係デアリマス、而シテ法律現象ニ付キマシテ全部ノ資格ハ本來自己内部ヨリ發生スル自認力ニ由テ自己ノ活動主體タルコトヲ認メ得ルモノデアリマス、ソウシテ團體又ハ共同ニハ其間ニ各個自我ノ合成意力が存在致シマス、而シテ法上本來全部者タル團體ハ自我ノ第一事實ニ基テ其内部ニ合成意力ヲ生セシメマス、其結果全部者ガ一部分ニ對スル意思發動ノ關係ハ支配權ノ關係デアリマス、支配權トハ團體ニ存スル權力即チ合成意力が團體各員ノ自認力ニ基キ各員ノ任意ニ生セシメラレタルモノデアナイ、從テ其團體ノ各員ニ對シテ少シモ任意ニ脱退スルコトヲ許サザルヲ得ル權力デアリマス、或ハ各員ガ團體ニ加入スルコトモ團體自身ノ自由ニ認定スルニ從テ定マリ或ハ團體ノ存在ニ必要ナル財力ヲ團體ノ任意ニ強制シテ徵收シ得ルノ權力デアリマス。全部一部ト云フコトハ既ニ此前ノ講義デオ解リニナツタコトト思ヒマスカラ、今度ハ全部一部ト云

フコトハ御承知ノコト、前提トシテオ話しルノデアアル。
 先ツ此團體ハ全部デアアル其中ノ一部ガソレニ對シテ惹起ス關係ハ支配權ノ關係ニナル、其統括シテ居ル所ノ全部ト云フモノハ其中ニ存在シテ居ル所ノ一人一人ノ人間ノ勝手ニ出來タ所ノモノデアナイノデアリマスカラシテ、其支配權ト云フモノハ面白イ性質ヲ有ツテ居ル、面白イトハ何ウ云ウ性質カト云フト、其中ノ各員ガ此處ヘ這入ラウト思ツテモ這入ルマイト思ツテモ一人一人ノ人間ノ意思ニ拘ラスシテ、全部タル團體ガ進ンデ任意ニオ前ハ當然己ノ中ニ這入ツテ居ルトカ居ナイトカ認メルノデアアル、私ノ手ガ鏡ノ手デアアルノハ厭ダト思ツテ居ツテモ私ハ當然私ノ手ダト認メテ仕舞フ私ノ頭髮ガ鏡カラ逃ゲヤウト思フテモ鏡ハ毛ヲノバシテ居リ、頭髮ガ鏡ニツイテ居ヤウト思フテモ私ハ散髪デキル、或人ガ國家ノ兵役ヲ厭フテ逃出ソウトスルト、國家ハドツコイソウハナラヌト捕ヘラルル、ソレカラ國家等ハ其中ニ居ル總テノ人間カラ前以テ約束シナイノニ金ヲ取り立テル其金ヲ出サナケレバ無暗ニ打ツ奪ツテ仕舞フ、此全部ト云フモノハ本來一人々々ガ相談シテ造ツタノデアナイ當然元カラアル譯デモアルカラデアアル。
 之ニ反シテ獨立全部者相互ノ關係ハ各々優劣ガアリマセヌ、強弱ナク大小ナシ、從ツテ支配權ノ關係デアナイ對等ノ關係デアリマス、是等ノ各個ノ自我ハ第一事實ニ基ク其自認力ヲ以テ合成意力ヲ生ゼシムルコトアルベシ、然レドモ權力ハ權力自身ノ第一事實ノ上ニ存在スルモノデアナクシテ、各個ノ自我ノ第一事實ノ上ニ存在スルモノデアリマス、從ツテ其團體ノ力ノ外形ハ支配權ニ類シテ居ルケレドモ支配權デアアリマセヌ。

之ニ反シテ互ニ相談ヲシテソレガ相談ノ結果トシテ一ノ全部ニナツタ時ハ恰カモ全部ニナツテ居ル一ノ特種ノ合成意力ガ生ジタカノ如クニ見エケレドモ、其合成意力即チ權力ハ普通ノ權力デアツテ支配權ト云フ特別ノ權力デアナイ、
 斯ノ如ク公法ガ規定スル意思發動ノ關係ハ支配權ノ關係デアリマス、私法ガ規定スル意思發動ノ關係ハ其以外ノ自我ノ自認力ヲ其第一事實トナセル結果トシテ成立存在スル意思發動ノ關係デアリマス、前ノ關係ハ合成意力ト其分意力トノ支配關係デアツテ強力ノ關係デアリマス、後ノ關係ハ歸スル所對等ノ意力相互ノ關係デアツテ強イ弱イノ關係デアリマセヌ、彼ノ權利關係ヲ規定セル法ハ公法デアツテ權利關係ヲ規定セルノ法ハ私法ナリトスルノ說ノ精神ノ中デ此所ニ合スル點ハ之レヲ採用セネバナリマセヌ、
 斯ノ如クデアリマシテ、支配權ノ關係ヲ規定シテ居ル法ハ公法デアアル、ソレカラシテ其以外ノ關係ヲ規定シテ居ル法ハ私法デアアル、斯ウ云フ標準ハ差當ツテ用フルニハ大變ニ都合ノ好イ所ノ標準デアアル……、之ヲ用ヒテ誤リハアリマセヌ、然シ何故ニ支配權ノ關係ハ公法デアアルカト云フコトヲモット確カニ研究シヤウトスレバ、今ノ全部一部ノ理由ガ最も根本的ノ觀察デアアル、意思發動ヲ吟味スル上ニ於キマシテハ支配權ノ關係トソウデアナイ所ノ意思發動ノ關係ヲ見テ、ソウシテ公法ト私法トヲ分ケルノハ差支ヘナイ、サテ今迄此權力關係ヲ規定スルノハ公法デ權利關係ヲ規定スル法ハ私法デアルト云フコトガ日本ニ行ハレテ居ル、ソレニ對シテハ大變批難ガアル、此說ノ正シキ部分ハ支配權ノ關係ヲ規定スル法ハ公法デ然ラザル對等關係ヲ規定スル法ガ私法デアルト云フコトヲ言ヒ

現ス點ニアル、ソウスレバ此説モ活キテ來ル、ケレドモ其説ハ本統ハソウ云フ風ニ根本カラ來テ居ル説デナイカラ大變ノ間違ヒガ此ノ中ニ含マツテ居ル、往來デカキ集メテ來タ米ナレバ米ノ中ニ石粒ガ大變道入ツテ居ルケレドモ其説ハ大變世間ニ行ハレテ居ルカラ一寸申シテ置キマス、

權力關係ヲ規定スル法ガ公法デアツテ、權利義務ノ關係ヲ規定スル法ガ私法ナリトスル説ニ對シテ其不完全ナル點ノ一二ヲ擧ゲマスレバ、此説ノ缺點ノ一ツハ權力關係モ之ヲ規定スルノ結果ハ權利義務ノ關係トナルモノデアツテ、彼ノ公法ハ公法上ノ權利義務ノ關係ヲ規定セル法ナルヲ忘レタルノ點ニアリマス、次ニ此説ノ不完全ナルコトノ二ハ權力ノ本質ヲ明カニセズ、權力關係ト云フモ何種類ノ權力ナルカヲ明カニセザルノ點ニアル。

權力關係ヲ規定シタモノハ公法デ、權利義務ノ關係ヲ規定スルモノハ私法デアルト云ツテモ公法ダツテ無論權利義務ノ關係ヲ規定スル法デアル、權利義務ノ關係ヲ規定シテ居ラヌ法ハアリマセヌ、法ト云フモノハ即チ客觀的ニ言ヘハ法デアツテ、主觀的ニ打壞ハシテ個々ノ意思ノ力ニナツテ來レバ權利義務トナルノデアル法ト權利義務トハ同一體ノ表裏ニシテ之レヲ主觀的ニ觀ルト客觀的ニ觀ルトニヨリ違ヒヲ生ズルニ過ギヌモノデアル、見方ニ依テハ土瓶ノ頭モアレハ底モアル、頭ガアツテ底ノナイ土瓶ハアリマセヌ、一ツノ紙ハ表モアリ裏モアル、裏ガナクテ表バカリノ紙ハアリマセヌ、大抵ハオ解リダロウト思ヒマス、ダ、詳シキコト後ニ權利義務ノ所デ説明致シマス。

今申シタ様ニ全部一部ダカラコソ其間ノ意思發動ノ關係ハ支配權ノ關係ニナル、國家ガ全部デアル、小生ハ國民ノ一人デアルカラ一部デアル、國家ト云フ全部ト小生ト云フ一部ノ關係例ヘハ小生ニ

オ前徴兵ニ出ロト言ツテ臨ム所ノ關係ハ支配權ノ關係デアル、或ハ國家ガオ前稅ヲ拂ヘト言ツテ國家ガ私ニ稅ヲ取ル、ソウ云フノハ矢張支配權ノ關係デアル、ケレドモソウデナクテ、私ガ會社ノ株主ナラ株主ニナツテ會社ノ配當ヲ受ケルト云フコトト、配當シテ呉レルト云フコトノ關係ハ夫ハ本來ハ自分達ノ自由意思ニ依テ會社ニ道入り、會社ノ一員トナツテ居ルノデアルカラシテ從ツテ全部々々ノ關係デアル、ソレハ支配權ノ關係デナイ、私法的ノ關係デアル、或ハ外ニ行ツテ物ヲ買ヒマス、金ヲ拂ツテ物ヲ持ツテ來ルト云フコトハ全部ト全部トノ間ノ關係デアツテ、支配權ノ關係デナイ、從ツテ私ガ藥屋ヘ何か買ヒニ道入ツタガ買フト思フ品ガナイカラ出ヤウトスル、スルトオ前ハ何ウシテモ寶丹ヲ買ハナケレバ出サナイ、オ前ハ己ノ處ヘ道入ツテ來タデハナイカ是非藥ヲ買ヘト云ツテ藥屋ガ私ニ寶丹ヲ押シ付ケルコトハ出來ナイ、其反對ニ私ガ藥屋ニ行ツテ今己ハ慈善事業ノ爲メニ寶丹ヲ欲シイノダカラ只無代デ寄越セト云ツテ亭主ノ不承知ナノヲ構ハズ無理ヤリニ寶丹ヲカツ浚ツテ來ルコトハ出來ナイ、何故ナレバ私ハ支配權ヲ有ツテ居ナイカラデアル、マア斯ウ云フ様ナコトハ段々オ解リニナリマスカラ此位ヒニシテ置キマセウ。

第二項 第二次于以下ノ屬質

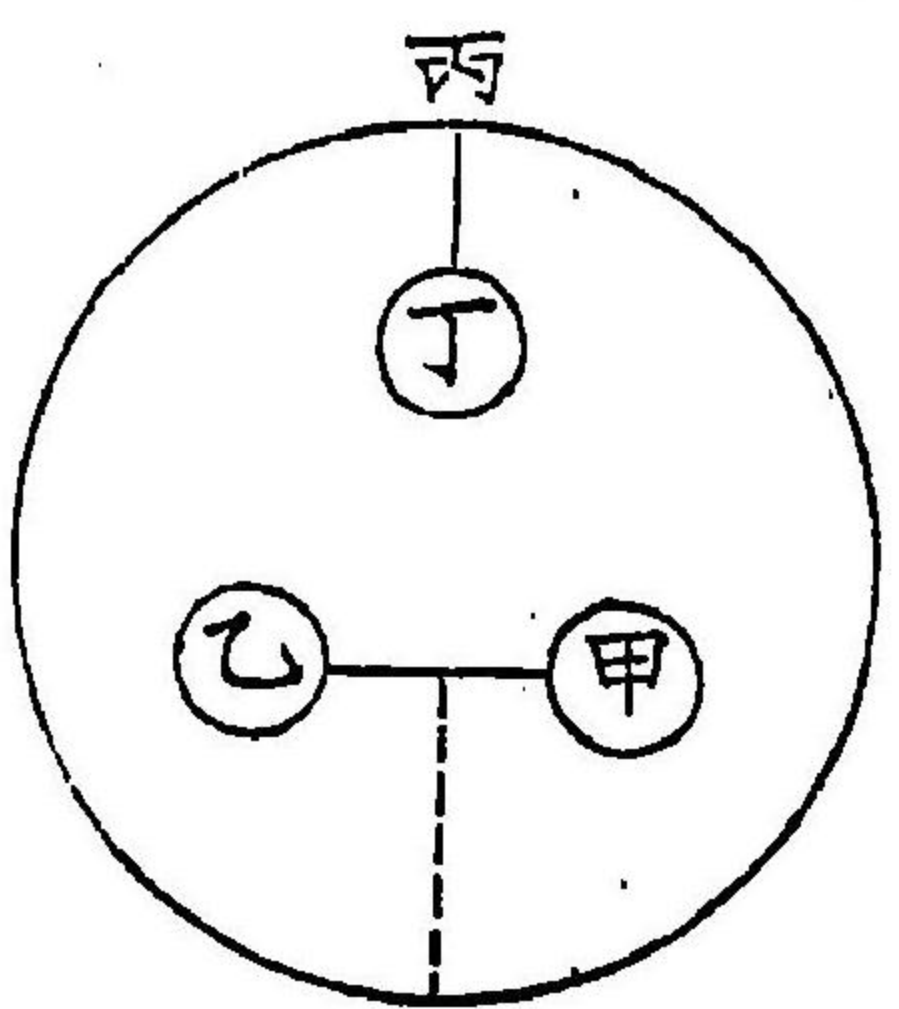
第一 公法ト云フモノハ公益ニ關スル法デアル、私法ハ私益ニ關スル法デアル、是等ハ極ク解リ易イダロウト思ヒマス、所ガ分リ易イ位デアルカラシテ公法私法ノ區別ノ標準ハ公益ト私益トニ求ムレハヨイト云フ人モアリマス、即チ公益ヲ規定スル所ノ法ハ公法デアル、私益ヲ規定スル法ハ即チ私法デアルト申シ來ツタ、是レハ法律上學説トシテイカト思フ、ソウ云フ區別ノ標準ヲ根本的

ノモノトシテ用フルノハイカナイ、何故ナレバ解ラナイト云フノハ公法ト私法ガ解ラナイト云フノ
 デアリマシヨウ、法ト云フコトハ解ツテ居ルケレドモ「公」ト云フコトガ解ラナイ、「私」ト云フコト
 ガ解ラナイ、ト云フノデアリマシヨウ、ソレニモ拘ラズイヤ公益ノ規定ガ公法タ、私益ノ規定ガ私
 法ダト言ツタラ説明ニナラナイ、例ヘバ洋犬ハドンナモノカト問フト、西洋ノ赤犬ノ様ナモノダ猫
 トハ何シナモノカト問フト、白猫ノ様ナモノダ、夫レデハ些共解ラナイ、解ラナイコトヲ以テ解ラ
 ナイコトノ説明ヲスルノデアルカライカナイ、公法トハ何シタ公益ヲ規定シタモノデアアル、私法ト
 ハ何シタ私益ヲ規定シタルモノダ、夫レデハ答ヘニナツテ居ラナイ、
 尙ホ其他ニ法律ヲ分類スルニハ利益ト云フコトヲ以テ區別スルコトハイケナイ、經濟ノ方カラナラ
 バイザ知ラズ、法律ノ方カラ言ツテ、利益ト云フコトヲ法ノ根本的區別ノ標準ニ持テ行クコトハ間
 違ヒダ、何故ナレバ意思發動關係ニツキテハ利益ハ二ノ次ノコトデアアル、例ヘバ喧嘩ヲスルト何處
 マデモヤル死ンダツテ構ハナイト云フノハ何モ利益ヤ損得ノ話デナイ、意思ノ要求ニ基キ必要ナ
 デアルダカラシテ人カラシテ譽メラレテ金ヲ撒イテ威張ルノハ其威張ルノガ面白イノデアアル、利益
 ヲスル爲メデナイ、ダカラ意思發動關係ヲ律スル法ノ根本的區別ニ利益ヲ重キ標準トスルノ
 ハ間違ツテ居ル、ケレドモ大體ノ上カラ言ツテ公法ハ公益ニ關シテ居ル、私法ハ私益ニ關シテ居ル
 ト思ヘバ間違ハナイ。

第二 私法ト云フモノハ法トシテハ確カナ法デアアル、何故カト云フト(第二十二圖參照)甲乙ト
 云フ二人ガアツテ其間ニ相互ニ意思發動ノ關係ヲ起ス兩方ノ全部者ナルモノデアアル、ソウスルト第

三者之ヲ統括スル所ノ丙ト云フモノガ傍カラ見テ居ツテ公平ニ其二人ハ斯ウ云フ風ニシナケレバナ
 ラメト云フコトヲ定メテ居ル、所ガ公法ハソウデナイ、公法ノ方ハ丁ト丙ト云フ者ノ間ノ意思發動
 ノ關係ヲ丙ガ豫メ定メテ居ル、例ヘハ小生ト國家トノ關係ハ日本國ガ定メテ居ル、私法ノ場合デ言

第二十二圖



甲乙丁 丙人
 之ヲ統括スル公法人

フト甲ト乙トノ關係ハ丙ガ定メルノデアアルケレドモ、公法ハ
 全部タル丙自身ガ定メテ居ル、自分ノ都合ノ好イ法ヲ定メ易
 イノデアアル、其ノ關係ハ極ク内輪ニ遣入リマシテ、學校ト諸
 君トノ關係デモヤハリ諸君相互ノ關係ハ學校ガ公平ニ定メテ
 居ル、學校ト諸君個々トノ關係ハ公法ニ似テ夫レハ學校ガ定
 メテ居ル、從ツテ學校ニ都合ノ好イコトヲ定メントスル傾キ
 モアロウ、或ハ一ノ商家ヲ取ルト、丁稚相互ノ關係ハ主人ガ
 定メルケレドモ、主人ト丁稚トノ關係ハ主人ガ勝手ノ規則ヲ
 定メルト云フ様ナ譯デアアル、コンナコトハオ解リデアリマセ
 ウ。

第三 今ト同シ様ナコトデアアル、私法ノ背後ニハ其私法ノ行ハレル様ニシヤウト云フ公法ガ後
 ニ始終存在シテ居ル、私法ト云フモノ、土臺ニ公法ト云フモノガアル、公法ノ土臺ニハ何ガアルカ
 ト云フト公法ノ下ニアルモノハ公法デアツテ其下ニアルモノハ事實デアルト思ツテ居レバ可イ、其
 例ヲ出スト云フト民法ナラ民法、商法ナラ商法ガ行ハレル様ニト云フト保障スルノハ憲法ガ保

障シナケレバナラヌ、所ガ憲法ハ何ウ云フ法律カト云フト、夫レハ後ロニモウ一步高イ所ノ最少限度ノ國法ト云フモノガ存在シテ居ルトシテモ、其國法ノ後ロニ何ガアルカト云フト最早法ジヤナイ、夫レハ各人ノ心ノ働キデアル、各人ノ心理ガ存在シテ居ル、即チ事實デアル。

第四 私法ト云フモノハ均一的正義均一的公平ニ基イテ居ル、民法ナラ民法ヲ解スル時ニハ總テ當事者ト云フモノニ同ジ様ニ分ケテナル様ニ、御馳走ナラ御馳走ヲ同ジ分量ニ分ケル、皆ニ一ツナラ一ツ同ジ數ニヤル、均一的デアル、所ガ公法ハソウデナイ、公法ノ方ハ配分的正義公平……配分的ト云フノハ皆同ジ様ニヤルト極ツテ居ラナイ、餘計ニ働クモノニハ餘計ニヤルシ、少シ働クモノニハ少シヤル、人間ノ身體ニ血液ヲ分ケルノハ配分的デアル、何處デモ同ジ分量ニ分ケル譯ニハ行カナイ、目デモ耳デモ頭デモ手デモ足デモ其働ク分量ニ應ジテ貰フ、目ヲ澤山使ヘバ目ノ方ハ血液ガ來ル、飯ヲ食ヘバ血液ハ胃ノ周邊ニ來テ食物ヲ消化シテ仕舞フト血液ハ逃ゲテ仕舞フ、外ヲ歩ク時分ニハ足ニ澤山血ガ集ツテ來ル、丁度其働キノ分量ニ對シテ配分シテ呉レル、夫レヨリ餘計ニ分ケテ呉レルト目ガ充血シテ眞赤ニナツテ來ル、是等ハ配分的ノ制限ニ依ラズシテ不適當ニ呉レルカラ目ガ充血スルノデアル、何故ニ斯ウ云フモノデアルカト云フト、全部一部ノ關係カラ來ルノデア

第五 民法ノ私法ノ規定ハ必ズシモ夫ニ依ラナケレバイケナイト云フ規定ト、夫レニ依ラスシテ可イト云フ規定トアル、對手方ガ承知サヘスレバ、或ハ雙方ガ約束スレバ民法ノ規定ヨリ違ツタコトガ出來ル、所ガ公法ノ方デハソウハイカナナイ、例ヘバ國家ガオ前ニハ徵兵ヲ免シテヤルトカ、オ前ダケニ限ツテ租稅ヲ取ルマイトカ、ソナナコトハ出來ナイ、ケレドモ民法ノ方デハ家賃ガ滞ツタケレドモマア君ハ面白イ人間ダカラ負ケテヤロウト云ツテ負ケテヤツテモ差支ヘナイ、所ガ國家ノ方ハオ前ハ善人ダカラ租稅ハ負ケテヤロウトソナナコトハ出來マセヌ。

第三項 附加

尙ホ附加ヘテ置キマセウ、公法私法ニ就テ斯ウ云フ説ガアル。

國家ト個人トノ關係ヲ規定シタモノカ又ハ國家ト國家トノ關係ヲ規定シタモノハ公法デアル、併シ個人ト個人トノ關係ヲ規定シタモノハ私法デアル。

此説ハ大變廣ク行ハレテ居リマスガ、是ハ一向根本的デナク、成程實際用ヒラレルケレドモ極メテ卑近ノ説デアツテ是ハ公法ノ屬質トマタイカナナイ、國家ト國家トノ關係ハ公法デアルト云フコトハ何故カ分ラナイ、今日歷史上ノ國際公法ト云フモノハ極ク不適當ノ名デアル、併シ歷史上ソウ云フ名ガ付イテ居ルカラト云ツテ國家ト國家トノ關係ハ必ズ公法デナケレバナラヌト云フコトハナイ、又國家ガ人民カラ金ヲ借リルト云フコトモアル、ソレハ私法ノ關係デヤラレル、必ズ公法トハ言ヘナイ、唯國家ヲ全部トシ個人ヲ分子トシテ全部ト分子トノ間ニ關係ヲ惹起スモノガ公法ノ支配ヲ受ケルノミデアル、此説ハ極ク卑近ナ説デアル、國家ト個人トノ關係デ支配權ノ關係デナイ場合、即チ全部ト分子ノ關係デナイ場合デモ尙ホ私法デアルト云フコトガ言ヘル。

茲ニ於テ又モウ一ツ説ガ出テ來タ、是レハ先キニ述ベタ權力關係ヲ規定スル法ハ公法デアル、權利關係ノ法ハ私法デアルト云フ説ト今述ベ終ツタ説トヲ組合ハセタノデアル、ソウシテ國家ト國家ト

ノ關係及ビ國家ノ權力ヲ規定スル法ハ公法デアリ其他ノ法ハ私法デアルト云フ説ガ極ク近來我邦ニ唱ヘラル、此説ハ成程色々ニ骨ヲ折ツテ組合セタモノデアアル、ケレドモ根本的デナイカラ總テノ場合ニ用ヒヤウトスルト大變不都合ガ起ツテ來ル、殊ニ此説デハ組合セノ理由ヨリ國ト國トノ關係ヲ定メシ法ハ常ニ公法ダト云フテ居ル、ツマリ此説ハ色々ノ説ヲ細工シテ寄せ集メタノデアアルカラ學問上ニ於テハ更ニ値打ガナイ、タゞ小供ノ好キナ寄木細工デアアル、之レハ鍋焼燗説デアアル、是レハ當時ノ編纂折衷主義流行時代ノ私生兒デアルト云フテ差支ガナカロウ。

(以上第七回附註)

第五款 公法ノ種類

第一項 總説

法トハ規律的合成意力デアルト云フコトヲ前々申シテ居リマスガ、意思ノカト云フノハ即チ吾々ノ精神作用カラ起ツテ來ル力ノ一種デアアル、何かシヤウト思フト活働ヲ表ニ惹キ起ス力デアアル、例ヘバ私ガ説明シヤウト思フノハ私ノ精神上ノ力デアツテ夫ガ意思ノ力デアアル、此意思ノ力ガ發動シテ「説明スル講義スル」ト云フ活動ヲ生ズル、所ガ法ハ斯様ノ意力中ノ一種類タル規律的意力デアアル、自我ガ前以テ意思上デ標準ヲ定メテ置イテソコヘ種々ノ他ノ意思ガ起ツテ來タナラバ、其定メテ置イタ統括的ノ標準タル意思デ以テ是等ヲ律スル、此種ノ規律的意力ノ力ガ法ノ本質デアアル、例ヘバ明朝カラハ何日モ寢坊ハ爲マイト豫メ決定シテ置ク、其爲マイト思フノガ意思ノ力デアアル、寢坊ハ爲マイト云フコトニ極メテ置カウト云フノガ、其處ニ標準タル統括的ノ意思ガ極ツタノデアアル、ソウシテ其翌ル朝カラシテ曉ニナツテ起キヤウカ起キマイカト思フ時ニ豫メ決意セシ如ク定マツタ時

間ニ起キナケレバナラマト云ツテ起キル、又他ノ例ヲ舉ゲマセウ、我々ガ人ト約束ヲ違ヘマイト云フ意思ガアルソレ故ニ色々ノ約束ヲシタ場合ニ自分ハ其約束ニ違ヘタクテモ違ヘナイヤウニスル、ソウ云フ概括的ノ意思ノ力ノ内デ他ノ意思ヲ規律スル意力ガ法ノ基礎トナルノデアアル、此規律的意思ハ統括的意力ノ力即チ概括的ノ意思ノ力デアリマス、外ノ意思ヨリ大キイ。

所ガ法ト云フモノハ規律的合成意力デアアル、以上ノ如キ規律的意力ノ力ガ合成シテ居ナケレバナラヌ、今アト云フ者ガ或事項ニ關シテ有スル規律的意力ト同一事項ニ關シテイモウモエモ皆夫レ夫レ其規律的意力ヲ有スルモノトセバ其意思ノ力ガ皆此處デ精神作用ニ依ツテ合成致シマシテ法ト云フモノガ出來マス、何ウ云フ働キニ依テ合成スルカト云フト、即チ吾々ノ有ツテ居ル社會心理ニ基イテ合成スルノデアアル、而シテ此合成シテ出來タル法ト云フモノハ何處ヲ探シタラ在ルカト云フト決シテ墓場ノ中ニモ亦寄物ノ中ニモアルモノデナイ、又世人ノ誤解セルガ如ク命令スル人ノ頭ノ中ニアルノデナイ、皆オ互ヒノ頭ノ中ニ潜ンデ居ル、ソレハ國家ノ法デアロウトモ、或ハ學友會ノ法デアロウトモ、或ハ諸君ノ間ノ四五人ノ友達ノ小サイ會ノ法デアロウトモ同ジコトデアアル、法律ト云ヒ、規則ト云ヒ皆同シ性質ヲ有ツテ居ルモノデアツテ皆各個人ガ規律的意力ヲ有スル結果其間ニ存在スルモノデアリマス。

サテ此法ト云フモノヲモツト進ンデ考ヘテ見マスルト、法ハ必ズ此アトカイトカウトカ又ハエトカ云フ者ニ對シテ働ク所ノモノデアアル、今容易キ例ニヨリテ説明致シマス、諸君ノ間ニ學友會ト云フ會ガアル、スルト其處ニ規則ガアル、其規則ハ諸君ノ間ノ心ノ動キカラ來テ居ルノデス、諸君ニ心

ガナカツタラバ規則モナク會モナイ、ダカラシテ往來ニ敷イテアル所ノ砂利ノ間ニ法律ダノ規則ダノ學友會ダノト云フモノハナイ、若シ規則等ガアリトスレバ砂利ヲ敷ク人間ニ對シテノ規則デアリマス、砂利ニ對シテ其間ニハタゞ物理學上ノ法則ガ存在スルノミデアアル。斯クノ如ク吾々ノ謂フ所ノ規律的合成力タル法ト云フモノハ、必ズ其合成意力ヲ構成シツ、アル一員タル所ノ者ニ對シテ夫ヲ支配スル所ノ力デアアル、學友會ノ規則ハ諸君間ノ合成意力ナレバコソ諸君ヲ支配シテ居ル、諸君ガ其規則ニ從ハナケレバナラヌ、ツマリ法ハ意思者間ニ始メテ成立シ得ヘキモノデアツテ、其法ハ其意思者ノ意思發動關係ヲ規律スル力デアリマス。

所ガ此法ハ一人ノ人格者ノミノ意思發動ニ對シテハ働カナイ、必ズ一人ノ人格者ガ他ノ人格者ニ對シテ直接ナリトモ間接ナリトモ意思發動關係ヲ惹キ起ス場合ニ法ト云フモノガ始メテ働クモノデアアル、例ヲ以テ言フト諸君ノ學友會ノ規則ハ諸君ノ意思發動ニ對スルモノデアアル、ケレドモ諸君ノ意思發動ガ直接ニモ間接ニモ學友會自身又ハ學友會ノ他ノ會員ト何等ノ意思發動關係ヲ生セヌ場合ニハ學友會ノ規則ト云フモノハ決シテ諸君ヲ規律スルモノデアナイ、何カ相互ノ意思者間ニ生ズル意思發動關係ノアル場合ニ始メテ學友會ノ規則ガ諸君ニ對シテ諸君ヲ規律スル、サテソレハ何故カト云フコトハ明カデアアル、總テ吾人ノ社會心理ニ基イテ成立存在シテ居ル、意思者ガ多勢一緒ニナツテ居ルカラ其結果オ互ノ社會心理ニ基ク規律的意力ガ合成シテ一ツニナルノデアアル、サレバ意思者ガ多勢居ルト云フコトガ法ノ出來ル爲ニ缺クベカラザル根據デアリ、從ツテ直接間接ニ全部ノ多勢ニ關係スル事件ナルコトガ法ノ成立存在スル根據デアリ、斯クノ如キ個々ノ意思發動ハ必ズ直接間接

ニ他ノ意思者ト意思發動ノ關係ヲ惹キ起スモノナルベキコトモ明カデアアル、若シ意思發動關係以外ノ心理上ノ關係ヲ生ズルコトアリトシテモ合成意力タル法ハ之レヲ規律スルコトガ出來ナイ、蓋シ意力ハ只意力ヲ規律シ、意力ハ意力ニ依ツテ規律セラレ得ルノミニ止マルカラデアアル。

夫故ニ第一トシテハ規律的合成意力タル所ノ法ガ支配スベキ意思發動關係ヲ生ゼシムル人格者間ノ資格關係ガ法ヲ分類スル上ニ於テ大變必要ナルモノデアルト云フコトヲ此前ニ申シマシテ、公法ト私法ノ區別ハ之レニ根據スルコトヲオ話申シテ置イタノデアリマス、即チ法ガ支配スル意思發動ノ關係ト云フモノハ全部ト全部トノ間ニ起ツタ所ノモノデアアルガ、又ハ全部ト其中ノ一部分トノ間ニ起ツタ所ノ意思發動ノ關係ヲ規律スルモノデアアルカト云フコトハ、法ヲ根本的ニ公法ト私法トニ分ケル所ノ最モ大切ナル標準デアアル。凡ノ法ガ公法デアアルカ私法デアアルカニ依テマルデ立法ノ精神ナリ解釋ノ精神ナリガ違フ、吾々ガ幼稚ノ時カラ「公ケノコト」デアアル、「私ノコト」デアルト云フコトヲ口癖ニ言ツテ居ル、又一人ノ人間ヲ擱ヘテ、「君ハ學校ノ教師トシテソウ云フコトヲ言フノデアアルカ又個人トシテ言フノデアアルカ」トカ、「君ハ官吏トシテソウ云フコトヲ言フノデアアルカ又個人トシテハ何ウデアアル？」ト云フ様ナコトハ能ク言フコトデアアル、即チ公ケノ方面ト私ノ方面トハ知ラズ知ラズ毎日區別シテ居ル、ソウ云フ所ノ精神ガ法トシテ固マツタ場合ニ一方ハ公法トナリ、一方ハ私法トナルノデアリマス。

次ニ第二ニ規律セラル、所ノ意思發動ノ關係ノ性質ト云フモノニ依テ法ヲ區別スルコトガ出來マスソレカラ最後ニ第三ニ法ハ合成意力デアアルカラシテ、其合成スル程度範圍ハ何ウ云フ風ニ違フカト

云フコトニヨリテ法ヲ區別スルガ出来マス、今是等ノ標準ヲ用ヒテ進ンテ公法自身ヲ區別シマセウ。

第二項 人格者間ノ資格關係ヨリ見タル公法ノ區別

此區別ハ極メテ簡單デス、一體法ト云フモノハ其全體ニ就テ此標準ニ依テ公法ト私法トヲ分ツト云フコトハ最も根本的ノコトデアツテ、又最も必要ナルコトデアアル、サテ此分チテ得タル公法自身ノ内部ニ就キマシテ此標準即チ人格者間ノ資格關係カラシテ公法ヲ區別シマスルトキハ、大略次ノ様ナモノガアリマス、

第一 國際公法

第二 國法——即チ自主團體ノ公法

國法ト云フコトハ前ニ述ベタノデアリマス、國法ハ即チ國家ノ公法デアアル、國家ノ公法ハ即チ自主團體ノ公法デアアル。

第三 自治團體ノ公法

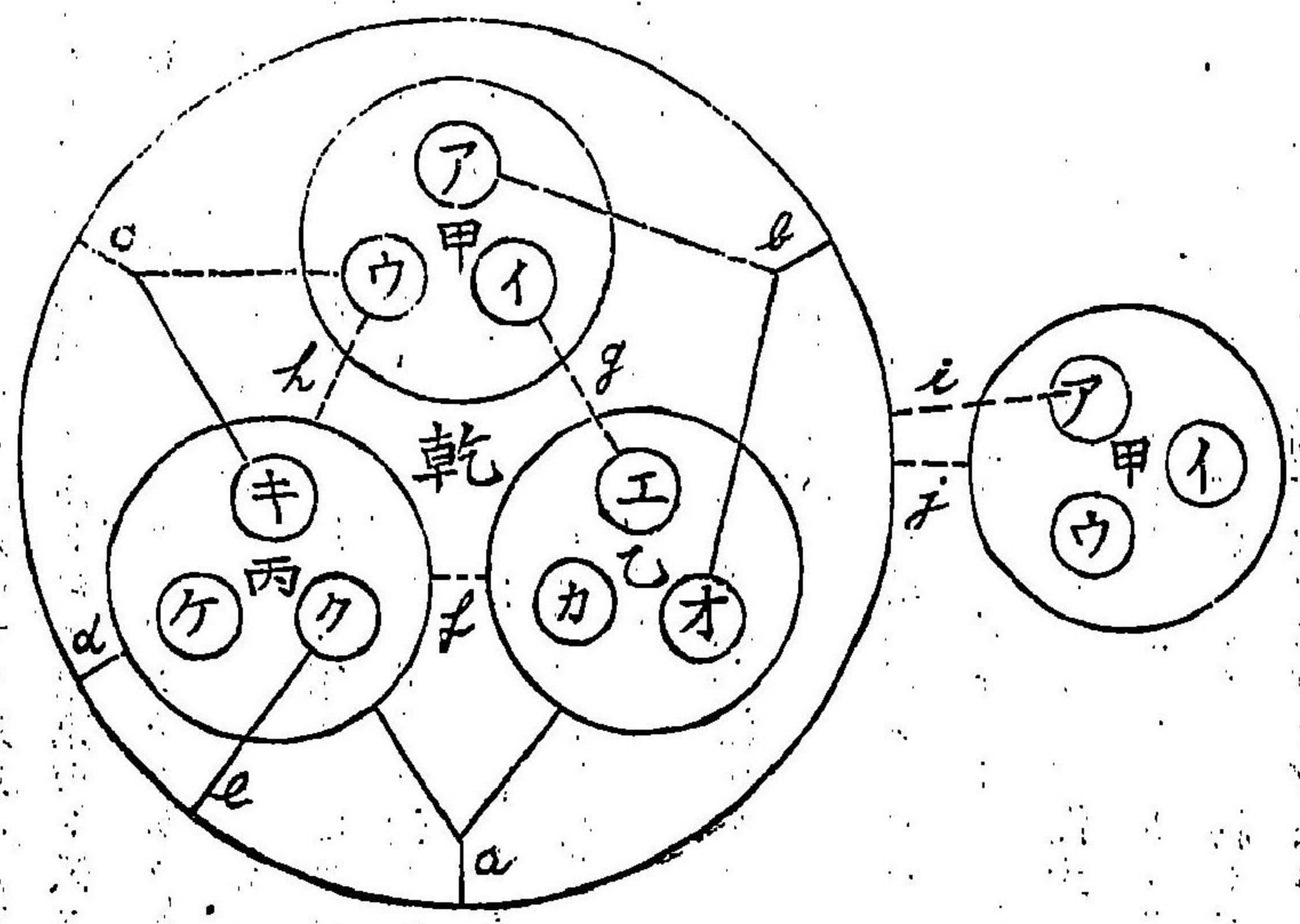
自治團體ノ公法ト云フノハ國家ノ公法ニ餘程類シテ居ル、唯自治團體ハ支配權ヲ有ツテ居ルケレドモ自主權ヲ有ツテ居ラヌ、此點ヲ國法ト趣キヲ異ニスル所ガアル、自治團體ハ自身デ作ツタ内部ノ法ヲ有スルガ、加之ノミナラズ、國法ト云フモノガ同時ニ自治團體ノ内部ノ法ヲ定メテ居リ、之レガ同時ニ自治團體内部ノ法トシテ有效ニナツテ居ル、斯ク國家ノ法、即チ國法ト云フモノハ其内ニ在ル自治團體ノ法ヲ定メテ居ルコトガ多少ノ程度コソ違ヘ必要デアアルケレドモ、自治團體ハ國家ノ

法ヲ定メテ居ルコトハナイ、例ヘバ東京市ナラ東京市ノ團體内部ノ公法ト云フモノハ國法トシテ定ツテ居ルコトガアル、即チ國家ノ法律トシテ東京市ト云フ自治體ノ内部ノ公法ヲ定メテ居ルコトガアルケレドモ、東京市自身デ法ヲ定メテ、ソウシテ夫ヲ國家ノ法トシテ國家全體ヲ夫レニ從ハシムルコトハ無論アリマセヌ。斯ノ如クデアリマスカラ公法ト云フモノト國法トハ全然同ジデアアリマセヌ、國法ハ公法ノ一部ニ過ギナイ、即チ國家ノ公法ガ國法デアアルノミデアアル、國法ト公法ト同ジ様ニ混同シテ居ルノハ夫レハ間違ヒデアアル、公法ト云フモノハ此三ツノモノヲ統括シテ居ルモノデアリマスカラシテ、國法ト云フモノハ公法中ノ一部ニ過ギナイノデアアル、

最後ニ國際公法ハ何ウ云フモノカ、是レハ國家ノ對外作用ヤ條約等ノコトヲ後ニ述ベルカラ、其前置キトシテ只今一言シテオク必要ガアル、私ガ今國際公法ト申スノハ今日世間デ國際公法ト云ツテ居ルモノヲ言フノデアナイ、今日謂フ所ノ國際公法ナルモノハ性質ノ上カラ言フト國際私法タルモノガ多イ、今圖ヲ以テ之レヲ示シマス、

此第二十三圖ヲ見乍ラ其右ノ方ニ國際公的關係タルベキモノヲ書イテ見、左ノ方ニ國際私的關係タルベキモノヲ書イテ見マセウ、此圖ノ甲ト乙ト丙トハ各國デアアル其全部ヲ統括シテ居ル大圖ガ國際團體デアアル、サテ乙ト丙トノ間デ條約ヲ結ブトカ、領土ノ割讓ヲ仕合フトカ云フコトハ(第二十三圖)是ハ恰カモ私ノ地處ヲ貴方ニ賣ツテ上ケマセウトカ、何ウ云フ約束ヲ結ビマセウトカ云フコトト同ジコトデアアル、個人相互ノ間デ賣買シタリ契約シタリスルノト同ジコトデアアル、然ルニ丙國ト乙國ノ間ニ争ヒノアル場合ニ裁判デ以テ其争ヒガ決スルトカ、又ハ各國間ニ國際法ト云フモノガ

圖三十二第 國際關係分岐發展之想像



- 乾 國際團體（發達幼稚ナル自主團體ノ一）
- 甲乙丙 國家（發達充分ナル自主團體）
- アイウエオ 個人又ハ自治團體又ハ私的團體
- 一 國際公的關係
- a 乙丙ト之ヲ統括セル乾トノ關係
- b アオト之ヲ統括セル乾トノ關係
- c 甲トキトノ關係ヲ乾リ統括セル關係
- d 乾カ丙ヲ統括セル關係
- e 乾ガクヲ統括セル關係
- 二 國際私的關係
- f 丙ト乙トノ獨立全部者トシテ起ス關係
- g エトイトノ全部者間ノ關係
- h 丙トウトノ全部者間ノ關係
- i 乾トアトノ全部獨立者間ノ關係
- j 乾ト甲トノ全部獨立者間ノ關係

成立スルトカ、斯ウ云フコトニ關スル法ト云フモノハ（第二十三圖a）、即チ夫ハ國際公法ノ性質ヲ有ツテ居ル、恰モ國家ノ内部ニ於キマシテ吾々ヲ統括シテ居ル國家ト云フ團體ガ吾々ヲ分子トシテ裁判ヲスル法ハ公法ナルコトニ同ジ、或ハ分子タル吾々間ニアル規律的意思ト云フモノハ何ウ云フ風ニスルト合成シテ法トナルトカ、云フコトヲ定メテ居ル法ハ即チ國家ノ公法、即チ國法デアルト云フト同ジコトニナル、要ヲ摘ンテ申セバ、國家ニセヨ個人ニセヨ、苟クモ國際團體ノ一分子トシテ、國際團體ト全部一部ノ資格デ其間ニ生ゼシムル關係ハ國際公的關係デアリマス、而シテ此ノ國際公的關係ヲ規律スル法ハ國際公法ニナリマス。或ハ又甲國ノ中ノ一人ガ乙國ノ一人ト各獨立全部者トシテ或ル關係ヲ惹起ストシマセウ、ソウ云フ風ノコトハ現今ノ所デハ國內法ヲ離レ之レニ超越セル國際法トシテ未ダ認メ得ル様ニ發達シテ居マセケレドモ、是カラ進歩致シマスル時ニハ必ラズ純然タル國際法ニナリマス、此種ノ意思發動ノ關係ハ或ハ甲國ノ一人ト乙國ノ中ノ一人トガ直接ニ關係ヲ起ス場合デモ、或ハ各々自分ノ國家ヲ通シテ關係ヲ起ス場合デモ（第二十三圖b及ヒg）夫ハ矢張正シキ意味ノ國際私法ニ屬スベキデアル、而シテ雙方全部トシテ起ス關係（g）ハ國際私法ノ規律スル所ニ屬シ、雙方國際團體ノ分子トシテ國際團體トノ關係ヲ起ス場合ノ法ハ國際公法トナル（b）、若シ各全部者トシテ全部者ト全部者トノ間ニ起ル關係デアラナラバ國際關係デアツテモ、勿論私法デアルニ違ヒナイ、御注意マデ申シテ置マスコトハ、今日所謂國際私法ト云フモノハ以上ニ似タル個人間ノ關係等ヲ申シマスガ、今日デハ此種ノ法ハ未ダ本統ノ國際法トシテ發達セヌ、今日ノ國際私法ト云フモノハ實際ニ於テハ外國ニ關係アル事項ニ對スル國家内部ノ法ニ過ギマセヌ。

夫レカラ又今度ハ甲國ノ一人ト丙國自身トノ間ノ關係デアアル、甲國內ノ一人トハ個人ヲモ會社デモ構ハナイ、或ハ地方團體デモ構ハナイ東京市ト云フ様ナモノデモ構ハナイ、ソウ云フモノト丙國トノ間ニ關係ヲ起シタ意思發動關係デモ、雙方ガ各獨立全部者トシテ對立スル場合ニハ矢張國際私的關係デアアル(第二十三圖)。丙國ノ中ノ一員ト甲國トノ關係(第二十三圖)。又ハ甲國ノ中ノ一員ト(第二十三圖)。乙國中ノ一員トノ關係、又ハ丙國中一員ト國際團體トノ關係デアツテモ、(第二十三圖)。其關係ガ國際團體全部ニ對スル様ナ關係ニシテ、全部一部ノ意思發動關係ナル時ハ此關係ヲ規律スル法ヲ猶ホ國際公法ノ中ニ入レネバナラヌ、然シ之ニ反シテ苟モ全部ト全部ノ資格ニテ生ズル關係デアアルナラバ、國際團體ト國家、國際團體ト個人等トノ意思發動關係ナルニセヨ、(第二十三圖。及j)之ヲ國際私的關係ト謂ハネバナラヌ、從テ此國際私的關係ヲ規律スル法ハ國際私法ナリト云ハネバナラヌ、ケレドモ要スルニ如此場合ハ孰レモ極テ稀ナコトデ、將來國際法ノ發達ノ場合ニ明ニ見ラレ得ルコトデアアル現今ハ極テ稀ナコトデ殆ト之ヲ明ニシ難カラント思フ。デ諸君ニ御注意ヲ願ヒタイノハ、國際法ガ益發達シテ來タ後ニハ是非共ソウ云フ理窟ヲ言フコトガ必要デアリマヌ、今日ノ如ク混沌トシテ國際法ト云フモノガ法デアアルカ、法デナイカト云フコトマデ争ノアル位ノ幼稚ノ國際法ニ於キマシテハ、斯ウ云フ様ナ色々ノモノガ明瞭ニ發達シテ居マセヌ、居マセヌカラシテ強テ斯ウ云フ風ニ分ケ様ト思ツテモ困難ニ感ジマス、困難ニ感ジマスト云ツテソウ云フ風ニ分ケルノガ正シイト云フコトニ着眼シテモ宜イト云フコトハ言ヘナイ、國際法ヲ分類スル標準ヲ正シク心得テ始終之レニ從テ取調ベルコトヲシテ居ラナケレバナラヌ、此着眼點ヨリ國際法ノ發達ヲナサシメネバナラヌ、唯ソウ云フコトニ眼ヲ着ケテ居ツテモ實際之ヲ活用スルコトガ六ヶ敷イノデアアル、然シ困難ナルコトヲ以テ直ニ此標準ヲ棄ツルコトヲ許サヌ、現ニ國際公法ノ上ノ大問題トシテ學者カ八釜敷今日論シテ居ル問題ハ、即チ一個人又ハ自治團體及ヒ私法團體ト云フ様ナモノハ、國際公法ノ上ノ人格者ニナルコトカ出來ルカ否ヤト云フコトデアアル、或ル者ハ出來ル、或ル者ハ出來ナイト言フ然シ之ヲ根本カラ論ズルトキハ何ソデモナイコトデ、國家デアロウトモ一私人デアロウトモ苟モ國際公法ニ關スルコトハ皆ソノ人格者ニナルベキコトハ當然ノコトデアアル、唯國際團體ハ極メテ幼稚ナ者デアツテ、此幼稚ナ團體ノ發達スルニハ、一個人々々々ト云フモノガ直接ニ相互ノ關係ヲ生セシメ直接ニ團體ヲ成立セシムル程發達シテ居ナイ、サレハ各個人ガ國家ヲ通シテ國家ヲ媒介トシテソウシテ國際團體ヲ發達セシメツ、アルノデアアル、サレバ今日多クノ場合ニハ國家ノミガ國際法上ノ人格者トシテ目ニ見ヘテ居ルケレドモ、個人モ日ニ日ニ目ニ見ユル様ニナツテ居ル、サレバ將來益此事實カ發展シテ一私人、一會社、一地方、團體ナドト云フモノハ國際法ノ成立存在ノ元素トナルコト明瞭ナルニ至リ、是非共國際法上ノ人格者トシテ何人ヨリモ疑ハレズニ認メラルルニ至ルコトト思ヒマス、ソウ云フ關係ガ發達スルト國際法ノ中デモ公法私法ト云フモノ、分類ガ極メテ分歧發達スル必要ヲ認メ、前述ノ如キ區別ノ標準ハ非常ナル勢力アル標準トナルデアロウト信シマス尙ホ國際法ハ法カ何ウカト云フコトハ六ヶ敷イコトトモ思ハヌガ茲デハ論シマセヌ、唯タ結論ダケヲ一言スルト、今日ハ尙ホ國際法ノ發達ノ仕カゲデアアルカラ極メテ幼稚ナモノデアアル、ケレドモ幼稚ナ法ト云フコトガ言ヘルコトハ確カデアアル。

達ヲナサシメネバナラヌ、唯ソウ云フコトニ眼ヲ着ケテ居ツテモ實際之ヲ活用スルコトガ六ヶ敷イノデアアル、然シ困難ナルコトヲ以テ直ニ此標準ヲ棄ツルコトヲ許サヌ、現ニ國際公法ノ上ノ大問題トシテ學者カ八釜敷今日論シテ居ル問題ハ、即チ一個人又ハ自治團體及ヒ私法團體ト云フ様ナモノハ、國際公法ノ上ノ人格者ニナルコトカ出來ルカ否ヤト云フコトデアアル、或ル者ハ出來ル、或ル者ハ出來ナイト言フ然シ之ヲ根本カラ論ズルトキハ何ソデモナイコトデ、國家デアロウトモ一私人デアロウトモ苟モ國際公法ニ關スルコトハ皆ソノ人格者ニナルベキコトハ當然ノコトデアアル、唯國際團體ハ極メテ幼稚ナ者デアツテ、此幼稚ナ團體ノ發達スルニハ、一個人々々々ト云フモノガ直接ニ相互ノ關係ヲ生セシメ直接ニ團體ヲ成立セシムル程發達シテ居ナイ、サレハ各個人ガ國家ヲ通シテ國家ヲ媒介トシテソウシテ國際團體ヲ發達セシメツ、アルノデアアル、サレバ今日多クノ場合ニハ國家ノミガ國際法上ノ人格者トシテ目ニ見ヘテ居ルケレドモ、個人モ日ニ日ニ目ニ見ユル様ニナツテ居ル、サレバ將來益此事實カ發展シテ一私人、一會社、一地方、團體ナドト云フモノハ國際法ノ成立存在ノ元素トナルコト明瞭ナルニ至リ、是非共國際法上ノ人格者トシテ何人ヨリモ疑ハレズニ認メラルルニ至ルコトト思ヒマス、ソウ云フ關係ガ發達スルト國際法ノ中デモ公法私法ト云フモノ、分類ガ極メテ分歧發達スル必要ヲ認メ、前述ノ如キ區別ノ標準ハ非常ナル勢力アル標準トナルデアロウト信シマス尙ホ國際法ハ法カ何ウカト云フコトハ六ヶ敷イコトトモ思ハヌガ茲デハ論シマセヌ、唯タ結論ダケヲ一言スルト、今日ハ尙ホ國際法ノ發達ノ仕カゲデアアルカラ極メテ幼稚ナモノデアアル、ケレドモ幼稚ナ法ト云フコトガ言ヘルコトハ確カデアアル。

第三項 規律的合成意力ノ合成スル範圍、程度及ヒ 性質ヨリスル公法ノ分類

第一目 合成スル程度

合成スル程度カラ申シマス時ニハ公法タル法ニモ種々アリマス、先ツ之ル大別シテ三ツニ分ケル、

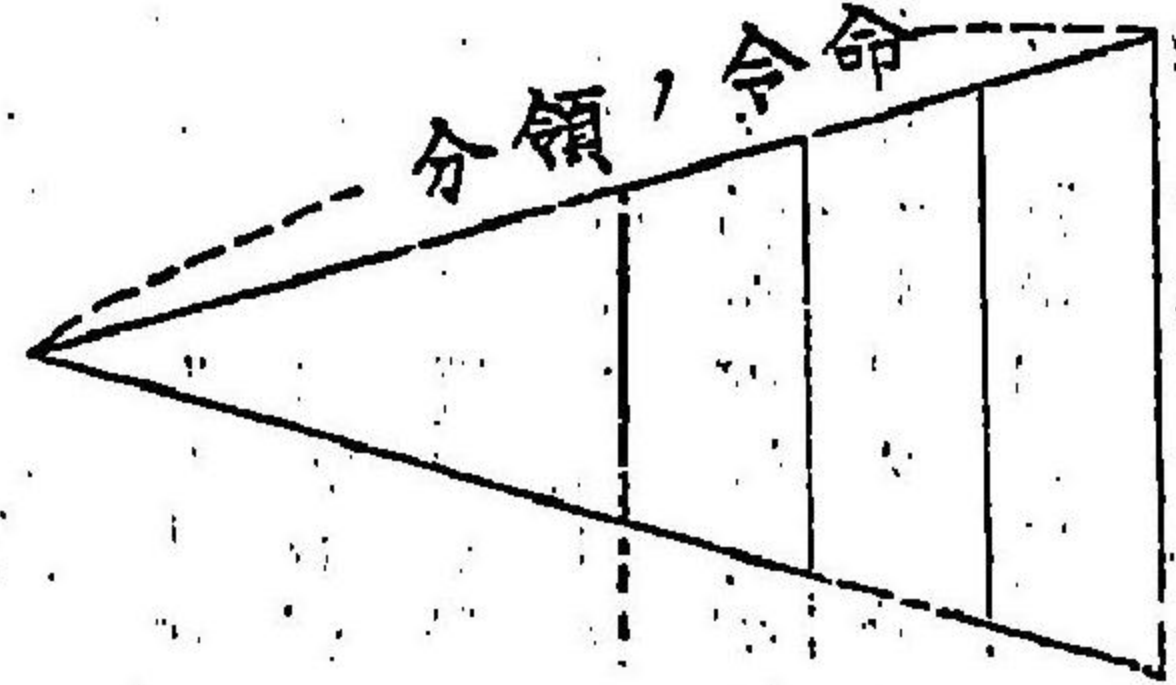
- 一 憲法
- 二 法律
- 三 命令

勿論法律ダノ命令ダノ及ヒ其他種々ノ法ノ細カキ種類ノコトハ先ニナツテ述ブルコトデアルケレドモ、今言フノハ先ニ至ツテ出ル狂言ノ三番更ニ過ギヌノデアリマス。又公法ノ區別ハ或程度ニ於テハ私法ノ區別ニモナリマスコトヲ注意セラレタイ。

法ト云フモノハ合成意力デアアル、所ガ合成ト云フノハ銘々ノ心ノ働キデ合成シテ居ルノデアアル、同シ合成シテ居ツテモ程度ガ大變違ヒマス、例ヘハ人ガ有難ウト云フ、其有難ウト云フ中ニモ「有難ウ」ト言フト誠ニ心中カラ言フノデアアル又同シ「有難ウト」云フテモ、實ハ口先キデ「有難ウ」ト言フノミデ、其實ハ心中ニ餘リ有難ク無イケレドモ「有難クナイ」トモ言ヘナイカラ口ニ出シテ「有難ウ」ト言フトハ、前後共ニ「有難ウ」デアアルガ其心ノ働キデハ深淺ノ程度ガ大變違フ、其様ナ顯梅デ同一ノ内容ヲ有スル法律的意力デモ其合成スル程度ガ違フ、同シク面白サウニ運動スル場合デモ、約束シタノダカラ實ハ好マヌガ餘儀ナク運動スル場合ト、何ウモ何ヲ置イテモ運動ガ好キ

圖 四 十 二 第

法ノ合成ノ程度
大 ← 繼續強キ 効力 → 小
小 ← 普通



最小限度ノ國法

憲法

法律

命令(通常)

○詳説ハ第二編及ヒ
第四編ニ願ル

ニ次グモノデアアル、即チ數學上デ使フ方向ヲ以テ言フト第二十四圖ノ様デアアル、即チ時間ニ於テモ繼續的デアアルコト、所ニ於テモ普通デアリ、或ハ行ハル、點ニ於テモ確實デアアル、ト云フ性質ヲ有ツテ居ル。

違ヒガアル、憲法ハ其合成ノ仕方ガ一番重キ手續キニナツテ居ル、輕卒ニ出來ナイ、ソウシテ一般ノ人モ憲法ト云フモノハ勿論ソウ無暗ニ動カヌモノダト云フ考ヘテ有ツテ居ル、夫レヲ形式ニ現ハスト重キシイ、法律ハ夫レニ次テ而倒デアアル、又成ルタケ確實ニ合成スル様ナ仕掛ケガ備ハツテ居ル、命令ハ最チ簡便デアアル、命令ハ君主、君主デナクトモ外ノ國家ノ機關ガ獨リ出セル例ヘバ東京府知事ガ命令ハスコトモ出來レバ各省大臣モ亦命令ヲ出スコトヲ出來ル、大藏大臣ガ出ス

大藏省令、或ハ府縣知事が出ス府令、縣令ト云フモノハ皆命令デアル、況ンヤ君主ガ一人ヲ御出シニナル勅令ト云フノモ命令デアル、所ガ法律タル法ハソウハ往カナイ、法律ハ國會ノ協賛ト君主ノ裁可ト云フモノガ入用ニナツテ來ル、國會ト云フモノハ何ウ云フモノカト云フト、吾々團體ノ或種類ノ力ヲ表現シテ居ルモノデアル、此國會ト云フ者ノ一種特別ノ意思ガ君主ノ意思ニ合ハサツテ居ルノデアルカラ、從ツテ人爲ノ無理ニテ定メルト云フコトガナイ様ナ保障ガアリ、吾々モ不服ヲ唱ヘズシテ合成意力ヲ生セシムルト云フコトハ大ニ確實デアル、君主一人ナラ誤ツテ不理窟ナ命令ヲモ出シ得ザルデナイ、從ツテ歷史上モ國民ガ不服ヲ言ツテ夫ニ反對ヲシタコトガアリ、夫レガ爲ニ法ト云フモノモ確實デナイ、繼續的デモナイト云フコトカアツタ、苟モ國會ニ於テ夫ニ協賛シタト云フ位ノモノデアルナラバ、縱シ反對黨ノ様ナモノガ不服ヲ言ツテモ全部トシテハ規律的合國會ト意力トナル、此場合ニ全國民ガ不服ヲ唱ヘタト認メヌト云フコトハ殆ント考ヘラレナイ、固ヨリ此云フ此制度ハ吾々ノ心ノ働キガ進ンデ居ルト云フコトヲ前提シテ居ルノデアル、若シソウデナイト國會ト云フモノハ出來得ナイ、ソウ云フモノガアルト云フコトハ吾々ノ心ガ進ンデ居ル證據デア
ル、精神的發達ヲナセル國民間ニ於テハ國會ガアツテ協賛ヲ與ヘタナレバ其法ハ全ク效力ノ無イト云フコトハアリマセヌ、所ガ憲法ト云フノハ長年吟味サレテ定マツタ所ノモノデアツテ、輕々シク一時ノ都合ヲ動カス餘ナコトノ出來ナイモノデアルカラ夫ハ確實ナコト、繼續的ノコトハ論ノ無イ話デアル。

尙ホ此憲法ト云フモノ、中ニハ、普通吾々ガ憲法ト云フモノヨリモ、モウ少シ程度ノ進ンダモノガアルト云フコトヲ嘗テ申シマシタ、ソレハ又後ニ憲法ヲ説ク時ニ申シマス、今ハ混雜スルカラ申シマセヌガ憲法ノ上ニハ最小限度ノ國法ト云フノガアリマス、是レハ效力ノモウ一層強イモノデ、尙一層繼續確實普遍ノモノデアル、
唯一例ダケヲ言フト、日本ニ於テ日本ノ天皇ハ日本國ノ總攬機關デアアル、昔カラソウ云フ歴史ヲ有ツテ居ル、ドンナニ憲法ガ廢レタ世ノ中デモ、又憲法ガ出來ル以前デモ、出來タ後デモ、幾ラ世ノ中ガ亂レテ居テモ、天皇ガ總攬者デアアル、天皇デアルト云フコトダケハ最モ動カヌ所ノ法デアリマス、ダカラシテ憲法ガ臺灣ニ行ハレルヤ否ヤ、或ハ樺太ニ行ハレルヤ否ヤト云フ様ナ議論ガアツテモ、苟モ日本國ノ領土トナツタ以上ハ、天皇ハ樺太ニ於テ又臺灣ニ於テ有效ナル天皇タルコトハ何人モ之レヲ疑フ者ガナイ、是レハ憲法ノ背後ニ尙最小限度ノ國法在ルコトヲ意味スルノデアル、大體ソウ云フ事ニシテ段々先ニ進ンデ行ケバ解リマス。

第二目 合成スル性質

一 成文法

二 不文法(慣習法)

此事モ能ク御聽キニナツテ居ルコトデアリマセウ、法ハ合成スル性質上ノ違ヒカラ見ルト、成文法アリ、不文法アリ、成文法ト云ヒ不文法ト云フノハ勿論程度ノ話デ、成文法不文法ト云フコトハ法律ノ明文ノ上デ以テ範圍ガ極ツテ居ルモノデナイ、是ハ寧ろ學問上ノ用語デアアル、前ノ憲法、法律命令ト云フコトハ法律上極ツテ居ル用語デアアル、立憲國ニ於テ用ヒラレテ居ル所ノ法律上ノ言葉デ

アル、此成文法不文法ト云フノハ法律上ト云フヨリモ寧ロ法理上ノ言葉デアアル、法ノ明文ニ如何ナルモノヲ成文法ト言ヒ、如何ナルモノヲ不文法ト云フコトヲ極メテアルモノデナイ。扱テ法理上カラ何ウ云フモノヲ成文法カト云フト、明カニ積極的ニ形式上ノ手續ヲ經テ合成シタモノデアリマシテ、吾々ガ謂フ文字ヲ暗示ノ符號トシテ居ルモノヲ申スノデアアル、暗示ノ符號ト云フノハ平ダク申シマスレバ「文字ニ依テ窺ハルベキモノヲ云フト」言ツテモ可イ。

夫レカラシテ不文法ト云フモノハソウデナイ、明ニ積極的ニ形式的ノ手續ヲ經ズ從ツテ暗示ノ符號ニ依テ之ヲ窺フコトノ出來ナイモノヲ申ス、而シテ一事項ニツキテ不文法ト申スコトモアリ、法ノ一大系統的の全部ヲ採ツテ不文法ト申スコトモアリマス、一事項ニツキテ不文法ト云ヘバ全ク其事項ニツキテハ成文ガナイノデアアル、之ニ反シテ全部纏メテ云フトキノ不文法ハ、種々ノ單行法ガ成文法トナツテ存在シテ居ツテモ、全體ヲ成文的系統ヲ有スル全部トシテ形式的ニ纏メラレテナキ場合ニ稱フルノデアリマス、例ヘハ英國憲法ハ不文法デアルト申スノハ此意味デアアル、サテ前ニ憲法ト云フモノモ性質ヨリ命令ノ性質マデヲ説明シ從ツテ之ヲ合成セシムル形式モ夫レニ應ズル形式ガアルト云フコトヲ申シマシタ、其形式ヲ踏ンデ居ラヌノガ不文法デアアル、サレバ前述ノ合成程度ニヨル法ノ區別ヲ形式上明確ニシ得ルハ、全然不文法ノ國ノ法ニハ望ミ得ラヌコトデアアル、ヨシヤ成文法ヲ有シ憲法法律及ヒ命令ノ區別ヲ存スル立憲國ニアツテ、實質ハ憲法トナルベキ法ニ屬スルモノデアツテモ、實質ハ命令トナルベキモノニシテモ、明カニ積極的的形式上ノ手續ヲ踏ンデ居ナイ、即チ法律ナラバ國會ノ協賛ヲ經テ裁可サレテ居ラヌトカ或ハ命令ナラバ君主ガ勅令トシテツツシ

テ公布シテナイトカ云フ様ニ、明カニ踏ムベキ所ノ形式上ノ手續ヲ積極的ニ踏ンテ居ラヌモノハ、成文法ニナル譯ニハユカヌ、然シ不文法ニナルコトガアル、即チ慣習法ニナルコトガアル、其慣習法ト云フモノニ付テ一寸説明シヤウト思フ。

慣習法トハ何ウ云フモノデアアルカ、國家ガ明ニ或ル形式ニ依テ法ヲ定メルト云フコトガ極ツテ居ルナラバ、ソウ云フ形式ニ依ラズシテ法ガ出來ルト云フコトハ實ニ妙ナ話デナイカ、ト言フ疑ヒガ直グ起ルト思フ、例ヘハ法律ナラバ國會ノ協賛ヲ經テ裁可ヲ經ナケレバナラヌト云フソウ云フ大變六ヶ敷イ形式ガアルニモ拘ラズ法律ガ獨リ手ニ出來ルト云フコトハ妙デナイカ、其自然ニ生ヘテ來タ法律ガ有效デアルカ否ヤ、ト云フ疑ヒガ起リマスガ是ハ可笑シイコトモ何ントモナイ、法律ト云フモノハ規律的ノ合成意力デアアル、唯ソウ云フモノガ果シテ眞ニ合成シテ居ルカ否カガ解ラナイ、規律的の合成力ニナツテ居ルカ何ウカ判ラナイカラ之ヲ形式的ニ確定スルコトガ入用デアアル、夫レ故規律的の合成意力ガ、明々白々ノ合成意力ニナツテ居リサヘスレバ、其時ニ於テモ繼續的デアリ、又確實ノモノデアアル、從ツテ效力ト云フモノモ強イモノデアアルナラバ憲法ニナル、又夫レニ次グモノハ法律、夫レニ次グモノハ通常ノ命令デアルト云フコトガ言ヘル。

再說シマスレバ自然ノ上デ言フト何時此種ノ規律的の合成意力ニナツタノデアアルカ判ラナイ、夫レデアアルカラ人爲ノ自由ニ依テ確定シテ機關ダノ其活動ノ形式ダノガ入用デアアル、先ツ形式ヲ經タナレバ實際ハ合成シテ居ラナクテモ合成シタモノニナル、本統ハシナイモノデモ合成シテ居ルモノト認メラルレバ其爲ニ合成シテ了フ、詰リ吾々ガ先キガ分ラナイデ八卦ヲヲイテ貫フ、スルトオ前ハ斯

ウ云フ性ダカラ斯ウ云フコトヲヤレバ可イト言ハレル、夫レテ其者ノ心ガ極マル、心ガ極ツテ見ルト益々其八卦ガ當ツテクル、夫レト同ジコトデアル、一遍ソウ形式のニ極ツテ仕舞フト實際モ其様ニナツテ仕舞フ。所ガ實際上ニ於テハ規律的合成意カデアルト云フコトハ益々進ンデ來テ、誰ガ見テモ疑ヒガナイト云フ様ニ發達シ來リ、而カモ國家ノ形式上積極的のニ之ヲ合成セシメハセヌケレドモ、暗ニ消極的のニ其規律的合成意カヲ認メタ場合ニ夫レガ慣習法ニナル、慣習法ニ於キマシテモ、國家ガ認メルト云フコト、即チ或ル形式の認定ト云フコトハヤハリ要件デアリマス、タゞ明カニ積極的デナク暗ニ消極的デモ宜シイ、暗ニ此消極的ニ認メラレルト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ言ハバ國家ガ其合成意カヲ排斥セヌト云フコトデアル、夫レヲ引ツ繰返ヘス所ノ手段ヲ取ラナイ、國家ハ傍觀シテ居ツテ行ハル、儘ニ默認シテ居ルコトガ即チ形式的ノ要件デアリマシテ、夫レハ明カニ積極的デナクテ、暗ニ消極的ニ認定シテ居ルデアリマス、此ニ於テ慣習法ガ確定致シマス、是レ暗ニ消極的ニ認メテ居ルデアルカラ何時カ分ラナイ、其分ラヌコトガ面白イノデアル、分ラヌカラ銘々自由意思ヲ有ツテ居ルモノハ銘々テ判斷スル、國家ガ暗ニ認メテ居ルナリト云フコトハ銘々テ判斷スベキ所デアツテ、誰ニ問イテモ分ラナイ、一旦裁判上テ以テ採用セラレテ夫ニ依テ判決セラレタトカ、行政官ガ度々事ヲ行ツテ上級官廳ハ夫レヲ咎メヌト云フコトニナレバ夫レハモウ安心シタ慣習法デアル、ケレドモ未ダ夫レ程マデニ發達セヌトキハ自由意思ヲ有ツテ居ル各人間ガ勝手ニ認メルヨリ外ニハ途ハナイ、餘リ間違ツタ認定ヲスルト夫レニ對シテ責任ヲ負ハナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、人間ハ自由デアアル、何時ゾモ責任ヲ負フ代リニ自由デアアル、責任ヲ負ヘバ何

モ怖クナイ、夫ハ人間ノ本領デアアル、吾々ガ自治ヲ許サレ、バ自分ノ認定力ニ依テ發達シテ行く、從ツテ夫レニ付テ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、ソコガ人間ノ面白イ所デアアル、唯人間ニ自由ト云フモノガナイナラ責任モナカロウ、自由ナラ責任ガアル、責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトハ大ナル樂ミデアアル、其責任ノ後ロニハ自由ガアル、自由ナクシテ負フ所ノ責任ナレバ實ハ名ノミニシテ責任デナイ、責任ノ無イ所ノ自由ナレバ夫レハ我儘ト云フコトデアツテ公認セラレタ自由ト云フコトハ出來ナイ、

第三目 合成スル範圍

法ノ合成スル範圍ヨリ公法ヲ分類スレバ

一 國際公法

二 國法

三 自治團體ノ公法

トナル、自治團體ノ公法中ニモ亦種々ノ別ガアリマスガ是レハ後篇ニ譲リマス、規律的合成力ノ範圍ノ違ヒカラシテ法ヲ分ケルト云フト、大略國際公法、國法、自治團體ノ公法トナリマス、夫レハ法ガ規律スル意思發動ヲ起ス所ノ人格者ノ資格關係ニ着眼シテ先程法ヲ分ケタ時ト同シ結果ヲ來シマス、斯ノ如キハ唯公法ニ於テノミ始メテ見得ルコトデアアル、何故カト云フト私法ノ方ハ各人其資格ノ同一ニシテ居ル、又人格者ノ身分及ビ人格者間ノ意思發動關係ヲ定ムル法ハ夫ヲ統括スル人格者ニ依テ定メラレテ居リマス、ダカラ當事者ノ身分ノ關係カラ

法ヲ分ケタ場合ト今ノ合成スル範圍カラ法ヲ分ケタ場合ト異ツタ結果ガ生シマス、公法ノ方ニ於テハ夫レガ全然相一致シテ仕舞フノデアル、例ヘバ甲ト乙ノ意思發動ノ公的關係ヲ規定スル法ハ公法デアリマセウ、所ガ甲ガ國デアラナラバ是ハ國法デアル、若シ又甲ガ國際團體デアラナラバ是ハ國際公法デアアル、資格關係ノ方カラ言フテモ合成ノ範圍ノ方カラ言ツテモ同シコトデアリマセウ、然ルニ國法ノ方デアルト、商人ガ相互ノ間ニ特ニ限ツタ所ノ法ハ商法デアアル、所ガ夫レハ合成スル範圍ノ上カラ言フト國內ノ法デアアル、即チ商人ノ身分ヲ有スル者ノ範圍ト一致シマセヌ、商法ト云フコトハ國內ノ法ト云フコト、ハ違ヒマス、商法ハ國內ノ法ノ一部分デアアルケレドモ其全部ヲ言フノデナイ、唯當事者ノ身分ノ方カラ言ヘバ商法ニナル、合成ノ範圍カラ言フト國內ノ法ノ部類ニ屬スル、

第四項 意思發動ノ關係自身ノ性質ヨリスル公法ノ分類

意思發動關係ハ何ウ云フ種類ノ關係デアアルカト着眼シテ公法ヲ分類スルコトガ出來ル、元來意思發動ノ關係ト云フモノ自身ノ性質ヲ根本的ニ定ムルモノハ、其關係ヲ惹起ス所ノ人格者ノ資格ノ關係デアリマス、即チ人格者ガ全部一部ヲ以テ對立シテ居ルヤ、或ハ一個人々々ヲ以テ對立シテ居ルヤト云フコトニ依テ根本的ニ定マリマス、コレハ即チ公法自身ガ法ノ内ノ特殊ノ大系統ヲ成シテ居ル所以デアツテ、既ニ長々述ヘタコトデアリマス、例ヘバ全部ト一部ノ資格關係即チ公法ノ關係デアラナラバ前ノ者ガ數萬ノ人格ヲ命令スルコトガ出來マス、戰爭テ言フナラバ一人ノ大將ガ命令スル爲メニ數萬ノ者ガ皆其命令ニ從フ、官廳テ言ツテモソウデアアル、大臣ヲ構成シテ居ル所ノ役人ハ

外ノ者ヲ皆命令シテ居ル、然シ何人モ不服ヲ言ハナイ、皆其通りニ動ク、今私ガ諸君ト研究シテ居ルノハ政治上ノ公ケデナイ、然シ學理ト云フ公平ナ仕事デアアル、私ガ慾張ツテ何ウシヤウノ斯ウシヤウト云フ念ガアツタナラ貴方々ハ黙ツテ居ラレナイニ違ヒナイ、ケレドモ公平無私ノ學理ノ研究デアアルカラ多勢ノ諸君ガ聽イテ下スツテ居ル、ケレドモ若シカ是レガ全部ト全部トノ關係デアツタナラ夫レハマルデ違フ、此場合ニハ縱シ大將ダロウガ兵卒ダロウガ人格ニ變リハナイ、人ヲ使ツテ一人ガ私ノコトヲシヤウト言ツテモ外ノ者ハ承知シマセヌ、互ニ負ケヌ氣ニナルノガ當リ前デアアル、一人ト十人ナラバ十人ノ方ガ十倍多イ譯デアアル、平民社會主義ト云フ様ナモノハ一方ニハソウ云フ根據カラ出テ居ル、例ヘバ一人ノ者ガ立派ナ家ヲ造ツク爲メニ、其周圍ノ何十軒ノ人間ハ皆光線ヲ遮ギラレタリ空氣ノ流通ヲ惡クシタリスル、何モ立派ナ家ヲ建テルト云フノハ公ケノ職務ジヤナイ、或ハ公ケニ人ヲ指揮スルトカ、公平ニ學理ヲ研究スル所以デモナイ、公ケト云フコトニ屬スルコトナラ誰モ不服ハナイ、數萬人皆夫レニ從フ、一人ノ私ト一人ノ私トナラ誰モベコノ謝罪ツタリ、使ハレタリシテ居ル等ガナイコトハ明々白々デアアル、コレ見テモ人格者ノ資格ガ公ト云フ資格デアアルカ私ノ資格デアアルカト云フコトハ、根本的ニ其間ノ意思發動ノ關係ヲ定ムルモノデアアル、若シカ大將ガ自分ノ面白半分ニ此兵隊ヲ指圖スルノナラ、夫レハ指揮デナクテ所謂驅使ト言ツテ可イ、ソウ云フ風ニ丸デ解釋ノ仕方ガ違フ、意思發動ノ關係ガ違フ、或ハ大臣ガチャント公ケノ命令スルノナラ、所謂命令デ皆ガ服従ヲスルケレドモ、私ノコトニ他ノ役人ヲ使フコトハ驅使デアアルカラ、驅使ナラ從ハナイデモ宜シイ、意思發動ノ關係ガマルデ違フカラデアアル、ソウ云フ様ナ譯

フヤウニ説イテ居リマス、其説ニヨレバ國家ノ權力ハ國法ニ依テ始メテ制限セラル、ノデアル、國家ノ權力ハ元來絕對ノモノデアル、國家ノ權力ハ何デモ出來ル、何デモ勝手ニ出來ナイト云フコトニナツテ居ルノハ國法ニ依テ制限サレルカラデアル、サレバ國法ニ依テ人民ノ自由ヲ得ラレ國家ノ絕對ノ權力ガ制限セラレツ、アルモノデアルト云フヤウニノミ説イテ居リマス、サテ、諸君、ソレ等ハ間違ッテ居リマセヌ、其見方ハ正シイ、然シ始終ソウ云フ點カラノミ觀テ國法ヲ説明シテ居リマスルノハ見方ガ狭イノデアル、國法ト云ヘバ常ニ國權ノ制限ノミヲ考ヘ、之レニ執着スルノハ間違ノ本ニナリマス、諸君ハ既ニ御承知デシヤウガ、國法ト云フモノハ國家ノ權力ヲ發展セシムルモノデアル、國家ト云フモノハ國法ト同時ニ存在スルモノデアル、國法ニ依テ國家ガ發生スルノデアル、國法ガ完全ニナツテ來レバ、チヨット表面ヲ見タ所ハ國家ノ權力ハ規則正シクナツテ來マスカラシテ制限セラル、毀ケラル、ト云フヤウニ見エマスケレドモ、其實ニ於キマシテハ國家ノ權力ガ益々盛ンニナツテ來ル所以デアリマス、益々分岐發達シテ來ル所以デアリマス、國家ノ權利ガ多方面ニ益々圓滿ニナツテ來ル所以デアアル、デ益々發展スルト云フハ、是ヲ分析シマスルト、一方デハ制限ト云フ方ニ見ラレマスケレドモ、同時ニ何時モ自由ト云フ方ガ伴ナツテ居リマス、何時モ此二方面ガ含マツテ居リマス、サレバ立憲國ノ國權ト云フモノハ國法ニ依テ制限セラル、ト云フヤウニ考ヘマスケレドモ、其實立憲國ノ國權ト云フモノハ專制國ノ國權ヨリ誠ニ自由自在ニナツテ居リマス、今ノ國家ハチヨットシヤウト思ツテモシレガ直チニ實行セラル、思フヤウニ國家ノ活動ガ人民ニ對シテモ行ハレ、又國家ニ對シテモ行ハレル、國家ノ分子タル所ノ人民ヲ見テモ法ノ發達ト共

ニ益々自由ニナツテ自由活動ガ出來ルガ又其法ニ依テ嚴重ニ支配サレテ居ツテ、法ヲ侵セハ忽チ咎メヲ免ラレヌ、或ハ刑罰ノ方面ナリ或ハ民事ノ方面ニナリ、法ト云フモノヲ侵スコトハ出來ナイヤウニ嚴重ニナツテ居リマス、ケレドモ人民ハ益々自由ニナツテ居リマス、國權デモ同ジコトデアツテ、今日ノ國權ガ益々自由デアツテ、益々自由ニ行ハレテ國內ノミナラズ外國同士ノ間デモ昔ト違ヒマシテ、國家ト云フモノガ本統ノ全部ラシイヤウナ固マリトシテ相互ノ種々ナ關係ヲ惹起スコトガ今日ハ出來マス、昔ハ國家ト國家ノ間ノ關係ガアツタト云フト、君主ト君主トノ喧嘩デアル、君主ト君主トノ交際デアル、今日デハソウデナクシテ國ト國トノ交際ニナツテ來マシタ、ソレ故ニ國際法ノ發達ト云フモノハ憲法ノ發達ト非常ナ關係ガアル、憲法ノ發達ハ即チ國際法ノ發達ヲ促シタモノデアルト云フテ宜イ、國法ノ發達ハ即チ國際法ノ發達ヲ爲サシメタト云ツテモ差支ナイ、昔ハ君主ト君主ト約束シタ所ガ國內ノ統御ガ自由自在デナキ結果トシテ一向其約束ハ實行サレヌト云フコトデアツタ、或ハ又外國人ニ於テモ自分一人ガ何デモ勝手ニ事ヲシヤウト思ツテモ各國各互ニ制限セラレテ居ツテ何ニモ出來ナカツタ、所ガ今日デハソウデナイ國際法ト云フモノガ段々發達スルト同時ニ益々自分ガシテハナラヌコトハ制限サレルガ、シテ可イコトハ益々自由ニ出來ルト云フコトニナツテ來タ。

法ハ規律的意力デアル、規律的ト云フコトハ只制限スルト云フコトデハナイ、根本ニ於テハ自由活動ヲ益々盛ナラシムル方便デアル、自由活動ハ絕對ノ自由ノ境域ニハ存シナイ、夫レ故自由力ノ對手トシテ自由力ガ規律力ヲ設定スル、ソウシテ之レヲ利用シテ益々活動スルノデアル、恰カモ物ヲ

握ル爲メニ先ツ手ヲ開クヤウナモノデ、掌ヲ閉デテ居ツテ物ヲ握ラウトシテモ出來ナイ相談デア
ル、サレバ手ヲ開クハ結局物ヲ握ルコトヲ制限スルモノトハ云ハレヌ、例ヘバ吳服屋デ尺度ヲ以テ
反物ヲ切りマシヤウ、尺度ヲ用フルハ客ヲ制限スル爲メデハナイ、吳服屋ヲ制限スル爲メデモナ
イ、之レニヨツテ双方ノ自由活動ガ益々發展シ得ルノデアアル、尺度ニヨレバ買人モ買人モ直チニ話
ガ合ヒ、互ニ心地良ク公明正大ニ活動シ得ル、

即チ尺度ハ吳服屋並ニ買手ノ自由活動ヲ益々補ヒ助ケルモノデ、之レヲ制限スルト見ユルハ表面ノ
ミデアアル、酒屋デ酒ヲ賣ルニモソツデアアル、正シキ斟ヲ以テ賣レバ何處ノ酒屋ハ胡麻化シヲシナイ
ト云フテ却ツテ安心シテ人ガ買ヒニ行ク買人モ安心シテドンノ賣ル、ツマリ雙方繁昌スルダロウ
ト思フ、法モ其通りデ、根本ニ於テハ反ツテ制限ト云フコトヲ意味シテ居ルノデナク、成立發達ヲ
意味シテ居ル、制限バカリガ國法ノ能デハナイ、其事ハ國家カ國家ニ對シテモ誠デヌ、又國法ガ人
民ニ對シテモ誠デアリマラス、規律ト云フヲ制限ト思フハ在來形式學者ノ誤ツタ思想デアアル。

第三節 憲法

憲法ニ付キマシテモ種々ナ點カラ申スコトガ出來マスガ、ソレハ第二編ニ至ツテ、法律トハドウ云
フモノデアアルカ、命令トハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ説ク場合ニ詳シク説明スル方ガ御解
リニナルダロウト思ヒマス、又順序トシテ其處へ行ツテ地ベル方ガ宜イト思ヒマスカラ此處デハ一
言致スニ止メテ置キマス、第一意義、第二動力、第三成立變更、此三ツニ分ケテ説明シマス、

第一款 憲法ノ意義

第一項 憲法ノ意義

先ヅ第一ニ意義ト云フコトカラ御話致シマセウ、極メテ簡單デアリマス、一體憲法ト云フ言葉ハ世
上無聞ニ用ヒラレテ、決シテ其正當ノ意義ヲ明カニシテ居ラヌ、俗人ノミナラス國法學者マデガソ
ウデアアル、今爰ニハ誤用シテ居ル誤説ヲ列舉スルコトハ止メ、直チニ歷史上モ法理上モ動かザル根
本的ノ意義ヲ申シ上ゲマセウ。先ヅ憲法ハ基本法デアアル、根本法デアアル、憲法ト云フハドウ云フ法
カト云フト、他ノ法ノ土臺ニナル法デアリマス、其土臺ノ上ニ他ノ法ガ生ヘテ居ル、法ノ系統中ニ
於テ根本法ヲ含ンテ居ルモノハ無論公法デアリマス、故ニ憲法ノ公法タルコトハ疑ヒナイ其周圍ニ
立法ダトカ、司法ニ關スル法ダトカ、或ハ行政ニ關スル法ト云フ様ナモノガ存在スル(第十三圖及
ヒ第十四圖參照)、是等ハ公法ニ屬スルモノデアアル、其周圍ニ又種々ナ私法ト云フモノガアル、要ス
ルニ法ノ一番ノ土臺ヲ研究スレバ根本法デアアル、(此圖ハ周圍ノ法タル國法ノミニ付テカ、レタノ
デ、國際間ノ法ニ付テ申ス場合ニハ尙ホ此外ニソレヲ加ヘナケレバナラヌ)所ガ根本トハ何デア
ルカ今度ハソレヲ考ヘナケレバナラヌ、何處ガ根本カ、例ヘハ此壁面ノ中央ヲ示サントセハ何ヲ以テ
示シテ宜シカロウ、白墨ヲ畫ケバ(圓ヲ示ス)此處ガ教室壁面ノ真中デアリマス、即チ根本デアアル、
然シ又此圓ヲズツト大キク畫イテモ尙壁ノ真中デアリマス、尙一層大キク畫イテモ真中ニ相違ナイ
或ハ又此反對ニ何程圓ヲ小サク畫イテモ矢張ノ壁ノ真中デシヤウ、モツト小サク畫イテモ之デモ真
中デヌ、尙顯微鏡デ見レハ之レデモ大ナル圓デアアルカラ尙小サクモ畫ケル、ソレダカラ何か真中デ
何が根本カト云フコトガ六ヶ敷ノデアリマス、ソレガ問題デアリマス。是ヨリ根本法トシテノ憲法

ヲ説明シマス、此憲法ニ對シテ根本法ト云フ根本ノ義ハ次ニ述ベル如クデアリマス、ソレハドウ云フノカト云フト、國家ノ内部ニ存在シテ居ル總テノ元素タル所ノ力ヲシテ調和的圓滿ニ全部タル國家ノ活動力ヲ成立セシメ、此活動力ヲ最モ完全ニ發動セシムルニ必要ナル所ノ根本ノ法デアアルノデス、從ツテ又憲法ト云ヘハ多クノ法ガ一通リ系統的全體トシテ揃フテ居ル、纏マツテ居ルコトハ勿論デアアル、但シ必スシモ系統的成文トシテ纏リテ居ルコトヲ要スルノデハナイ、モウ少シ他ノ言葉ヲ以テ憲法ハ國家完全ノ活動力ニ關スル根本法ナルコトヲ説明シマスルト、例ヘバ國家内ニハ國家ノ活動力ノ元素タル各個人ガ是非ナケレバナラヌ、其各々第一事實トシテ天カラ授カツタ所ノ活動力ヲ有ツテ居ル所ノ人間ガ無クシテハ國家ハナイノデアリマス、石塊ノヤウナモノノ中ニハ國家ハナイ、國家ヲ成ス所ノ人民ハ生キテ居ナケレバナラヌ、自然ガ授ケテ與レル所ノ活動力ヲ自分ノ内部ニ具ヘテ居ラナケレバナラヌ、其力ガ統一セラルルニ及ンデ國家ガ出來テ來ル、統一スルニハ各々ノ内部カラ出テ來ル所ノ力ヲ一ツニ纏メテ行ク力ガナケレバナラヌ、モウ少シ法律ヲシイ言葉デ御話スルト各個ノ自由力ヲ總括スル自由力ガナケレバナラヌ、然ルニ人民ハ唯有形の箇ト違ヒマスカラ一緒ニナツタリ離レタリスル、ソレヲ統括シテ行クコトハナカク困難ノ話デアアル、ソレ等ノ種々ノ事情仕組ヲ圓滿ニ發達セシメテ、全部タル國家ノ活動力ヲ完全ニ出シテ行ク上ニ必要ナル部分ヲ占メテ居ルノハ根本法デアアル(第二十九圖參照)

第二項 最小限度ノ國法

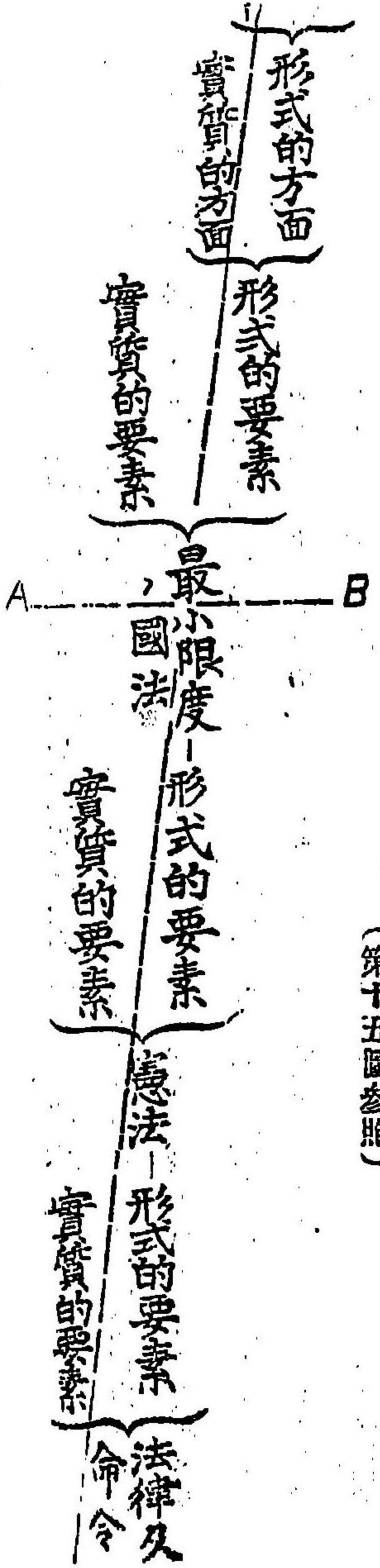
ソレ故ニ同ジ國法中ノ根本法ニモ憲法ト云フモノハ特別ノ地位ヲ占メテ居ル、一通リ完全ナル所ノ國家ノ活動力ヲ出ス爲ト云フコトヲ標準トセル根本的ノ法ガ憲法デアアル、國法ノ根本法中ニハ又最小限度ノ國法ト云フモノガアル、此最小限度ノ國法ト云フモノハ國家ニ是非共必要ナモノデアリマス、幾ラ少クテモ大負ケニ負ケテ仕舞ツテモンレダケハ無ケレバナラヌト云フ國法デアリマス、從ツテ最小限度ノ國法ト云フモノハ、ドンナ文明ノ國デモドンナ野蠻ノ國デモ立憲國デモ、專制國デモ專橫國デモ皆存在シテ居リマス、恰度此最小限度ノ國法ハ教場ニ於ケル講師ノ様ナモノ、憲法ハ日本大學ノ教場ノ家根ヤ壁ノヤウナモノデアリマス、幾ラ少ナクトモ講師ガナケレバ吾々ガ講釋ヲスルワケニ行カヌ、然シ家根ヤ壁ガナケレバ寒キ夜雨天ニ講義ヲスルコトガ完全ニデキヌ、ソレト同ジヤウニ憲法ハ完全ナル國家ノ活動力ヲ作テ之レヲ完全ニ働カスト云フ爲メニナクテハナラヌトコロノ根本法デアリマス、憲法ハ即チ完全ナル所ノ吾々ノ状態ヲ發展セシメ維持セシムル上ニ缺クベカラザル根本タル國法デアアル、最小限度ノ國法トハ之レト異ナリ、國家カ不完全ナリトモ存在スル爲メニハ是非トモナケレバナラヌ根本法デアアル、之レヲ具象的ニ申セバ一國ガ存立シテ行クニハ少クトモ總攬機關ト云フモノガナケレバナラヌ、國家ノ存在ト云フモノハ必ズ總攬者ト云フモノガ同時ニ其處ニ成立シナケレバナラヌ、ソレハ一人ノ君主デモ宜シイ、或ハ多數ノ貴族デモ宜シイ、或ハ多數ノ人民カラ成ツテ居ル場合デモ構ハヌノデアリマス、何レニシテモ總攬者ト云フモノヲ認メルダケノ國家ガナケレバナナリマセヌ、例ヘテ見ルト、幾ラ壓制ノ國ニ於キマシテモ人民ガアレハ君主デアアルト云フ人ヲ認メテ居ルデセウ、其人ニ對シテハ服從シナケレバナラヌトカ云フコトヲ認メル、所ガ君主トテモ生物學上カラ言ヘバ眼ガ二ツアツテ手足ガアル所ノ人間デアリマス、然シ此人

間ヲ君主ト云フハ、各人ガ皆之レニ支配セラルルト云フコトヲ認メテ居ルト云フコトデアアル、各人ガ少クモ君主ヲ認メテ疑ハネバ、即チ最小限度ノ國法ガ存在シテ居ルコトニナリマス、君主ヲ認メルト云フハ君主ト云フ名ノコトデハナイ、日本支那アハ君主ト言ヒマスケレドモ西洋デハ君主トハ言ハナイノデアリマス、Monarchトカ何トカ國々ニ依テ違ヒマセウ、到ル處言葉ヲ異ニシテ居ル此ニ云フノハ名ニ非ズシテ吾々ガ是非ソレニ從ハナケレバナラヌト云フ者即チ總攬者ヲ認メテ居ルト云フノデアアル、ソウ云フモノハ少ナクモナケレバナラヌト云フ者即チ總攬者ヲ認メテ居ルト云フ者即チ總攬者ヲ認メテ居ル、自分ノ内部ニアル所ノ第一事實ノ力ニ依テ己レノ存在ヲ認メルモノデアアル、其存在スル本統ノ自由力ノ上カラ言ヒマシテ一番第一事實ノ中心點トナルノガ即チ總攬者ノ有ツテ居ル所ノ自由力デアリマス、總攬者ト云フモノハ野蠻時代ト專横時代ト專制時代、立憲時代トハ完全不全トノ程度ノ違ヒコソアレ、何時モ總攬者ヲ要スルト云フコトハ同ジデアリマス、昔ハ人民ヲ虐待シ乍ラ總攬ヲシテ來タノデアアルガ、今日ハ能ク人民ト共同一致シ乍ラ總攬シテ居ルノデアリマスカラ今日ハ完全デアリマス、然シ不完全ノ故ヲ以テ昔壓制ノ時分ニハ國家ニ總攬者ガナカツタト云フコトハ出來ナイノデス、又昔モ今モ國法カ全然ナカツタコトヲ想像シ得ラレマセン、一體國法ト云フモノガ成立存在ヲシマスルニハ矢張形式的ノ要件ヲ具備セネバナラヌ、國法ヲ法トシテ形式的ニ合成スル所ノ中心點ガナケレバナラヌ、繰返シテ申シマスレバ、此國家ト云フモノ、或立存在スルト同時ニ少クモ成立存在ヲシナケレバナラヌモノハ最小限度ノ國法デス、其國法ト云フモノハ積極的ダロウガ消極的ダロウガ、其點ハ構ハナイケレドモ、何レニシテモ明カニ又ハ暗ニ形式的ニ合成セラレタ所ノモノデナケレバナラヌ、其明カニ又ハ暗ニ形式的ニ合成スルト云フ自由力ノ形式的中心點ハ何處ニアルカト云フト即チ總攬者ガ有ツテ居ル所ノモノデアアル、其總攬者ト云フモノハ人民ガ皆彼人ガ我々ノ支配者ダ彼人ガ我々ノ支配者ダト云フテ認メルヤウニ、ソレト同時ニ其總攬者ガ其自由力ニ依テ自分コレ汝等ノ支配者デアルト云フコトヲ認メテ、各人ノ自由力ヲ合成セシムルニ依テ、始メテ最小限度ノ國法ガ出來ルモノデアアル、之レト同時ニ國家モ成立スル、幾ラ

第二十六圖

實質形式ニ要素終始離ルヘカラサルヲ示ス

(第十五圖參照)



憲法 總論 國法及國法上ノ權利義務 憲法

向テ右方面ハ自由力及理ノ研究ヲ中心點トス
 向テ左方面ハ歴史並ニ社會心理ノ必至ノ研究ヲ中心點トス
 A B 以上ノ事實ノ研究ナリ A B 以下ノ形式的與論ハ國定ニ基ク認定ノ研究ナリ

少シデモ是非共ソウ云フ風ノ最小限度ノ國法ト云フモノガナケレバ國家ニハナラヌ、最小限度ノ國法ハ斯ク憲法ヨリ以上ノモノデアアル、從ツテ此點ニツキ之ヲ最高ノ國法ト言ヒマス、然シ最高ト申シテモ法律ニ對シテ憲法ガ高イト云フコト、同シデハアリマセン、之レハ第二編ニ至リテ詳論致シマセウ。

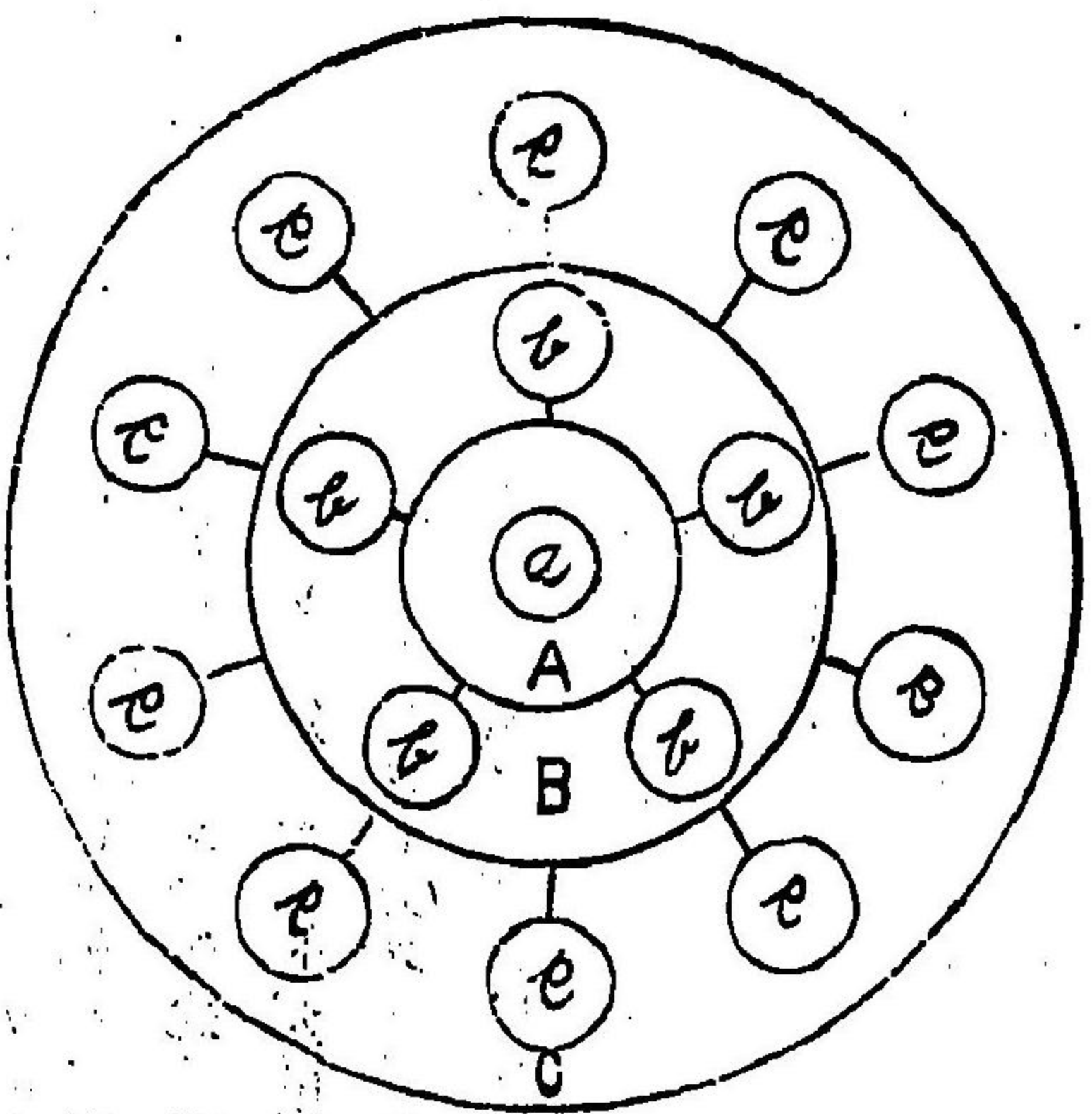
第三項 憲法ト最小限度ノ國法トノ關係

法律及命令ト云フヤウナモノハ先ヅ實質ガナケレバナラヌ、ト云フノハ全ク規律的合成意カタリ得ベキ性質ヲ有ツテ居ラヌモノハ法律ニモ命令ニモナリマセヌ、例ヘバ水ハ酸素ト水素ヨリ成ルベシト國會デ議決シテソウシテソレガ裁可ニナツタトコロデ斯様ナモノハ法律デモ何デモアリハシマセヌ、形式實質共ニ備ハツテ居ラナケレバナラヌ、ドウシテモ形式實質ト云フモノハ必要デアアル、此申シマシタ如クニ其形式ハ積極的ニ明カニ形式ヲ經タモノデアロウトモ、或ハ其形式ガ消極的ニ現ル、所ノ形式デアツテ、從ツテ暗ニ其形式ガ用ヒラレテ居ル場合デモ差支ナイ、其形式ト云フモノハドウ云フ土臺ノ上ニ出來テ居ルカト云フト、法律トカ命令トカニツキテソウ云フコトヲ明カニ又ハ暗ニ認メル國家ノ形式ト云フモノハ憲法ニ依テ定ツテ居ル、其憲法ハドウ云フコトカト云フト矢張實質的ノ要素デアリ、又同時ニ形式的ノ要件デアアル、此形式ノ明カニ積極ニ探ルベキコトニナツテ居ルモノハ我國デ言フテ見ルナラバ、天皇カラシテ發案サレ、議會デ協賛ヲシ、然ル後ニ天皇ガ裁可スルト云フヤウナ形式デアリマス、或ハ暗ニ消極的ノ場合ハ、所謂慣習ト云フコトニ依テ憲法ト云フモノ、或條項ガ發達シテ來タ、又ハ變更セラルト云フコトヲ國家ガ何時トナク認メタ場合デアリマス、斯ク憲法ニモ實質的ノ要件ノミナラズ形式的ノ條件ガアリマス、所ガ實質ノ方ハドウデアアルカト云フト人間ガ勝手ニ極メル譯ニハ行カナイ、例ヘバ人間ガ水ヲ竈ニ入レテ薪ニスルコトガ出來ナイ、是レハ自然ニ極ツテ居ルノデアアル、形式ノ方ハ人間ガ自由力ヲ以テ斯ウ云フ極メニシタナラバソレヲ有效ナルモノト見ヤウト定メルコトガ出來マス、然ラバ憲法ヲ認メル所ノ形式ト云フモノハドウ云フ自由力ニ基イテ來テアルカト云フト、ソレハ即チ最小限度ノ國法デアリマス。其最小限度ノ國法ト云フモノハドウ云フ要素ヲ有ツテ居カト云フト、之レモ同シク實質的要素ト形式的要素トヲ具備シテ居リマス、所ガ最小限度ノ國法ニ於キマシテハ其形式ヲ認メテ居ル所ノ自由力ガ自然ヲ根據トシテ居ルノデス、今日日本ノ例ヲ探ツテ見マスルト、今日存在シテ居ル所ノ憲法ト云フモノハ或形式ノ下ニ認メラレテ、ソウシテ實質的ノ條件ヲ具ヘテ居リマス、其憲法ト云フモノ、形式的要素ノ存スル所以ヲ遡ツテ尋ネテ見ルト最小限度ノ國法デアアル、吾々ガアレハ天皇デアルト云フコトヲ認メテ、天皇モ亦朕ハ支配者ナリト認メテ居ラル、爲メ今日ノ憲法ト云フモノガ形式的ニ確定サレタモノデアアル、其吾々ガ或ハ天皇デアルト云フコトヲドウシテ認メタカト云フト、ソレハ一方ニハ天皇自身ノ自由力デアリ他方ニハ我々ノ自由力ニテ認メルノデアアル、ソレカラ其自由力ハ各之ヲ分析スルト、歴史ヤ社會心理等ノ要件ニ歸着シ、實質的要素ト益分チ難クナル、即チ最小限度ノ國法ニ於テハ實質ト云フ方ガ大變重クナツテ來マス（之レニツキテハ習慣法ト深キ關係ガアル）即チ國民ノ有ツテ居ル所ノ道德思想、社會心理、日本國民ノ今マデ固有シテ居ツタ歴史ト云フコトニ依ツテ定メルデアリマス、最小限度ノ國法ト云フモノヲ定ムル一番必要ノモノハ歴史デアリ

令デアリマス、斯ク憲法ニモ實質的ノ要件ノミナラズ形式的ノ條件ガアリマス、所ガ實質ノ方ハドウデアアルカト云フト人間ガ勝手ニ極メル譯ニハ行カナイ、例ヘバ人間ガ水ヲ竈ニ入レテ薪ニスルコトガ出來ナイ、是レハ自然ニ極ツテ居ルノデアアル、形式ノ方ハ人間ガ自由力ヲ以テ斯ウ云フ極メニシタナラバソレヲ有效ナルモノト見ヤウト定メルコトガ出來マス、然ラバ憲法ヲ認メル所ノ形式ト云フモノハドウ云フ自由力ニ基イテ來テアルカト云フト、ソレハ即チ最小限度ノ國法デアリマス。其最小限度ノ國法ト云フモノハドウ云フ要素ヲ有ツテ居カト云フト、之レモ同シク實質的要素ト形式的要素トヲ具備シテ居リマス、所ガ最小限度ノ國法ニ於キマシテハ其形式ヲ認メテ居ル所ノ自由力ガ自然ヲ根據トシテ居ルノデス、今日日本ノ例ヲ探ツテ見マスルト、今日存在シテ居ル所ノ憲法ト云フモノハ或形式ノ下ニ認メラレテ、ソウシテ實質的ノ條件ヲ具ヘテ居リマス、其憲法ト云フモノ、形式的要素ノ存スル所以ヲ遡ツテ尋ネテ見ルト最小限度ノ國法デアアル、吾々ガアレハ天皇デアルト云フコトヲ認メテ、天皇モ亦朕ハ支配者ナリト認メテ居ラル、爲メ今日ノ憲法ト云フモノガ形式的ニ確定サレタモノデアアル、其吾々ガ或ハ天皇デアルト云フコトヲドウシテ認メタカト云フト、ソレハ一方ニハ天皇自身ノ自由力デアリ他方ニハ我々ノ自由力ニテ認メルノデアアル、ソレカラ其自由力ハ各之ヲ分析スルト、歴史ヤ社會心理等ノ要件ニ歸着シ、實質的要素ト益分チ難クナル、即チ最小限度ノ國法ニ於テハ實質ト云フ方ガ大變重クナツテ來マス（之レニツキテハ習慣法ト深キ關係ガアル）即チ國民ノ有ツテ居ル所ノ道德思想、社會心理、日本國民ノ今マデ固有シテ居ツタ歴史ト云フコトニ依ツテ定メルデアリマス、最小限度ノ國法ト云フモノヲ定ムル一番必要ノモノハ歴史デアリ

マス、世間ヲ憲法全部ヲ説ク際ニ各其國ノ歴史ニ依リ全然異ルベシ等ノコトヲ言ヒマスガ之レハ言ヒ過ギテ居ルニ相違ナイ、狭イ考デアル、然シ最小限度ノ國法ニ至ツテハ唯吾々ノ理窟ノミニ依テ判斷スベキモノデナイ、必ズ其國固有ノ歴史ニ依テ決シナケレバナラヌモノデアリマス、歴史ト云フモノハ即チ吾々ノ有ツテ居ル所ノ社會心理國民ノ道德思想ト云フヤウナモノ、塊マリデアリマシテ常ニ活キ活キトシテ存在シテ居ルモノデ、大變ノ價値ノアルモノデアリマス。

圖七十二第
國法機關組織



- A 最小限度ノ國法
- B 憲法
- C 其他ノ法
- a 總機關又ハ組織
- b 國家ノ完全ナル活動ニ必要ナル根本的機關組織
- o 其以外ノ外部的組織

國家内ノ分子ノ活動力ガ國家ノ活動力ニナルコトヲ圖ニ現ハスニハ大變ニ複雜ノモノデ簡單ノ圖デハ現ハセマセヌ、唯ソレ故ニ此機關組織ノ方面ノミニ付テ簡單ニ書イテ見マセウ、所ガ憲法ハ根本的ノモノデスカラ此處デ、(第二十七圖ノB參照)所ガ其内ニ付テ最小限度ノ國法ハ其圖ノAダケニ付テアル、ソウスルト外ノモノニ付キマシテハ此成立存在スル原因ト云フモノハ少クモ形式的方面ヨリ見レハ終局ハ何時モ此最小限度ノ國法ノ處ニ來ル、是ガ即チ國家活動力ノ成立存在スル最小限度ノ形式的要件デアアル、諸君ニ御注意申シタイコトガアル、勿論國家活動力ノ成立存在スル原因要件ト云フタ所デ形式的的原因形式的要件ノミニハ限リマセヌ、之レハ法ノミニツキテハ謂ハレ得ルコトデナク、機關ニモ形式的實質的ノ條件ノニツガ兼テ備ハツテ居ラテバナラヌノデス、デ實質的ノ方ノ要件ハ必ズ必至ノ自然ノ事實ヲ根據ト致シマスガ、形式的要件ニシテ明カニ實質的の要件ト分岐セラレ區別セラレ得ルモノハ最小限度ノ國法ヲ根據ト致シマス。

憲法ト云フモノハ明カニ形式的ノ要素ト實質的ノ要素トニツノモノニ分岐シテ研究スルコトガ出來ル、彼ノ最小限度ノ國法ノ如キハ豫メ自由力ニテ設定セラレテ形式ニ依ツテ窺フコトガ出來ナイ、形式的要素ト云フモ自由力ヤ理ノ歴史的研究トナリ、從ツテ實質的要素ノ研究ト分離シ得ラレヌモノデアアル。憲法ニ於テハ明カニ形式的要素ト實質的要素ニ分岐シテ研究スルコトガ出來ル、ケレドモ形式ト實質トハ常ニ具ハツテ居ラネバナラヌ、實質ト形式トガ別々ニ存シ得ル如ク考ヘル説ハ宜シクナイ、「イニリネツク」ハ現在ノ獨逸ノ有名ノ國法學者ノ中ノ一人デスケレドモ尙ホソウ云フ様ナ點ニ付キテ諸種ノ缺點ガアルト思ヒマス、尙ホ根本的デナイト云フコトデス。此憲法ニハ成文憲

法ト云フモノアリ、不文憲法ト云フモノガアリマス、成文憲法ト云フモノハ日本ノ様ナモノデアリマス、チャント全體ノ系統ガ成文ニナツテ居リマス、不文憲法ト云フモノハ最モ好キ例ハ英吉利ノ様ナ一ツツノ法ハ成文ニナツテアリマスケレドモ系統の全部トシテ成文ニテ編メラレテ居ナイ、成文ニヨリテ統一の全部タル系統ガ立ツテ居リマセヌ、其時々ノ歴史の狀況ニ依テ種々ノ根本法ガ定メラレテ居ル、其固マリヲ憲法ト云ツテ居ルノデ、吾々ノ様ナ成文の統一セラレテ居ル憲法デナイ、此ニツノ中デ成文憲法ハ無論形式的要素ガ缺ケテ居ラヌ、シカシ不文憲法トテモ形式的要素ヲ備ヘテ居ルモノデアリマス、唯自然ニ憲法ト云フモノハ地面カラ湧イテ來タモノデアナイ、唯地面カラ湧イテ來タ所ノモノデアラバ吾々ノ言フ所ノ法デハナクシテ、ソレハ物理上論理上ノ自然ノ原則デアル、併シ是レハ憲法ト云フ以上ハ如何ナル不文ノ憲法デアツテモ自然ノ原則トハ違フト思ヒマス、尙ホ最小限度ノ國法ニヨリ生ズル自由力ニヨリ消極的ニ暗ニ認定セラレテ居ル、消極的ニ暗ニ統一の系統ガ立テラレテ居ル、從ツテ形式的要件ハ何時モ入ツテ居ル、最小限度ノ國法ハ憲法ノ個々ノ規定又ハ全部ノ系統ニ常ニ自由力方面ノ基礎ヲ與ヘツ、アルノデアル。

第二款 憲法ノ效力

第一 效力ノ程度

效力ノ程度即チ縱ノ效力ト云フノハドウ云フモノカ、憲法ト云フモノハ無論根本法デアラカラシテ何時モ必ズ他ノ法ヨリモ強イ、他ノ法ヨリモ效力ハ強イモノデナケレバナラヌ、獨リ憲法ハ最小限度ノ國法ト相待テ、其基礎ノ上ニ成立シ、之レヲ完全ニ發展セシムル根本法ナレバ、時トシテハ最

不自然ニ依リテ
不都合ナリ

小限度ノ國法ニハ敵ヒマセヌ、此事ハ憲法自身ガ之レヲ豫期シテ居リマス、扱テ斯ウ云フ性質上本來ニ然ルベキ所以ヲ利用シテ、憲法自身ハ其效力ガ他ノ法律ヤ又ハ命令ヨリモ強イト云フコトヲ定メテ居ルコトヲ通常ト致シマス、尙ホ國ニ依リテハ法律ト憲法ト形式ヨリ來ル效力ノ違ヒノナイコトヲ認メテ居ルコトモアリマス、ケレドモ違ハナイトシタ方ガ寧ロ不自然デアルト思ヒマス、法律ヨリモ強イト云フコトハ憲法ガ認メテアルガ至當デアリマス、根本法ヲ人爲ニ發揮シタモノデアアルカラ極メテ相當デアルト思ヒマス、然シ形式上デハ憲法モ法律モ同様ニ見ル國ニ於テモ、實質上憲法ノ内容ヲ有スル法律ハ、法律中デモ重ク見ラレテ居ルコトハ勿論デアル。最小限度ノ國法ニ對シテ或場合ニハ憲法ノ效力ガ弱イトカ元來相補フテ存スルモノデアルトカ云フコトハ、憲法自身ニ言葉ニ書イテ明カニ極メテハ居リマセヌケレドモ、之ヲ精神的ニ解釋シマスルト、ドウシテモソウ行カナケレバナラヌ、例ヘバ今或立憲國ニ非常ナ騷動ガ起ツテ憲法ニ少シモ依ルコトガ出來ナイ、憲法ヲスツカリ捨テ、仕舞ツタ場合ニ於キマシテハ、君主ガ憲法ニ依ラナクシテ活動スルコトガ出來ル、然モ人民ガ「アレハ我々ノ君主デアルト」皆認メテ居ル以上ハ尙ホ最小限度ノ國法ガアルト思ハナケレバナラヌ、君主ノ存在ト共ニ國民間ニ最小限度ノ國法ガアルト云フコトヲ認メナケレバナラヌ、從ツテ憲法ト云フモノガ效力ガ無クナツタトキニモ尙ホ最小限度ノ國法ト云フモノハ效力ガアルノデアリマス、モウ一步進ンデ申セバ、國ニ於テ君主ヲ認メズ最小限度ノ國法ト云フモノヲ認メナイ以上ハ一時ナレバ國ト云フモノハ一時氣絶スルノデアル、一時ノ假デナケレバ國ガ亡ビタモノト謂ハナケレバナリマセヌ、ケレドモ憲法ト云フモノハ亡ビタモ最小限度ノ國法ガアル以上ハ

尙ホ國法並ニ國家ガ存在シテ居リマス、要スルニ我憲法デモ其他ノ國ノ憲法デモ最小限度ノ國法ト云フモノガ憲法ノ後ロニ何時デモ控ヘテ居ル、ソウ云フコトヲ了解シテ居ナケレバ憲法ヲ説クコトガ出來ナイト云フコトヲ次ニ申シマス。

第二 效力ノ範圍

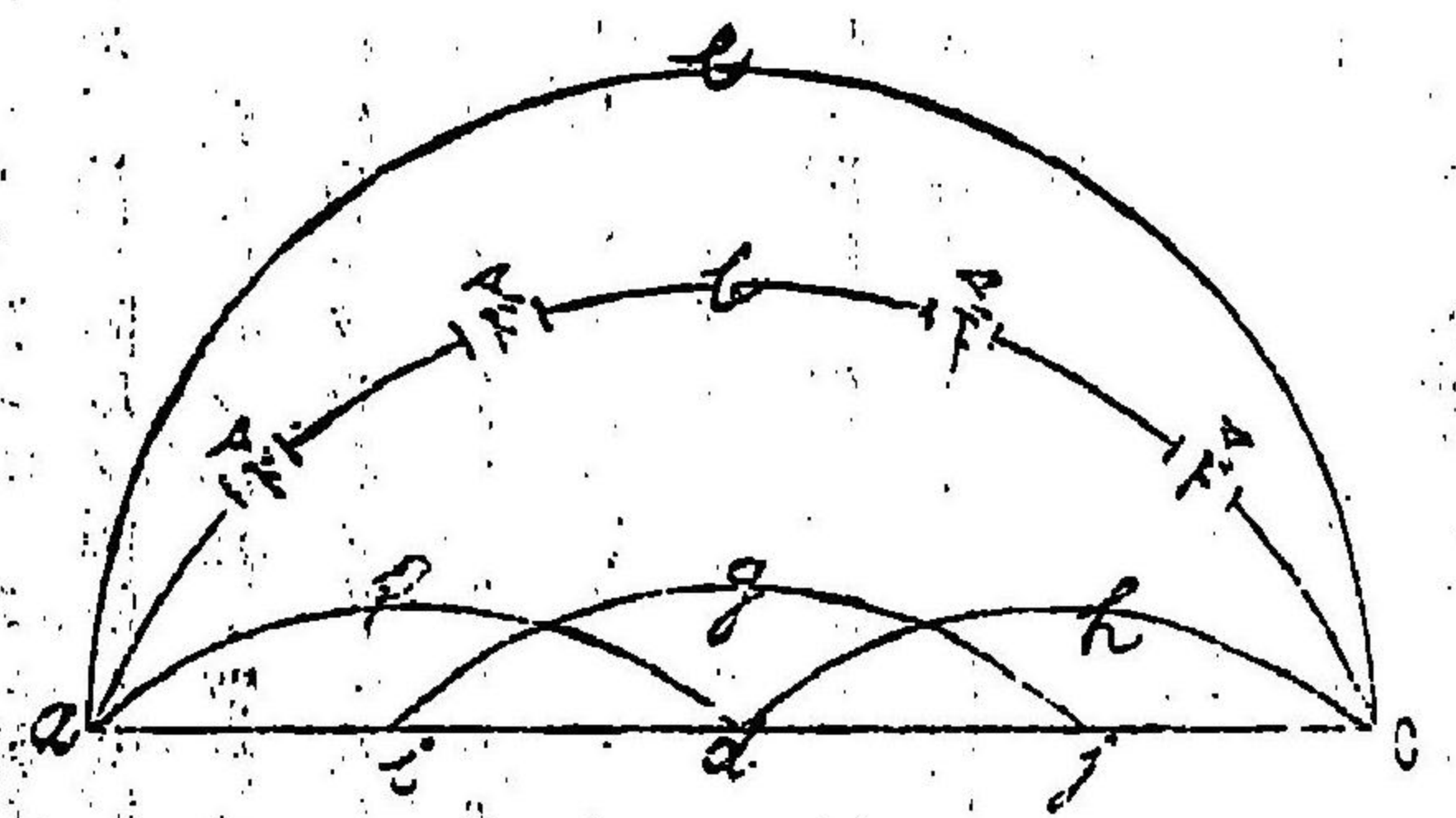
範圍ノ方ハドウカト云フト、横ノ方ニ於ケル效力デアリマス、例ヘバ平易ニ例ヲ探ツテ申スト、憲法ハ何處マデ效力ガアルカ、日本憲法ニスレバ日本ノ領土ノ一部分ダロウカ、或ハ他ノ處マデ及ブダロウカト云フ問題デス、又日本臣民タル以上ハ何處マデモ之レニ其效力ガ及ブカト云フ問題デアル、ソレニ對シテ申サナケレバナラヌコトハ、憲法ト云フモノハ全國ニ效力ノ及ブモノデアアル、全國即チ其處ニ居ル人民ニハ固ヨリ、日本ノ領土ニハ到ル處效力ガ及ブデアリマス、又日本人キハ到ル處效力ヲ及ボシ得ルモノデアアル、ソレハ最小限度ノ國法ト異ナルコトハナイ、最小限度ノ國法モ矢張全國民全領土ニ及ブデアリマス、從ツテ新領土ヤ租借地ノ上ニモ效力ガ及ブデアリマス、租借地モ國權ノ及ブ土地デアアル以上ハ其上ニ憲法ガ行ハレテ居ル、唯一局部ニ限ルモノデアアリマセヌ、何故カ一寸其理由ヲ述ベテ見マセウ、憲法ハ完全ナル國家ノ活動力ヲ生ゼシトル爲メニ必要缺クベカラザル根本法デアリマス、夫レ故憲法ハ全國全部ヲ常ニ見込デ居ルモノデアアル、完全ナル國カト云フコトハ、タゞ國內ノ一部分ノカノミ見込デ生ジ得ラル、モノデアナイ、必ズ全國體ノカヲマンベンナク見込マネバナラス、而シテ其心理ノ發達シタ部分ニハ之レニ應ジテ必要規定ヲ定メ、特別ノ事情アル部分ニハ夫レニ釣合ツタ條件ヲ豫定シテ居ル、憲法ハ全領土全國民ヲ全然

同一ニハ支配シ規律シヤウト思ハヌ、之ガ憲法ノ憲法タル所デ、最小限度ノ國法トモ法律ヤ他ノ命令トモ異ナル所デアアル、最小限度ノ國法ハ全領土全國民ニ及ブ、然シ何所何人ニ對シテモ全然同一ノ規律力デアアル、故ニ最小限度ノ國法ハ單純ナル規律力デアアル、法律命令ハ複雑ナル規律力デアアル、然カモ一本筋デ例外自身ヲ自分ノ内ニ豫見シテ居ラヌ故、其行ハル、所ト行ハレヌ所ト、其支配スル人ト支配セヌ人トアル、憲法ハ單純ナル規律力デナク複雜ノ規律力デアアル、然カモ時ト場合ニ應シテ自由自在ノ特例ヤ抜ケ穴ヲ設ケテ居ル、萬ベン一律デアナイ、從テ法律命令ト異ナリ全國土全國民ヲ支配シテ居ル、是ニ於テカ憲法ガ能ク頑固一律ノ最小限度ノ國法ト、偏頗ナル法律命令トノ間ニ處シテ、兩者間ノ聯絡ヲ保チ、兩者ノ融合ヲ保チ得ル所以ヲ了解シ得ルデセウ、サレバ憲法ハ一局部ニ限り行ハル、モノデアナイ、唯憲法自身ガ其精神ノ上ヨリ又ハ明言シテ或部分ニ效力ノ及バナイト云フコトヲ特ニ見込デ居ル場合ニハ、ソレハ憲法ノ通常規定ニ據ラヌコトカ反ツテ憲法ニ據ル所以トナルノデアアル、ソウデアナイ以上ハ憲法トシテハ何處マデモ通常ノ憲法ノ規定ガ及ブモノデアアル、例ヘバ臺灣デアロウトモ今度取ツタ樺太デアロウトモ、勿論憲法ノ效力ハ及ブデアリマス、又朝鮮デアアルトカ或ハ關東洲デアアルトカ云フ所ハ日本ノ領土デアリマセヌカラ當然憲法ハ及ハヌガ、國際關係トシテ日本ガ或權力ヲ其土地ノ上ニ行ヒ得ルニ至ツタハ、其得タ權力ヲ行フ範圍程度ニ於テハ憲法ガ及ブ、然シ憲法自身ガ其通常ノ規定ニ據ラヌシテ可ナルコトヲ認ムル精神ナレハ憲法ノ通常ノ規定ハ其儘及ビマセヌ、通常ノ憲法ノ規定ニ從ハヌトモ尙憲法ニ遵ヘルモノデアツテ憲法違反トハ全然異ナル、又律令ナラ律令ハ憲法ト競争對立セル法力デナク、憲法ニ遵フモノニ

シテ其下ニ在ル、即チ憲法自身ノ命スル所ニ遊ヒ憲法ノ通常規定ニ據ラヌモノハ、尙憲法ニモ違ヒ
 モセス、之レト對立シテ無關係ナル獨立ノ力デモナイ。
 第二十八圖ノ abc ハ憲法ヲ示ス abc ハ領土ヲ示ス、憲法ノ效力ノ及ンデ居ル此内ニ或ハ法律ノ山アリ
 或ハ命令ノ山ガアルト云フ譯デ、トコロガ其最後ニハ總テヲ統括シテ最小限度ノ國法ト云フモノ

第二十八圖

法憲ルケ於ニ中法



abc 全國民及余領土國家活動ノ及フ總テノ法上ノ範圍

abc 憲法

abc 最小限度ノ國法即チ國內法中ノ天ナリ者ヲ示ス
 ト自然トノ關係ニ至レハ此上ニ眞實ノ天ヲ斷カサルヘカフス

afu 法律命令(通常ノ)

ガ後ロニ控ヘテ居リマス、之レヲ afu ヲ以テ表ハス、此圖ハ恰モ日本大學ノ圖ノ様ナモノデアリ
 マス、法律命令等ハ諸方ノ部屋ノ天井ヤ壁ノ様ナモノデアリマス、憲法ヲ示ス abc ハ日本大學ノ家
 根ヤ外壁デアリマス、其上ニ afu ト云フ青天井ガアリマス、之レガ即チ最小限度ノ國法デアアル、此天
 井ト云フモノハ家根ヤ外壁ガアルカラ始メテ在ルノデアリマス、又何時モ家根ヤ外壁ト云フモノヲ
 知ラントナラバ、家根ノ下カラ見テ居ツタノミデハ能クハ判ル氣遣ガナイ、尙上ニアル所ノ青天井
 カラシテ日本大學ノ家根等ヲ研究シナケレバナラヌノデアリマス、家根ノ下ニバカリ遣入ツテ居ル
 カラ日本大學ノ家根ハ高イモノデアアル、最高無限ノモノデアアル、日本大學ノ家根ト云フモノハ表ノ
 ナイモノダト思フ、内ニバカリ居ルカラ、日本大學ノ教場ヨリ廣イ所ハナイト思フ、然シ大マケニ
 マケテ一寸外ヘ出テ御覽ナサイ、日本大學ノ家根等ハ何處ニアルカ餘リ目ニツカヌ、殊ニ九段坂カ
 ラ見ルト日本大學ノ家根ハズツト低クナツテ箱庭ノ家ノ様ニナリマス、殊ニ富士山ヘ登ツテ見レバ
 何處ダカ日本大學ナドハ全然見ヘヌ、恰度ソレト同ジコトデ憲法ヲ研究スルニモ其青天井即チ最小
 限度ノ國法ト云フモノカラ研究シテ見レバ能ク解ルコトデアアル、恰度憲法ト云フモノハ此日本大學
 ノ家根ヤ外壁ノ様ナモノデアアル、夫レデアアルカラ此ノ大學ニモ諸方ニ窓ガ開ケテアル、之ヲ開ケズ
 ニスツカリ閉メテ仕舞ヘバ常ニ闇黒ニナルノミデナク吾人ハ望息シテ仕舞ヒマス、憲法ニ窓ヲ開ケ
 ズスツカリ閉メテ仕舞ツタ日ニハ國民全部ハ闇黒ニナルノミカ矢張望息シテ仕舞フ、ソレ故ニ憲法
 ノ家根ニハ天窓ガアツテ光線ヲ入レ、憲法ノ外壁ニハ天窓ヲ開ケテ空氣ヲ流通サセテ居ル、最小限
 度ノ國法ニ通フ所ノ孔ガ開ケテアル、例ヘハ法律デナケレバ何ヤヲ規定シテハナラヌト云フ様ナ風

ニ壁ヲ塗ツテアルト思フト、其壁ニモツテ行ツテ緊急ノ場合ニハ緊急命令ヲ出セルト云フ窓ガアケ
 テアル、財政ノ處分ハ國會ノ協賛ヲ經ル必要ガアルト云フ憲法ノ丈夫ナル體ノ上ニ、緊急ノ場合ニ
 ハ協賛ヲ俟タスシテ處分ヲシテモ宜シイト云フ窓ガアケテ居ル、或ハ臣民ノ憲法上ノ權利義務ト云
 フ所テ法律ニ依ラナケレバ濫リニ人民ノ自由ヲ束縛シテハナラヌトカ法律ニ定メタル裁判官ノ裁判
 ヲ受クルノ權ヲ奪ハルルコトナシトカ云フ様ナル大切ノコトバカリ澤山書イテアル、然シ同時ニ非
 常ノ場合ニハ天皇ガ大權ニ基イテ勝手ニ人民ノ束縛ガ出來ル、命令ヲ裁判所ヲ設ケラレルト云フ様
 ナ大窓ガアケテアリ、又ハ戒嚴ト云フ様ナモノヲ天皇ガ宣告スルコトガ出來ルトナツテ居ル、諸方
 ニ窓ガ開ケテアル。

只今此日本大學ノ窓カラ見ルト星ガ見ユル、星ハ青天井ノ星デアツテ、壁ニ在ルノデハナイ、日本
 大學ノ天井ニ光リ物ガ澤山ニアルト云フハ間違デアアル、或ハ晝間窓カラ光線ガ道入ル、是レハ青天
 井カラ來ル光線デアアル、ソレヲ日本大學ハ結構デアアル、諸方ノ壁カラ光線ヲ放ツテ居ルト云フ人ガ
 アツタラ如何デセウ、誰モ狹キ見解ト云ツテ笑フデアロウ、此等ト同ジク家根ヤ外壁タル憲法ノ規
 定ハ種々ナ非常ノ場合ヲ豫見シテ自身ガ諸方ニ窓ヲ開ケテ居ル、憲法ハ青天井タル最小限度ノ國法
 ニ從フベキ場合ヲ豫見シテ居ル、サレバ窓ヨリ入り來ル光線ヤ星ノ姿ハ青天井タル最小限度ノ國法
 ニ留意シテ説カネバナラヌ、同時ニ窓ノ下ニ居ツテモ屋根ニ穴ガアツテモ、尙家根下ニ居ルノデア
 ル、爰ニ居レハ外部ヲ窓カラ眺メテ居ツテモ日本大學ノ建物ノ内ニ在ルト謂ハネバナラヌ、サレバ
 憲法ガ其通常規定ニ據ラヌト云フ窓ヲ開イテ居ル場合ニ、其窓ヨリ頭ヲ出シテ居ツテモ尙憲法ノ支

配ノ下ニアルモノデアアル。實例デ申セバ臺灣全部ヤ、租借地ヤ朝鮮ト云フ様ナ所ニ對シテハ憲法ニ
 窓ガ開イテアル場合デアアル、教室内ニ居ツテ黑板ヲ見テ居ラズニ、窓カラ外部ヲ眺望シテ居ルノデ
 アルカラ非常ノ場合デス、臺灣デ申サウナラ日本カ文明ニ達シテ居ル、ケレドモ一部分ニ野蠻人
 ガ居ル、或ハ臺灣全體ガ野蠻人デナイト假定シテモ、少ナクモ一部分ニハ野蠻人種ガ居ル、是レハ
 日本ガ非常ノ場合デアリマス、或ハ臺灣全部ガ文明ノ點ニ於テ内地ト同様ナリト假定シテ見テモ、
 互ニ同情ヲ以テ同一ノ國法ヲ作シ國家ヲ爲スト云フ精神ニ於テ内地ト同一デナイ、内地ト同ジ精神
 上ノ交通ヲ爲シ同ジ物質上ノ交通ヲ爲シテ居ラヌ、依テ非常ノ場合トシテ支配セネハナラヌ、非常
 ト云フノハ短カキ時ニ起ル急變ノミヲ指スノデハナイ、事變トシテモ時ノ短カキヲ要セヌ、以上ノ
 場合ハ皆非常デアアル事ノ變ツタ場合デアアル、ソレダカラ樺太ニ致セ憲法自身カ最小限度ノ國法ニ違
 ヘト命シテ居ル、最小限度ノ國法ト云フモノハ何處ニデモ行フコトガ出來ルノデアアル、苟モ日本國
 ト云フ形式的ノ意義ノ下ニ屬スルモノデアアルナラバ勿論日本ノ最小限度ノ國法ト云フモノガ行ハレ
 テ居ル、タゞ完全ノ自我ノ集マツテ居ル部分ニハ憲法ノ完全通常ノ規定ガ此最小限度ノ國法ノ基礎
 上ニ行ハレテ居ルノデアアル、

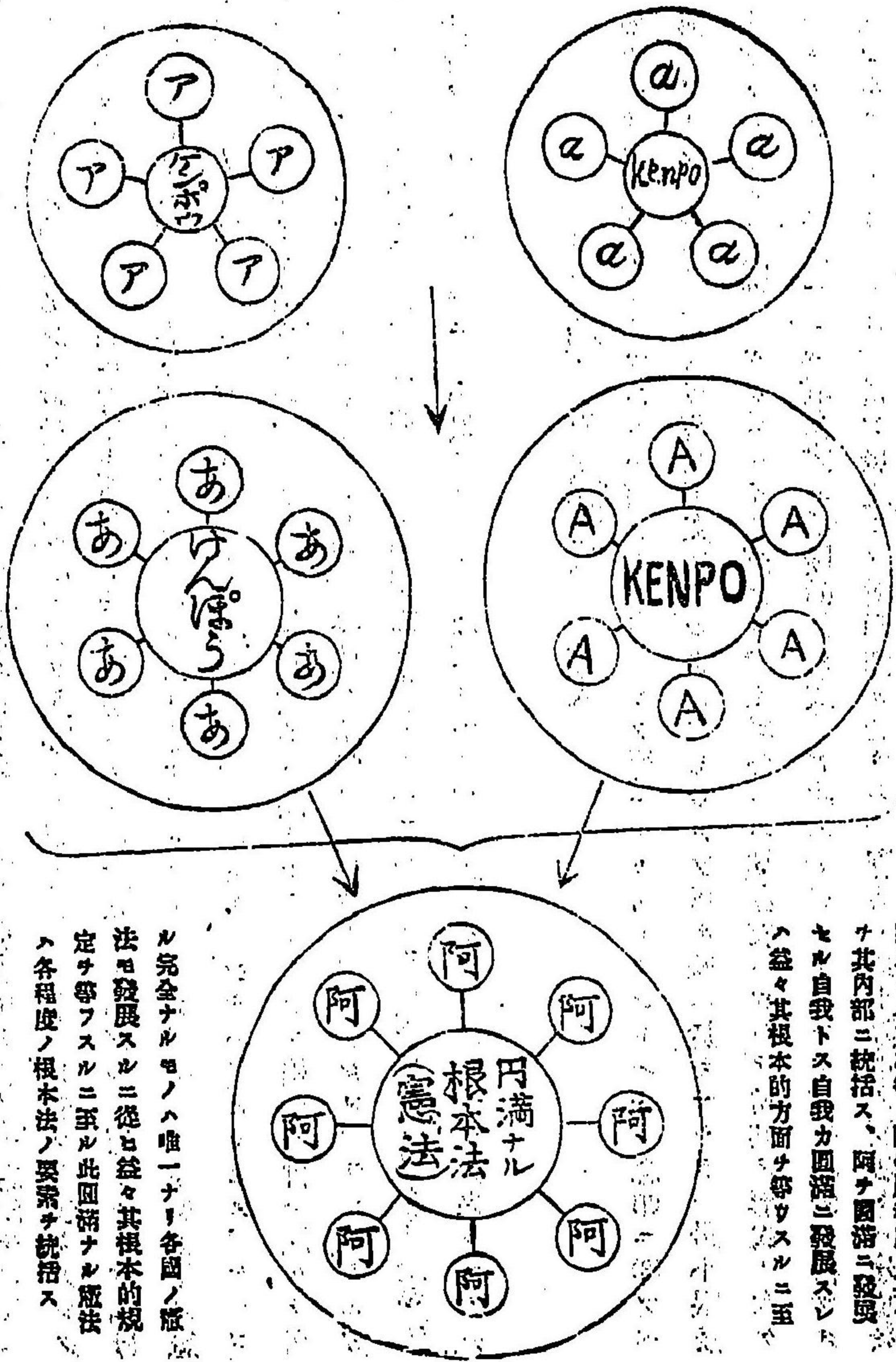
第三款 憲法ノ成立變更

第一項 憲法ト成立變更

此前ニ申シマシタ如クニ憲法ト云フモノハ、最小限度ノ國法ノ上ニ存在シテ居リマス、憲法ト最小
 限度ノ國法トハ區別シテ見得ルコトヲ知ラネバナラヌ、同時ニ何時モ最小限度ノ國法ト云フモノガ

憲法ノ後ロニ控ヘテ居ルコトヲ忘レテハナラヌ、從ツテ斯ウ云フコトガ起ツテ參ル、最小限度ノ國
 法ト云フノハ苟モ一國ガ其儘存在シテ居ル場合ニハ一定デアツテ變ハリマセヌ、夫レニ反シテ其上
 ニ出來テ居リマス所ノ憲法ト云フモノハ折々變更致シマス、否ナ變更スルノミナラズシテ全ク消滅
 スル場合モアル、新タニ成立スル場合モアル、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスルト最小限度ノ國法ノ成立變
 更ハ國家ノ生命ノ成立變更デアル、ケレドモ憲法ノ成立變更ト云フモノハ國家ノ成立變更デハアリ
 マセヌ、一タイ國家ト云フモノハ人間カラシテ、成ツテ居ルモノデアル、其人間ト云フモノハ魂ヲ
 有ツテ居ル、其魂ノ關係カラシテ、其魂ガ變遷スルト云フコトニ伴ツテ、常ニ此人間ヲ全體トシテ
 最モ能ク活動サセ、全體トシテ最モ能ク發展サセテ行ク爲ニ、大體必要ナル所ノ根本ノ法ガ、即チ
 憲法デアアル、夫レ故憲法ハ人間ノ魂ノ變ルト共ニ何時モ變更致シマス、例ヘバ第二十九圖ニ於テ若
 シ人間ハ皆「a」ト云フ文明ノ程度ニ在ル人間デアツタトシテ見マセウ、人間ノ顔ハソウ違ヒマセ
 ス、昔ト今トハ人間ノ身體ガ大體大キクナツタトカ、言フガ身體ハ數千年間ニハ左程違ハヌ、ケレ
 ドモ魂ノ發達程度ハ非常ニ違ヒマス、教育ヲ受ケタ人間ト教育ヲ受ケヌ所ノ人間トハ少シハ容貌ヲ
 見ラモ違ヒマスガ其容貌ヨリハ心ノ働キガ遠ヒマス、斯ウ云フ風デ心ノ働キガ遠ツテ居ル、先ツ人
 ヲガ「a」ト云フ心ノ發展程度ニ在ツタ時ニ夫レヲ最モ完全ニ運轉シテ行ク根本法、其全部ノ人々
 ガ完全ニ發達スルニ必要ナル所ノ根本法即チ憲法ハ「Kenpo」デアツタ、所ガ各人ノ「a」ガ變ハリ
 マシテ各人ガ「A」ニナツテ來マスト云フト今迄ノ憲法デハ物足りナイ、却ツテ全體ノ人間ノ發展ヲ
 妨グルコトニナル、全體ノ人間ヲ完全ニスル爲ニハ憲法ガ變更シテ斯ウ云フ風ノ「KENPO」ニナラ

圖九十二第
 憲法ノ變遷



阿ハ「a」アガ等ノ諸發展程度ノ要件
 ナ其内部ニ統括ス、阿チ圓滿ニ發展
 セル自我トス自我カ圓滿ニ發展スル
 ハ益々其根本的方面ヲ導クニ至

ル完全ナルモノハ唯一ナリ各國ノ憲
 法ヲ發展スルニ從ヒ益々其根本的規
 定ヲ導クニ至ル此圓滿ナル憲法
 ハ各程度ノ根本法ノ要素ヲ統括ス

ナケレバナラヌ、ケレドモ尙ホ人民ガ進ミタル結果トシテハ、最早「KENPO」ノ様ナ憲法デハ役ニ立タヌ、之レト同シク他國ヲ見レバ始メハ「ア」ト云フ人心ニ對シテ「ケンボウ」ト云フ憲法カアツタガ、遂ニ人心ガ「あ」トナルト共ニ「けんばう」ト云フ憲法ニナツタ、然シ人心ガ進ミ阿トナレバ「けんばう」デハ物足りヌ、是ハ專制國ノ憲法デアルト云フ様ナコトニナリマス、例ヘバ聖德太子ノ憲法十七ヶ條ハナカク立派ナモノデ今日ノ憲法ニ比シテ其精神ニ於キマシテハ違ヒマセヌ、ケレドモ夫レハ今日デハ物足りヌ所ガアル、即チ其精神ヲ形式的機關トシテ確定スル様ナ條件ハ缺ケテ居リマス、從ツテ今日カラ見ルト夫レハ專制國ノ憲法デ立憲國ノ憲法トハ申サレヌ、サレバ人間ガ「A」又ハ「あ」「ヨリ」「阿」ニ發展シ圓滿ナル文明開化ニナルト共ニ此憲法ガ變遷シテ今度ハ此「憲法」ニナツテ仕舞フ、ソウ云フ風ニ最小限度ノ國法ハ變ハラナイデモ憲法自身ハ常ニ變ツテ來ルモノデアアル、

第二項 憲法改廢ノ形式

扱テ斯ノ如ク憲法ガ變ツテ參リマスニハ何ウ云フ風ニシテ變ハルカト云フコトハ先ツ念頭ニ浮ブベキ所ノ事柄デアリマス。勿論憲法ガ全然不文法トシテ存在セシメテ居ル國ニ於キマシテハ最小限度ノ國法ト憲法トハ殆ント區別ガツクニクイノデアアル、此場合ニハ其合成ニツキテ特別ノ形式ノ六ヶ敷クスルコトハナイ、何故ナレバ其形式ハ消極的ノ形式ガアルノミデアリマシテ、積極的ニ極ツタ手續キト云フモノハアリマセヌ、併シ發達シタ文明國ニ於テハ、憲法ト最小限度ノ國法トハ分岐發達シテ居ル、憲法ガ全部成文トシテ系統立テラレテ居ルコトハ必ずシモ入用デナイガ、其内ノ

或規定ニハ必ず成文的ノモノガ存在スル、絶對ニ不文ナル國ハ文明國ニ於テ見ラレ得ヌモノデアアル、之レハ後ニ述ベマスガ、憲法ノ發達ハ一方デハ人心ノ發達デアリ、他方ニハ形式ノ發達デアアル、形式ノ發達ハ成文ト云フコトト密接ノ關係ヲ有ツテ居ル、タゞ形式ノ外部ニ有形ニ表ハシ方ハ積極デモ消極デモアリ、單獨デモ複雜デモアリ得ルノデアアル。

憲法ノ全部又ハ一部ヲ成文トシテ變更廢止スル場合ニハ必ず積極的ニ明ニ一定ノ形式ヲ踐マホバナラヌ、然ラハ其形式ハ如何デアルカト云フト大體次ノ様ナ鹽梅ニナリマス。

此前申ス如クニ憲法ハ最小限度ノ國法ヲ除イテハ一番高イモノデアアル、高イト云フコトハ統括ノ範圍ノ廣イノミナラズ、效力程度ノ強イト云フコトヲ意味シテ居ル、既ニ效力ノ範圍ガ廣ク程度ガ強クナレバ其變更ノ形式ト云フモノモ勿論面倒デナケレバナラヌ、勿論鄭重デナケレバナラヌ、凡ソ小サナ國ト云フモノハ勝手ナコトガ出來ルモノデアアル、大キナ國ハナカ々々自然ヲ離レルコトガ出來ナイ小サイ國ノ憲法ハイロ々々妙ナモノガアリ、又形式ニ就キマシテモ不自然ナモノガアリマス、人間デモンウデアリマス、三人バカリノ少数寄合ツテ居ツタナラ、皆間違ツタ理窟デモ斯ウダトカアードトカ勝手ノ理窟ヲ付ケ之レデ満足シテ居ラレマス、其數ガ少クナリ一人ナラ尙更勝手ノ理窟ヲ付ケル、又大人ヨリ小人ハ尙更不自然ノ理窟ニ安ンシテ居ラル、自分ハ五重ノ塔カラ飛ビ降りタツテ清水ノ舞臺カラ飛デ降りタツテ死ニハシナイトカ、人ノ物ヲ盜デモ自分ハ之ヲ善トシテヤルノダ、ソナ鹽梅ニ自分勝手ノ理窟ガ付ケラレル、大人ニ於テハソウハ往カヌ、又人ノ數ノ多イ所デモンウハ往カヌ、大キナ國家ニナルト憲法ノ形式ノ變更デモ自分勝手ナ不自然ノ形式ハ設ケラ

レテ居リマセヌ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスルト、大國ニテ圓滿ノ發展ヲナセル所デハ、憲法ノ變更ニツキ通常ノ法律命令ノ變更ヨリ鄭重ノ形式ヲ踐ンデ居ル、其形式ハト云フト、是ハ最小限度ノ國法ト云フモノ、上ニ憲法ガ乘リ掛ツテ居ル、最小限度ノ國法ガ此ノ床デアラナラバ、憲法ハ此机ノ脚デ其他ノ國法ガ机ノ平面デアアル、此脚ハ臺ノ上ニ乗ツ掛ツテ居ル、然シ此床ハ何ウカト云フト日本大學ノ地面ノ上ニアル、故ニ此地面ガ赤土カ砂カ泥カ又ハ水カト云フトコトデ以テ教場ノ床ノ性質迄變化ガ及ビ、從ツテ机ノ輕重大小等マデ定メラル、譯デアアル、其最小限度ノ國法ト云フモノ、性質……立テ方ニ依テ憲法ノ形式ノ變更ガ違ヒマス、從テ先ヅ以テ大體之ヲ列舉スルト三ツニナル——限リアル人爲ノ自由ニ形式的ニ統一點ヲ定ムルコトナレバ、是非共何レカノ一方面ニ重キヲ置カル、コト、ナル、ソウシテ孰レノ點ガ他ヨリ正シイト云フトコトハ自然ニハナイ、(一)ハ大人本位ト云フモノヲ最小限度ノ國法成立ノ根據トシテ居ル國ニツイテデアリマス、(二)ハ、民衆本位ノ國デアアル、民衆本位ト云フモノヲ最小限度ノ國法ノ成立ノ根據トシテ居ル場合デアリマス……(三)ハ國家ト云フモノヲ統括シテ居ル國家タル場合デアアル。

第一ノ大人本位ト云フノハ一言デ言フト君權國ト云フ國體ノ國ニ於テ最モ容易ニ之ヲ見ルコトガ出來ル、第二ノ民衆本位ト云フノハ民權國ニ於テハ其成立ヲ明カニ見ルコトガ出來マス、第三ノ國家ヲ統括セル國家タル場合ハ、之ヲ聯合國家即チ國家國家ニ於テ之ヲ見ルコトガ出來マス。

第一 大人本位ノ國家

第一ノ場合ニ於テハ唯大人本位一點張リデアリマス、此時ハ君主一人ガ勝手ニ憲法ヲ成立シ、變更

セシメ、又ハ消滅セシムルコトガ出來マス、現ニ我國デモソウデアリマシタ、明治二十二年マデハ大人本位一點張リデアリマシタカラ天皇ヲ憲法ヲ勝手ニ發布ナサレタ、併シ一旦發布ニナツテカラハ大人本位一點張リデハナイ、形式上ニ於テモ尙ホ民衆本位ガ交ツテ來タ、從ツテ調和的ノ立憲國ニナマシタ、此ノ立憲君權國ニ於テハ專制君權國トハ憲法變更ノ手續キガ違ツテ居リマス、此場合ニ其手續ヲ唯鄭重ニスルト云フニ過ギナイ、特別ニ變ツタ方法ハ大概無イ、普通ノ法律ヲ採ヘルヨモ手續ガ鄭重ニナル、例ヘバ通常ノ場合ヨリハ人ガ多ク出ナケレバ相談ガ出來ナイ、即チ缺席者ガ多クテハ相談ガ出來ナイトカ、或ハ又出席シテ相談ヲシタモノデモ夫レニ賛成者ガ通常ノ場合ヨリ多クナケレバナラヌトカ、即チ三分ノ二以上ノ同意ガ無ケレバナラヌトカ、四分三以上ノ同意ガ無ケレバナラヌトカ云フ様ニ、同意者ノ數ガ多ク無ケレバナラヌト云フ様ナコトデアリマス、又ハ憲法ヲ變更廢止スルト云フ様ナ案ヲ出ス者ハ、君主ニ限ツテ出來ルトカ、勿論君主ニ限ラヌ所モアリマス、日本ナドハ君主ニ限ツテ居ル、又ハ攝政ヲ置ク間ハ憲法ノ變更廢止ハ出來ナイトカ云フ様ナコトデアリマス、色々ノコトガアリマスルガ、要スルニ此場合ニハ憲法變更廢止ノ手續ヲ鄭重ニスルト云フ様ナコトニ過ギナイノデアリマス。

第二 民衆本位ノ國家

次ニ民衆本位ノ場合ニハ大分性質ガ違ヒマス、民權國ニ於キマシテハ總攬者ト云フ者ガ大變ニ複雜ニナツテ居リマス、如何ナル所ノ狀態ニ於キマシテモ、殊ニ大キナ國ナドハ日常敏活ノ活動ニ應ズル爲ニ、平常ハ議會ニ終局ノ勢力ガ集ツテ居ル、所ガ憲法變更ノ場合ニ至リマシテハ、議會ヲ構成

シテ居ル所ノ個人。即チ國會議員……國會議員ノミガ總攬機關ヲ構成シテ居ルコト、ナリ、專横ヲナスト云フ様ナ恐レヲ防グ爲ニ、換言シマヌレバ民權國ガ變ジテ貴族國ニナルト云フコトヲ防グ爲ニ、憲法ヲ變更廢止スル場合ニ當リマシテハ、特別ノ手續ガ設ケテアリマス、其内ニハ人民ガ贊成不贊成ヲ直接投票スルト云フコトガ行ハレテ居ル所モアリマス、殊ニ小サナ民權國ナドニ於キマシテハ普通ノコトデアアル、大キナ國ニ於キマシテハ夫レハ出來マセヌ、例ヘバ佛蘭西デアアルトカ北米合衆國デアアルトカ云フ様ナ大國ハ、民權國ノ立派ナモノデ素晴ラシイ大キナモノデアアルカラ人民ガ一々直接ニ投票スルナド、云フコトハ思ヒモ寄ラヌコトデアアル、瑞西ナドハ昔カラ共和國ノ模範的ノモノデアリマスガ、瑞西ナドハ國ガ小サイカラ直接投票ガ出來ル、況ンヤ亞米利加合衆國ノ内部ノ各州ダトカ、瑞西ノ「カントーン」ナドニ於キマシテハ憲法ノ變更改正ナドハ人民ガ直接投票ナド、云フコトハ當然ノ話デアアル、其外ニ特別ノ議會ト云フモノガ出來ル、通常議會デ憲法ノ變更改正スルノデナクテ特別ノ議會ヲ拵ヘル場合ガアリマス、夫レハ大キナ國ニ於キマシテ通常ニ採ル制度デアリマス、憲法變更問題ニツキテハ、亞米利加ニ於テモ或ハ佛蘭西ニ於テモ特別ノ議會ト云フモノガ出來ル、小サナ民權國ニ於キマシテモ此例ハアリマス、尙又此一二ガ並ンデ兩方共必要トセラル場合モアリマス、何レニ致シテモ民權國ニ於キマシテハ君權國ニ於ケルヨリモ、唯鄭重トスルバカリデナク、憲法ヲ變更改正スル場合ニ手續ガ大ニ違ツテ居リマス。

第三 聯合國家

第三ノ場合ハ聯合國家ト云フモノハ國家ノ上ニ又國家ガアルノデスカラ、從テ其内部ニアル所ノ各

國ノ立法機關ノ承諾ヲ得ル、其多數ガ贊成ナラバ憲法ノ改正ヲスルト云フ様ナ特別ノ事柄ガ存在シテ居リマス、例ヘバ亞米利加合衆國モソウデアアル、又獨逸邦モソウ云フ形ヲ有ツテ居リマス、ケレドモ是ハ日本邦ニハ直接ニ參考ニハナラヌ、何故カト云フト日本ハ單一國デアツテ聯合國デナイカラデアアル。

是デ憲法ノコトハ御解カリニナリマセウ、此次ニハ公法上ノ權利義務ノコトニ移リマス、然シ精シイコトハ第二篇ニ遁入ツテカラ申シマセウ。(以上第九回續編)

第四節 國法上ノ權利義務

第一款 國內法上ノ人格者

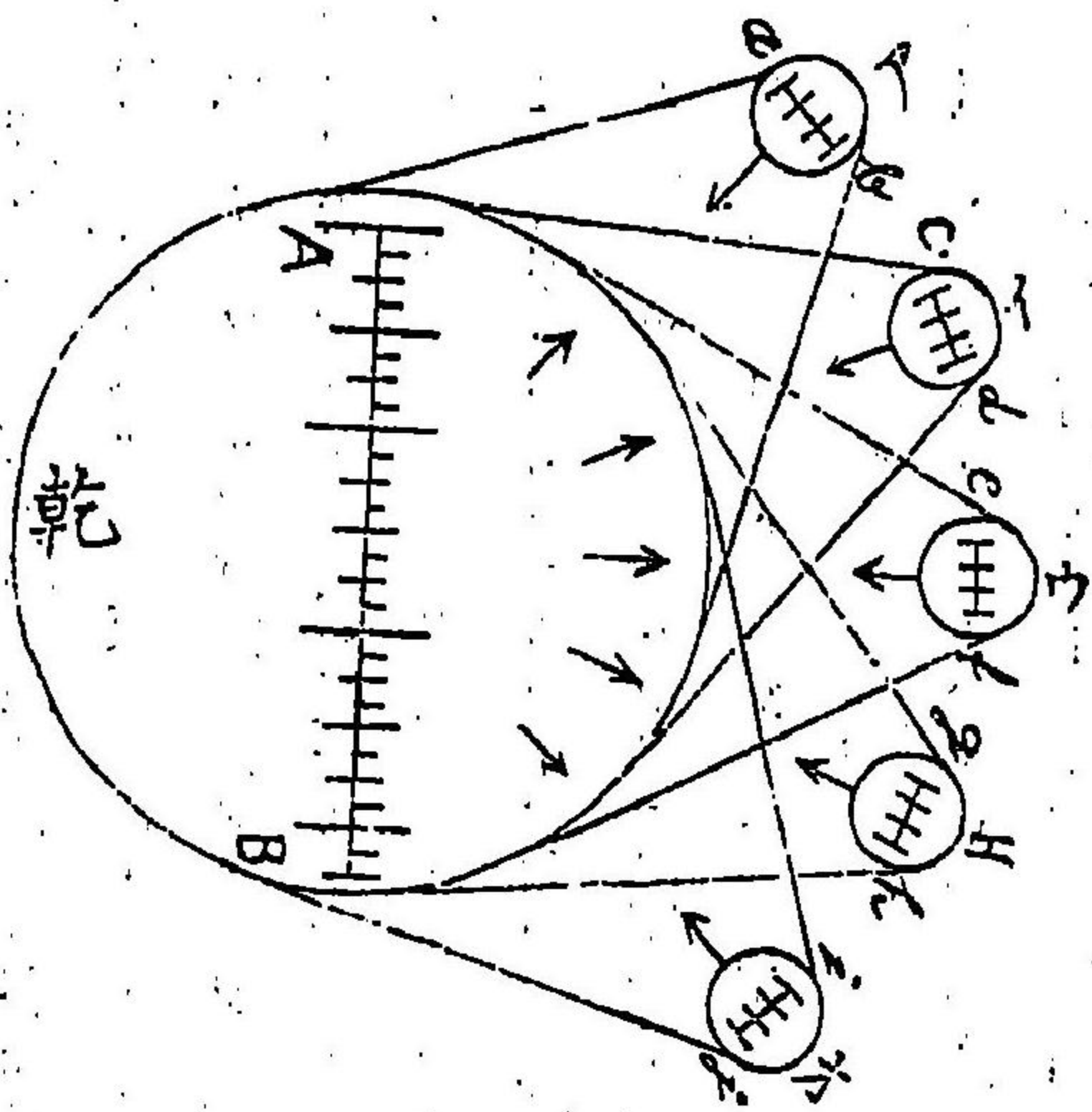
先ヅ總論カラ申シマヌルト、至ツテ簡單デアリマス、此前公法ト云フコト、又國法ト云フコトヲ述ベルニ當リマシテ、法ノ上ノ人格者ト云フモノハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ種々ノ點ニ付テ述ベテ置キマシタカラ、殊更之ニ付テ人格者ト云フモノハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ述ベル必要ハ餘リアリマセヌ、唯其中ニ付テ必要デアアル點ヲ一言シ殊更諸君ノ記憶ヲ喚ヒ起サウト思フ。ソレハドウ云フコトデアアルカト云フト、曩ニ申シマシタ如クニ自然ノ人格者ト法上ノ人格トガ全然同一ノモノデアハナイト云フコトヲ申シマシタ、法ガ自然ノ人格者即チ自然ノ活動ノ主體ノ上ニ付テ自由ニ境ヲ設ケテ居ル、自然ノ人格者ガ本來同體ヲ爲シテ居ル爲メ、互ニ根本的ニ相統括シ互ニ相續イテ何處ガ境カ分ラヌトキニ、法ハ勝手ニ境ヲ設ケテ此處カラ此處マデ人格者デアアル其以外ノモノハ活動ノ主體デナイ所ノモノデアアルト云フ様ニ境ヲ設ケテ居ル、ドウ云フ標準ニ基イテ

法ガ其境ヲ定メルカト云フ點ノミヲ權利義務ヲ説ク前ニ當ツテ一言シテ置キタイト思フ、是ハ權利義務ノコトヲ了解シマスニハ大變大切ナコトデアリマス、又國法ト云フ機ナモノハ始終其點ノ周圍ヲグル〜廻ツテ研究シテ居ル様ナモノデアアル。

扱テ國家ニ機關ト云フモノハドウシテ出來ルカト云フト、自我ガ自分ノ内部ニ收縮セズシテ四方ニ擴張シテ自分ヲ推擴メル、蜷縮ガ縮ンダ如クニ縮ンダ仕舞ハズシテ其精神ヲ擴ゲルノデアリマス、其場合ニ機關組織ト云フモノガ出來ル、又各個人ガ國家ノ自治組織トナルト云フ様ナコトガ出來ル、此事ハ嘗テ一寸御話シ致シマシタ、ケレドモ之レハ機關組織ニツキテモ國法ニツキテモ同ジ様ウナ譯デアアル、國法ト云フモノハ實ハソレデアアル、各人ガ縮ツテ自分ノ内部ノコトばかり考ヘテ居ルト云フ場合ニハ國法ト云フモノハ成立シマセヌ、自我ガ自分ヲ擴張シテ普遍我タル所以ヲ發揚スル、或ハ團體全部ニ己レヲ推擴メルト云フ場合ニハ其自我ハ國法ト云フモノ、一元素タル所ノ自我トナリマス、機關ノ上組織ノ上カラ申シマスルト、ソウ云フ人間ハ即チ組織人格ト云フモノニナルノデアリマス、ソウ云フ人間ハ機關ト云フモノ、構成分子ニナルト云フコトハ言ヘルケレドモ、國法ノ上カラ申シマスルト、ソウ云フ人間ガ國法ノ一元素ニナルノデアアル、然ルニソレガ「ア」ト云フ人間ノミナラズ、其他ノ多クノ人間ガ居ル、「イ」ト云フ人間モ己レヲ推擴メテ其團體全部ト一致スル、「ウ」モソウデアアル、「エ」モソウデアアル、「オ」モソウデアアルト云フ様ナ鹽梅ニ、ソノ内部ニ多數總テノ人間ガ自分ヲ推擴メテ全部ト云フコトヲ自覺スルノミナラズ、己レノ總テノ力ヲ團體全部ニ擴張スルコトニ依テ始メテ國法ト云フモノガ確カニ出來得ル様ニナルノデアリマス、而シテ會テ圖ヲ書キマシタ如クニ、自我ノ例ハ「ア」デアアルトカ「イ」デアアルトカ「ウ」デアアルトカ云フ自我ノ心ノ内部ニ存在シテ居ル所ノ規律的意力ト云フモノガ、己レヲ擴張シタ結果トシテ大キクナツテ現レ出テ來ル、例ヘバ自分ハ人ニ對シテハドウ云フコトヲシナケレバナラヌトカ、自分ハドウ云フ風ニ活動シナケレバナラヌトカ、ソレガカラソウ云フ風ニ活動セネバナラヌト云フ尺度ヲ自分ノ腹ノ中ニ極メテ居リマス、ソレガ規律的意力デアアル、然ルニ自分ヲ團體全部ニ推擴メタ時分ニハ其尺

第三十圖

法國ノ元素ハ即チ法國ノ上ノ人格者ナリ



乾 國家

アイウ等 個々ノ自我ニシテ國法ノ

元素タル者

ab, cd, ef, gh, ij 自我ノ規律的意力

AB 國法

注意 國法カ特ニ意思發動ヲ圖メ又ハ要求スルトキ
 ハ其者カ法上意思者ト認定セラレシモノニシ
 其者ハ法上ノ人格者ナリ

度ガ大規模ノ尺度ニナル規律的意力ニナリマス、「ア」ノ規律的意力ガ此處ニ重ナル、「イ」ノ規律的

意力モ此上ニ重ナル「ウ」モ「オ」モ皆重ナル(第二十圖)其結果トシテ大袈裟ナル規律的意力ト云フモノガ判然強ク確實ニ最モ有効ニ此團體ノ内部ニ存在シ得ルニ至リマス、其規律的合成意力カ即チ國法デアアル、丁度オ月様ガ小サクテ天上ニ在ルトキハ兎ガ餅ヲ搗イテ居ル如クニ見エマス、ケレドモ其模様ハ判然シナイ、ソレヲ望遠鏡ヲ持ツテカラニ大キクシテ見ルト菊石ダラケデアリマス、而モ其菊石ガ判然シテ居ル、ソレト同ジ様ナモノデアアル、小サイ自我ナラバ其内部ニ存在シテ居ル規律的意力ガ小サナモノデアアツテ餘リ複雑ニ見エナイ、ソレヲ推擴メテ參リマスカラ其結果トシテ——是ハ小サクシテ諸君等ニハ見エマスマイ、(圖ニテ説明スル)ソレガ此様ニ判然リ大キクナツテ見エル、一杯小サナ目ガ盛ツテアル、ソウ云フ様ナ譯デ、此場合ニハ此尺度ヲ之ヲ國法ト云フノデ、自我ノ内部ニ小サク縮ツテ居ルトキハソレハ自我ノ規律的意力デアアル、ソウ云フ様ナ自我ノ規律的意力ニ基イテ始メテ存在スルモノデアアル。

扱テ斯ウ云フ風デアリマスカラシテ、ドウ云フ標準ニ依テ法ノ上ノ人格ト云フモノガ定マルカト云フト、モウ了解スルニハ何デモナイコトデアアル、即チ法ト云フモノハ規律的合成力デアアル、所ガ規律的合成力デアアルカラ自我ト云フモノ、意思ノ力ガ大キクナツテ社會心理ニ基ツキ合成シタノデアアル、此合成力ガ又各個ノ自我ニ向ツテ法即チ規律的合成力ト云フモノ、一元素ニナツテ居ル様ナ自我ト云フモノヲ探リ出シテ、ソウ云フ様ナモノヲ人格者ト認メ、之レヲ繰返シテ申シマスルト規律的合成意力タル法ト云フモノガ自分ノ作ツテ居ル所ノ元素ヲ探出シ、オ前ハ乃公ノ縮寫デアアル、オ前ハ乃公ノ元素デアアル、オ前ハ乃公ノ分子デアアル、オ前ハ乃公ノ要素デアアル、ソウ云フモノヲ見

付出シテソレヲ法上ノ人格者ト認メテ居ル、ソレダカラシテ此世ノ中ニハ犬モ居リマセウ、猫モ居リマセウ、馬モ居リマセウ、ケレドモ法ハ之レヲ人格者トシテ認メ、ソレハ馬ガ居タカラト云ツテ馬ノ心カ擴張シテ法ノ分子トナツテ居ラヌ、其結果馬ガ往來デ嘶クベカラズト云フ法ガ馬ニ對シテ出來テ居ラヌ、往來デ馬ガ大水ヲ流スベカラズト云フ法モ出來テ居リマセウ、馬ハソウ云フ様ナ規律的意力ヲ貢獻シテ居ラナイ、ソレダカラ馬ト云フモノハ規律的合成意力ニハ一向關係ガナイ、人格者トハ認メテ居ラナイ、猫モ其通リ犬モ其通リデアアルカラ法上人格ヲ有ツテ居ナイ、假令法上害セラレヌト云フ保護ヲ受ケ、人間ノ法ノ爲メニ利益ヲ受ケテ居ツラモ、國法ノ元素タル我々ノ仲間トシテハ認メヌノデアアル、ソレ故ニ括ツテ申シマスルト團體全部ト云フモノヲ自覺スル、自我ト云フモノ、自覺ヲ益々深クシテ其普遍我タル所以ヲ確メ、サウシテ自分ト普遍我ト一致スルト云フダケノ發達ニ達シテ居ルモノガ始メテ國法ノ一要素トナルベキモノデアアツテ、又國法カラハ法上ノ人格者トシテ認メラルベキモノデアリマス。

第二款 權利義務

第一項 總說

扱テ國法ト云フコトハ畧々御解リニナツタロウト思ヒマス、所ガ法即チ規律的合成意力ト云フモノハ此合成意力ヲ出來得ベカラシムル所ノ各員、即チ各元素タル力ト云フモノカラシテ離レテソレニ超越シテ特殊ノ客觀的存在ヲ爲スニ至ルモノデアリマス、現ニ憲法ト云ヒ、民法ト云ヒ、商法ト云ヒ、諸君ノ頭ガアルカラコソ日本ニ存在シ得ルノデアリマス、吾々ガ石塊デアレバ日本ニハ憲法民

法或ハ商法ト云フモノハ想像シ得ラレナイ、ケレドモ其憲法民法商法ト云フモノ自身ガ諸君ノ頭ノ中ニアルト云フコトハ出来マスマイ、諸君カラ出来テ居ルケレドモ其レニ超越シテ存在シテ居ル、超越シテ居ルケレドモ、ソレハ各員ガ規律力ヲ有シ、各員ノ意思ノ力ヲ有スル、結果カラシテ初メテ存在ガ出来ルモノデアアル、ソウ云フモノデアリマスカラ、今度ハ此法ノ元素タル所ノ各員ノ意思ノ力ト法トノ關係ヲ調ベテ見ナケレバナリマスマイ、言葉ヲ換ヘテ申スト、今迄ハ個人ノ方面カラ法ト云フモノガ成立スルコトヲ説キマシタダ、今度ハ成立シタ法ヨリ個人ニ及ボス方面ヲ見ネバナラス、法ハ個人在ル結果トシテ成立スルカ必ス又個人ニ對シテ働クモノデアアル、サレバ風船王ガ飛ンデ居ル様ナモノデハナイ、老爺サンガ水素瓦斯ヲ入レテ風船玉ヲ膨脹シテ、ソウ云フモノヲ拵ヘマスケレドモ、出来上ツタ上ニ糸ヲ切ツテ放シテ仕舞ヘバ飛ンデ往ツテ仕舞ヒマス、然レドモ法ハソウ云フモノデナイ、法ハ之レヲ拵ヘタ所ノ「アイウエオ」タル各員ガ風船玉ニシテ揚ゲテ飛セテ見ヤウト思ツテモ飛ヒ去ツテ仕舞ハナイ、出来上ツタ所ノ法ハ何時モ吾々ノ頭ノ上ニフラ／＼シテ居ツテ、法ガ吾々ノ方ヘ手ヲ延シテ掴マウトシタリ、或ハ押ヘヤウトシタリシテ居ル、法ハ矢張活動力ノ一種デアアル、其活動力ト云フモノガ各員ニ關係シテ居ルカラ各員ニ立戻ツテ來テ、ソウシテ種々ナ働キヲ爲ス、其働キヲ爲ス所ノ結果トシテ「ア」ト云フモノガ一種特別ノ意思ノ力ト云フモノヲ有スルコトガ出来ル、又「イ」ト云フモノガ一種特別ノ意思ノ力ヲ發動シナケレバナラス、「ウ」ト云フモノモ一種特別ノ力ヲ發動スルコトガ出来ル、「エ」ハ又一種特別ノ意思ノ力ヲ發動シナケレバナラスト云フ様ナコトガ起ツテ參リマス、其コトヲ觀察致シマスルトキニハ始メテ權利義務ハ何

デアアルカト云フコトガ解リマス、權利モ義務モ其點ニ付テハ同ジ様ナモノデアリマス、ソレ故ニ權利ノ方ヲ説イテ、其點ヲ明カニシテ義務ノ方ハ類推シテ御考ヘテ願ヒタイト思ヒマス。

第二項 權利

第一目 意義

第一 權利ノ例説

扱權利ト云フモノハドウ云フモノカト云フト、斯ウ云フ例ヲ以テ説クコトガ一番解リ易イノデアリマス、先ヅ諸君ガ日比谷公園デ日本大學ニ緣故アル者ノ大親睦會ヲ御開キニナルコトヲ考ヘテ、御覽ニナルト權利ノ何タルコトハ何デモナク解ツテ來ル、一體宇宙ノ現象ト云フモノト同ジ性質デアアル、日比谷公園デ親睦會ヲ開クコトモ、即チ國家ノ現象モ根本ニ於テ少シモ違ツテ居ラナイ、違ツテ居ラナイカラ一ツノ事ガ解レバ他ノ事ハ何デモナク解ル、唯大キイト小サイトノ區別ダゲデアアル大キイ所ハ菊石が見ユル、寫眞ヲ見テモ大變別嬪ニ見エテモ實際其人ヲ見ルト菊石ガ大變アツタト云フコトガアル、ケレドモ寫眞ト人間ト全く違ツテ居ル譯デハナイ、サテ日比谷公園ノ親睦會カ出来ルノハドウシテ出来ルカト云フト、相互ニ親密ニナロウト云フ自分ノ心ヲ相互ニ擴張シタ人間ガ寄り集ツテ親睦ヲ爲シテ居リマス、其間ニ非常ニ己ヲ擴張セル親睦ニ熱心ノ人モアル、又不熱心ノ人モアリマス、然シ少ナクモ皆親睦シヤウト云フ考ヘテ有ツテ居ルカラ親睦會ガ出来ルノデアアル、全く知リモシナイ人、ドウ云フ大カ分ラナイ人ガ集マツタ所デ、ソレハ親睦會デモ何デモナイ、ソレハ九段坂ノ縁日デアアル、親睦會ニハ先ヅ互ニ自分ヲ擴張シ合ツテ居ル人間ガ其處ニ入用デアアル、法